資料　1

「（仮称）町田市子どもマスタープラン２５－３４」
策定のためのアンケート調査報告書

【第３回町田市子ども・子育て会議（２０２４年8月２２日）時点】

２０２５年●月

町田市

目　次

第１章　調査の概要 5

１　調査の目的 5
２　調査対象 5
３　調査期間 5
４　調査方法 5
５　回収状況 5
６　調査項目 6
７　調査結果の表示方法 7

第２章　調査結果 8

１　共通設問の比較 8
（１）子どもの育ちをめぐる環境について 8
（２）子育ての悩みについて １２
（３）保護者の就労状況について １５
（４）子育て支援事業の利用状況について １８
（５）「子どもの権利」について ２７
（６）子育て施策全般について ３０
（７）悩み事や相談先について ３３
（８）学校生活について ３４
（９）放課後や休みの日の過ごし方について ３６
（１０）町田市について ３９
（１１）自身の考えについて ４０

２　【調査①】就学前児童保護者 ４２
（１）家族の状況について ４２
（２）子どもの育ちをめぐる環境について ４５
（３）子育ての悩みについて ５１
（４）保護者の就労状況について ５４
（５）職場のワークライフバランス支援制度について ６１
（６）平日の定期的な教育・保育の事業の利用状況について ６３
（７）土曜日と日曜・祝日の教育・保育の事業の利用希望について ７３
（８）病気の際の対応について ７７
（９）不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について ８１
（１０）子育て支援事業の利用状況について ８７
（１１）放課後の過ごし方について １０１

（１２）子どもの居場所について……１０５
（１３）「子どもの権利」について……１０７
（１４）子育て施策全般について……１０８

３　【調査②】小学校低学年保護者……１１６
（１）家族の状況について……１１６
（２）子どもの育ちをめぐる環境について……１１９
（３）子育ての悩みについて……１２５
（４）保護者の就労状況について……１２８
（５）子育て支援事業の利用状況について……１３５
（６）放課後の過ごし方について……１４５
（７）子どもの居場所について……１４９
（８）学童保育クラブについて……１５１
（９）「子どもの権利」について……１５３
（１０）子育て施策全般について……１５５

４　【調査③】小学校高学年保護者……１６２
（１）家族の状況について……１６２
（２）子どもの育ちをめぐる環境について……１６５
（３）子育ての悩みについて……１７１
（４）保護者の就労状況について……１７４
（５）子育て支援事業の利用状況について……１８１
（６）放課後の過ごし方について……１９１
（７）子どもの居場所について……１９４
（８）学童保育クラブについて……１９６
（９）「子どもの権利」について……１９８
（１０）子育て施策全般について……１９９

５　【調査④】小学校高学年本人……２０５
（１）悩み事や相談先について……２０５
（２）学校生活について……２０６
（３）放課後や休みの日の過ごし方について……２０８
（４）町田市について……２１３
（５）「子どもの権利」について……２１３
（６）自身の考えについて……２１５

６　【調査⑤】中学生・高校生（１２～１８歳の市民）……２１７
（１）家族の状況について……２１７
（２）悩み事や相談先について……２２０
（３）インターネット等について……２２７

（４）学校生活について ２３１
（５）放課後や休日の過ごし方について ２３４
（６）町田市について ２４０
（７）「子どもの権利」について ２４２
（８）自身の考えや将来像について ２４５

第１章　調査の概要

１　調査の目的

本調査は、「（仮称）町田市子どもマスタープラン２５－３４」策定のための基礎資料並びに子ども・子育て施策の参考とすることを目的として実施したものです。

２　調査対象

区分	調査対象	
調査①	就学前児童保護者	町田市在住の小学校就学前児童の保護者（対象児童を無作為抽出）
調査②	小学校低学年保護者	町田市在住の小学校低学年児童の保護者（対象児童を無作為抽出）
調査③	小学校高学年保護者	町田市在住の小学校高学年児童の保護者（対象児童を無作為抽出）
調査④	小学校高学年本人	町田市在住の小学校高学年児童（調査③で無作為抽出した児童）
調査⑤	中学生・高校生	１２～１８歳の市民から無作為抽出

３　調査期間

- ２０２４年5月７日（火）～２１日（火）

４　調査方法

- 郵送による配布
- 紙またはＷＥＢ回答（選択）

５　回収状況

本調査の回収状況は以下のとおりです。

区分	調査対象	発送数	回収数 （回収率）	有効回答数 （回答率）
調査①	就学前児童保護者	２，０００	１，０９４ （５４．７%）	１，０９２ （５４．６%）
調査②	小学校低学年保護者	１，５００	７９７ （５３．１%）	７９５ （５３．０%）
調査③	小学校高学年保護者	１，５００	７２４ （４８．３%）	７２０ （４８．０%）
調査④	小学校高学年本人	１，５００	５１０ （３４．０%）	５１０ （３４．０%）
調査⑤	中学生・高校生	１，５００	５１３ （３４．２%）	５１２ （３４．１%）
計		８，０００	３，６３８ （４５．５%）	３，６２９ （４５．４%）

※調査③と調査④の有効回答数のうち、保護者と本人両方の回答があったものは４９４件、保護者のみ回答があったものは２２６件、本人のみ回答があったものは１６件

6　調査項目

（1）保護者

項番	主な設問項目	調査① 就学前児童 保護者	調査② 小学校低学年 保護者	調査③ 小学校高学年 保護者
1	家族の状況	○	○	○
2	子どもの育ちをめぐる環境	○	○	○
3	子育ての悩み	○	○	○
4	保護者の就労状況	○	○	○
5	職場のワークライフバランス支援制度	○	―	―
6	平日の定期的な教育・保育の事業の利用状況	○	―	―
7	土曜日と日曜・祝日の教育・保育の事業の利用希望	○	―	―
8	病気の際の対応	○	―	―
9	不定期の教育・保育の事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用状況	○	―	―
１０	子育て支援事業の利用状況	○	○	○
１１	放課後の過ごし方	○	○	○
１２	子どもの居場所	○	○	○
１３	学童保育クラブ	―	○	○
１４	「子どもの権利」	○	○	○
１５	子育て施策全般	○	○	○

（2）子ども

項番	主な設問項目	調査④ 小学校高学年 本人	調査⑤ 中学生・高校生
1	家族の状況	―	○
2	悩み事や相談先	○	○
3	インターネットなど	―	○
4	学校生活	○	○
5	放課後や休日の過ごし方	○	○
6	町田市	○	○
7	「子どもの権利」	○	○
8	考えや将来像	○	○

７　調査結果の表示方法

- 回答は各設問の回答者数（ｎ）を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第２位を四捨五入しているため、内訳の合計が１００．０％にならない場合があります。
- 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が１００．０％を超える場合があります。
- クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の回答者数の合計と単純集計（全体）の回答者数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の設問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- 調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを　で網かけをしています。（無回答を除く）
- 回答者数が３０未満の場合、選択肢ごとの比率に差が生じやすくなるため、調査結果を掲載しない場合があります。
- 次頁以降の「２０１９年度調査」は、２０１９年度に実施した「新・町田市子どもマスタープラン（後期）策定のためのアンケート調査」を指しています。
- 次頁以降の「フルタイム」「パートタイム・アルバイトなど」については、「フルタイム（週５日程度・１日８時間程度)」「パートタイム・アルバイトなど（フルタイム以外)」を指します。

第２章　調査結果

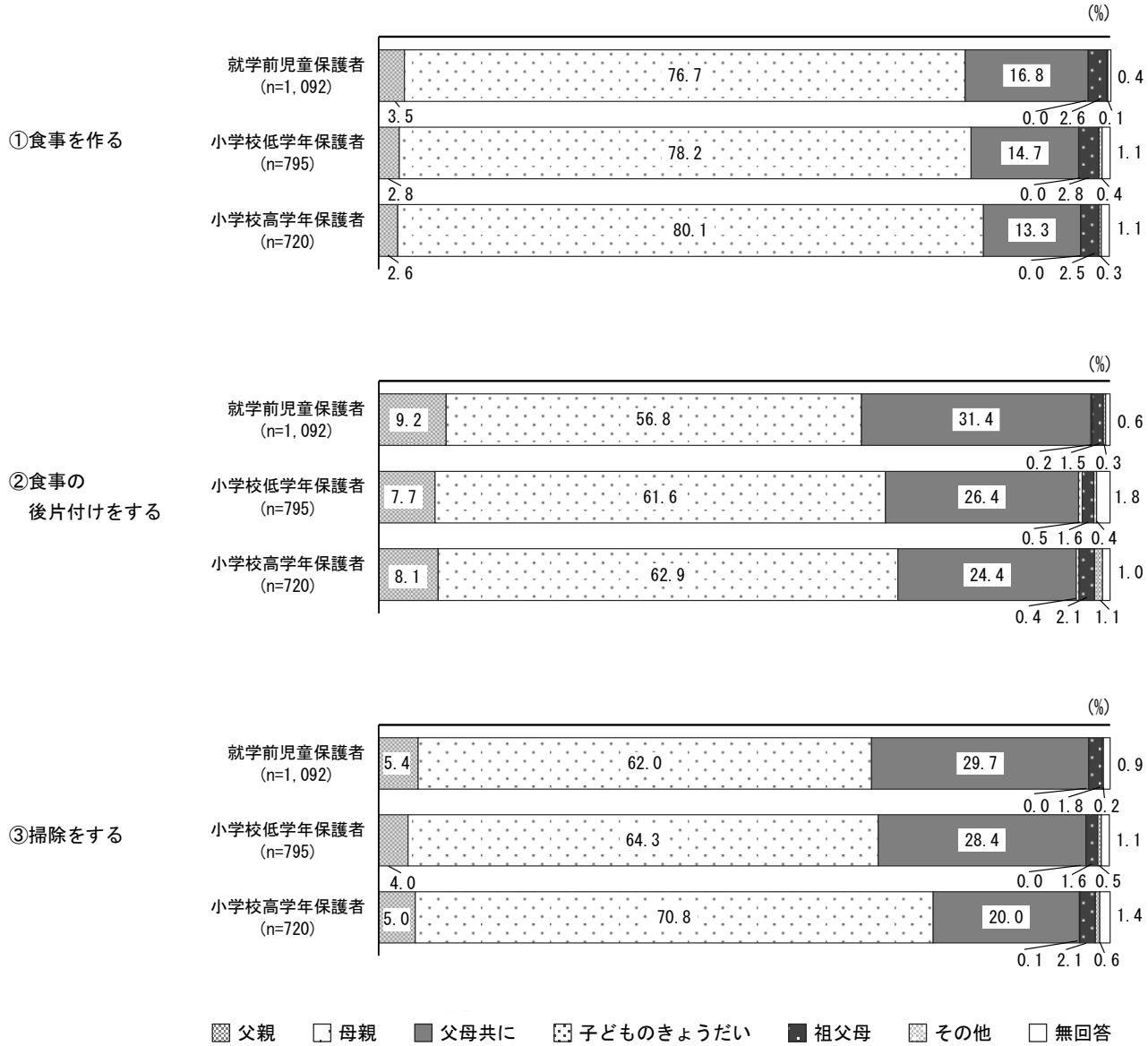
１　共通設問の比較

（１）子どもの育ちをめぐる環境について

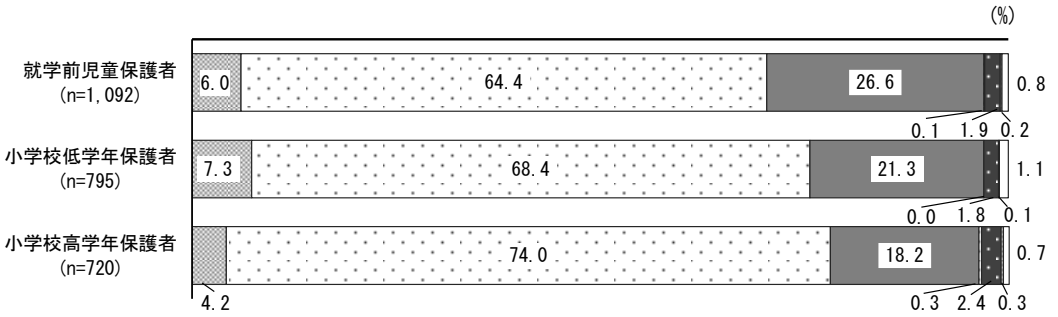
就学前児童保護者・小学校低学年保護者・小学校高学年保護者：問６
　家事や子育てを、主に行っている人は、あて名のお子さんからみてどなたですか。

- 子どもの年齢が上がるにつれて、ほとんどの項目で「父母共に」の割合が減少し、「母親」の割合が増加しています。「母親」の割合は、「⑥子どもの身の回りの世話をする」で最も増加しています。

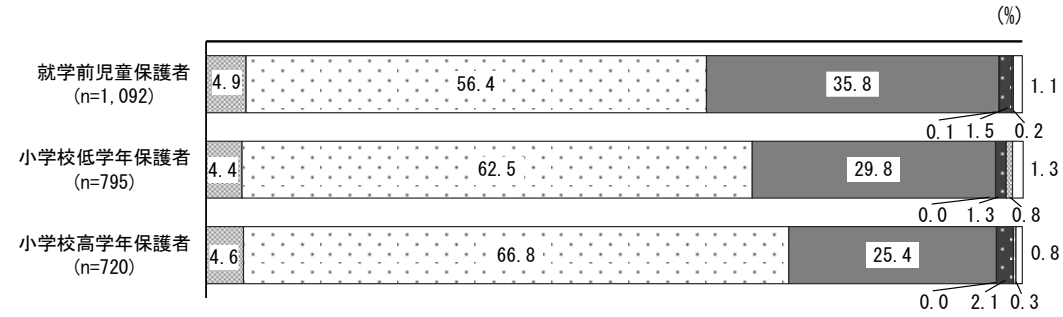
家事や子育てを主に行っている人



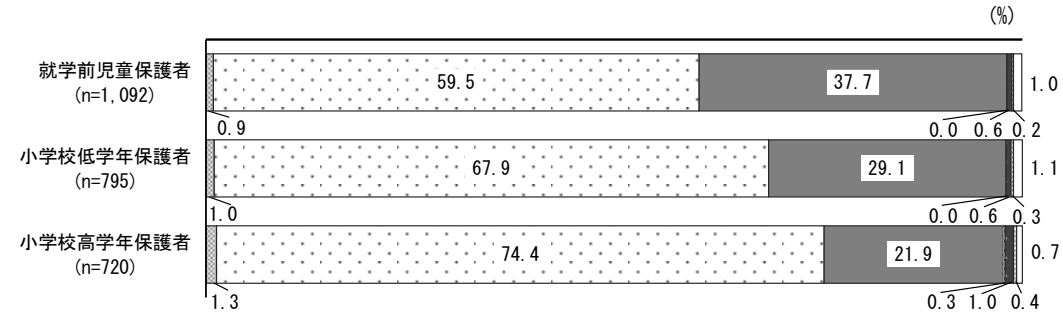
④洗濯をする



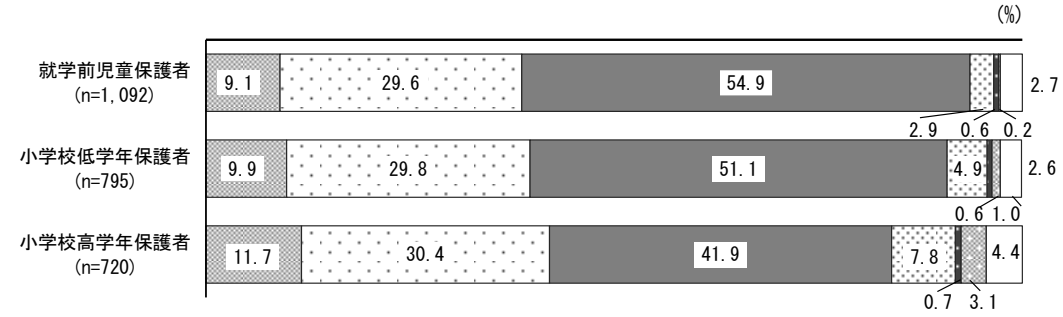
⑤買い物をする（日用品や食材など）



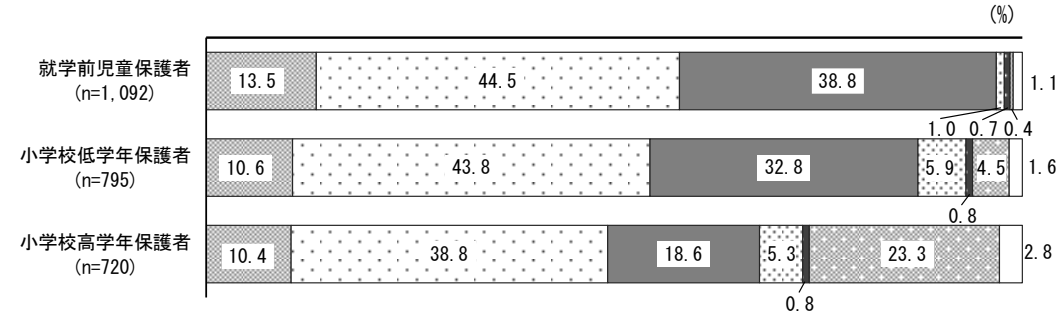
⑥子どもの身の回りの世話をする



⑦子どもと遊ぶ

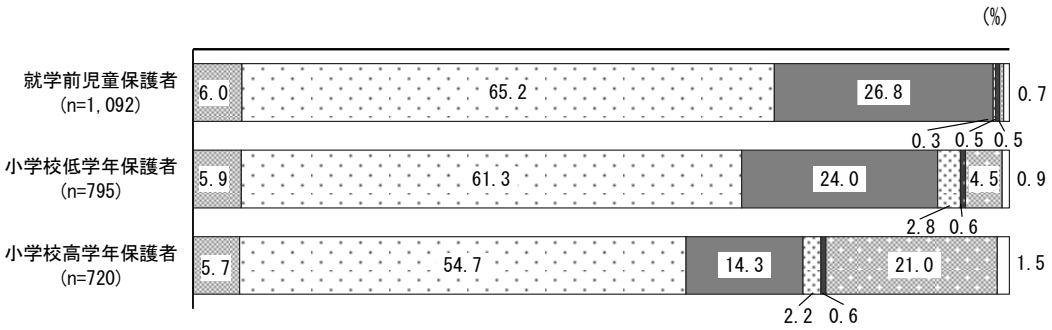


⑧子どもをお風呂に入れる

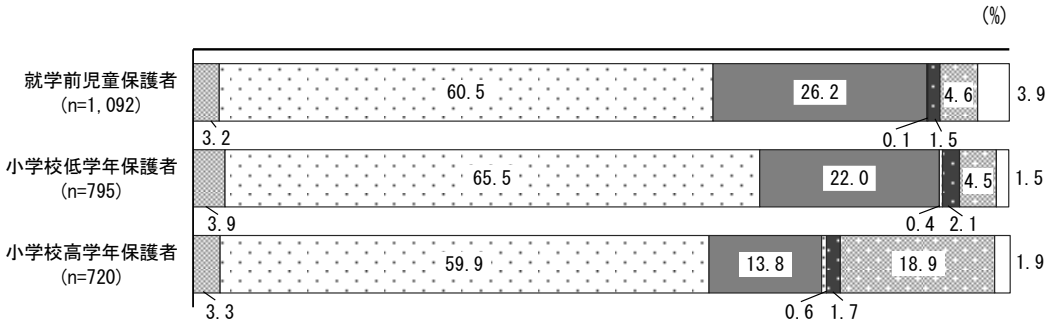


父親　母親　父母共に　子どものきょうだい　祖父母　その他　無回答

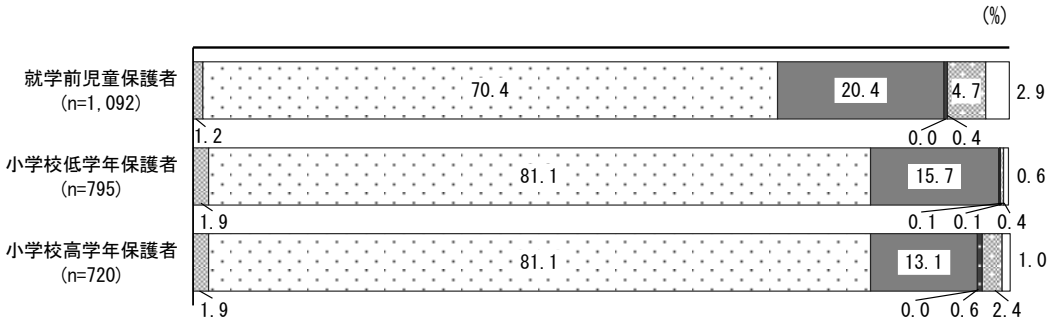
⑨子どもの
寝かしつけをする

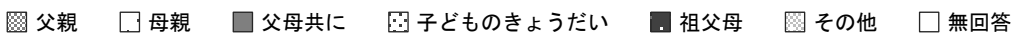


⑩保育所、幼稚園や
学校、学童保育
クラブなどの
送迎をする



⑪保育所、幼稚園や
学校の保護者会
などに参加する



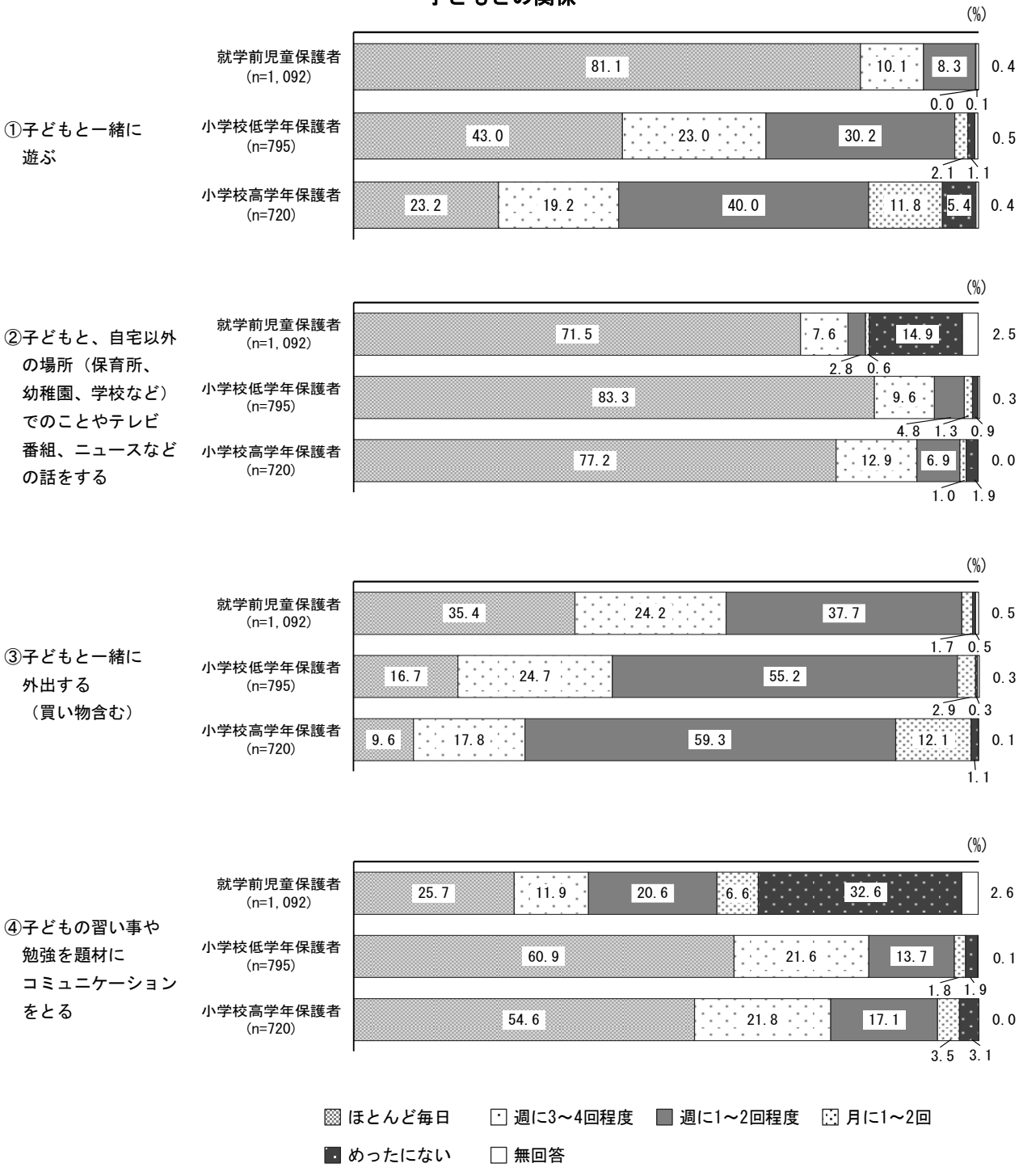


就学前児童保護者：問１０／小学校低学年保護者・小学校高学年保護者：問９

あなたを含めた、ご家族とあて名のお子さんとの関係について、お伺いします。
あなたのご家庭では、あて名のお子さんと次のようなことをすることがありますか。

- 「①子どもと一緒に遊ぶ」と「③子どもと一緒に外出する（買い物含む）」は、子どもの年齢が上がるにつれて「ほとんど毎日」の割合が低くなっています。
- 「②子どもと、自宅以外の場所（保育所、幼稚園、学校など）でのことやテレビ番組、ニュースなどの話をする」は、子どもの年齢に関わらず「ほとんど毎日」の割合が高くなっています。

子どもとの関係

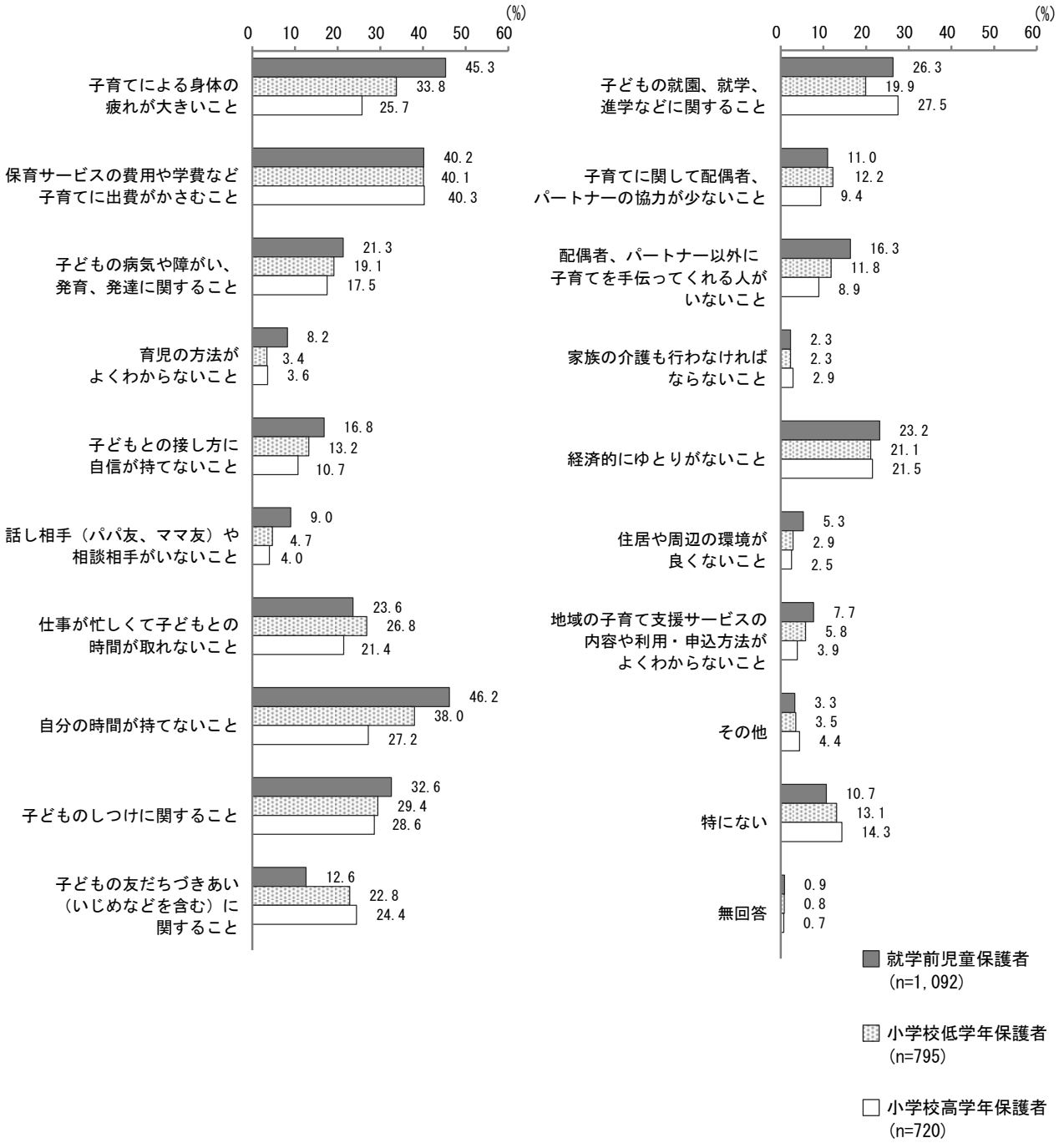


（2）子育ての悩みについて

就学前児童保護者・小学校低学年保護者・小学校高学年保護者：問１１
子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。

- 「子育てによる身体の疲れが大きいこと」と「自分の時間が持てないこと」の割合は、子どもの年齢が上がるにつれて低くなっており、他の項目と比較しても特に大きく減少しています。
- 「保育サービスの費用や学費など子育てに出費がかさむこと」は、子どもの年齢に関わらず高い割合となっています。

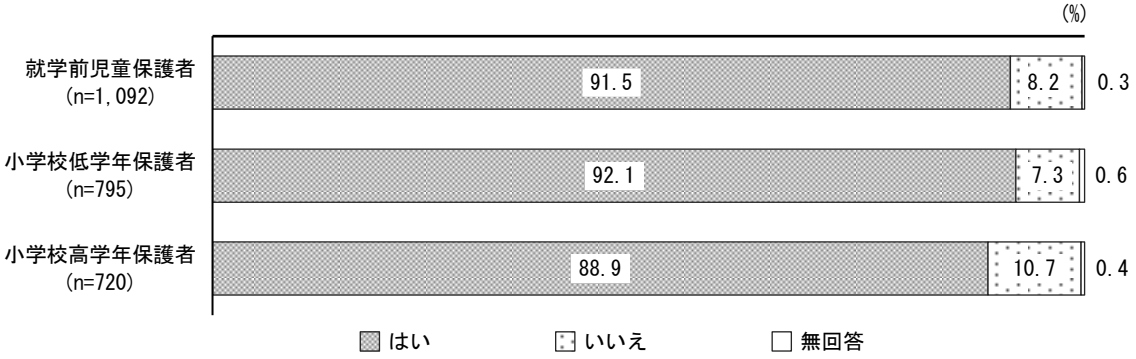
子育ての悩み
（複数回答）



就学前児童保護者・小学校低学年保護者・小学校高学年保護者：問１２
あなたは、子育てについて気軽に相談できる人がいますか（または場所はありますか）。

- どの対象でも、相談相手がいる割合が９割前後となっています。
- 他の対象と比較して、小学校高学年保護者で、相談相手がいない割合が高くなっています。

相談相手の有無

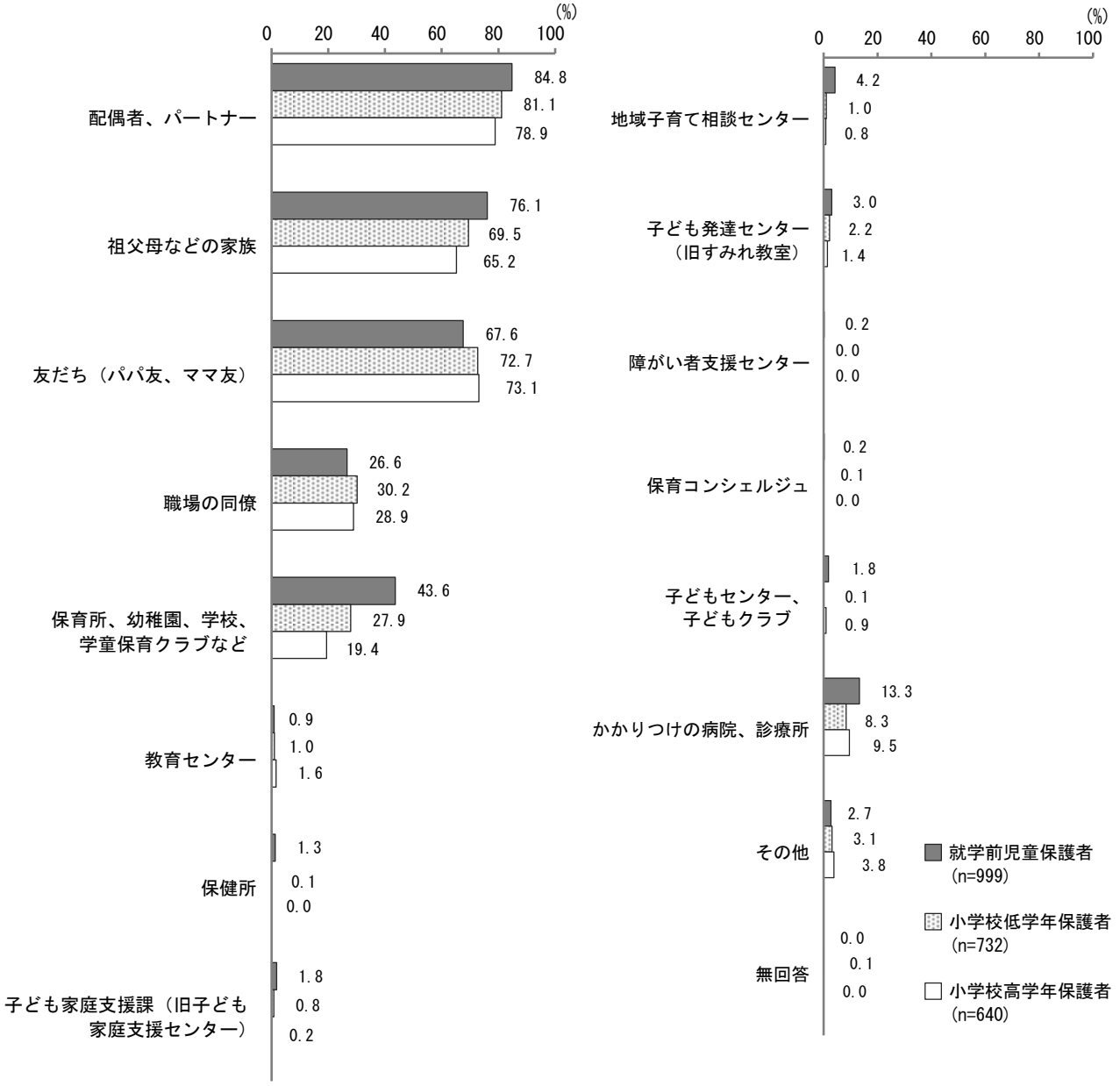


※問１２－１は、問１２で「いる／ある」を選択した人のみ回答

就学前児童保護者・小学校低学年保護者・小学校高学年保護者：問１２－１
あて名のお子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。

- 子どもの年齢が上がるにつれて「配偶者、パートナー」「祖父母などの家族」「保育所、幼稚園、学校、学童保育クラブなど」の割合が減少し、「友だち（パパ友、ママ友)」の割合が増加しています。

相談相手
（複数回答）

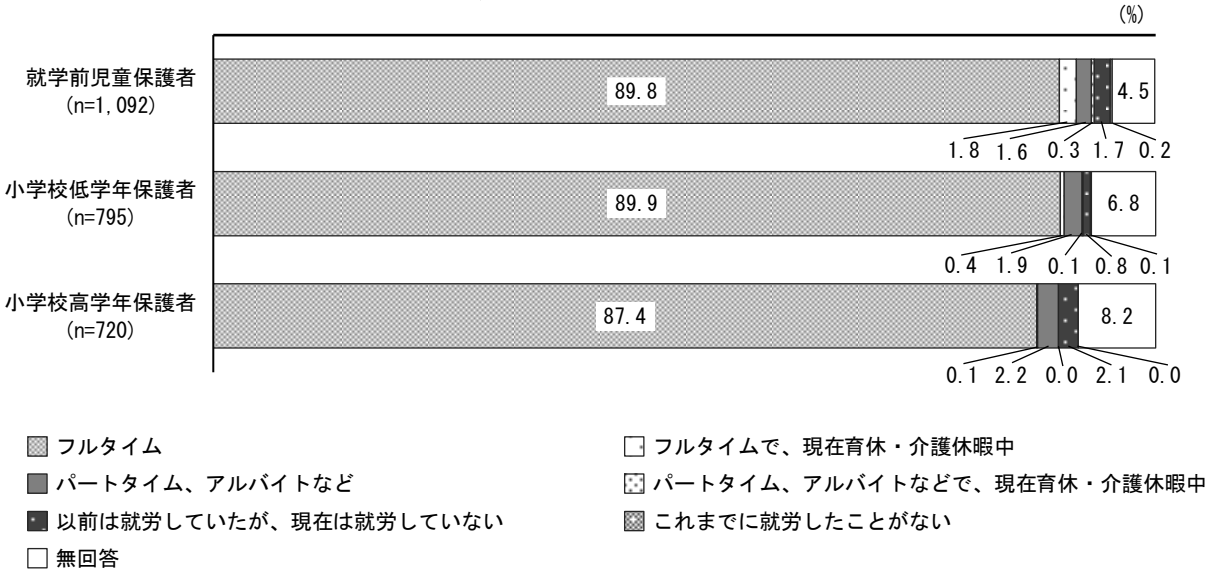


（３）保護者の就労状況について

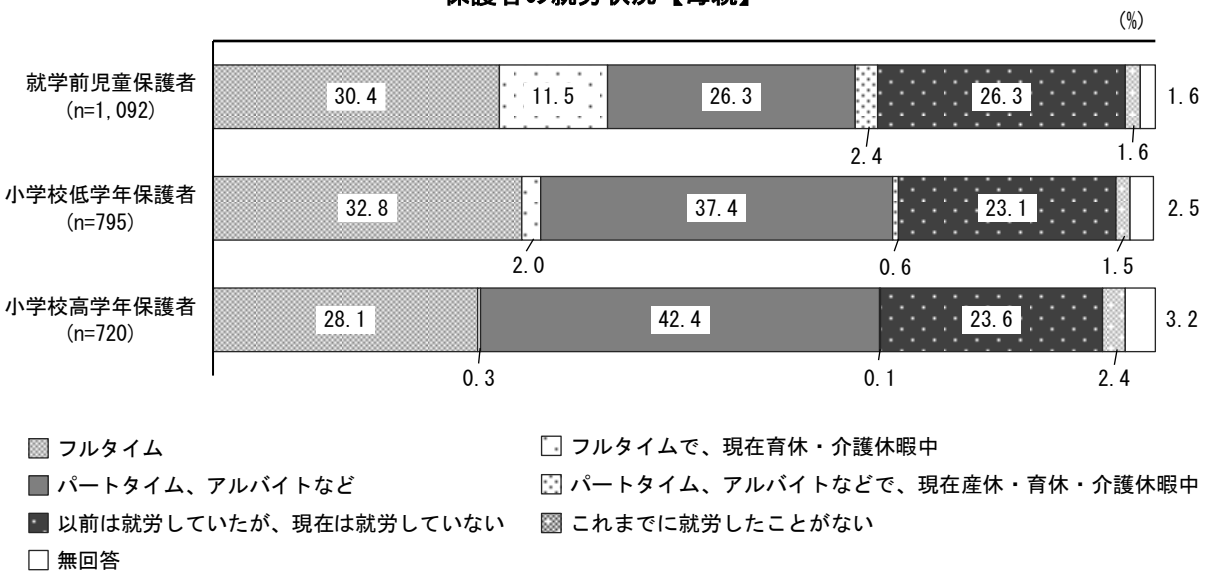
就学前児童保護者・小学校低学年保護者・小学校高学年保護者：問１３
現在の就労状況をお答えください。

- 父親の就労状況は、対象ごとで大きな差は見られません。
- 母親の就労状況は、子どもの年齢が上がるにつれて「パートタイム、アルバイトなど」の割合が増加しています。

保護者の就労状況【父親】



保護者の就労状況【母親】

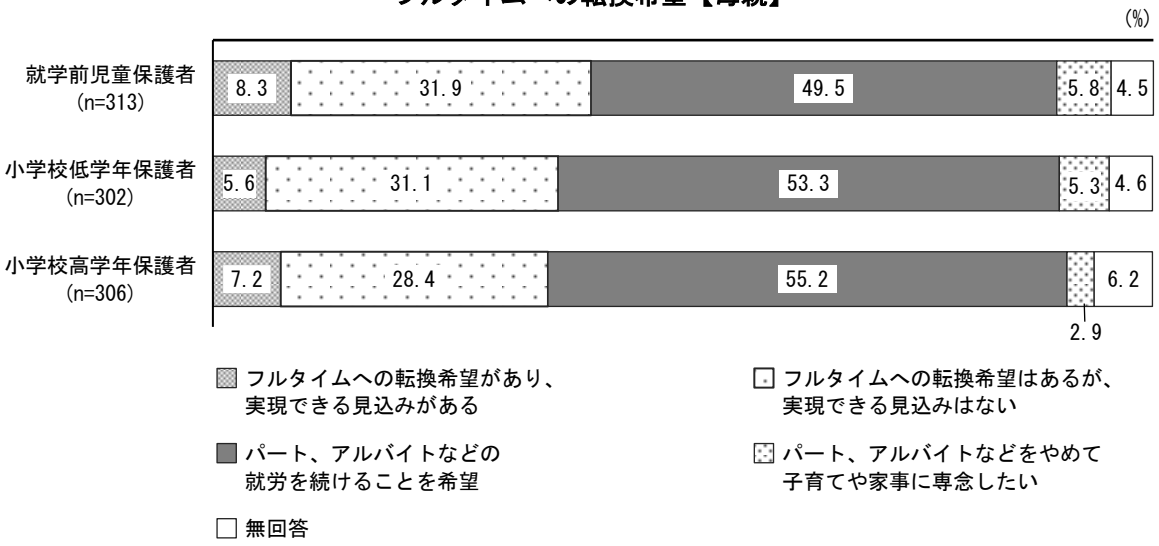


※問１３－１は、問１３で「パートタイム、アルバイトなど」または「パートタイム、アルバイトなどで、現在育休・介護休暇中」のいずれかを選択した人のみ回答

就学前児童保護者・小学校低学年保護者・小学校高学年保護者：問１３－１
フルタイムへの転換希望はありますか。

- 子どもの年齢が上がるにつれて「パート、アルバイトなどの就労を続けることを希望」の割合が増加し、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」と「パート、アルバイトなどをやめて子育てに専念したい」の割合が減少しています。

フルタイムへの転換希望【母親】

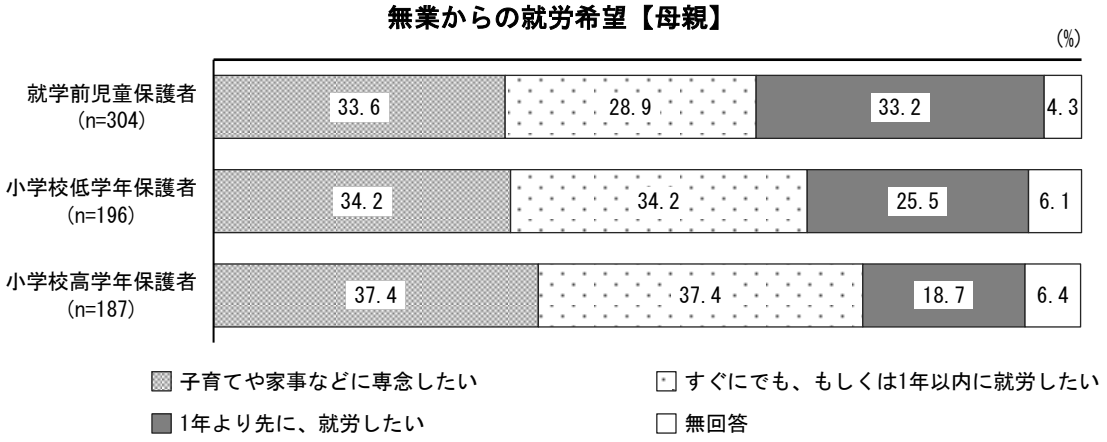


※問１３－２は、問１３で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまでに就労したことがない」のいずれかを選択した人のみ回答

就学前児童保護者・小学校低学年保護者・小学校高学年保護者：問１３－２
就労希望はありますか。

- 子どもの年齢が上がるにつれて「子育てや家事などに専念したい」「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」の割合が増加し、「１年より先に、就労したい」の割合が減少しています。

無業からの就労希望【母親】

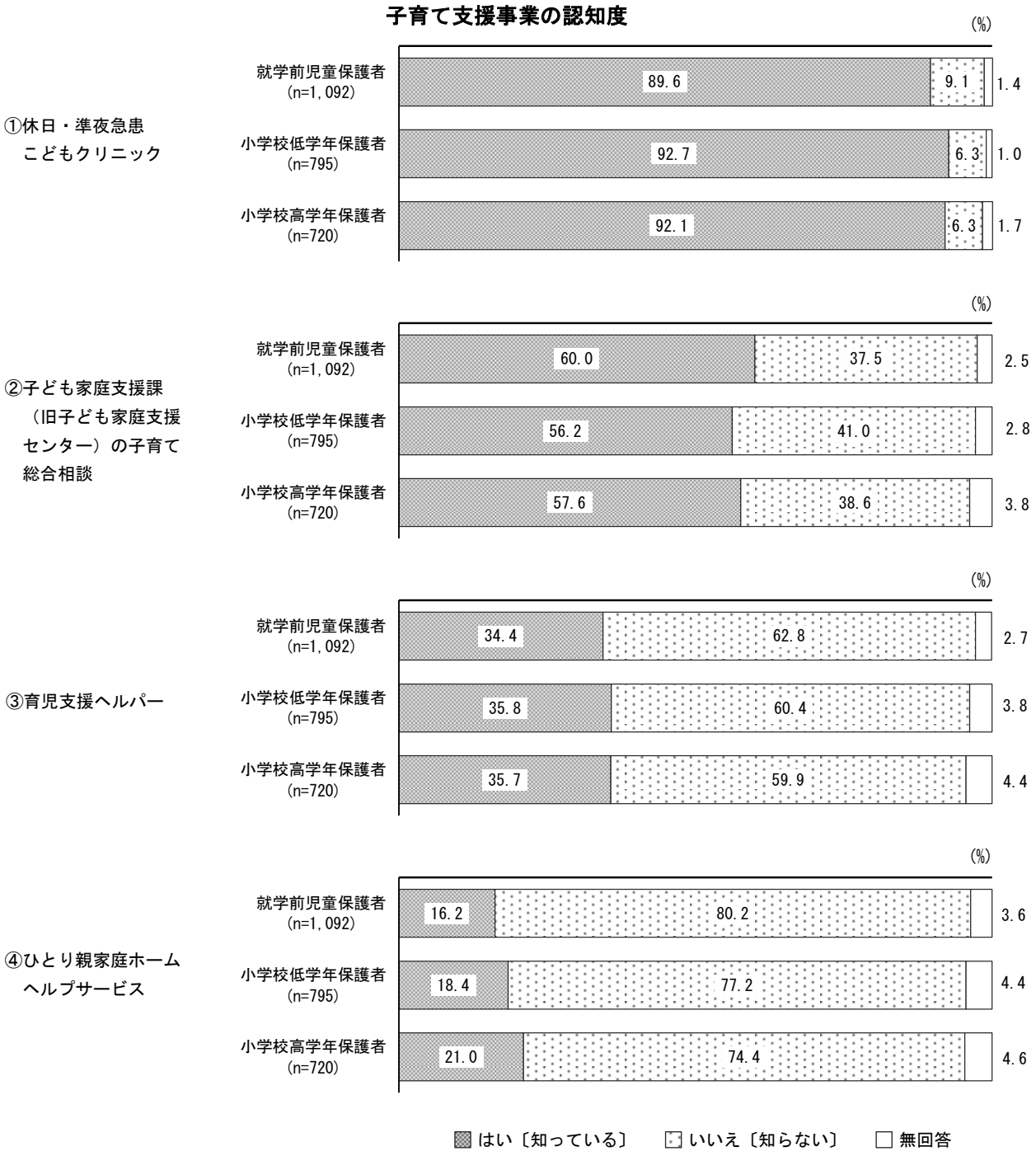


（４）子育て支援事業の利用状況について

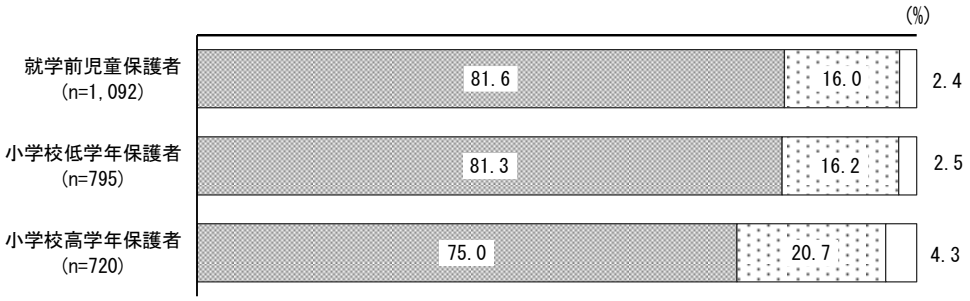
就学前児童保護者：問２５／小学校低学年保護者・小学校高学年保護者：問１５
下記のサービスについて、お答えください。

【A　認知度】

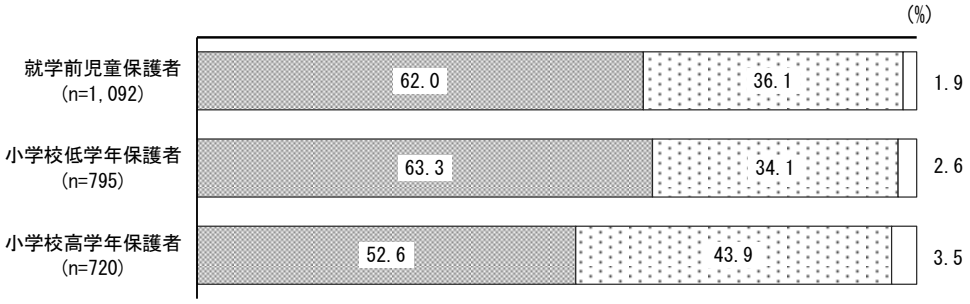
- 多くの事業で、子どもの年齢が上がるほど知っている人の割合が高くなっていますが、『⑤認可保育所での一時保育』『⑦保育コンシェルジュの保育サービス利用相談』『⑩保育所、幼稚園等の園庭開放や子育てひろば』では、子どもの年齢が低いほど知っている人の割合が高くなっています。



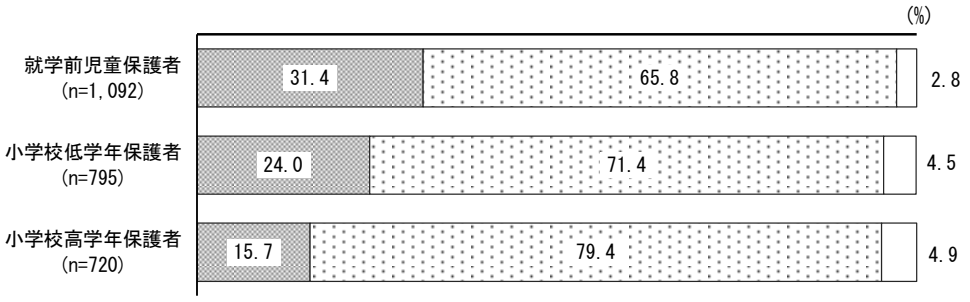
⑤認可保育所での一時保育



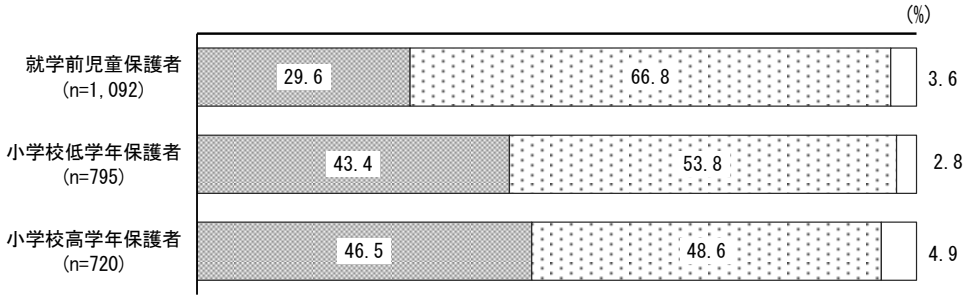
⑥ファミリー・サポート・センター



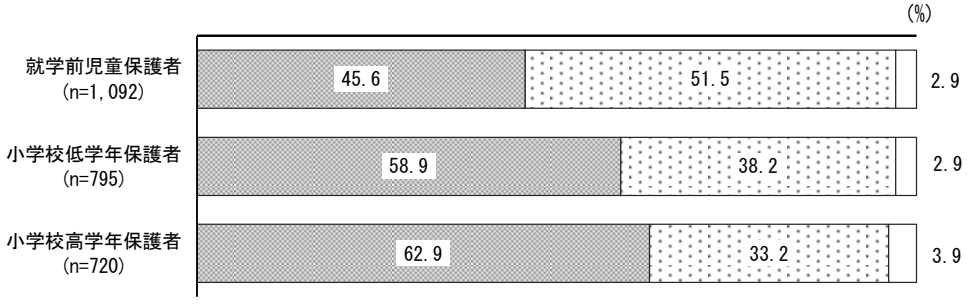
⑦保育コンシェルジュの保育サービス利用相談

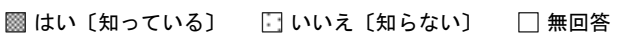


⑧教育センターの教育相談

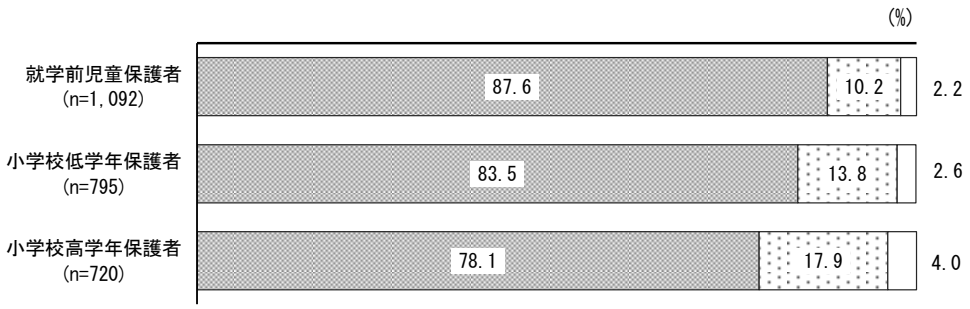


⑨子ども発達センター（旧すみれ教室）の発達相談や療育サービスなど

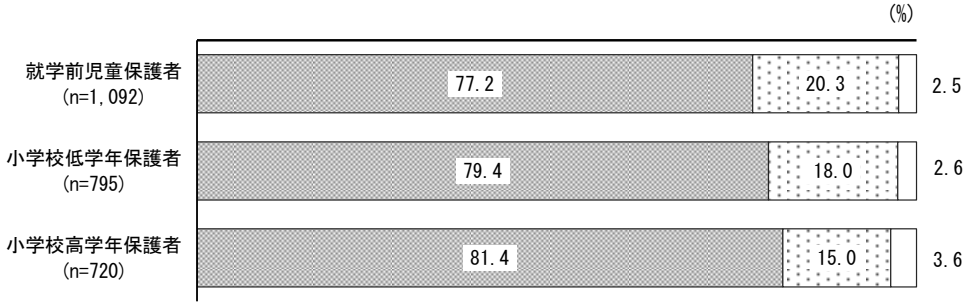




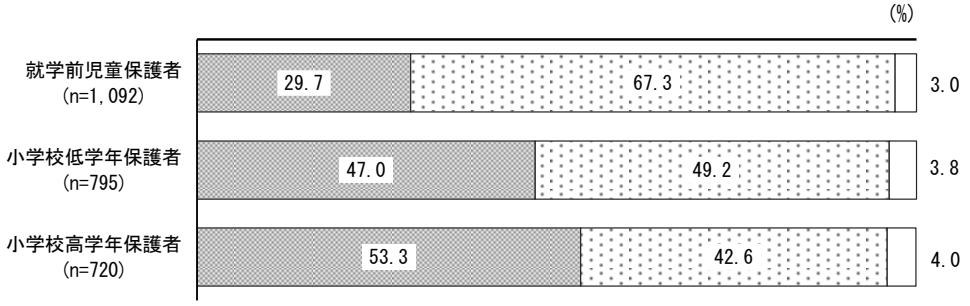
⑩保育所、幼稚園等の園庭開放や子育てひろば



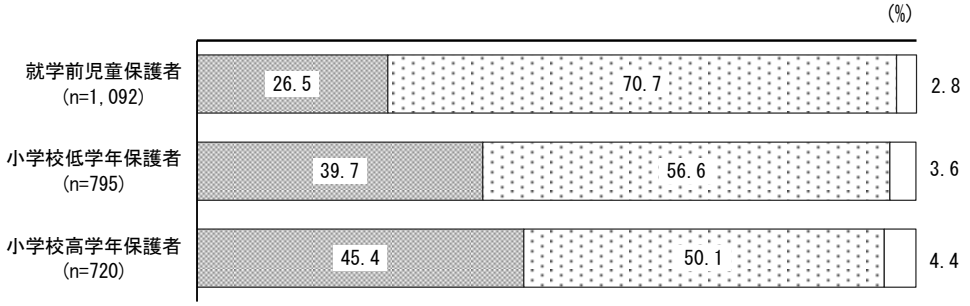
⑪子どもセンター、子どもクラブの施設利用や子育て支援事業など



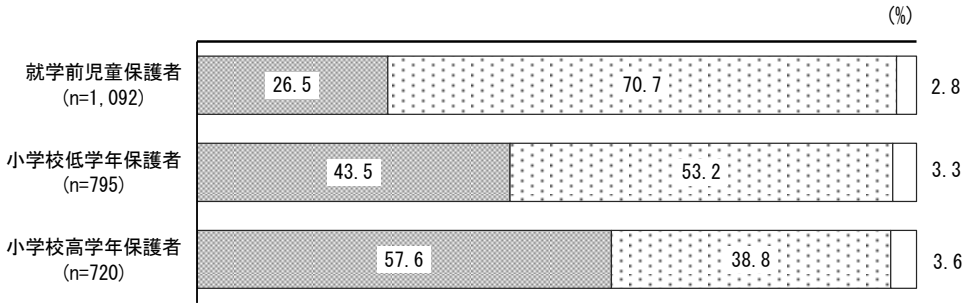
⑫子ども創造キャンパスひなた村の施設利用や子育て支援事業など



⑬生涯学習センターの子育て支援講座やイベントなど



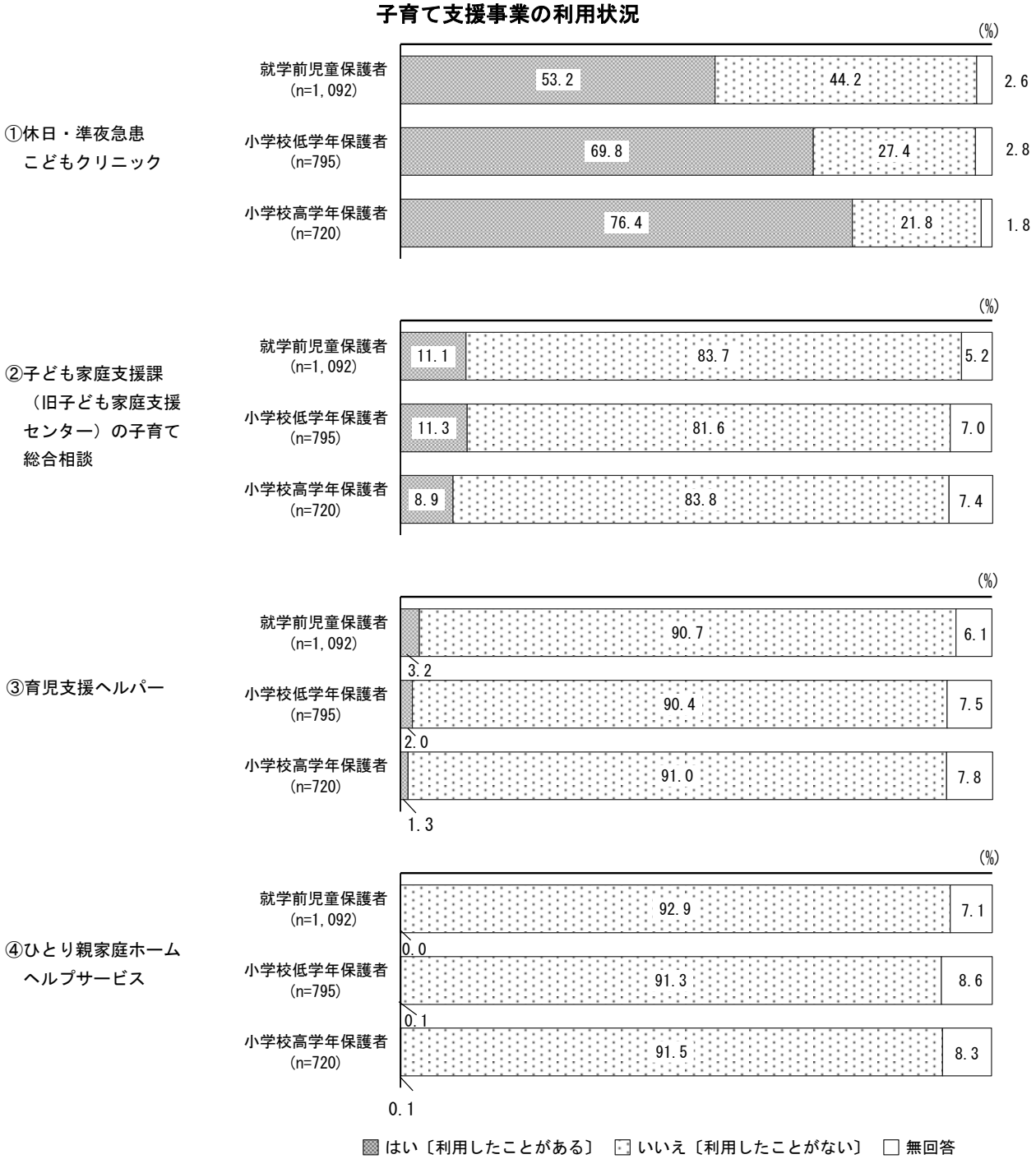
⑭Nature Factory東京町田（旧大地沢青少年センター）の施設利用や宿泊事業など



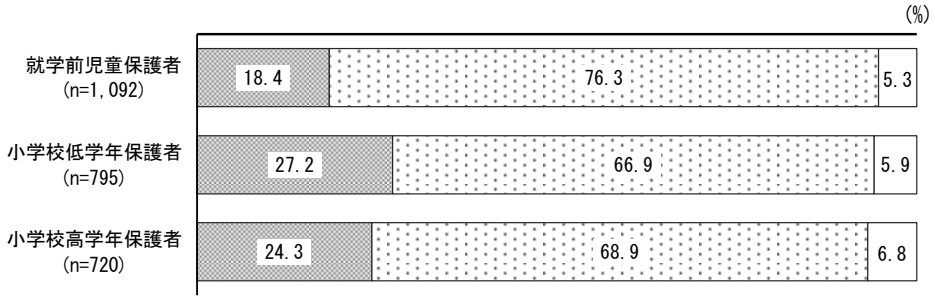
【Ｂ　利用状況】

- 『①休日・準夜急患こどもクリニック』『⑪子どもセンター、子どもクラブの施設利用や子育て支援事業など』は、子どもの年齢が上がるにつれて、利用したことがある人の割合が高くなっています。
- 『①休日・準夜急患こどもクリニック』『⑩保育所、幼稚園等の園庭開放や子育てひろば』『⑪子どもセンター、子どもクラブの施設利用や子育て支援事業など』を除く全ての事業で、利用したことがない人の割合が高くなっています。

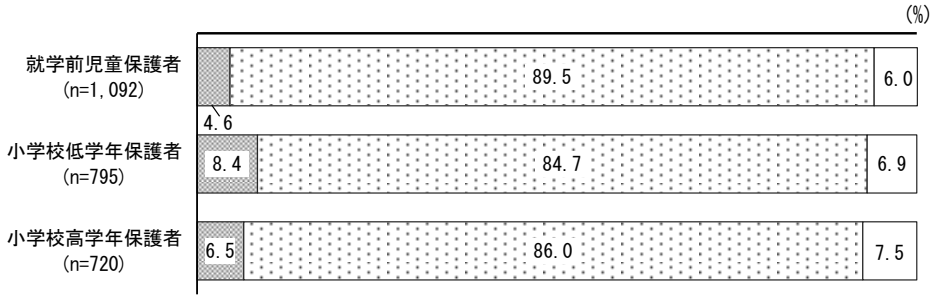
子育て支援事業の利用状況



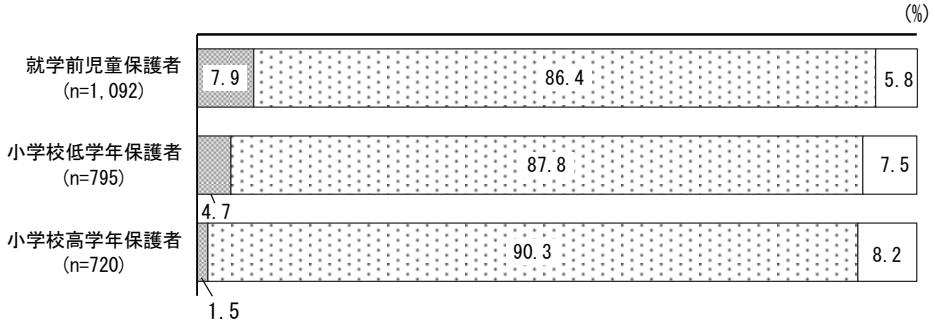
⑤認可保育所での一時保育



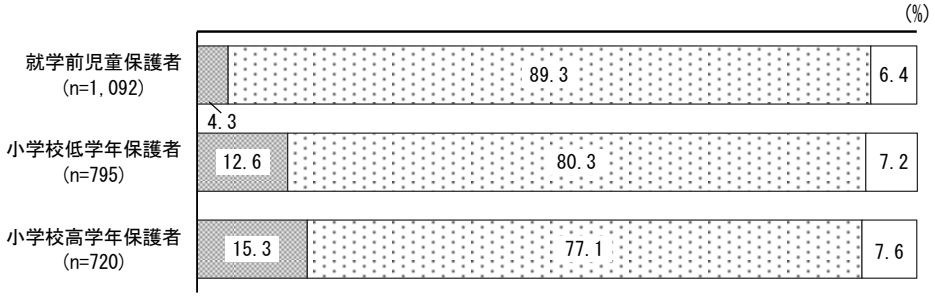
⑥ファミリー・サポート・センター



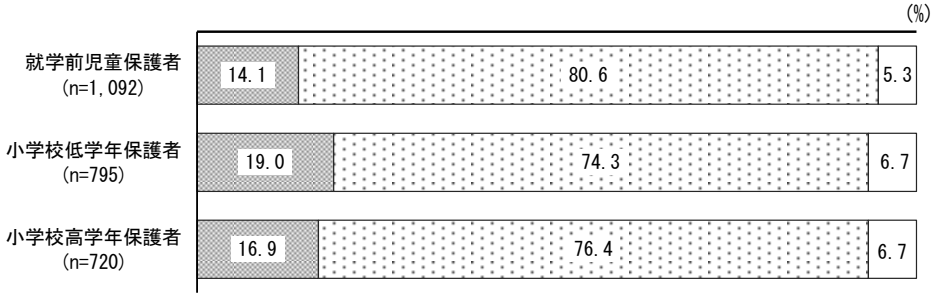
⑦保育コンシェルジュの保育サービス利用相談



⑧教育センターの教育相談

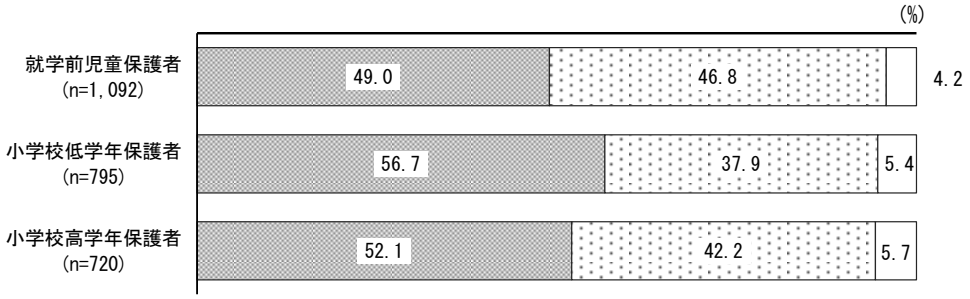


⑨子ども発達センター（旧すみれ教室）の発達相談や療育サービスなど

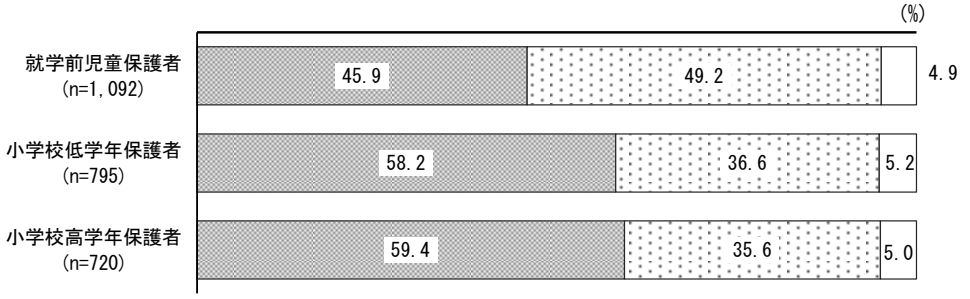


▨ はい〔利用したことがある〕　⁘ いいえ〔利用したことがない〕　□ 無回答

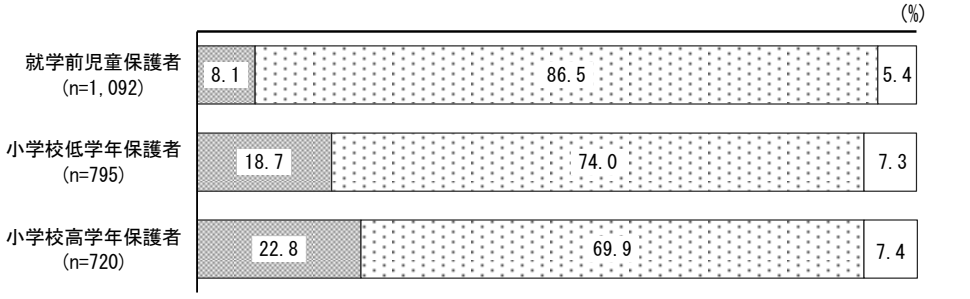
⑩保育所、幼稚園等の園庭開放や子育てひろば



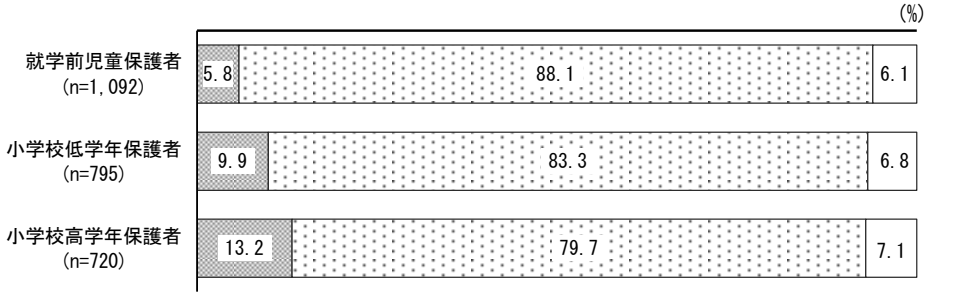
⑪子どもセンター、子どもクラブの施設利用や子育て支援事業など



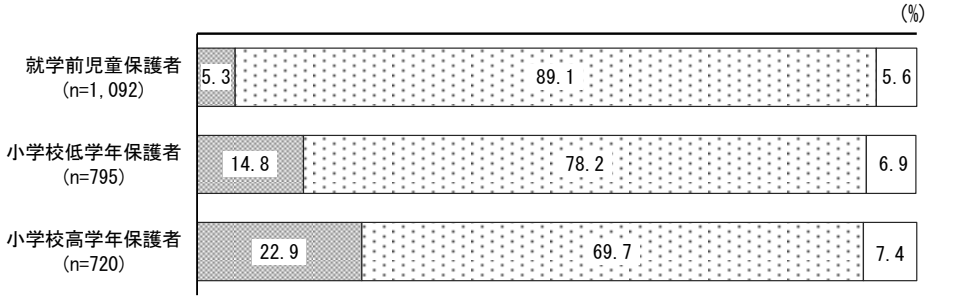
⑫子ども創造キャンパスひなた村の施設利用や子育て支援事業など



⑬生涯学習センターの子育て支援講座やイベントなど



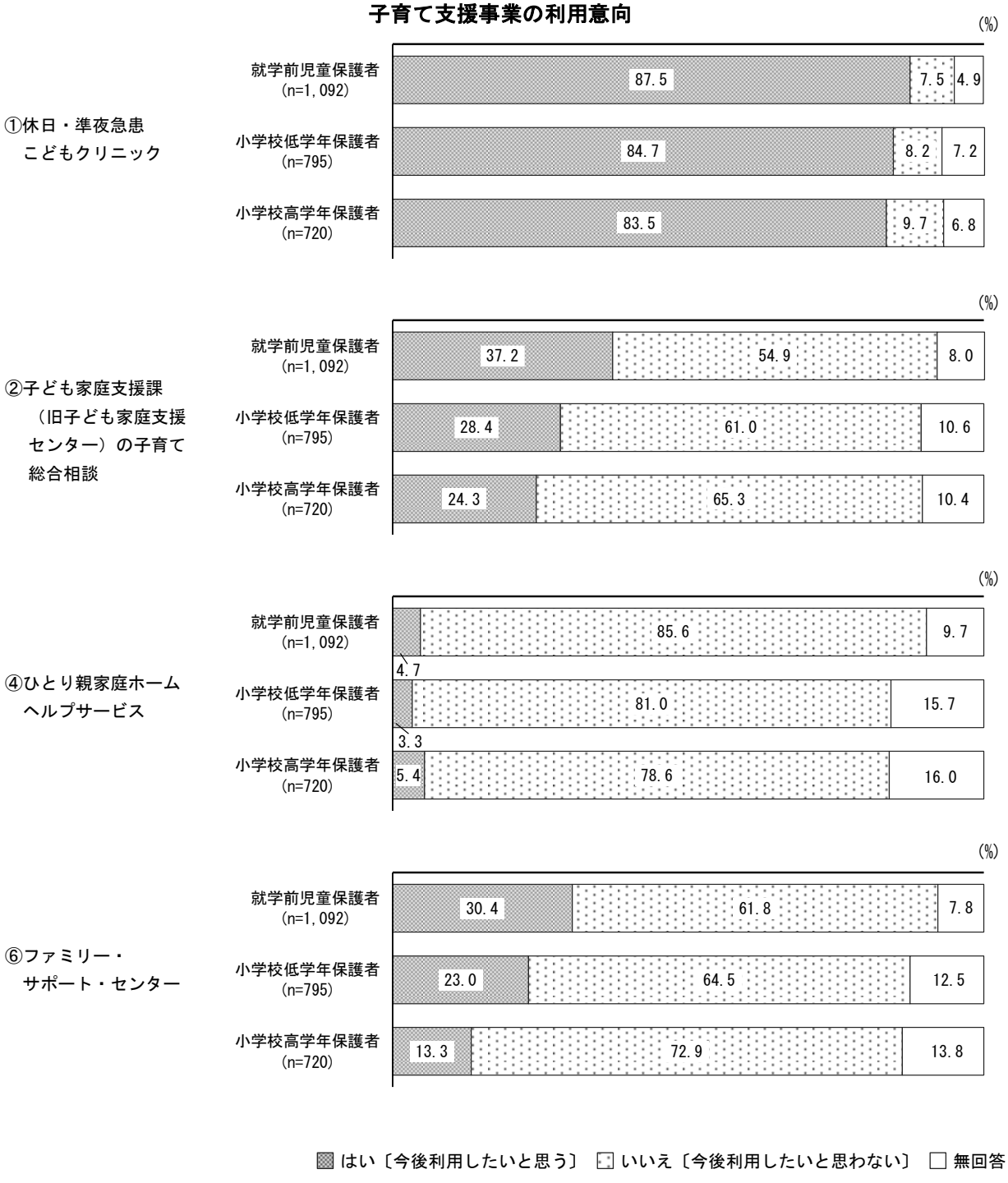
⑭Nature Factory東京町田（旧大地沢青少年センター）の施設利用や宿泊事業など



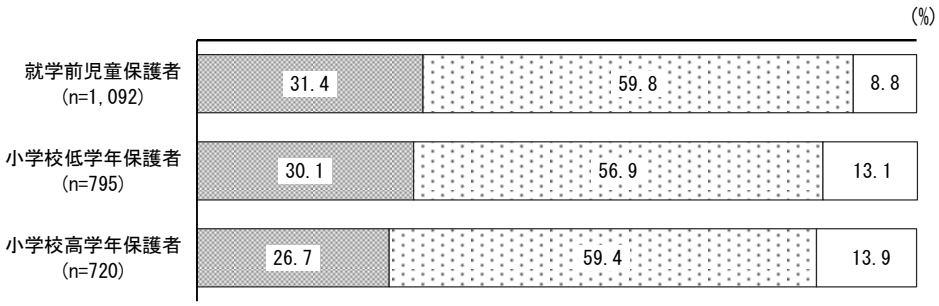
▨ はい〔利用したことがある〕　⊡ いいえ〔利用したことがない〕　□ 無回答

【C　利用意向】

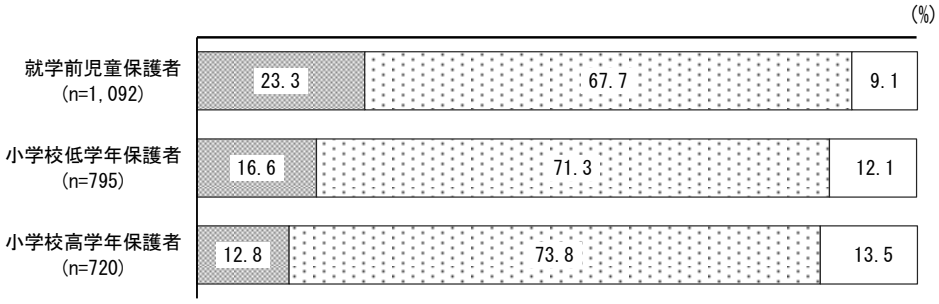
● 多くの事業で、子どもの年齢が上がるほど今後利用したい人の割合が低くなっていますが、『⑭Ｎａｔｕｒｅ　Ｆａｃｔｏｒｙ東京町田（旧大地沢青少年センター）の施設利用や宿泊事業など』では、子どもの年齢が上がるにつれて今後利用したい人の割合が高くなっています。



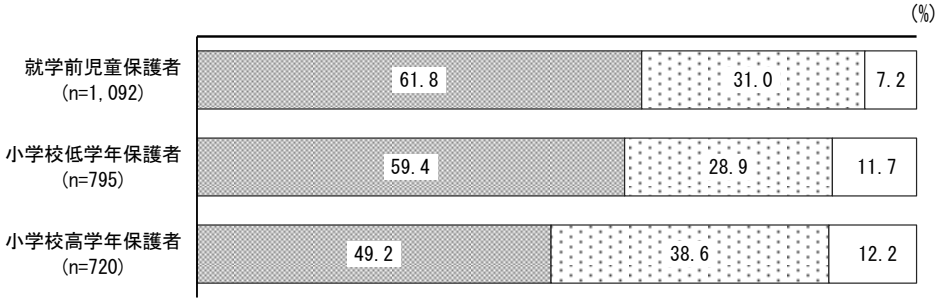
⑧教育センターの
教育相談



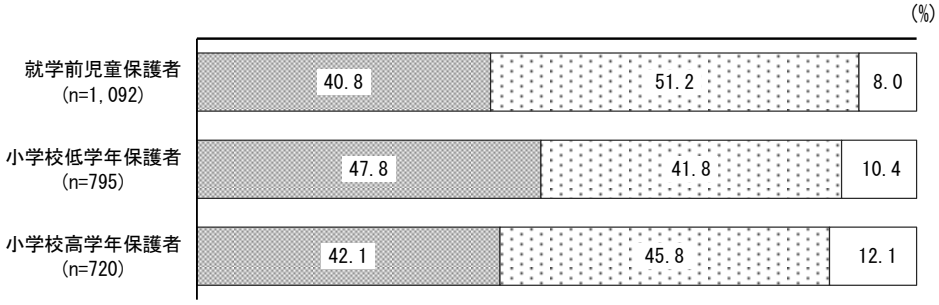
⑨子ども発達センター
（旧すみれ教室）の
発達相談や
療育サービスなど



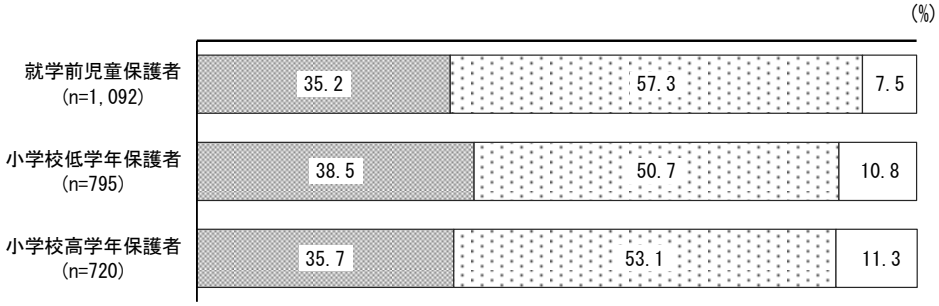
⑪子どもセンター、
子どもクラブの
施設利用や
子育て支援事業など



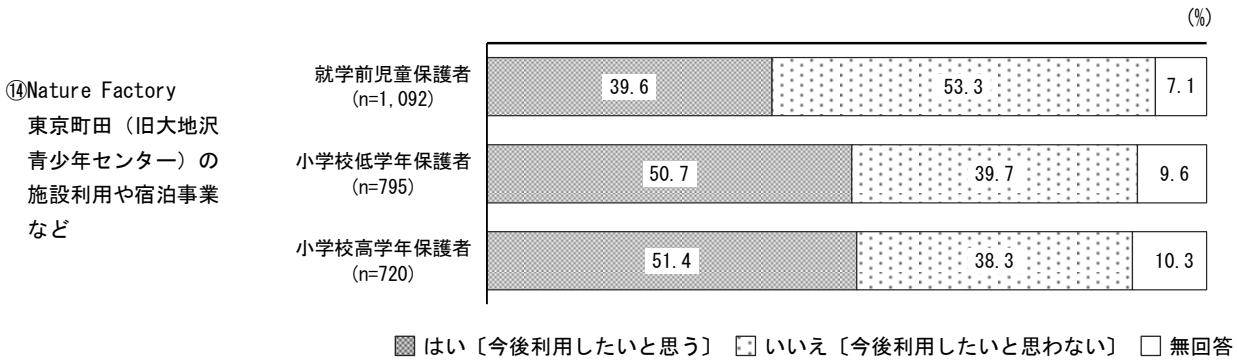
⑫子ども創造キャンパス
ひなた村の施設利用や
子育て支援事業など



⑬生涯学習センターの
子育て支援講座や
イベントなど



▨ はい〔今後利用したいと思う〕　⁘ いいえ〔今後利用したいと思わない〕　□ 無回答

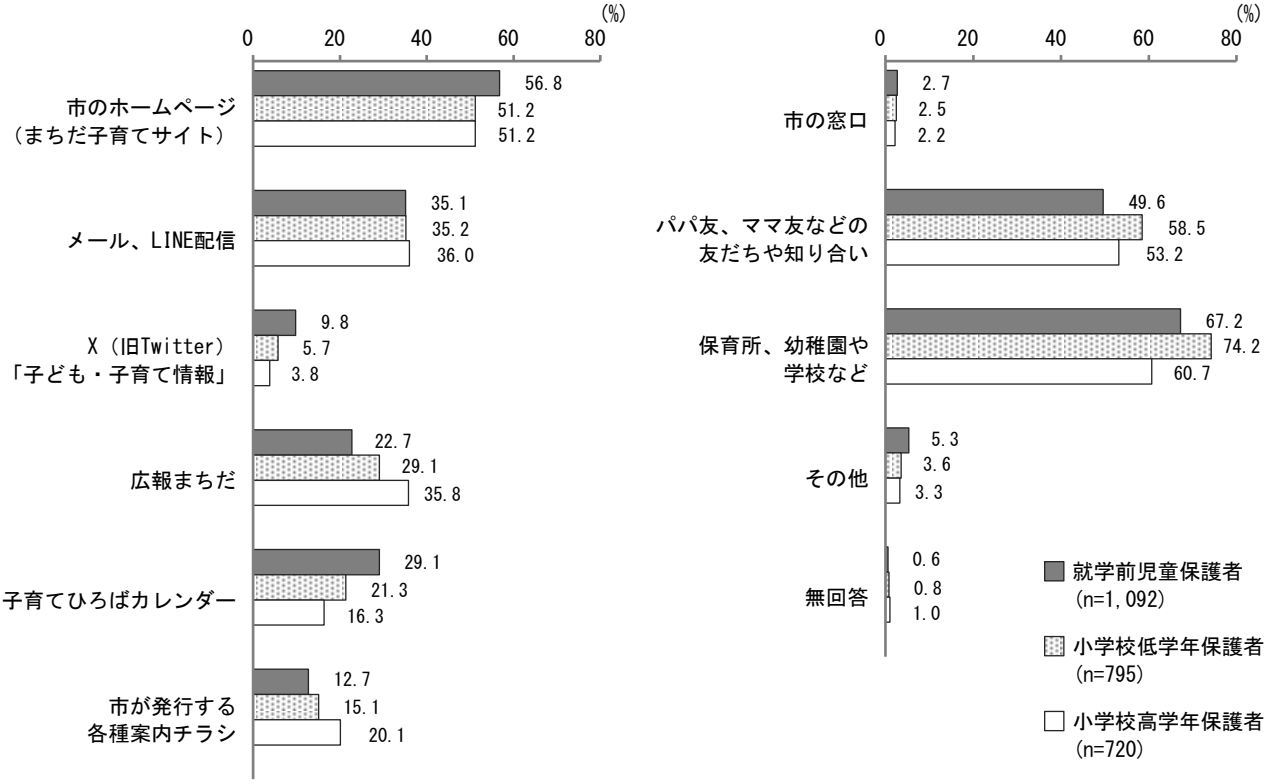


※「③育児支援ヘルパー」「⑤認可保育所での一時保育」「⑦保育コンシェルジュの保育サービス利用相談」「⑩保育所、幼稚園等の園庭開放や子育てひろば」は、就学前児童対象の事業のため、小学校低学年保護者と小学校高学年保護者では、利用意向は未調査。

就学前児童保護者：問２６／小学校低学年保護者・小学校高学年保護者：問１６
子育てに関する情報をどのように得ていますか。

- 「広報まちだ」「市が発行する各種案内チラシ」の割合は、子どもの年齢が上がるにつれて増加しています。反対に「Ｘ（旧Ｔｗｉｔｔｅｒ）「子ども・子育て情報」」「子育てひろばカレンダー」の割合は、子どもの年齢が低いほど高くなっています。

子育て情報の入手方法
（複数回答）



（５）「子どもの権利」について

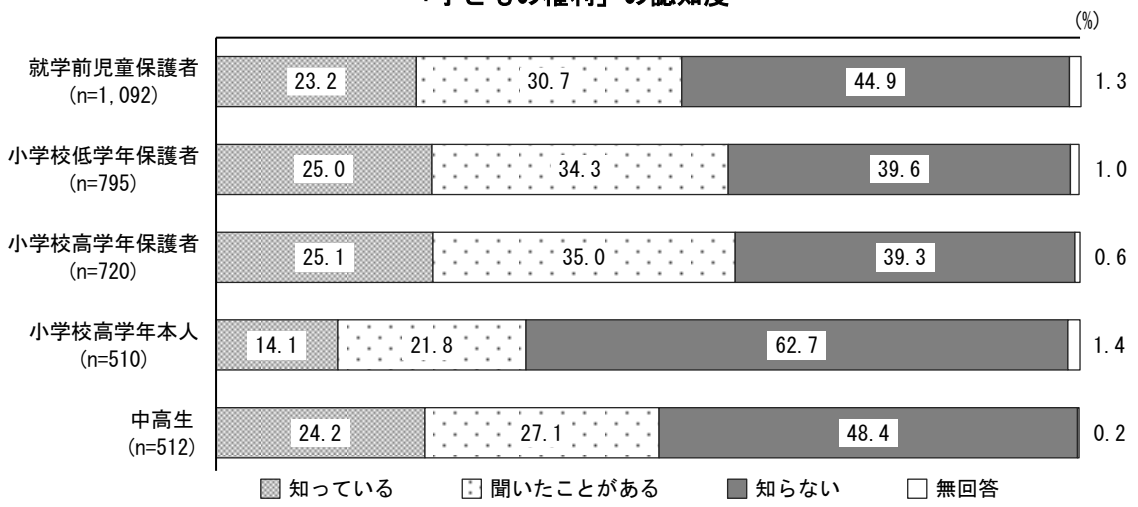
就学前児童保護者：問３０／小学校低学年保護者：問２４／小学校高学年保護者：問２３
小学校高学年本人：問７／中高生：問２０

子どもには大切な「子どもの権利」があります。町田市では、「子どもの権利」に関する条例「町田市子どもにやさしいまち条例」や、子ども自身の意見でつくられた子どもの行動指針「町田市子ども憲章」があります。あなたは、これらについて知っていますか。

【子どもの権利】

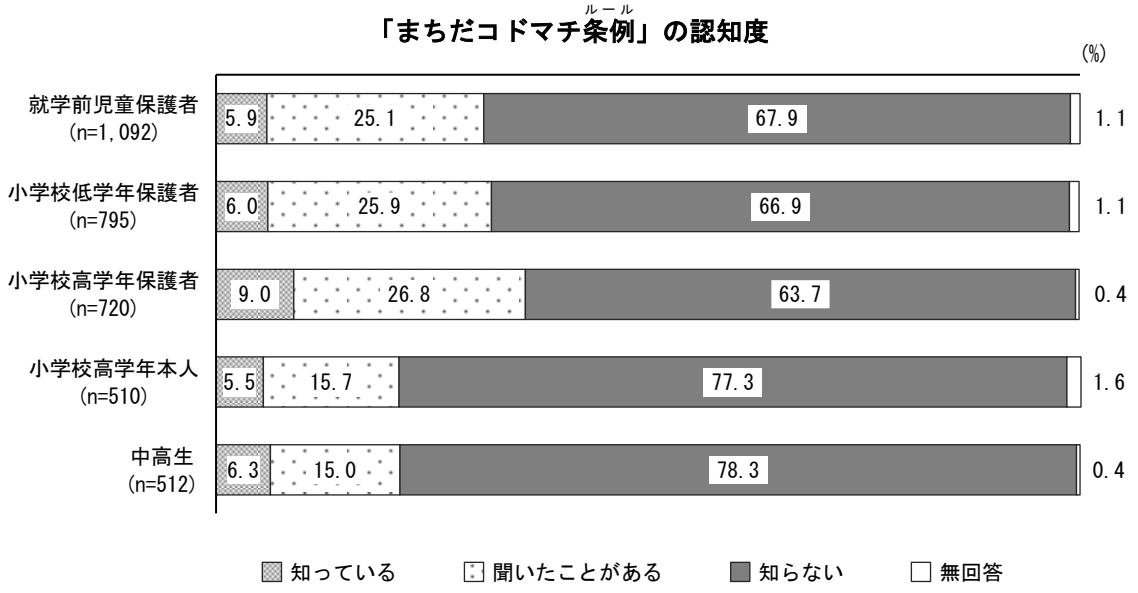
- 保護者と比較して、子どもの認知度（「知っている」と「聞いたことがある」の合計）の方が低くなっています。特に小学校高学年本人では「知らない」の割合が６割以上となっています。

「子どもの権利」の認知度



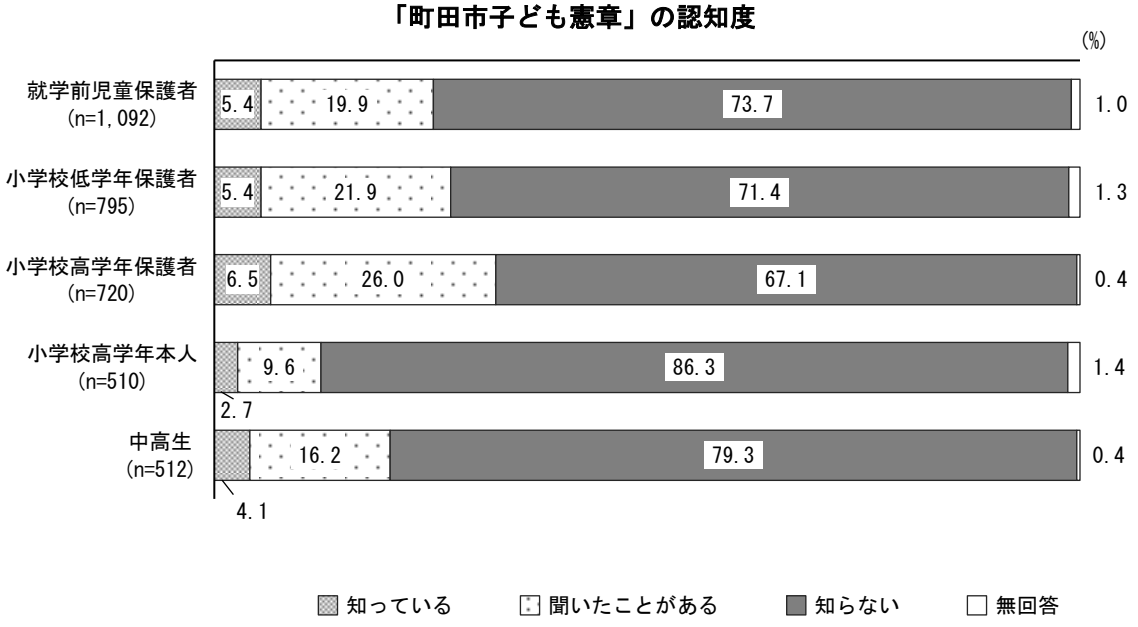
【町田市子どもにやさしいまち条例（まちだコドマチ条例(ルール)）】

- 保護者と比較して、子どもの認知度（「知っている」と「聞いたことがある」の合計）の方が低くなっており、子どもでは「知らない」の割合が８割弱となっています。



【町田市子ども憲章】

- 保護者の認知度（「知っている」と「聞いたことがある」の合計）は３割前後となっていますが、子どもの認知度は、小学校高学年本人で１割台、中高生で２割台と低くなっています。



就学前児童保護者：問３１／小学校低学年保護者：問２５／小学校高学年保護者：問２４

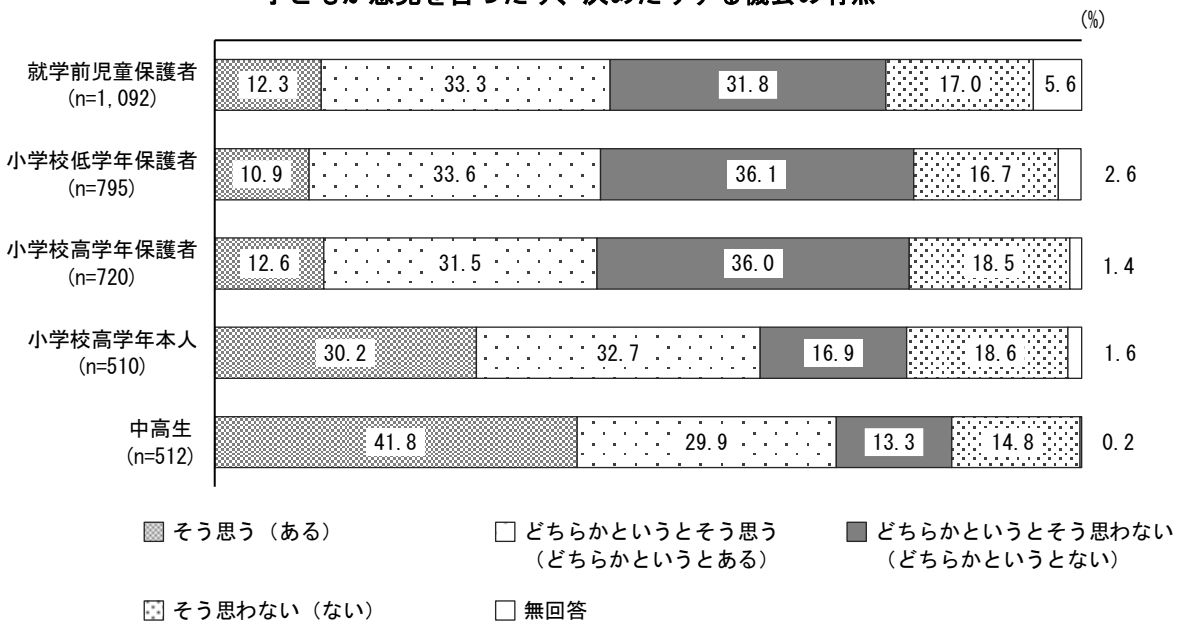
「子どもの権利」の１つに「参加する権利」があります。「参加する権利」には、自分に関わることについて、意見が言えて、意見が大切にされることが含まれます。
町田市では、学校（授業以外）や地域などで子どもが意見を言ったり、決めたりする機会があると思いますか。

小学校高学年本人：問８／中高生：問２１

自分に関わることについて、意見が言えて、意見が大切にされることは、「子どもの権利」の１つです。 あなたには、学校（授業以外）や地域などで自分の意見を言ったり、決めたりする機会がありますか。

● 保護者と比較して、子どもの「そう思う（ある）」の割合が高くなっています。

子どもが意見を言ったり、決めたりする機会の有無

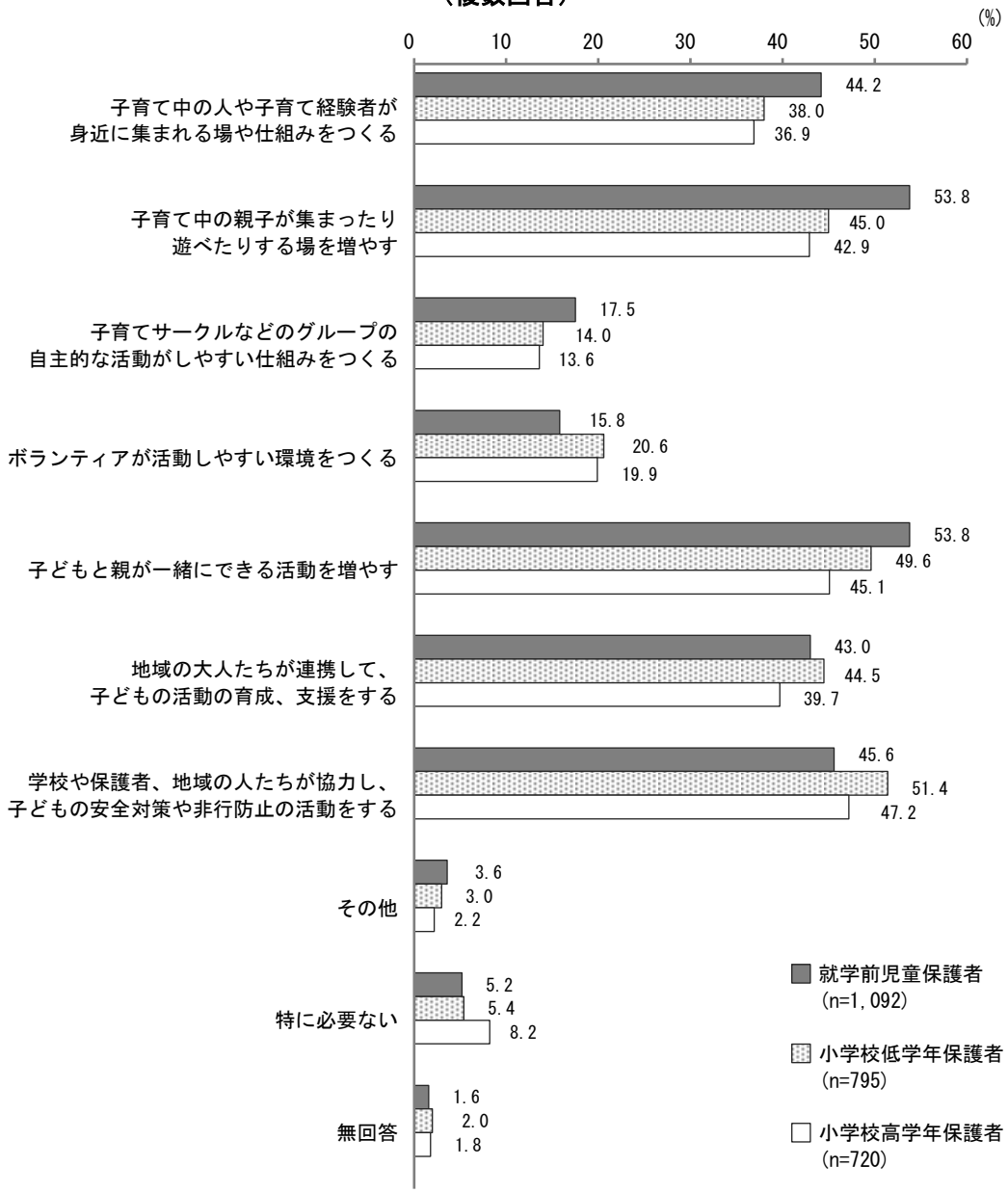


（６）子育て施策全般について

就学前児童保護者：問３２／小学校低学年保護者：問２６／小学校高学年保護者：問２５
安心して子育てをするためには、地域の人とどのような取組をする必要があると思いますか。

- 就学前児童保護者では「子育て中の親子が集まったり遊べたりする場を増やす」、小学校低学年保護者と小学校高学年保護者では「学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全対策や非行防止の活動をする」の割合が特に高くなっています。
- 「子どもと親が一緒にできる活動を増やす」の割合は、どの対象でも高い傾向にあります。

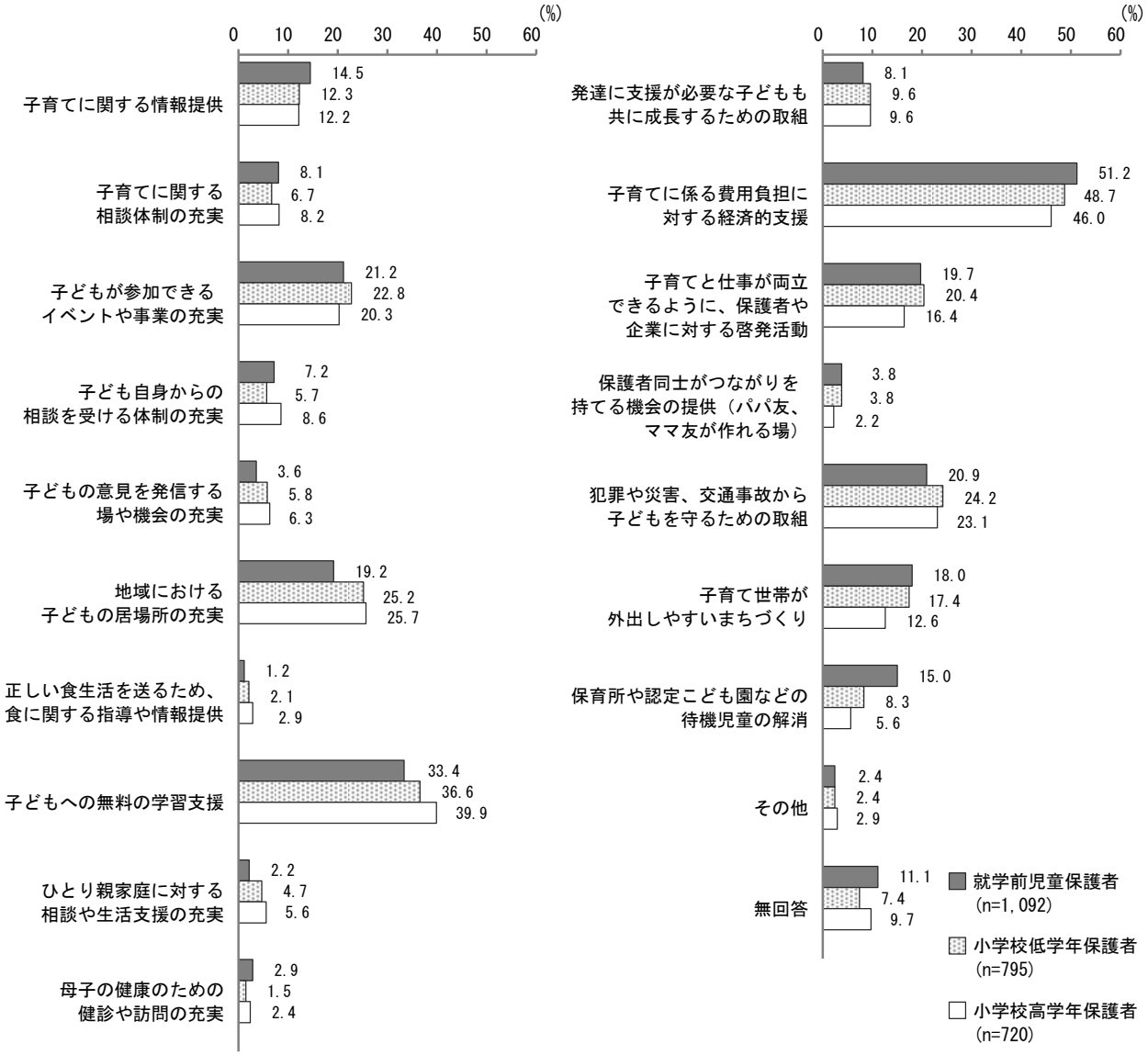
安心して子育てするために必要だと思う取組
（複数回答）



就学前児童保護者：問３３／小学校低学年保護者：問２７／小学校高学年保護者：問２６
市の子育て支援への取組や少子化対策として、期待すること、重要なことは何ですか。

- 全ての対象で「子育てに係る費用負担に対する経済的支援」の割合が最も高く、次いで「子どもへの無料の学習支援」の割合が高くなっています。

市に期待する支援や取組
（複数回答／３つまで）

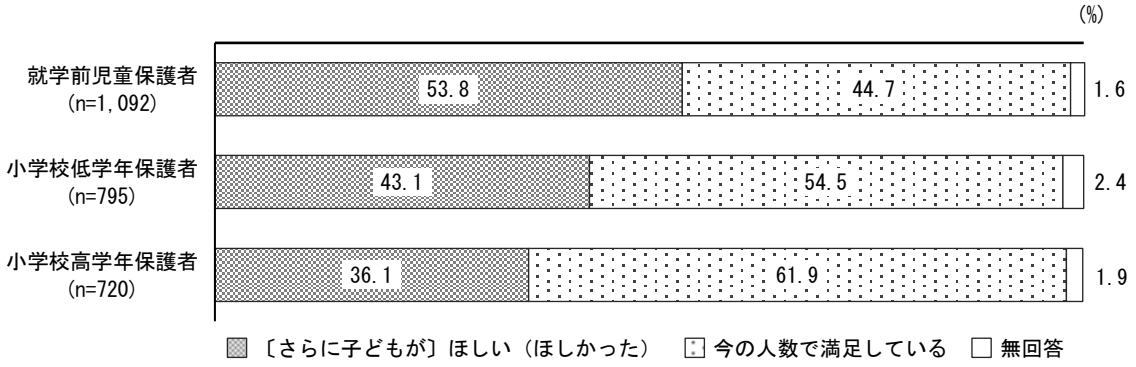


就学前児童保護者：問３４／小学校低学年保護者：問２８／小学校高学年保護者：問２７

市の子育て支援への取組や少子化対策が充実したとして、あなたは、現在よりさらに子どもがほしい（ほしかった）と思いますか。

● 就学前児童保護者では「ほしい（ほしかった)」の割合が半数以上となっていますが、子どもの年齢が上がるにつれて低くなり、小学校高学年保護者では３割台となっています。

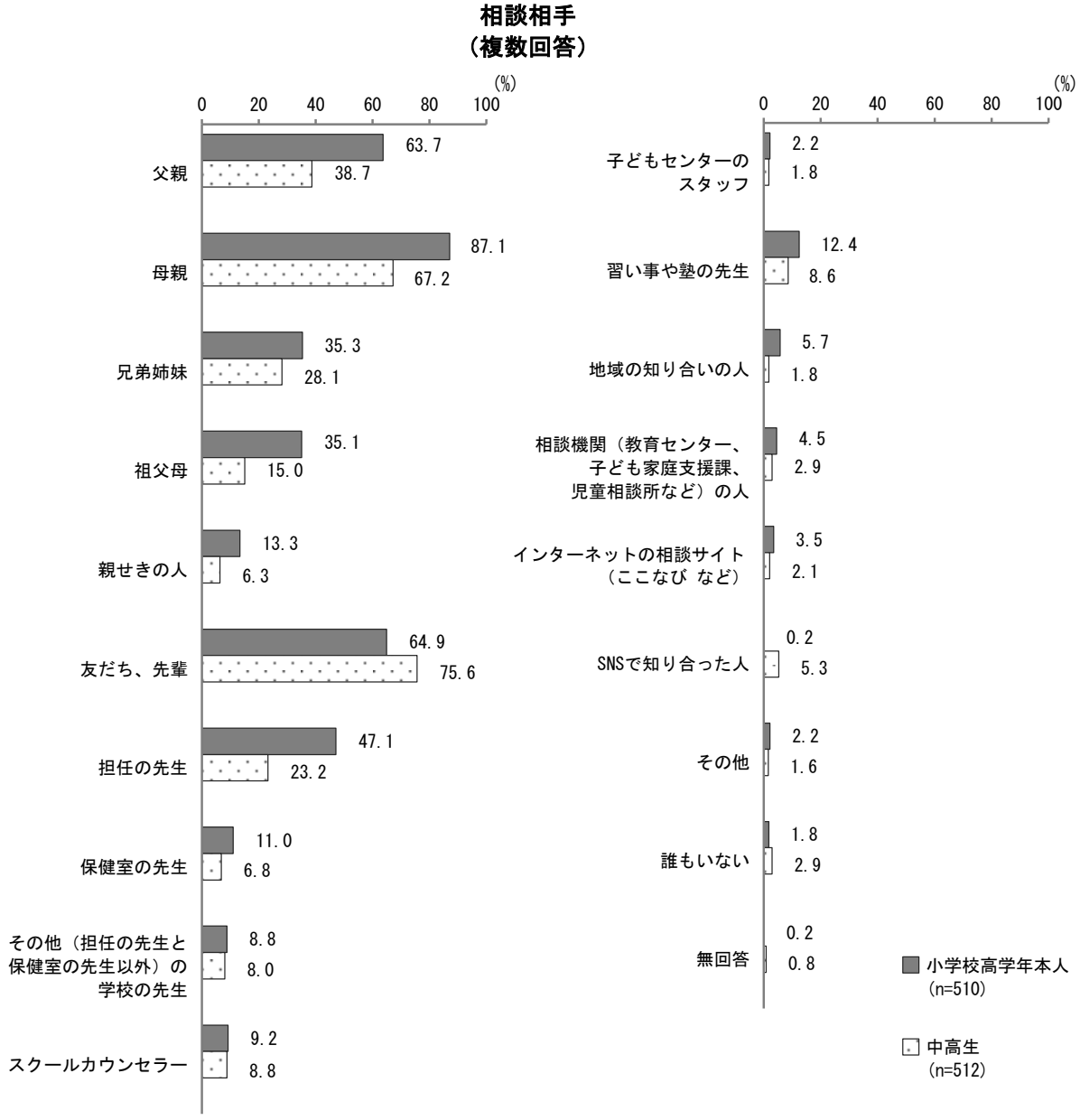
取組が充実した場合の希望



（７）悩み事や相談先について

小学校高学年本人：問１／中高生：問８
何か相談したいことや聞いてほしいことがあったとき、気軽に話せる相手がいますか。

- 小学校高学年本人は中高生と比較して、「父親」「母親」「祖父母」「担任の先生」の割合が特に高くなっており、「友だち、先輩」の割合が１０ポイントほど低くなっています。

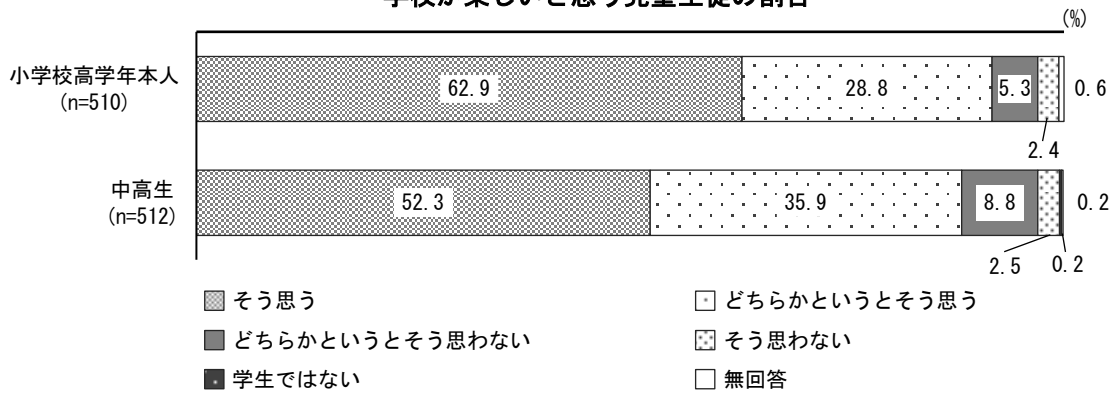


（8）学校生活について

小学校高学年本人：問２／中高生：問１３
学校は楽しいと思いますか。

- 「そう思う」「どちらかというとそう思う」を合計した割合は、どちらの対象も９割程度と高くなっていますが、中高生では「どちらかというとそう思わない」の割合が小学校高学年本人よりも高くなっています。

学校が楽しいと思う児童生徒の割合

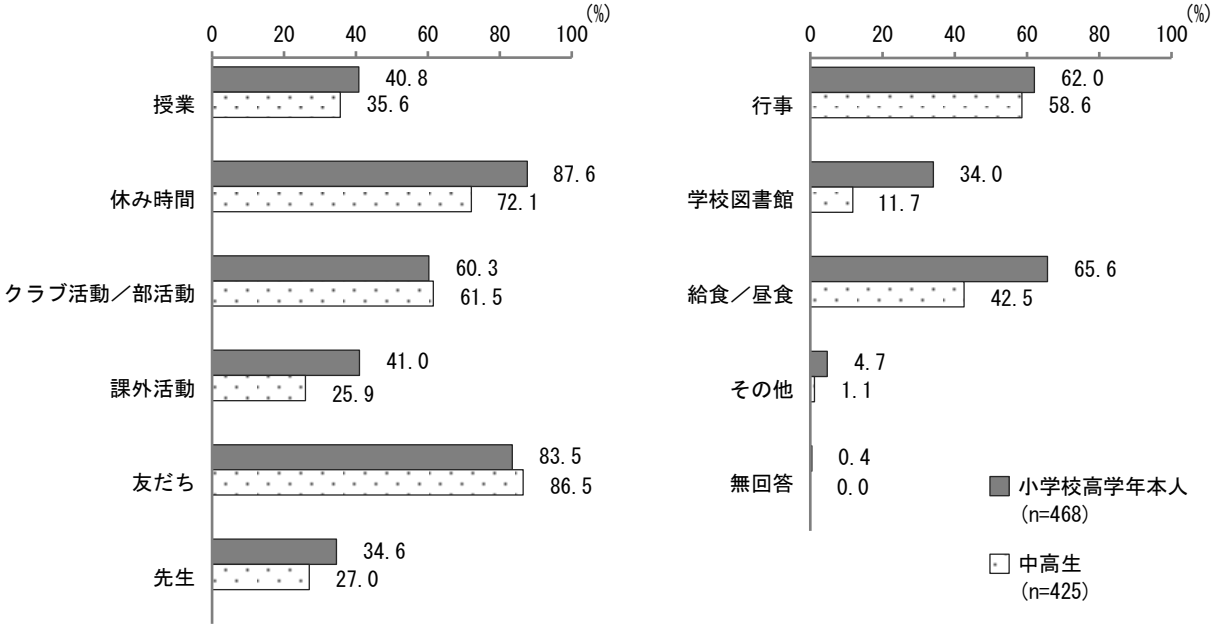


※問２－１／問１３－１は、問２／問１３で「そう思う」または「どちらかというとそう思う」を選択した人のみ回答

小学校高学年本人：問２－１／中高生：問１３－１
どのようなところが楽しいですか。

- 小学校高学年本人では「休み時間」、中高生では「友だち」の割合が最も高くなっており、「給食／昼食」の割合は、小学校高学年本人で特に高くなっています。

学校の楽しいところ
（複数回答）

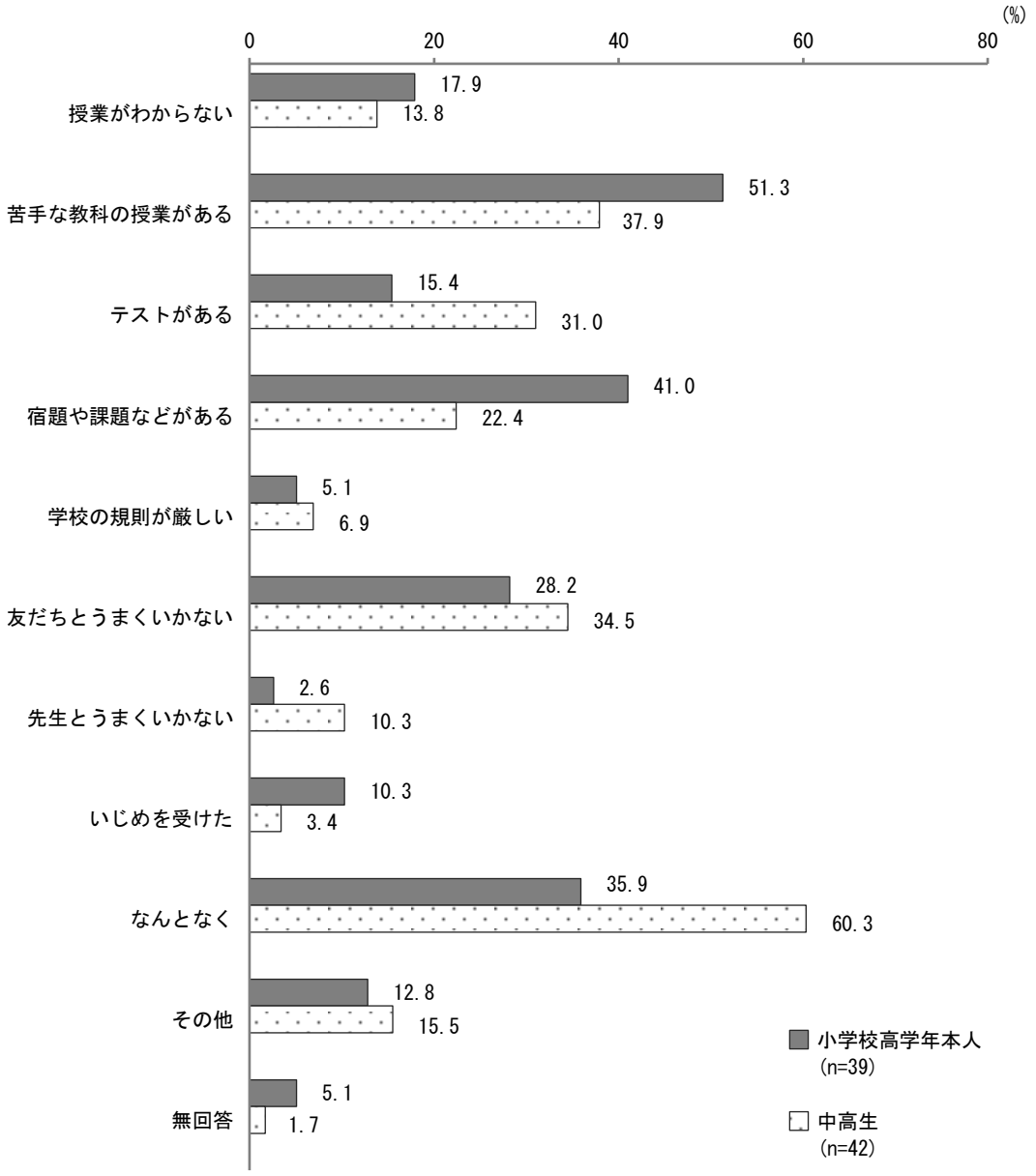


※問２－２／問１３－２は、問２／問１３で「どちらかというとそう思わない」または「そう思わない」を選択した人のみ回答

小学校高学年本人：問２－２／中高生：問１３－２
そう思わない理由は何ですか。

- 小学校高学年本人では「苦手な教科の授業がある」と「宿題や課題がある」の割合が、中高生を大きく上回っています。
- 中高生では「なんとなく」の割合が、小学校高学年本人よりも２５ポイントほど高くなっています。

学校が楽しくない理由
（複数回答）

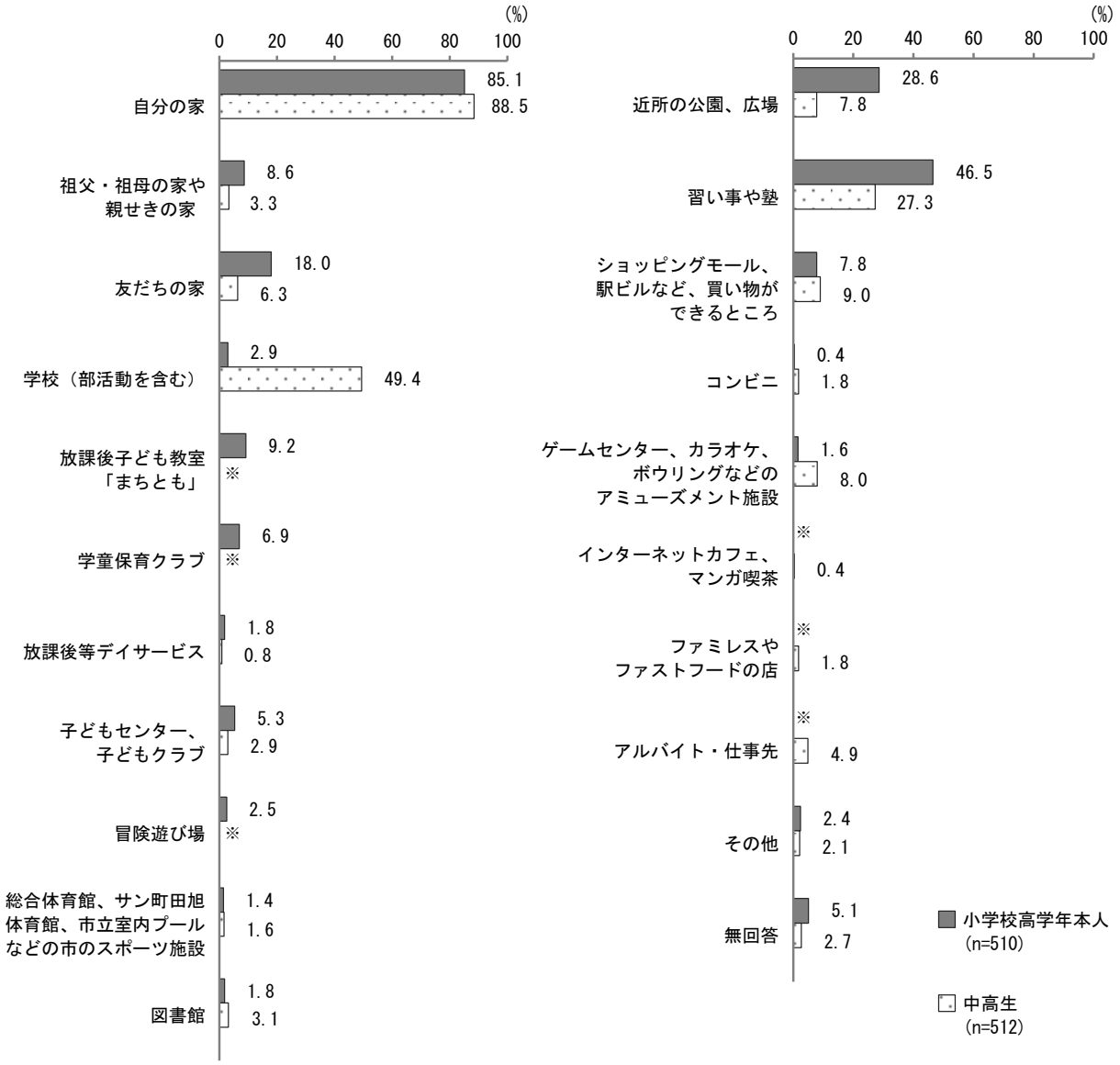


（９）放課後や休みの日の過ごし方について

小学校高学年本人：問３／中高生：問１４
　放課後（夕方）や休日はどこにいることが多いですか。

- どちらの対象でも「自分の家」が９割弱と最も多くなっています。
- 小学校高学年本人では「近所の公園、広場」「習い事や塾」の割合が、中高生よりも２０ポイントほど高くなっています。
- 中高生では「学校（部活動を含む）」の割合が、小学校高学年本人よりも４０ポイント以上高くなっています。

放課後（夕方）や休日によくいる場所
（複数回答／３つまで）

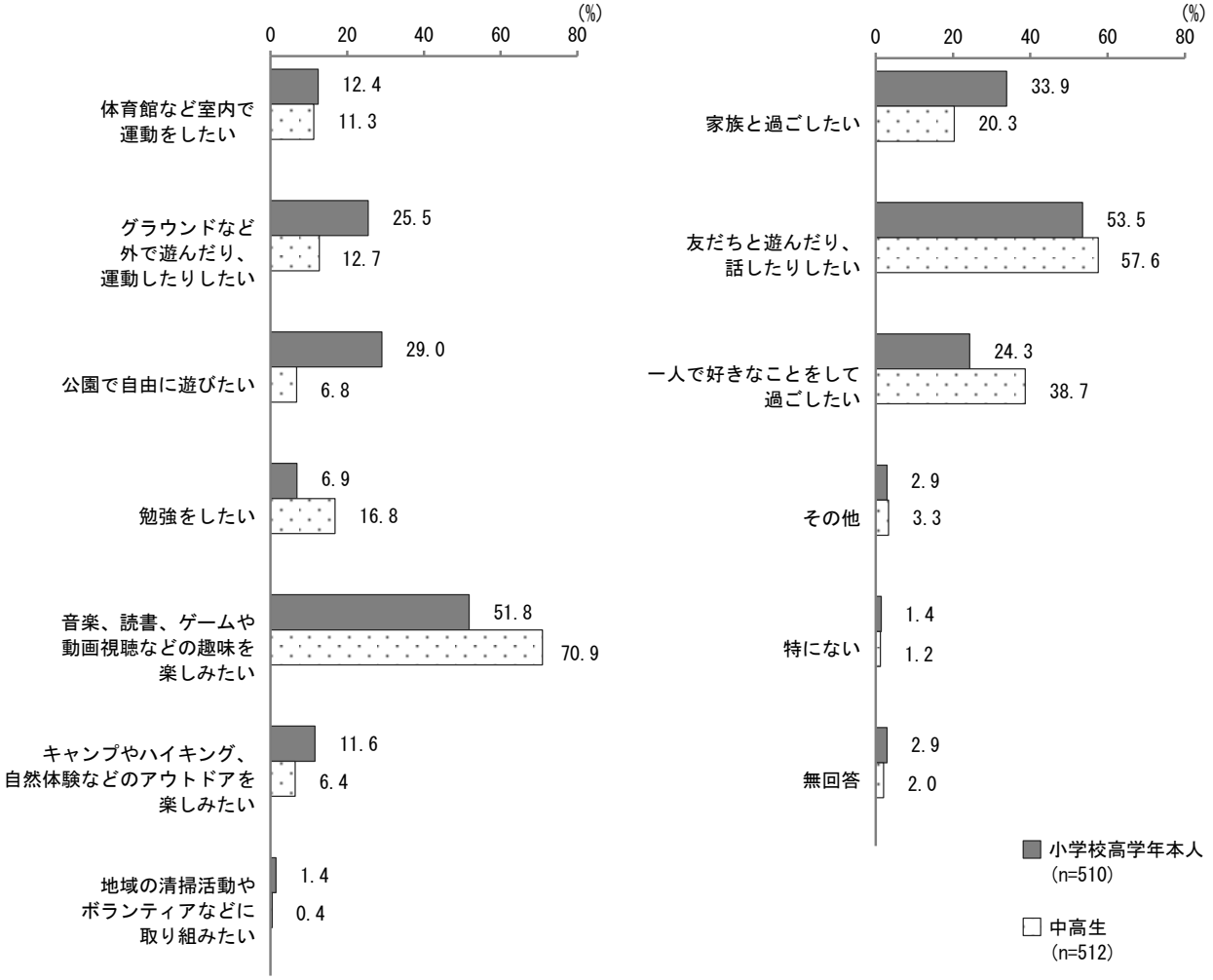


※「放課後子ども教室「まちとも」」「学童保育クラブ」「冒険遊び場」は、小学校高学年本人のみの項目。
「インターネットカフェ、マンガ喫茶」「ファミレスやファストフードの店」「アルバイト・仕事先」は、中高生のみの項目。

小学校高学年本人：問４／中高生：問１５
放課後（夕方）や休日はどのように過ごしたいですか。

- 小学校高学年本人では「友だちと遊んだり、話したりしたい」、中高生では「音楽、読書、ゲームや動画視聴などの趣味を楽しみたい」の割合が最も高くなっています。
- 「音楽、読書、ゲームや動画視聴などの趣味を楽しみたい」の割合は、中高生の方が小学校高学年本人よりも２０ポイントほど高くなっています。

放課後（夕方）や休日に希望する過ごし方
（複数回答／３つまで）

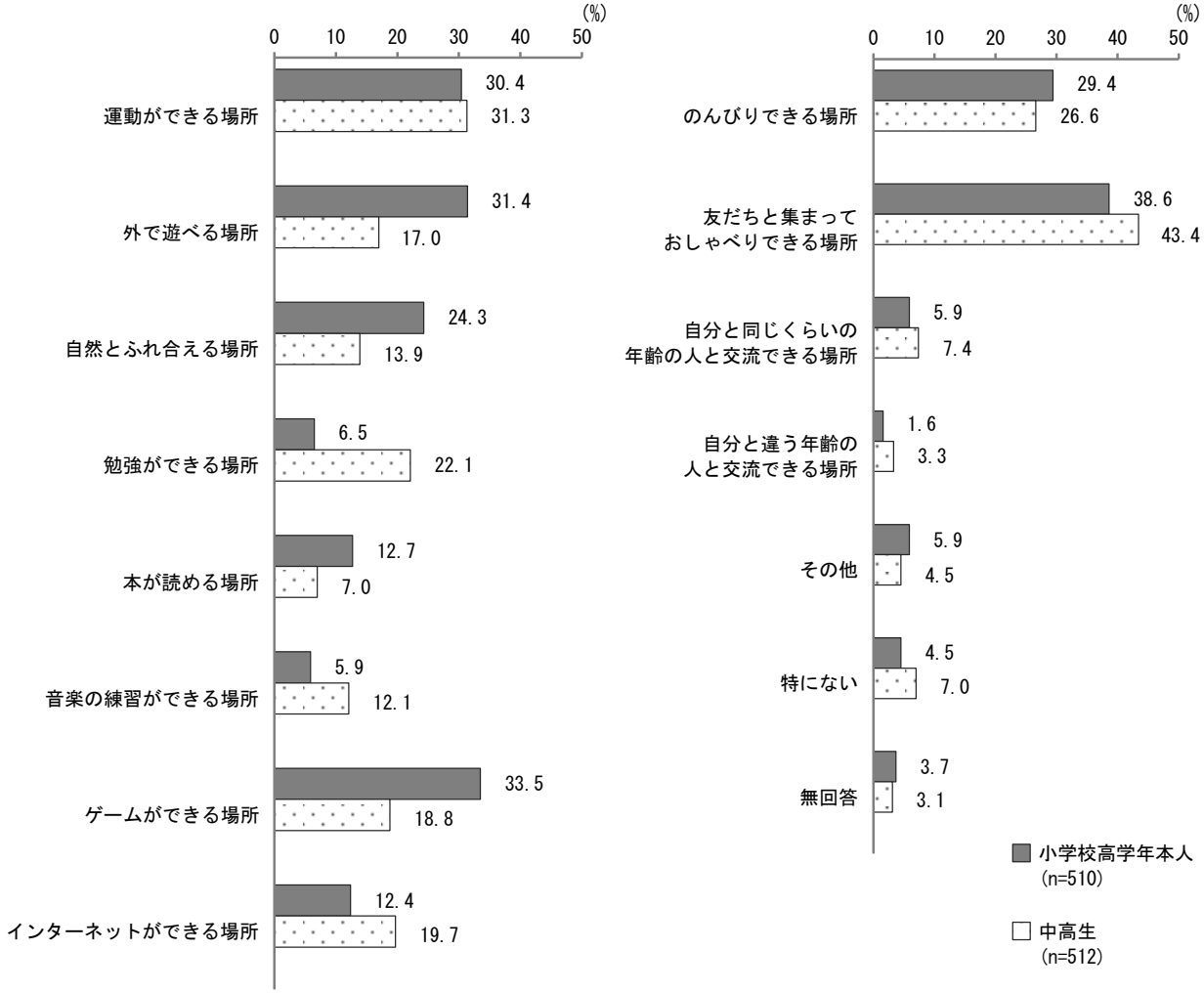


小学校高学年本人：問５／中高生：問１６

放課後（夕方）や休日に過ごす場所として、地域でこんな場所があったら良いと思うものはありますか。

- 「友だちと集まっておしゃべりできる場所」「運動ができる場所」は、どちらの対象でも３～４割前後と高い傾向にあります。
- 小学校高学年本人では「外で遊べる場所」「ゲームができる場所」も３割以上と高くなっています。
- 中高生では、小学校高学年本人と比べて「勉強ができる場所」の割合が特に高くなっています。

放課後（夕方）や休日に過ごす場所としてあったら良いと思う場所
（複数回答／３つまで）

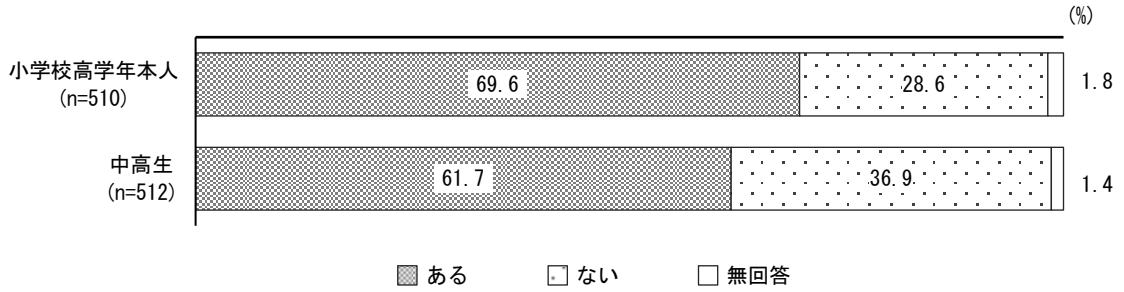


（１０）町田市について

小学校高学年本人：問６・中高生：問１７
家と学校以外で、放課後（夕方）や休日に過ごしたいと思える場所が町田市にありますか。

- どちらの対象でも「ある」の割合が６割台となっていますが、小学校高学年本人の割合の方が、中高生よりも高くなっています。

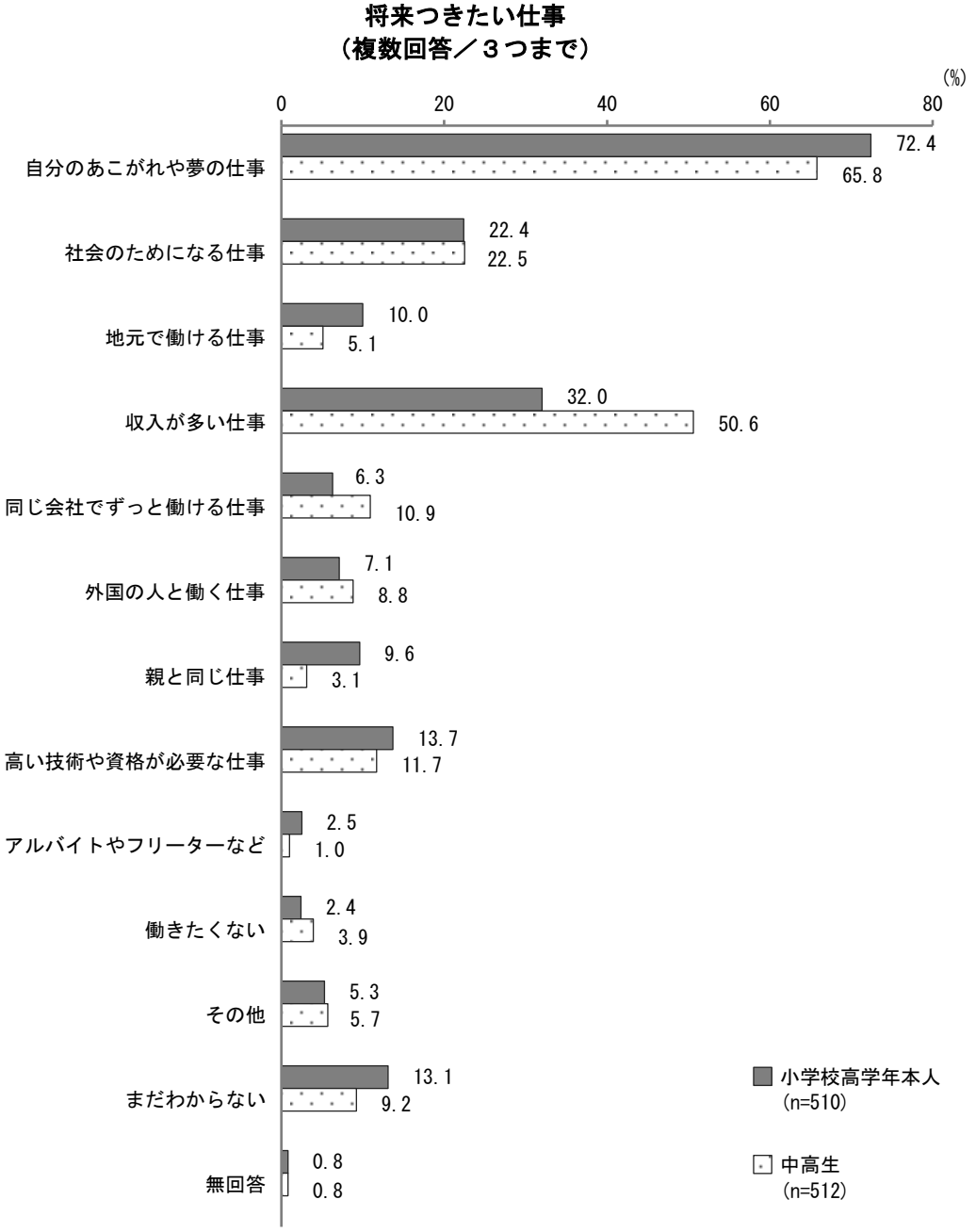
過ごしたいと思う場所の有無



（１１）自身の考えについて

小学校高学年本人：問９／中高生：問２４
　将来はどのような仕事につきたいですか。

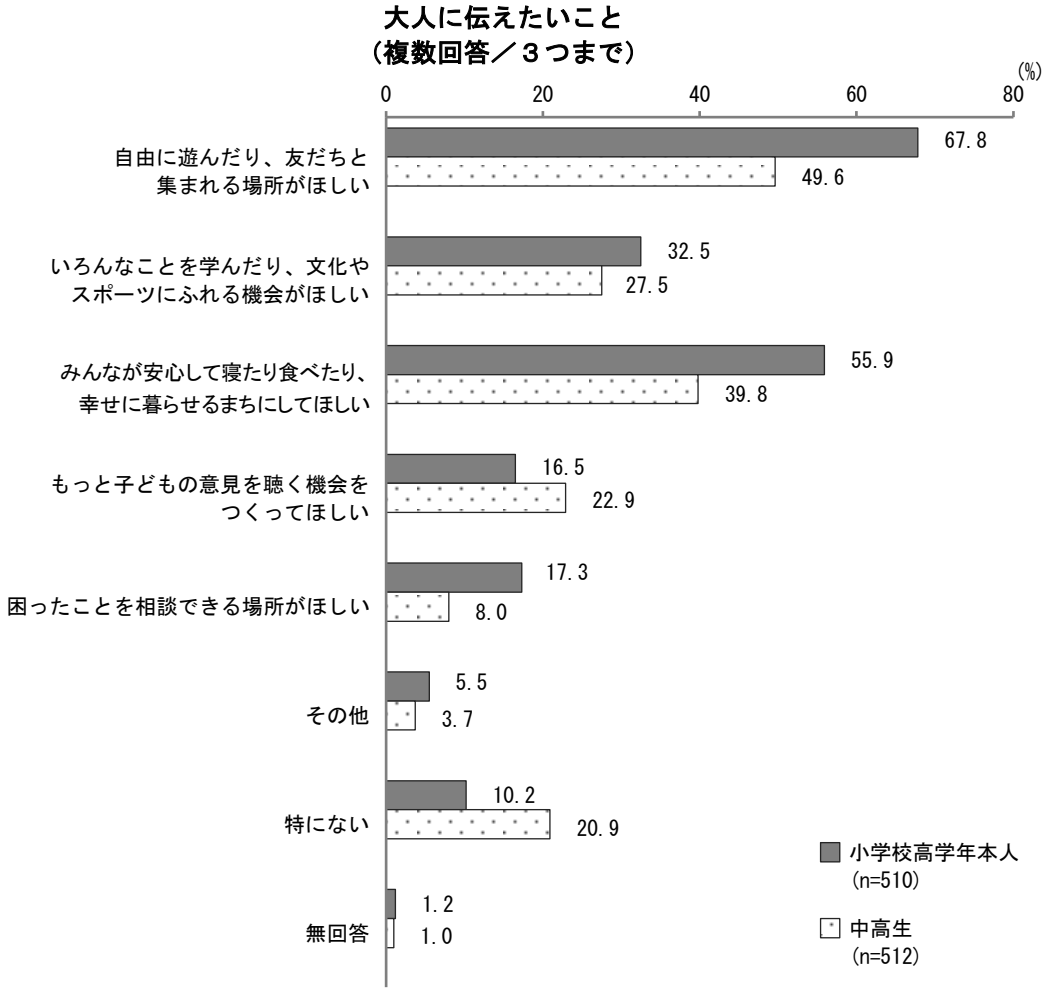
- どちらの対象でも「自分のあこがれや夢の仕事」の割合が最も高く、次いで「収入が多い仕事」の割合が高くなっています。
- 「収入が多い仕事」の割合は、中高生の方が小学校高学年本人よりも特に高くなっています。



小学校高学年本人：問１０／中高生：問２５

あなたは、町田市の未来のまちづくりのイベントに参加するとしたら、大人に何を伝えたいですか。

- どちらの対象でも「自由に遊んだり、友だちと集まれる場所がほしい」の割合が最も高く、次いで「みんなが安心して寝たり食べたり、幸せに暮らせるまちにしてほしい」の割合が高くなっています。
- 「もっと子どもの意見を聴く機会をつくってほしい」は、他の項目と比べて、中高生の割合の方が小学校高学年本人よりも高くなっています。



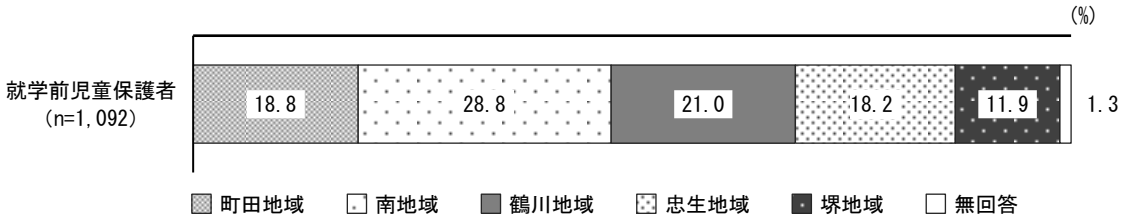
２　【調査①】就学前児童保護者

（１）家族の状況について

問１　お住まいの郵便番号を数字でご記入ください。

- 「南地域」が２８．８％と最も多く、次いで「鶴川地域」が２１．０％、「町田地域」が１８．８％となっています。

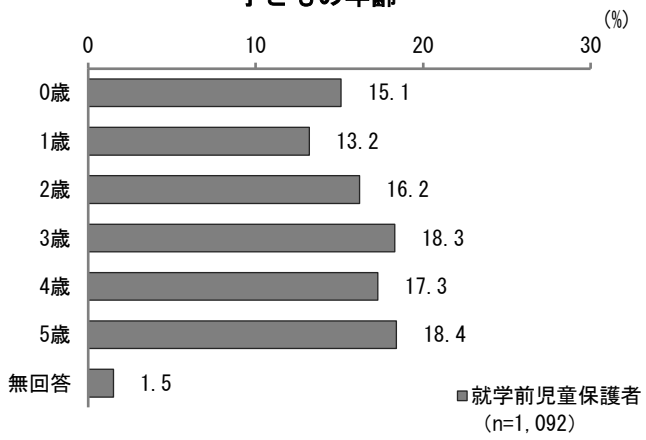
回答者の居住地域



問２　あて名のお子さんの生年月を数字でご記入ください。

- 「５歳」が１８．４％と最も多く、次いで「３歳」が１８．３％、「４歳」が１７．３％となっています。

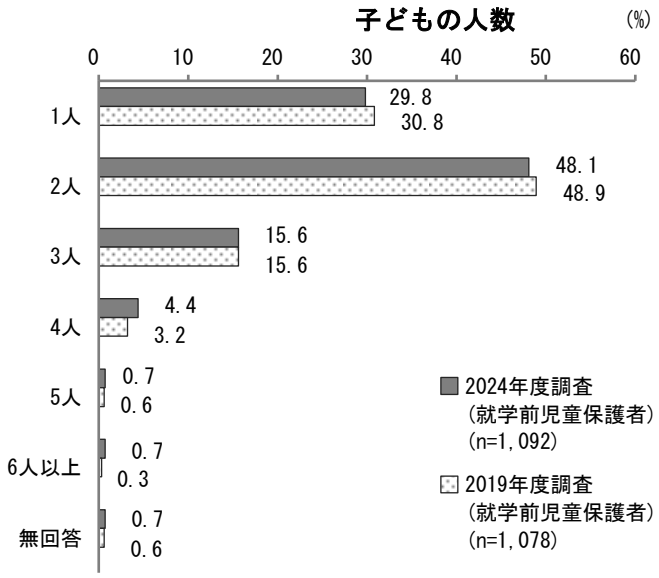
子どもの年齢



問３　あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。
あて名のお子さんを含めた人数を数字でご記入ください。
２人以上の場合、末のお子さんの生年月もご記入ください。

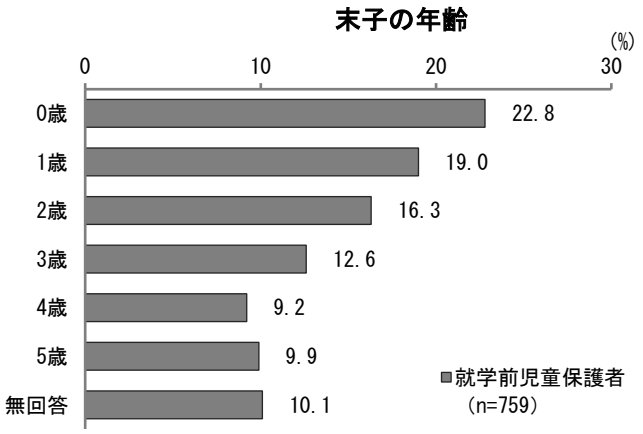
【子どもの人数】

- 「２人」が４８．１％と最も多く、次いで「１人」が２９．８％、「３人」が１５．６％となっています。
- ２０１９年度調査と比較して、大きな変化は見られません。



【末子の年齢】

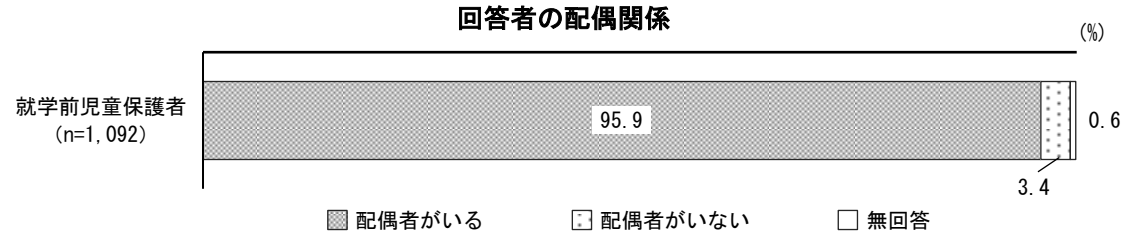
- 「０歳」が２２．８％と最も多く、次いで「１歳」が１９．０％、「２歳」が１６．３％となっています。



問４　この調査票にご回答いただく方はどなたですか。
あて名のお子さんからみた関係で、お答えください。【○は１つだけ】

※問５は、問４で「父親」または「母親」を選択した人のみ回答

問５　この調査票にご回答いただいている方の配偶関係について、教えてください。
【○は１つだけ】

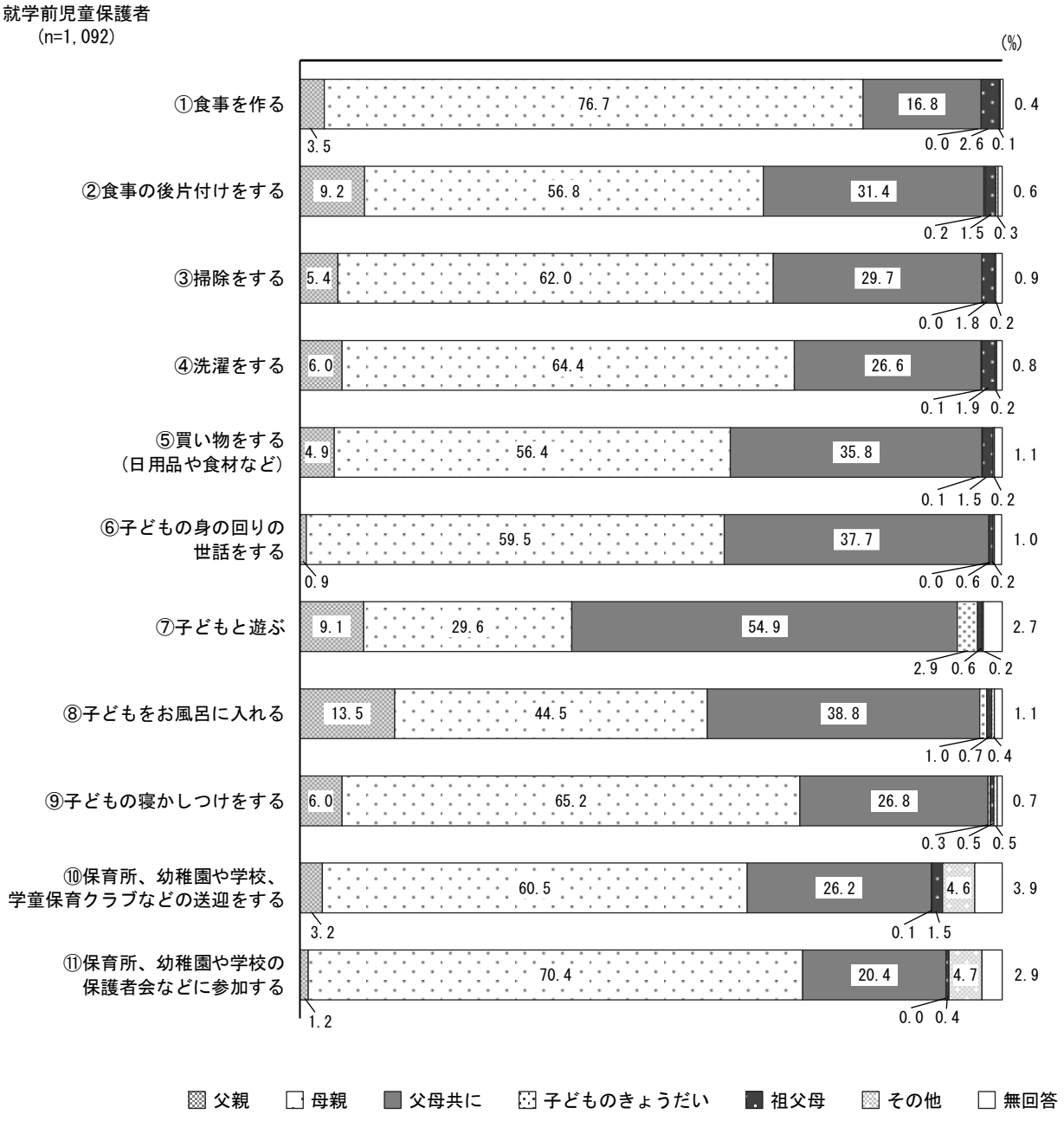


（２）子どもの育ちをめぐる環境について

問６　家事や子育てを、主に行っている人は、あて名のお子さんからみてどなたですか。
①～⑪について、それぞれ１つに○をつけてください。

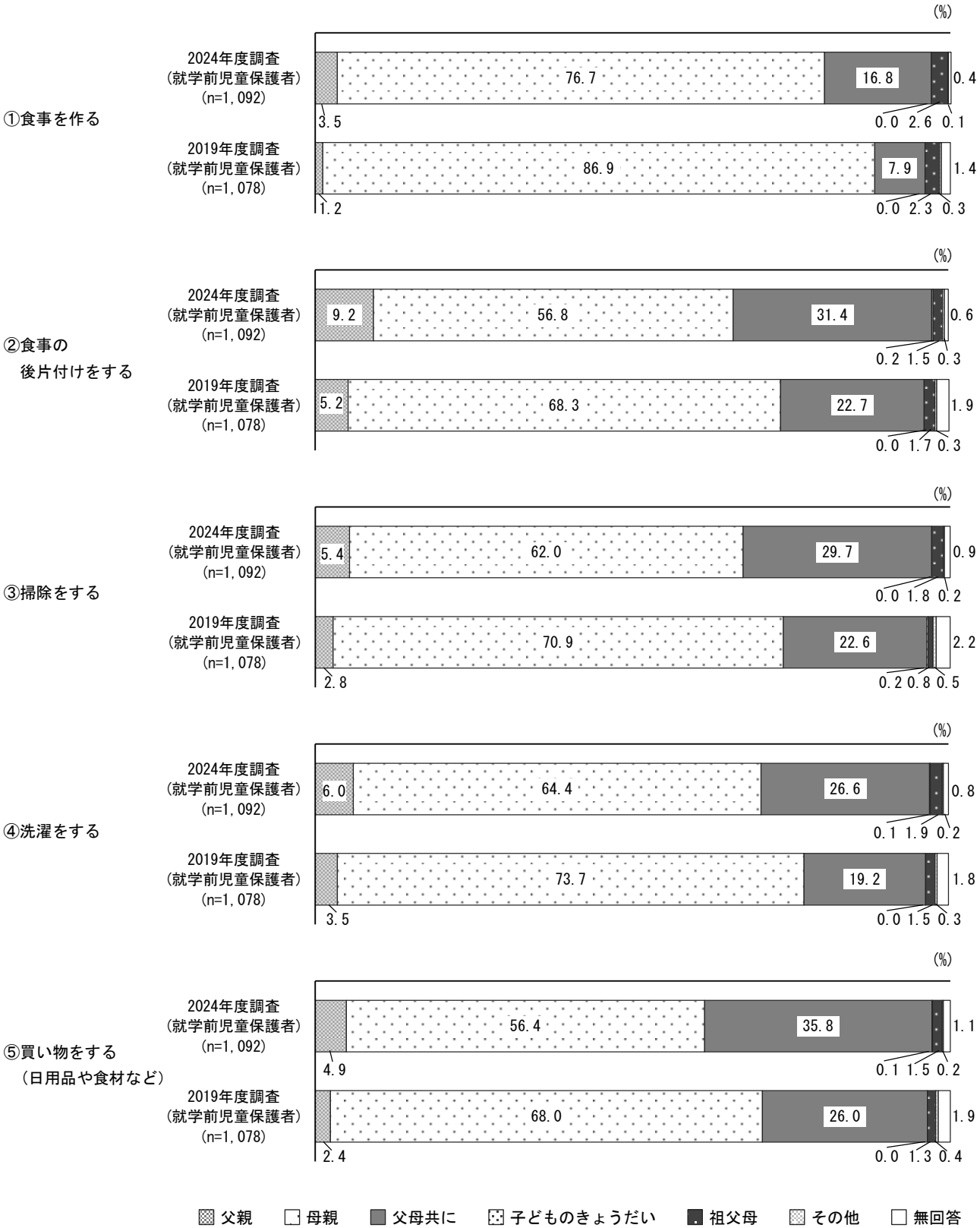
- 『⑦子どもと遊ぶ』を除くすべての項目で、「母親」の割合が最も高くなっています。
- 『⑧子どもをお風呂に入れる』では「父親」の割合が１３．５％と、他の項目と比べて高くなっています。

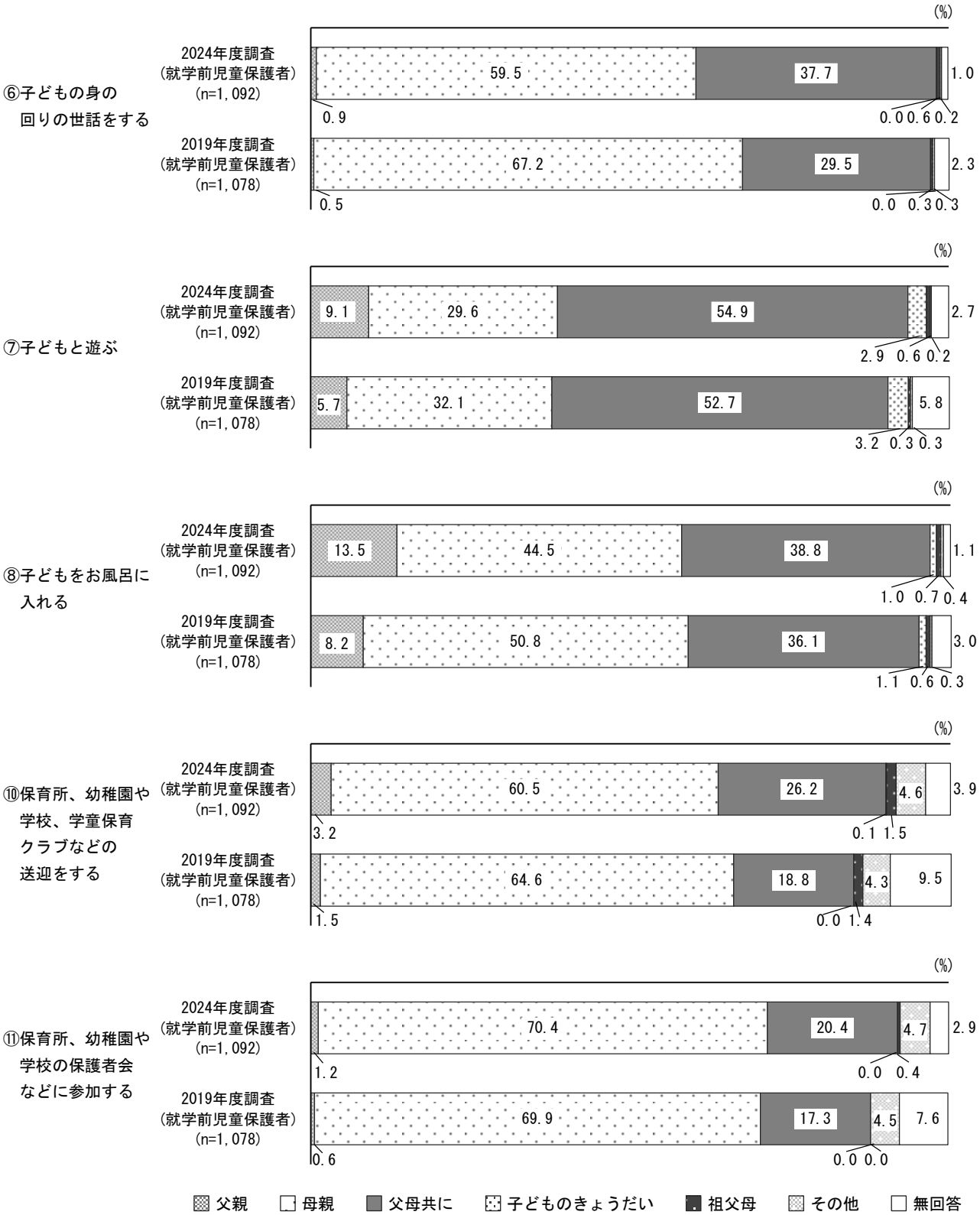
家事や子育てを主に行っている人



○ ２０１９年度調査との比較

● すべての項目で、「父母共に」の割合が増加しています。

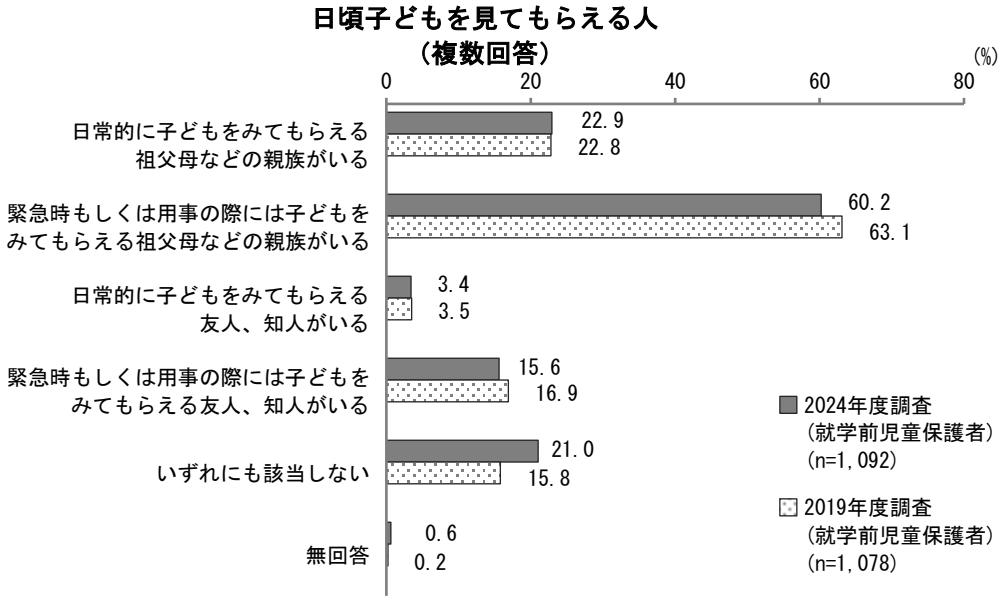




※「⑨子どもの寝かしつけをする」は２０２４年度調査からの新規項目のため、比較なし。

問７　日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族、知人はいますか。
【あてはまるものすべてに○】

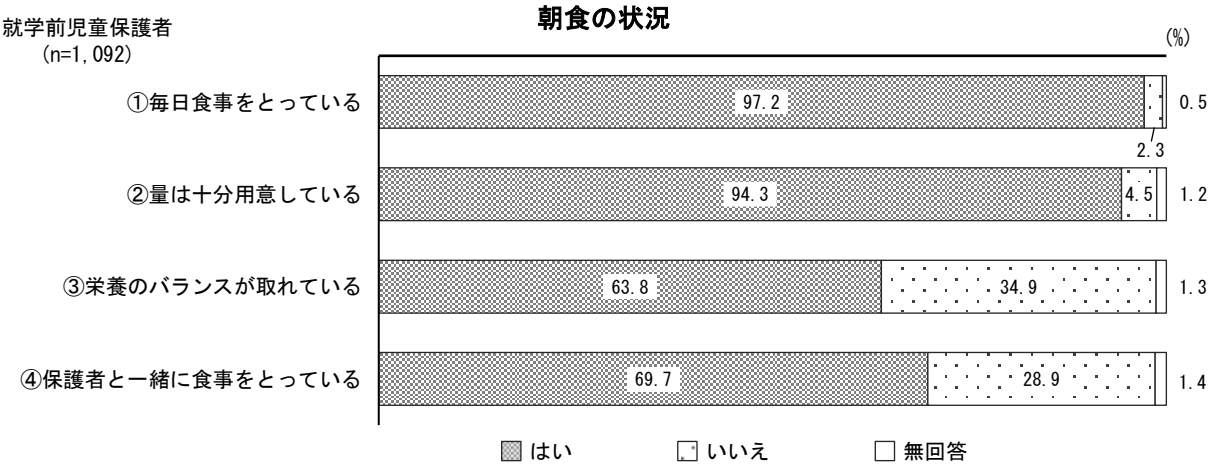
- 「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる祖父母などの親族がいる」が６０．２％と最も多く、次いで「日常的に子どもをみてもらえる祖父母などの親族がいる」が２２．９％、「いずれにも該当しない」が２１．０％となっています。
- ２０１９年度調査と比較して、「いずれにも該当しない」が大きく増加しています。



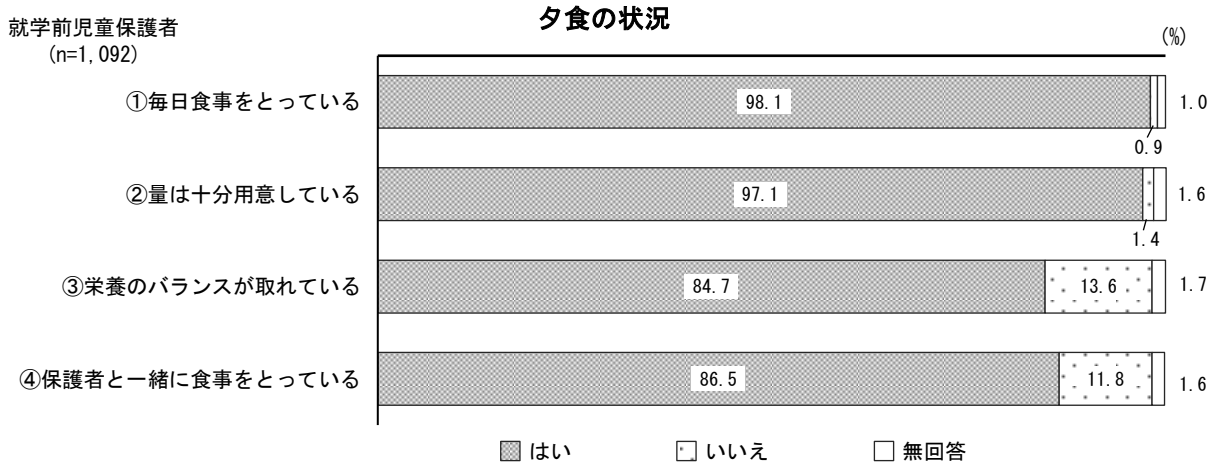
問８　あて名のお子さんの食事について、お答えください。
①～④ごとに、Ａ・Ｂのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

【A 朝食】

- 全ての項目で「はい」の割合が高くなっていますが、『③栄養のバランスが取れている』と『④保護者と一緒に食事をとっている』では「いいえ」の割合が３割程度となっています。

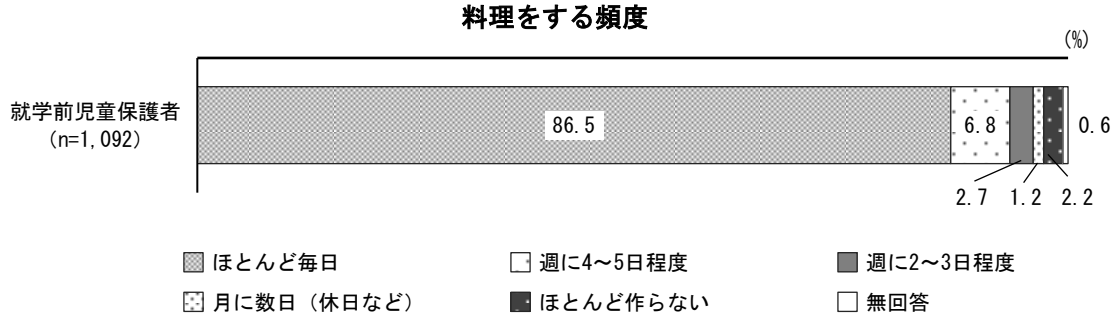


【B 夕食】



問９　あなたのご家庭では、あて名のお子さんに食事を作る（料理する）ことがどのくらいありますか。【○は１つだけ】
※食事を作る（料理する）には、目玉焼きなどの簡単な料理を含みます。

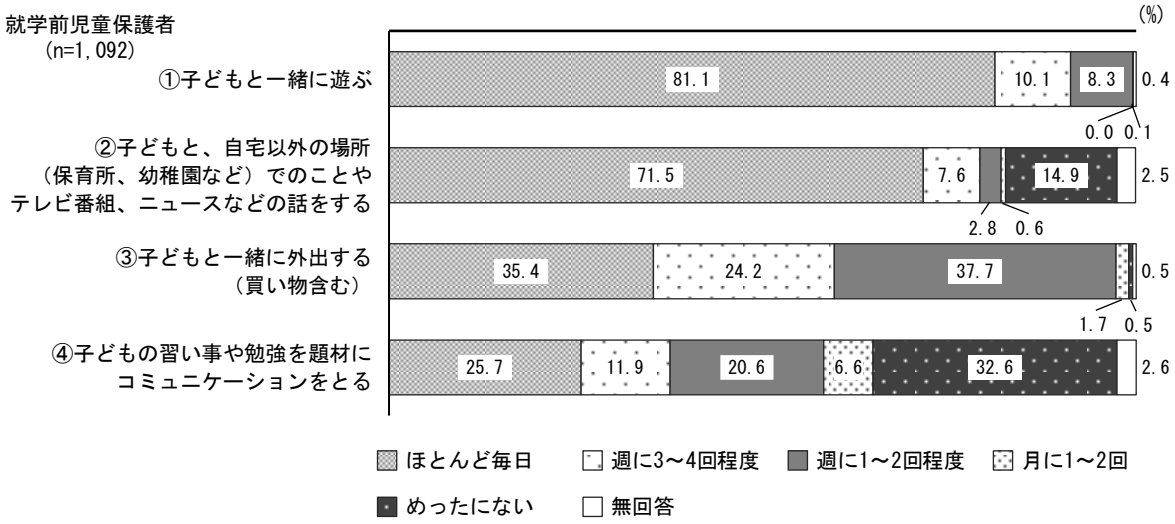
料理をする頻度



問１０　あなたを含めた、ご家族とあて名のお子さんとの関係について、お伺いします。
あなたのご家庭では、あて名のお子さんと次のようなことをすることがありますか。
①～④について、それぞれ１つに○をつけてください。

- 『①子どもと一緒に遊ぶ』と『②子どもと、自宅以外の場所（保育所、幼稚園など）でのことやテレビ番組、ニュースなどの話をする』では「ほとんど毎日」の割合が高くなっています。
- 『③子どもと一緒に外出する（買い物含む)』と『④子どもの習い事や勉強を題材にコミュニケーションをとる』では、他の項目に比べて特定の頻度に偏りが見られません。

子どもとの関係

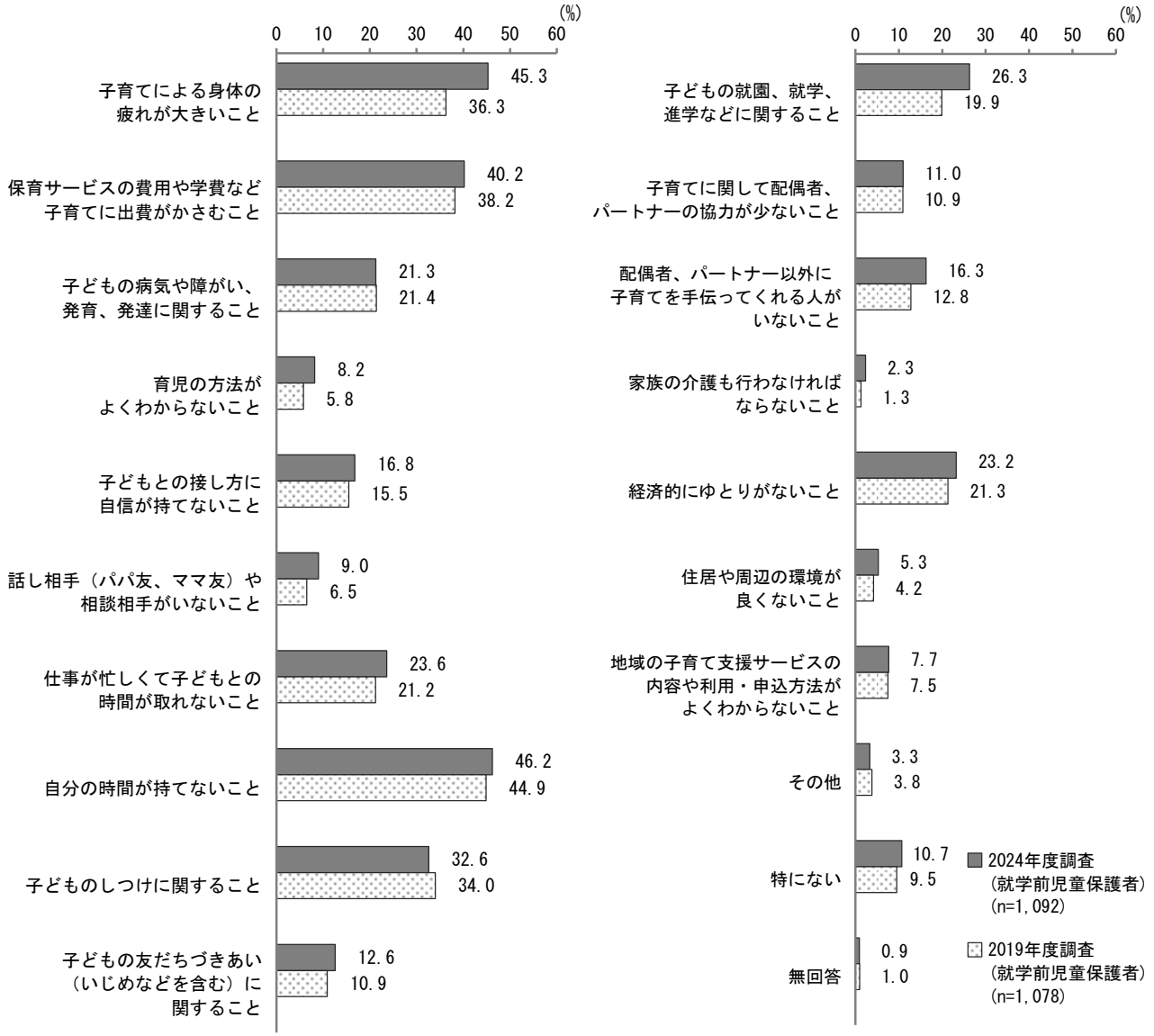


（３）子育ての悩みについて

問１１　子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。
【あてはまるものすべてに○】

- 「自分の時間が持てないこと」が４６．２％と最も多く、次いで「子育てによる身体の疲れが大きいこと」が４５．３％、「保育サービスの費用や学費など子育てに出費がかさむこと」が４０．２％となっています。
- ２０１９年度調査と比較して、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」や、「子どもの就園、就学、進学などに関すること」が大きく増加しています。

子育ての悩み
（複数回答）



【母親の就労状況別】

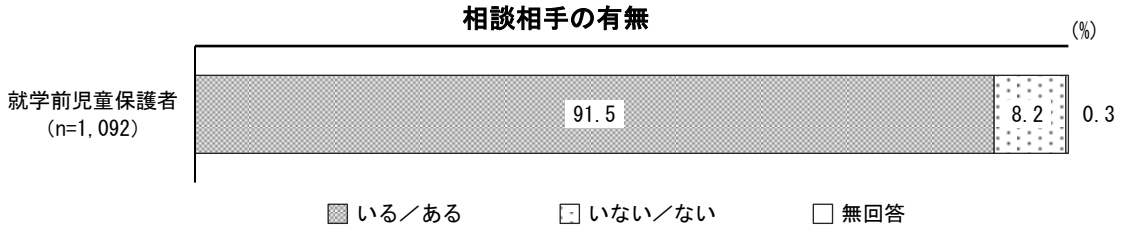
- 母親の就労状況別でみると、『フルタイム』『パートタイム、アルバイトなど』では、どちらも「自分の時間が持てないこと」の割合が最も高くなっています。次いで、『フルタイム』では「仕事が忙しくて子どもとの時間が取れないこと」、『パートタイム、アルバイトなど』では「保育サービスの費用や学費など子育てに出費がかさむこと」の割合が高くなっています。
- 『以前は就労していたが、現在は就労していない』では、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」の割合が最も高くなっています。

子育ての悩み【母親の就労状況別】

(%)

区分	回答者数(件)	子育てによる身体の疲れが大きいこと	保育サービスの費用や学費など子育てに出費がかさむこと	子どもの病気や障がい、発育、発達に関すること	育児の方法がよくわからないこと	子どもとの接し方に自信が持てないこと	話し相手（パパ友、ママ友）や相談相手がいないこと	仕事が忙しくて子どもとの時間が取れないこと	自分の時間が持てないこと	子どものしつけに関すること	子どもの友だちづきあい（いじめなどを含む）に関すること	子どもの就園、就学、進学などに関すること	子育てに関して配偶者、パートナーの協力が少ないこと	配偶者、パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	家族の介護も行わなければならないこと	経済的にゆとりがないこと	住居や周辺の環境が良くないこと	地域の子育て支援サービスの内容や利用・申込方法がよくわからないこと	その他	特にない	無回答
フルタイム	332	41.9	41.0	18.7	7.2	15.7	8.4	51.5	55.7	30.4	14.2	25.0	13.6	14.8	1.2	21.4	4.5	6.9	3.0	9.9	0.3
フルタイムで、現在産休・育休・介護休暇中	126	54.8	41.3	23.8	8.7	12.7	11.1	10.3	43.7	35.7	4.8	35.7	7.1	23.0	2.4	14.3	4.8	9.5	2.4	7.1	1.6
パートタイム、アルバイトなど	287	42.9	44.9	19.5	7.3	19.2	8.0	20.2	46.3	32.8	13.9	23.3	11.1	16.0	1.7	28.9	5.6	7.3	3.5	10.8	1.0
パートタイム、アルバイトなどで、現在産休・育休・介護休暇中	26	46.2	42.3	23.1	7.7	11.5	－	7.7	34.6	26.9	11.5	30.8	－	15.4	3.8	23.1	－	7.7	－	11.5	－
以前は就労していたが、現在は就労していない	287	50.2	36.6	24.7	10.8	18.8	11.1	2.8	40.4	35.2	13.2	26.8	10.8	16.7	3.8	23.3	6.6	8.4	3.8	10.8	1.0
これまでに就労したことがない	17	17.6	17.6	23.5	－	5.9	－	11.8	11.8	11.8	11.8	29.4	11.8	5.9	－	17.6	5.9	－	－	47.1	5.9

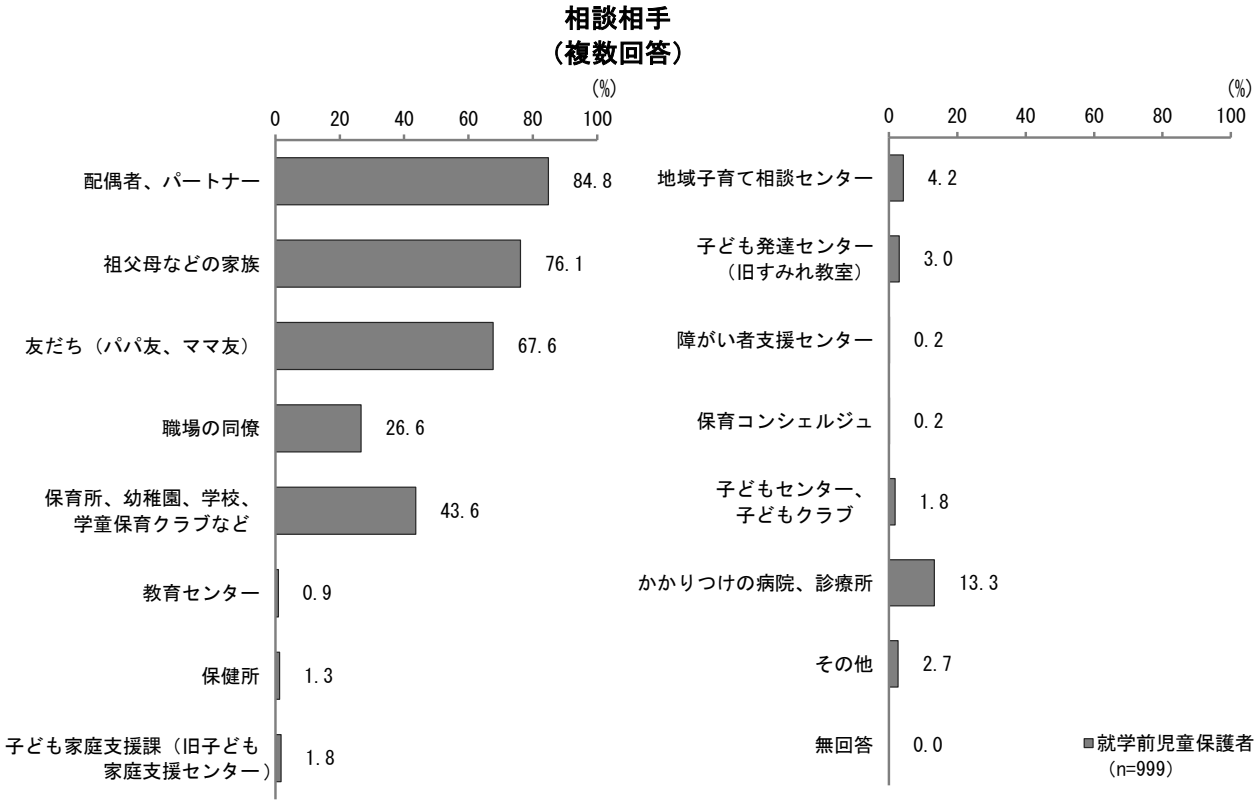
問１２　あなたは、子育てについて気軽に相談できる人がいますか（または場所はありますか)。
【○は１つだけ】



※問１２－１は、問１２で「いる／ある」を選択した人のみ回答

問１２－１　あて名のお子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。
【あてはまるものすべてに○】

- 「配偶者、パートナー」が８４．８％と最も多く、次いで「祖父母などの家族」が７６．１％、「友だち（パパ友、ママ友)」が６７．６％となっています。

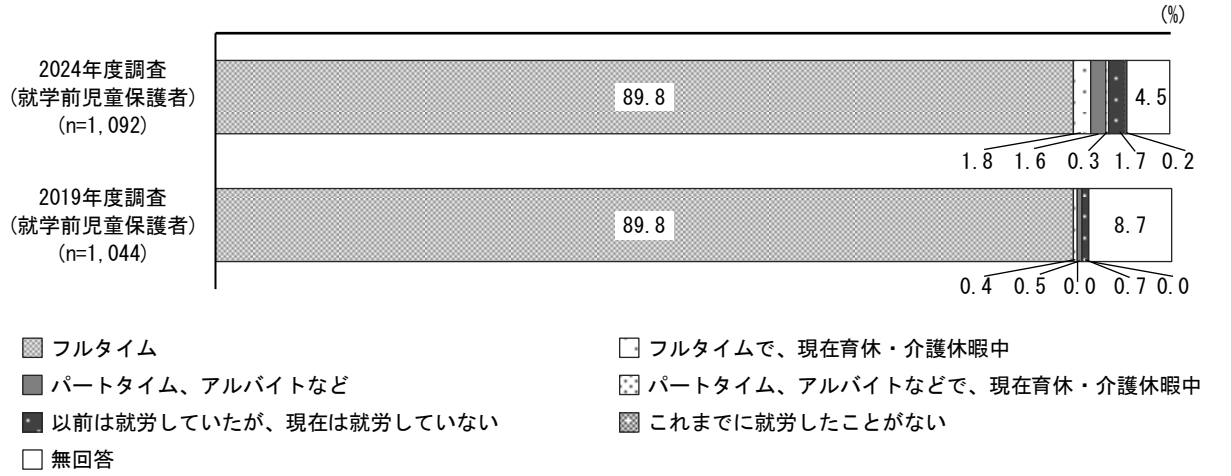


（４）保護者の就労状況について

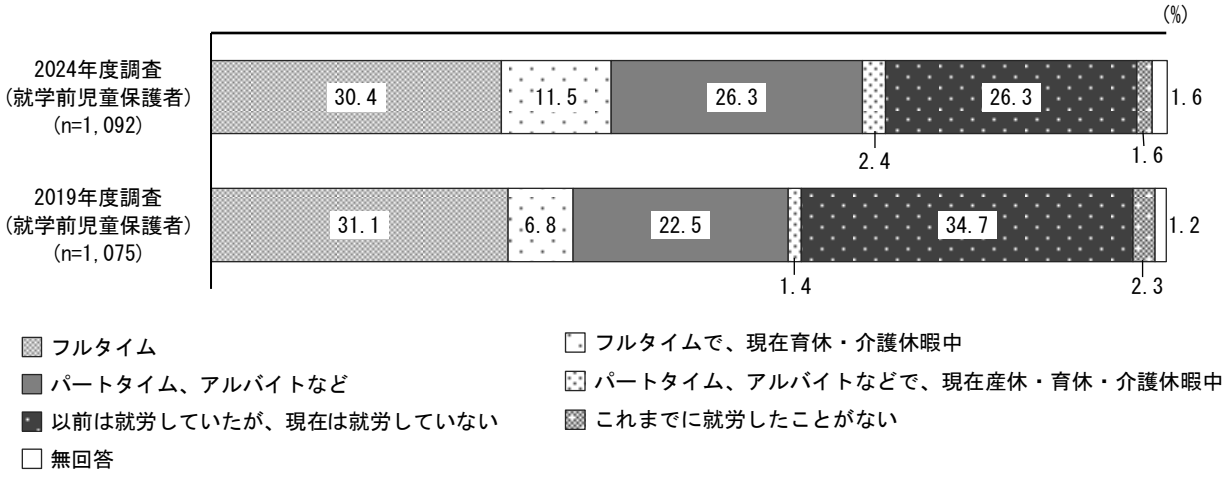
問１３　現在の就労状況をお答えください。【それぞれ○は１つだけ】

- 母親は、「フルタイム」が３０．４％と最も多く、次いで「パートタイム、アルバイトなど」と「以前は就労していたが、現在は就労していない」が２６．３％となっています。
- ２０１９年度調査と比較すると、父親の就労状況では、育休・介護休暇中の人の割合が増加しています。母親の就労状況では、「フルタイムで、現在産休・育休・介護休暇中」や「パートタイム、アルバイトなど」の割合が大きく増加し、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が最も減少しています。

保護者の就労状況【父親（就学前児童）】



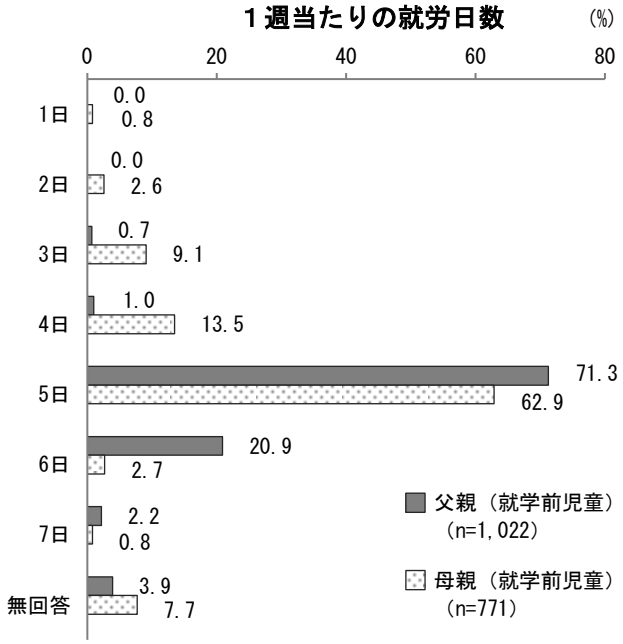
保護者の就労状況【母親（就学前児童）】



※【１週当たりの就労日数】から【帰宅時間】は、問１３で「フルタイム」から「パートタイム、アルバイトなどで、現在育休・介護休暇中」のいずれかを選択した人のみ回答

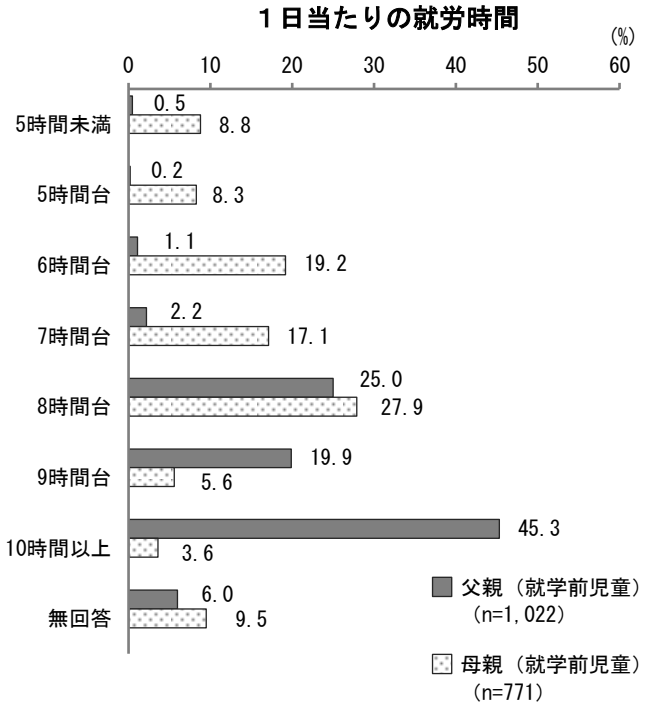
【１週当たりの就労日数】

- 父親、母親ともに「５日」が６～７割以上と最も多く、次いで父親では「６日」、母親では「４日」が多くなっています。



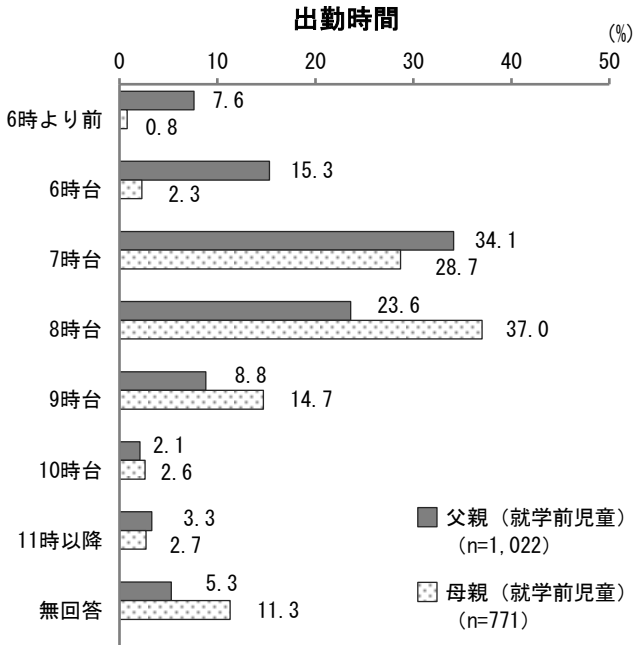
【１日当たりの就労時間】

- 父親では「１０時間以上」が４５．３％と最も多くなっています。
- 父親、母親ともに「８時間台」が２割台となっています。



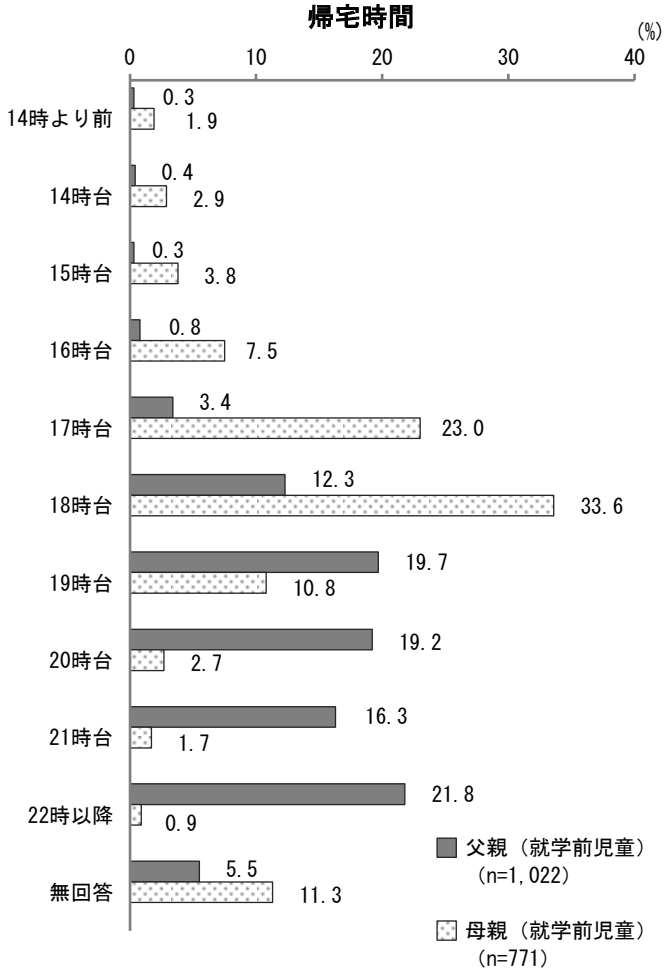
【出勤時間】

- 父親、母親ともに「７時台」「８時台」の割合が高くなっています。
- 父親では「６時台」、母親では「９時台」が１割台となっています。



【帰宅時間】

- 父親では「１９時台」以降が２割前後となっており、母親では「１７時台」「１８時台」が多い傾向にあります。

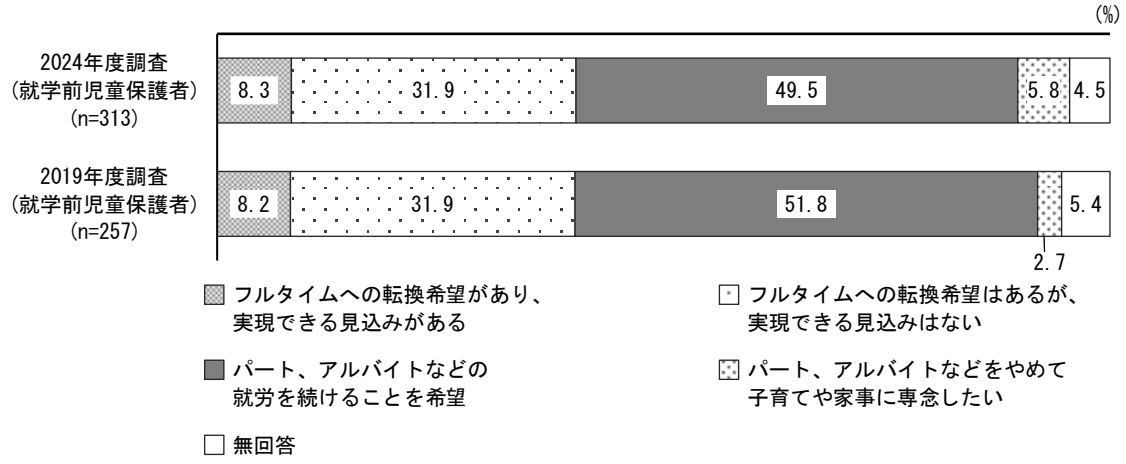


※問１３－１は、問１３で「パートタイム、アルバイトなど」または「パートタイム、アルバイトなどで、現在育休・介護休暇中」のいずれかを選択した人のみ回答

問１３－１　フルタイムへの転換希望はありますか。【それぞれ○は１つだけ】

- 母親は、「パート、アルバイトなどの就労を続けることを希望」が４９．５％と最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が３１．９％、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が８．３％となっています。
- ２０１９年度調査と比較して、「パート、アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい」の割合が増加しています。

フルタイムへの転換希望【母親（就学前児童）】

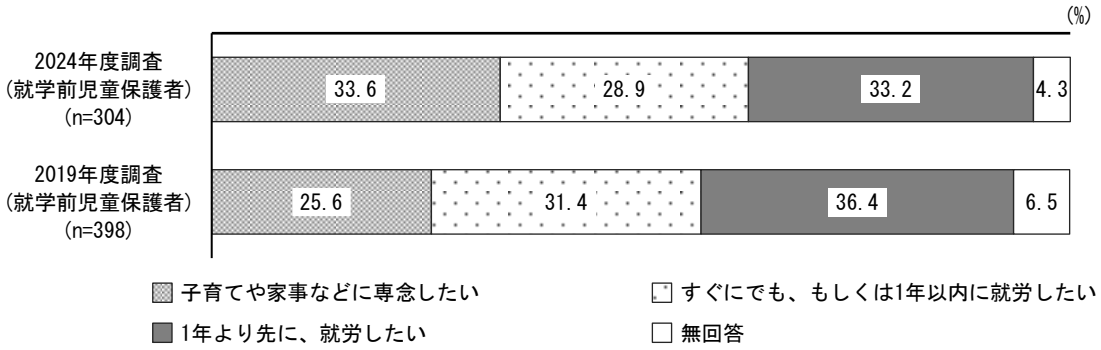


※問１３－２は、問１３で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまでに就労したことがない」のいずれかを選択した人のみ回答

問１３－２　就労希望はありますか。【それぞれ○は１つだけ】
「１年より先に、就労したい」を選んだ場合、希望する時期を数字で
ご記入ください。

- 母親は、「子育てや家事などに専念したい」が３３．６％と最も多く、次いで「１年より先に、就労したい」が３３．２％、「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」が２８．９％となっています。
- ２０１９年度調査と比較して、「子育てや家事などに専念したい」の割合が増加し、「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」「１年より先に、就労したい」の割合は減少しています。

無業からの就労希望【母親（就学前児童）】

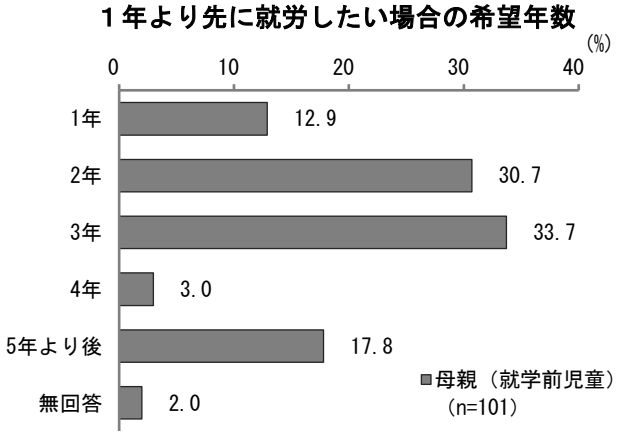


※【１年より先に就労したい場合の希望年数】は、問１３－２で「１年より先に、就労したい」を選択した人のみ回答

【１年より先に就労したい場合の希望年数】

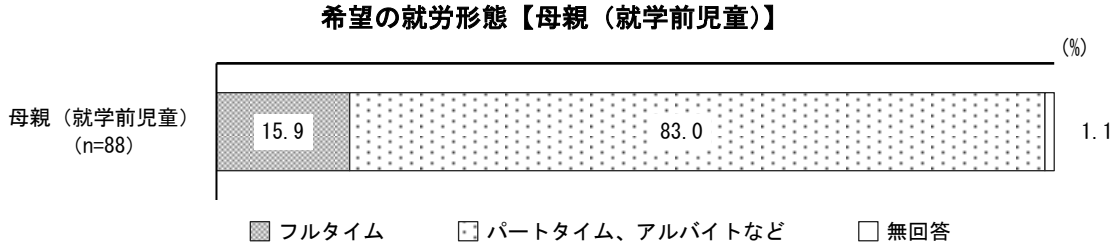
- 「３年」が３３．７％と最も多く、次いで「２年」が３０．７％、「５年より後」が１７．８％となっています。

１年より先に就労したい場合の希望年数



※【希望の就労形態】は、問１３－２で「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」を選択した人のみ回答

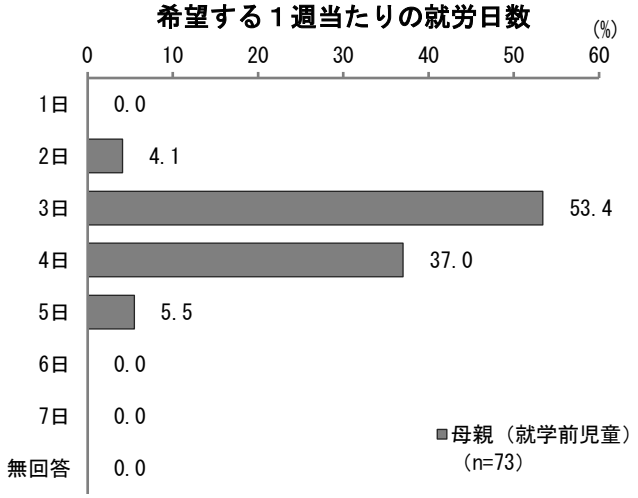
【希望の就労形態】



※【希望する１週当たりの就労日数】と【希望する１日当たりの就労時間】は、【希望の就労形態】で「パートタイム、アルバイトなど」を選択した人のみ回答

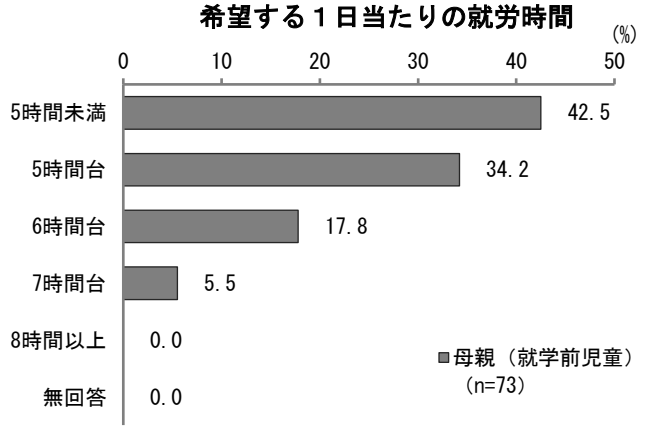
【希望する１週当たりの就労日数】

- 「３日」が５３．４％と最も多く、次いで「４日」が３７．０％、「５日」が５．５％となっています。



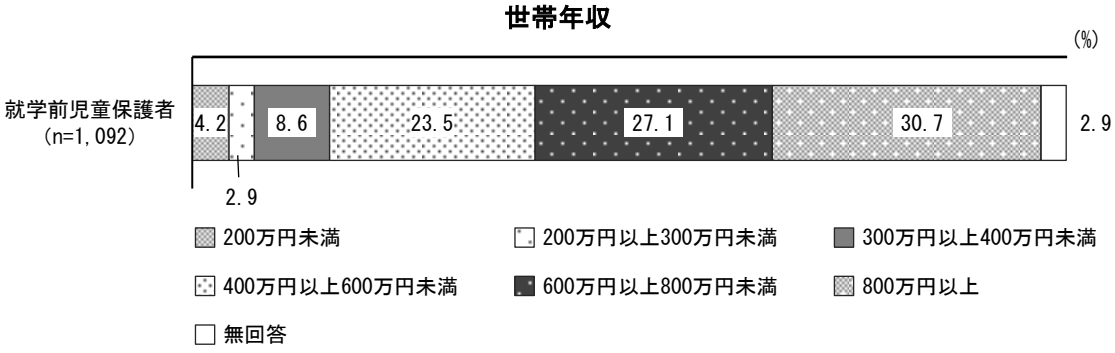
【希望する１日当たりの就労時間】

- 「５時間未満」が４２．５％と最も多く、次いで「５時間台」が３４．２％、「６時間台」が１７．８％となっています。



問１４　２０２３年の世帯合計の年間総収入額（手当、養育費、生活保護費などを含む）をお答えください。【○は１つだけ】

- 「８００万円以上」が３０．７％と最も多く、次いで「６００万円以上８００万円未満」が２７．１％、「４００万円以上６００万円未満」が２３．５％となっています。

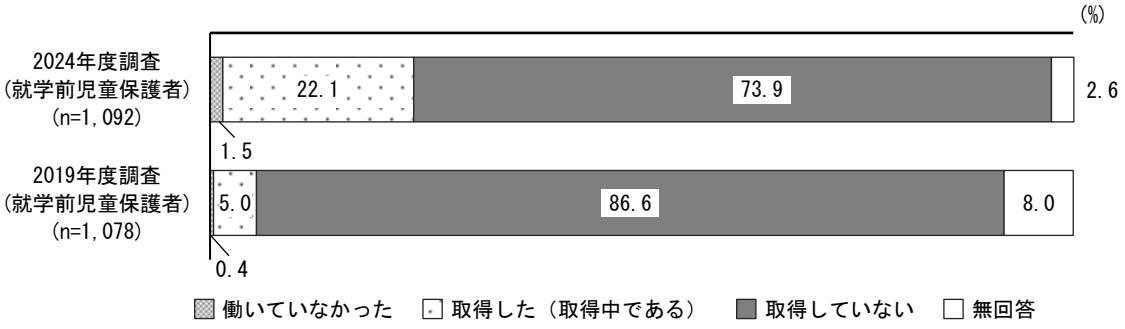


（５）職場のワークライフバランス支援制度について

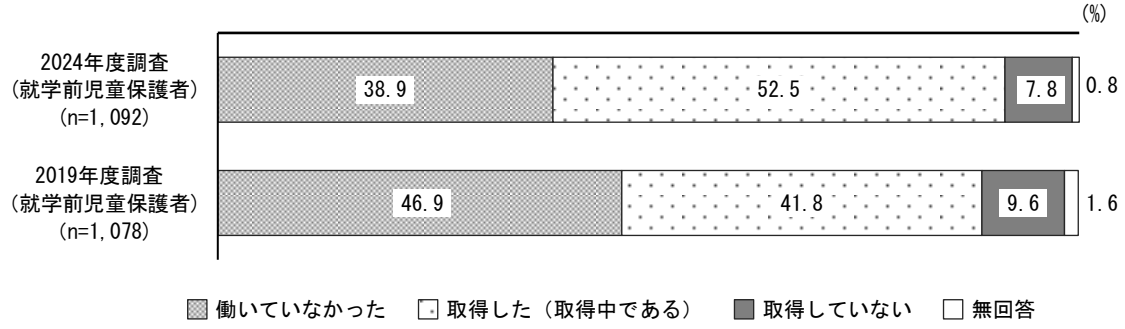
問１５　あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれか、または双方が育児休業を取得しましたか。【○は１つだけ】

- 父親は、「取得していない」が７３．９％と最も多く、次いで「取得した（取得中である）」が２２．１％、「働いていなかった」が１．５％となっています。
- 母親は、「取得した（取得中である）」が５２．５％と最も多く、次いで「働いていなかった」が３８．９％、「取得していない」が７．８％となっています。
- ２０１９年度調査と比較して、父母ともに「取得した（取得中である）」の割合が増加しています。

育児休業の取得有無【父親（就学前児童）】



育児休業の取得有無【母親（就学前児童）】

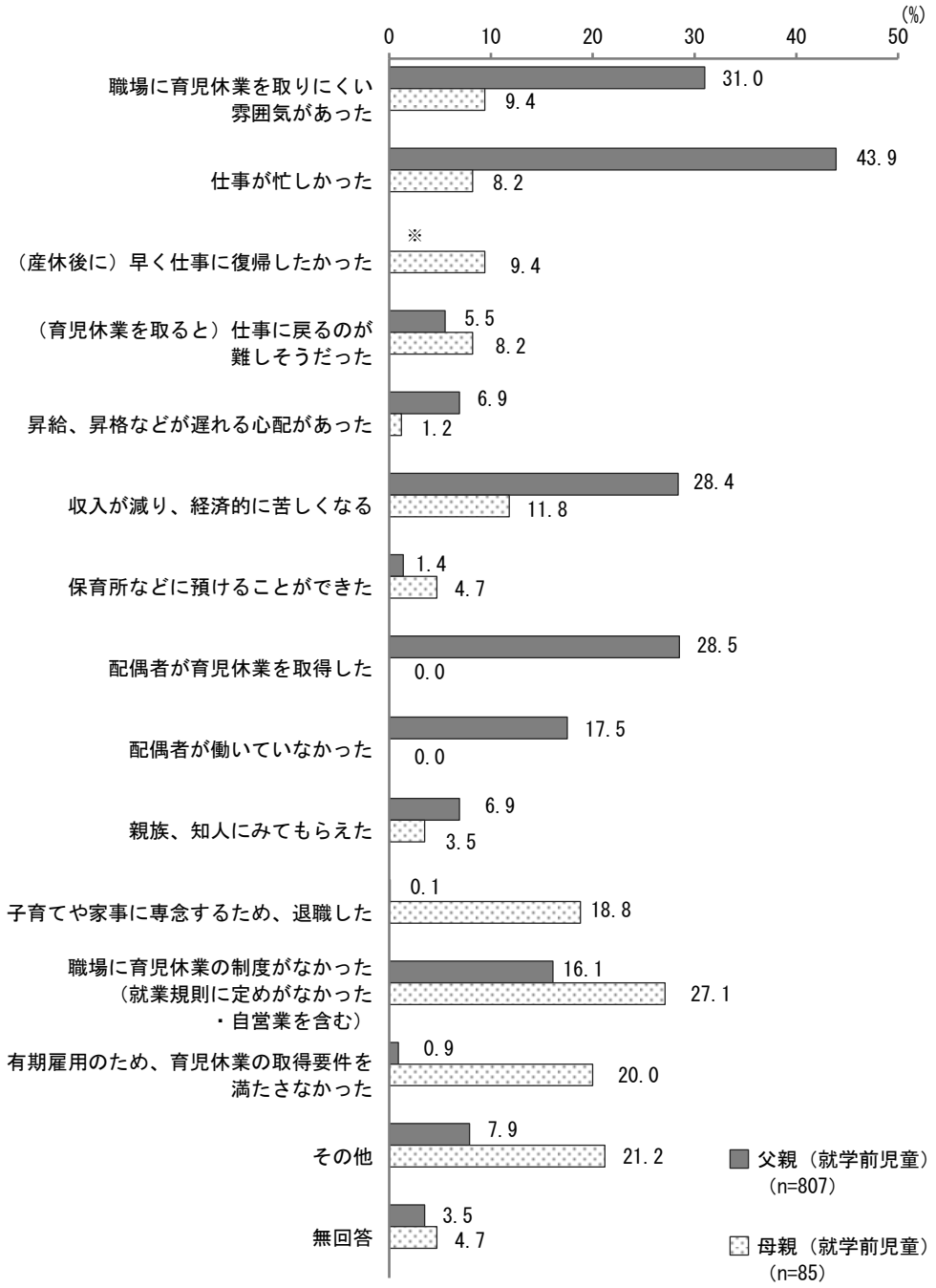


※問１５－１は、問１５で「取得していない」を選択した人のみ回答

問１５－１　育児休業を取得していない理由は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

- 父親は、「仕事が忙しかった」が４３．９％と最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が３１．０％、「配偶者が育児休業を取得した」が２８．５％となっています。
- 母親は、「職場に育児休業制度がなかった（就業規則に定めがなかった・自営業を含む）」が２７．１％と最も多く、次いで「有期雇用のため、育児休業の取得要件を満たさなかった」が２０．０％、「子育てに専念するため、退職した」が１８．８％となっています。

育児休業を取得しなかった理由
（複数回答）



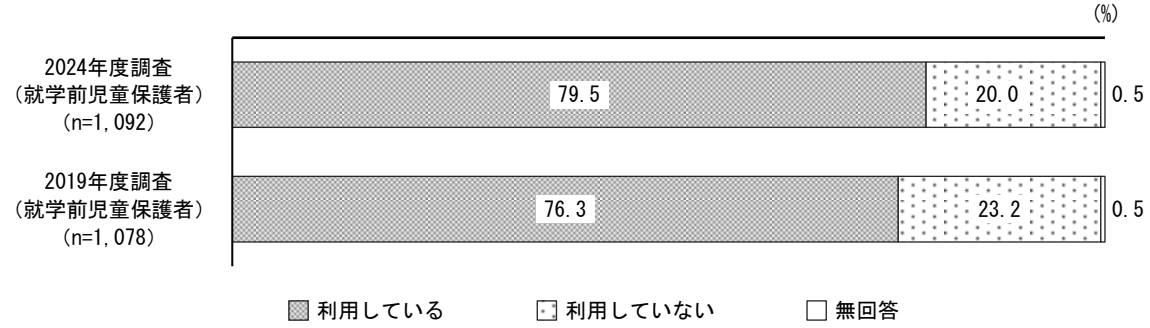
※「（産休後に）早く仕事に復帰したかった」は、母親のみの項目。

（６）平日の定期的な教育・保育の事業の利用状況について

問１６　あて名のお子さんは現在、保育所、幼稚園等の定期的な教育・保育事業等を利用していますか。【○は１つだけ】

- ２０１９年度調査と比較して大きな変化は見られませんが、「利用している」の割合が３ポイントほど増加しています。

平日の定期的な教育・保育の事業の利用有無



【地域別】

- 地域別でみると、「利用している」の割合は南地域で最も高く、「利用していない」の割合は堺地域で最も高くなっています。

平日の定期的な教育・保育の事業の利用有無【地域別】

(%)

区分	回答者数（件）	利用している	利用していない	無回答
町田地域	205	79.0	20.0	1.0
南地域	315	80.6	19.0	0.3
鶴川地域	229	79.9	19.7	0.4
忠生地域	199	78.9	20.1	1.0
堺地域	130	76.2	23.8	－

【子どもの年齢別】

- 子どもの年齢別でみると、０歳以外は「利用している」の割合が高く、年齢が上がるにつれて「利用している」の割合も増加しています。
- ２０１９年度調査と比較して、１歳と２歳で「利用している」の割合が増加しています。

平日の定期的な教育・保育の事業の利用有無【子どもの年齢別】

(%)

区分	2024年度調査				2019年度調査			
	回答者数(件)	利用している	利用していない	無回答	回答者数(件)	利用している	利用していない	無回答
0歳	165	27.9	72.1	－	158	28.5	70.3	1.3
1歳	144	61.8	36.8	1.4	164	52.4	47.6	－
2歳	177	80.2	19.8	－	165	69.1	30.9	－
3歳	200	97.5	1.0	1.5	178	97.2	2.8	－
4歳	189	97.9	2.1	－	179	99.4	－	0.6
5歳	201	99.0	0.5	0.5	217	99.1	－	0.9

【母親の就労状況別】

- 母親の就労状況別でみると、フルタイム、パートタイム、アルバイトともに『現在産休・育休・介護休暇中』の場合は「利用していない」の割合が高く、現在就労していて休暇中ではない場合や、就労していない場合は「利用している」の割合が高くなっています。

平日の定期的な教育・保育の事業の利用有無【母親の就労状況別】

(%)

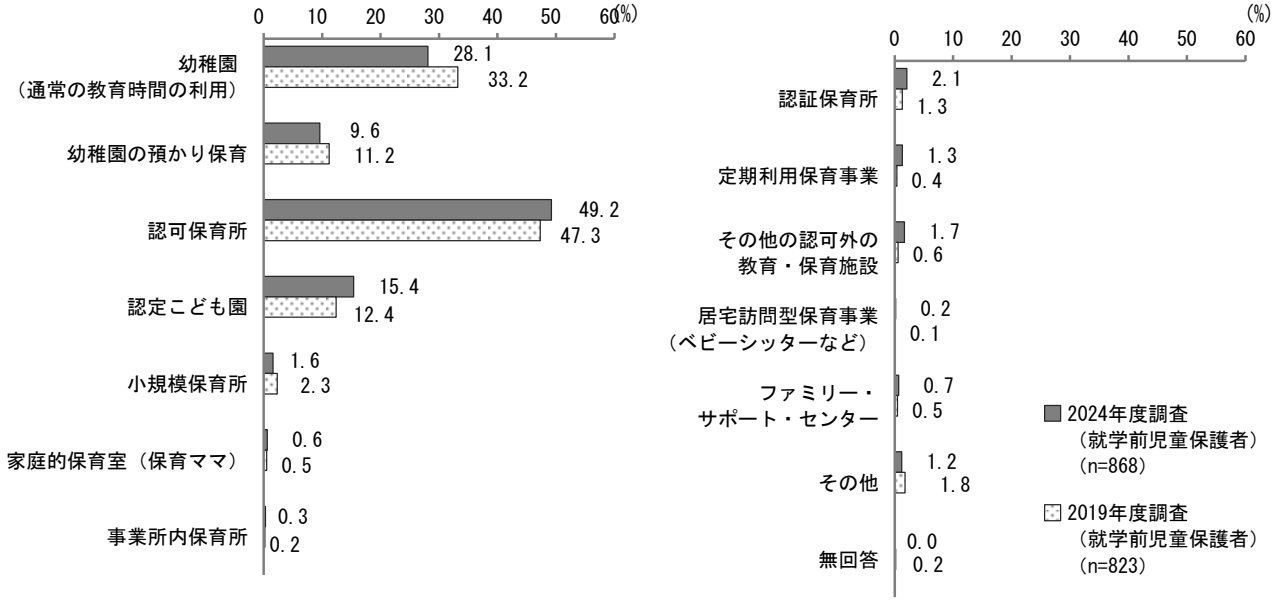
区分	回答者数(件)	利用している	利用していない	無回答
フルタイム	332	98.5	0.9	0.6
フルタイムで、現在産休・育休・介護休暇中	126	42.9	56.3	0.8
パートタイム、アルバイトなど	287	94.8	4.5	0.7
パートタイム、アルバイトなどで、現在産休・育休・介護休暇中	26	30.8	69.2	－
以前は就労していたが、現在は就労していない	287	63.1	36.9	－
これまでに就労したことがない	17	70.6	29.4	－

※問１６－１から問１６－３は、問１６で「利用している」を選択した人のみ回答

問１６－１　平日、どのような教育・保育事業等を利用していますか。
【あてはまるものすべてに○】

- 「認可保育所」が４９．２％と最も多く、次いで「幼稚園（通常の教育時間の利用)」が２８．１％、「認定こども園」が１５．４％となっています。
- ２０１９年度調査と比較して、「認可保育所」や「認定こども園」の割合が２～３ポイントほど増加し、「幼稚園（通常の教育時間の利用)」の割合が５ポイントほど減少しています。

平日に定期的に利用している教育・保育の事業
（複数回答）



【地域別】

- 地域別でみると、他の地域に比べて、南地域では「幼稚園（通常の教育時間の利用）」の割合が、忠生地域では「認定こども園」の割合が高くなっています。

平日に定期的に利用している教育・保育の事業【地域別】

(%)

区分	回答者数（件）	幼稚園（通常の教育時間の利用）	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模保育所	家庭的保育室（保育ママ）	事業所内保育所	認証保育所	定期利用保育事業	その他の認可外の教育・保育施設	居宅訪問型保育事業（ベビーシッターなど）	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
町田地域	162	25.9	13.0	51.2	14.2	3.7	1.2	0.6	2.5	1.2	1.2	0.6	0.6	－	－
南地域	254	32.7	7.1	50.0	9.1	1.6	－	0.4	2.4	1.6	3.5	0.4	1.2	2.0	－
鶴川地域	183	28.4	13.7	46.4	15.3	1.6	－	0.5	1.1	2.2	0.5	－	1.1	0.5	－
忠生地域	157	22.3	5.7	46.5	27.4	－	1.3	－	2.5	0.6	－	－	－	1.3	－
堺地域	99	28.3	7.1	52.5	16.2	1.0	1.0	－	2.0	－	2.0	－	－	1.0	－

【子どもの年齢別】

- 子どもの年齢別でみると、１歳以下は「認可保育所」の割合が７～８割と多数を占めており、３歳と４歳では、「幼稚園（通常の教育時間の利用）」の割合が最も高くなっています。

平日に定期的に利用している教育・保育の事業【子どもの年齢別】

(%)

区分	回答者数（件）	幼稚園（通常の教育時間の利用）	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模保育所	家庭的保育室（保育ママ）	事業所内保育所	認証保育所	定期利用保育事業	その他の認可外の教育・保育施設	居宅訪問型保育事業（ベビーシッターなど）	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
0歳	46	－	－	82.6	2.2	2.2	4.3	－	4.3	2.2	4.3	－	－	－	－
1歳	89	1.1	－	75.3	4.5	6.7	－	2.2	2.2	5.6	1.1	－	2.2	1.1	－
2歳	142	13.4	2.8	57.7	14.1	4.2	1.4	0.7	3.5	2.8	2.8	－	0.7	2.1	－
3歳	195	41.5	11.3	40.5	15.9	0.5	－	－	2.6	－	1.0	－	0.5	2.1	－
4歳	185	40.0	15.1	39.5	17.8	－	－	－	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	－	－
5歳	199	34.2	14.1	40.2	22.1	－	0.5	－	1.0	－	2.5	0.5	0.5	0.5	－

【母親の就労状況別】

- 母親の就労状況別でみると、母親が就労している家庭では「認可保育所」の割合が高くなっており、母親が就労していない家庭では「幼稚園（通常の教育時間の利用）」の割合が高くなっています。

平日に定期的に利用している教育・保育の事業【母親の就労状況別】

(%)

区分	回答者数（件）	幼稚園（通常の教育時間の利用）	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模保育所	家庭的保育室（保育ママ）	事業所内保育所	認証保育所	定期利用保育事業	その他の認可外の教育・保育施設	居宅訪問型保育事業（ベビーシッターなど）	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
フルタイム	327	6.4	4.9	75.5	10.7	2.1	－	0.3	1.5	0.9	2.1	－	0.6	－	－
フルタイムで、現在産休・育休・ 介護休暇中	54	3.7	－	64.8	14.8	3.7	－	－	5.6	5.6	3.7	－	1.9	－	－
パートタイム、アルバイトなど	272	25.7	17.6	43.4	22.4	1.1	1.8	0.7	2.2	1.8	1.8	0.4	－	0.4	－
パートタイム、アルバイトなどで、現在産休・育休・介護休暇中	8	25.0	12.5	50.0	12.5	－	－	－	12.5	－	－	－	－	－	－
以前は就労していたが、現在は就労していない	181	75.1	8.8	7.2	16.0	1.1	－	－	0.6	－	0.6	0.6	1.1	4.4	－
これまでに就労したことがない	12	75.0	8.3	8.3	－	－	－	－	8.3	－	－	－	－	8.3	－

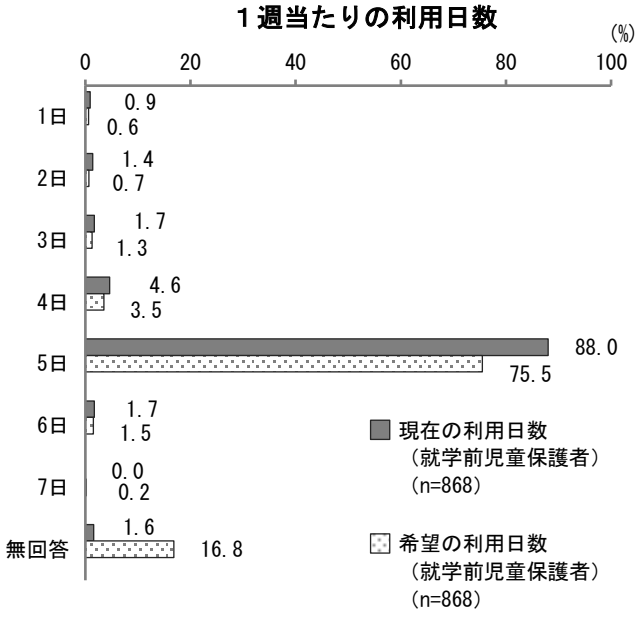
問１６－２　平日に定期的に利用している主な教育・保育事業等について、どのくらい利用していますか。また、利用したいですか。
①～③ごとに、Ａ・Ｂ※のそれぞれについて、数字でご記入ください。

※Ａは現在の利用状況（現状）、Ｂは希望の利用時間等を表す。

【① １週当たりの利用日数】

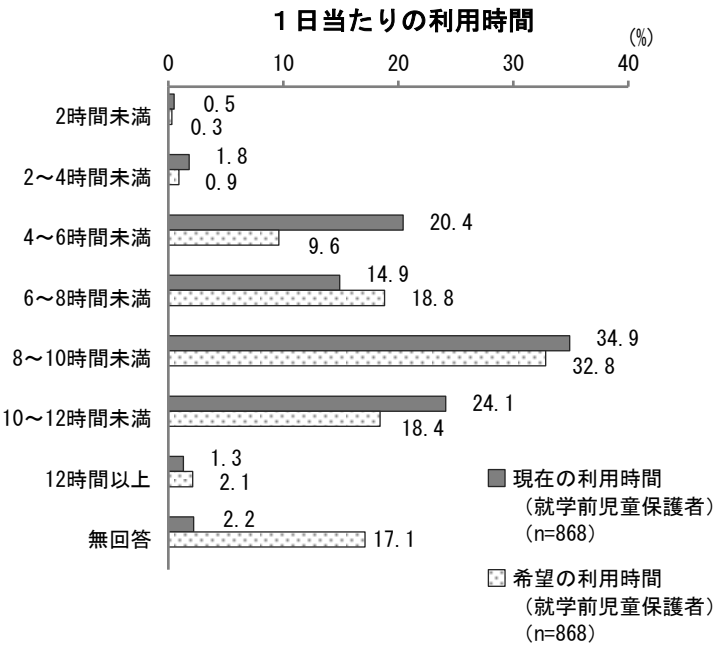
- 現在の１週当たりの利用日数は、「５日」が８８．０％と最も多く、次いで「４日」が４．６％、「３日」と「６日」が１．７％となっています。
- 希望の１週当たりの利用日数は、「５日」が７５．５％と最も多く、次いで「４日」が３．５％、「６日」が１．５％となっています。
- 現状と希望の傾向に大きな差は見られませんが、現状の方が「５日」の割合が１３ポイントほど高くなっています。

１週当たりの利用日数



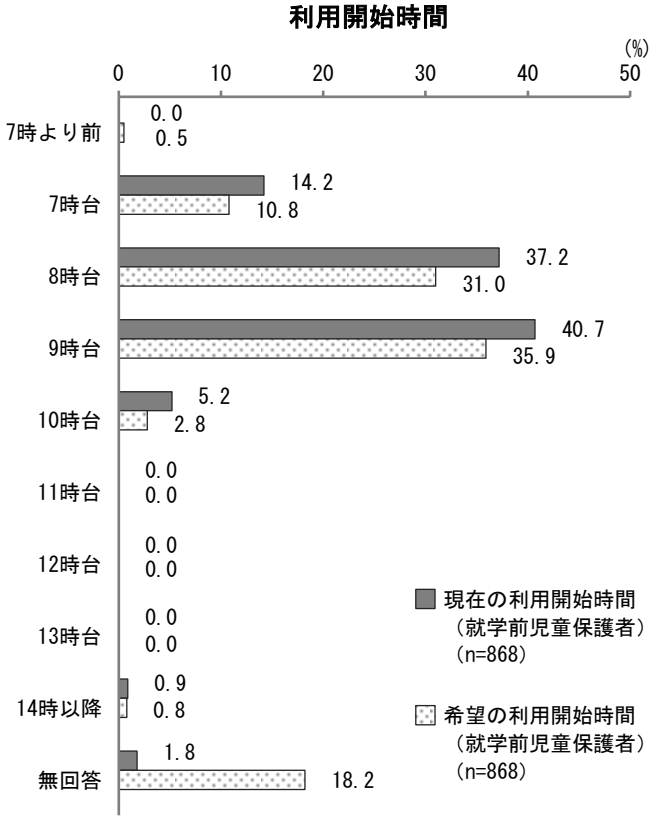
【② １日当たりの利用時間】

- 現在の１日当たりの利用時間は、「８～１０時間未満」が３４．９％と最も多く、次いで「１０～１２時間未満」が２４．１％、「４～６時間未満」が２０．４％となっています。
- 希望の１日当たりの利用時間は、「８～１０時間未満」が３２．８％と最も多く、次いで「６～８時間未満」が１８．８％、「１０～１２時間未満」が１８．４％となっています。
- 現状と希望を比較すると、「４～６時間未満」で、割合の差が大きくなっています。



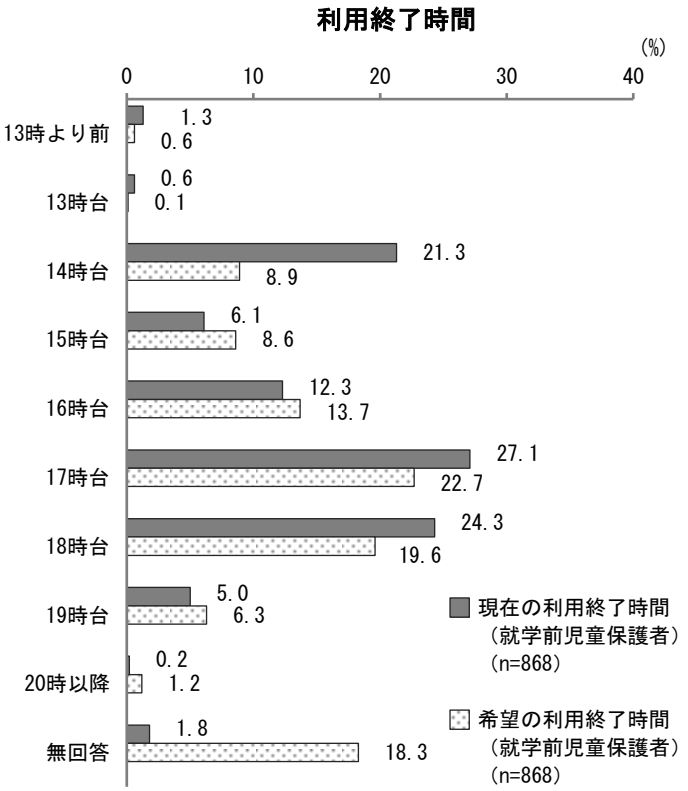
【③－１ 利用開始時間】

- 現在の利用開始時間は、「９時台」が４０．７％と最も多く、次いで「８時台」が３７．２％、「７時台」が１４．２％となっています。
- 希望の利用開始時間は、「９時台」が３５．９％と最も多く、次いで「８時台」が３１．０％、「７時台」が１０．８％となっています。
- 現状と希望の傾向に大きな差は見られません。



【③－２ 利用終了時間】

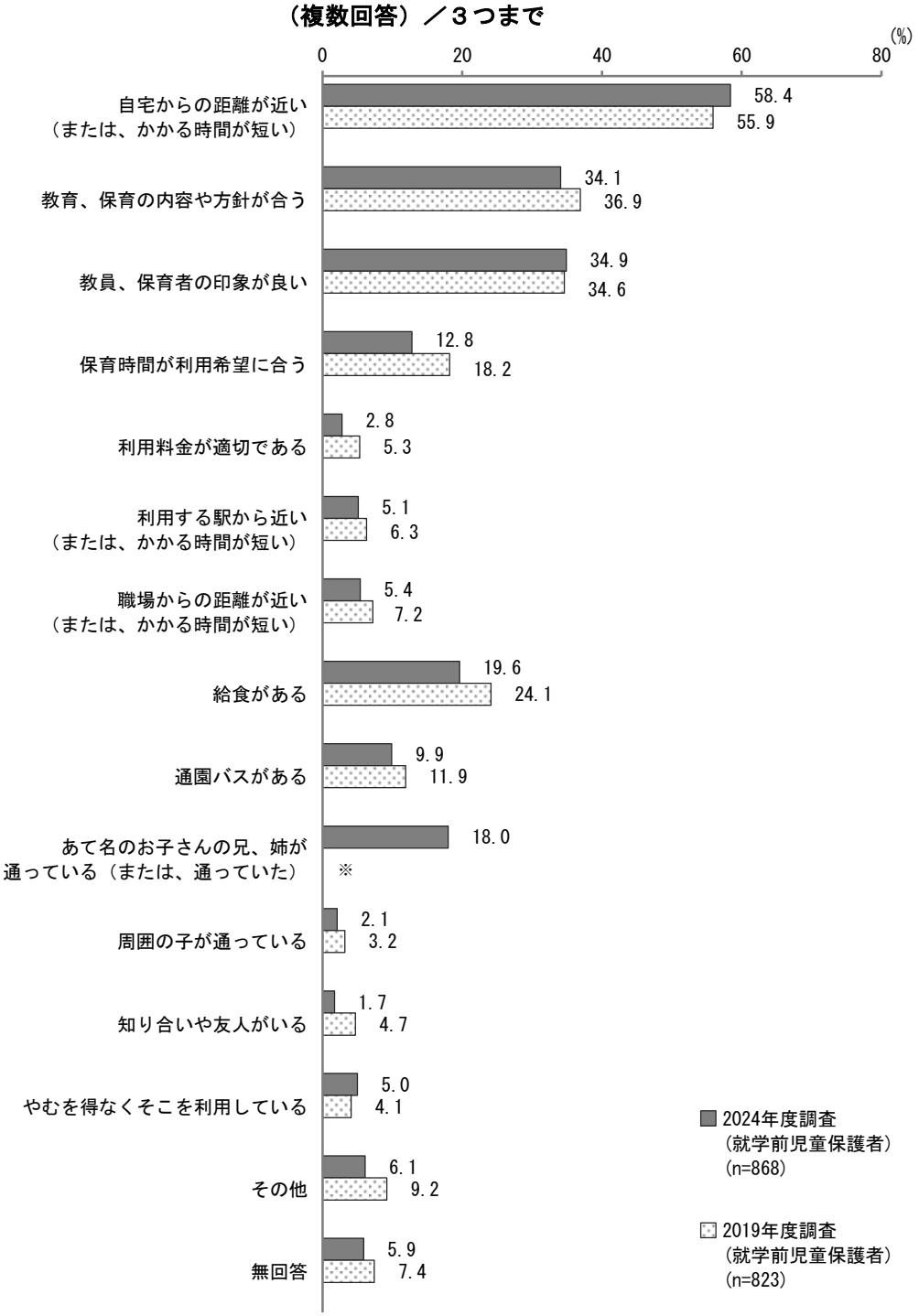
- 現在の利用終了時間は、「１７時台」が２７．１％と最も多く、次いで「１８時台」が２４．３％、「１４時台」が２１．３％となっています。
- 希望の利用終了時間は、「１７時台」が２２．７％と最も多く、次いで「１８時台」が１９．６％、「１６時台」が１３．７％となっています。
- 現状と希望を比較すると、現状の方が「１４時台」の割合が１２ポイントほど高くなっています。



問１６－３　利用している事業の決め手となった理由は何ですか。【○は３つまで】

- 「自宅からの距離が近い（または、かかる時間が短い)」が５８．４％と最も多く、次いで「教員、保育者の印象が良い」が３４．９％、「教育、保育の内容や方針が合う」が３４．１％となっています。
- ２０１９年度調査と比較して、「保育時間が利用希望に合う」や「給食がある」の割合が５ポイントほど減少しています。

利用している事業を選んだ理由
（複数回答）／３つまで

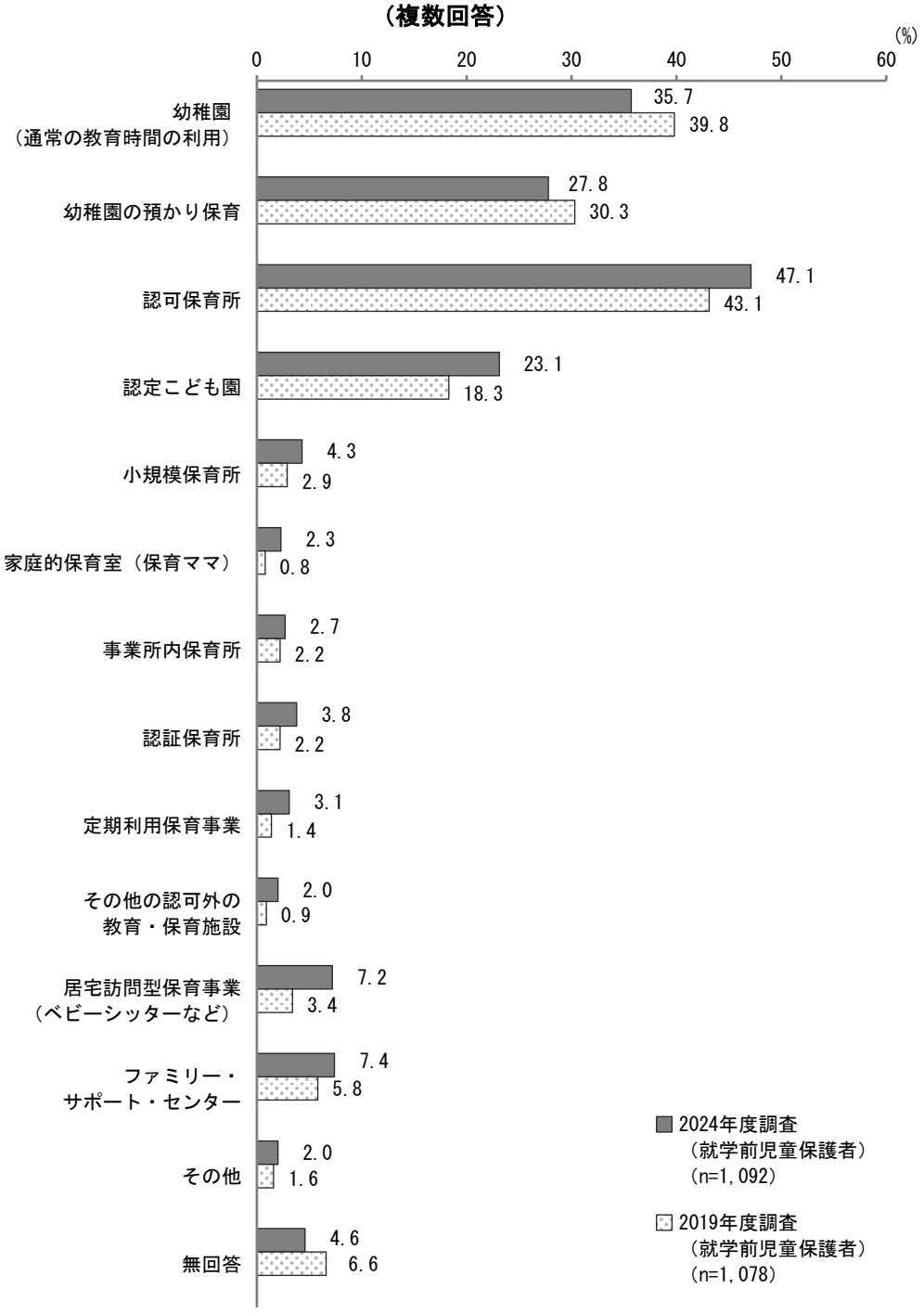


※「あて名のお子さんの兄、姉が通っている（または、通っていた)」は２０２４年度調査からの新規項目のため、比較なし。

問１７　現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんが平日に定期的に利用したい事業はどれですか。【あてはまるものすべてに○】

- 「認可保育所」が４７．１％と最も多く、次いで「幼稚園（通常の教育時間の利用）」が３５．７％、「幼稚園の預かり保育」が２７．８％となっています。
- ２０１９年度調査と比較して、「幼稚園（通常の教育時間の利用）」の割合が４ポイントほど減少し、「認可保育所」「認定こども園」の割合が４ポイントほど増加しています。

平日に定期的に利用したい教育・保育の事業
（複数回答）



【地域別】

- 地域別でみると、全ての地域で「認可保育所」の割合が最も高くなっています。次いで、町田地域では「幼稚園の預かり保育」、それ以外の地域では「幼稚園（通常の教育時間の利用）」の割合が高くなっています。

平日に定期的に利用したい教育・保育の事業【地域別】

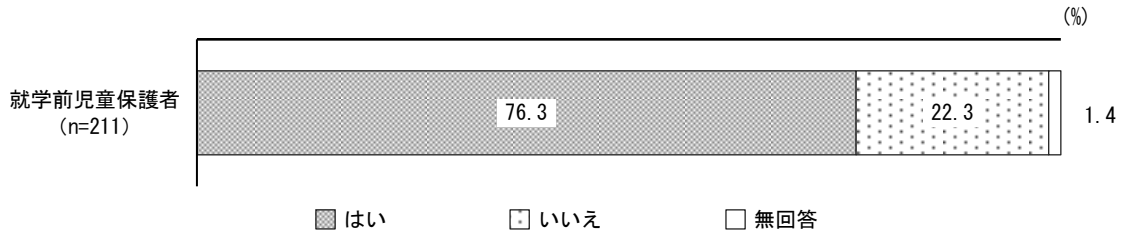
(%)

区分	回答者数（件）	幼稚園（通常の教育時間の利用）	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模保育所	家庭的保育室（保育ママ）	事業所内保育所	認証保育所	定期利用保育事業	その他の認可外の教育・保育施設	居宅訪問型保育事業（ベビーシッターなど）	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
町田地域	205	29.8	31.7	45.9	22.0	6.3	2.9	1.5	3.4	2.9	3.4	10.7	9.8	1.5	4.9
南地域	315	38.4	30.2	48.6	23.8	4.8	1.9	3.8	3.8	3.2	2.2	8.3	7.3	2.2	2.9
鶴川地域	229	39.3	29.7	49.3	20.1	4.4	1.3	2.6	6.1	3.5	2.2	7.9	5.7	0.9	3.9
忠生地域	199	32.2	18.1	43.2	27.1	1.0	1.5	2.5	1.5	1.0	0.5	4.0	6.5	3.0	6.0
堺地域	130	37.7	26.9	46.9	21.5	5.4	5.4	2.3	3.1	5.4	0.8	3.8	8.5	3.1	6.2

※問１７－１は、問１７で「幼稚園」または「幼稚園の預かり保育」を選択し、かつ、「認可保育所」から「その他」のいずれかも選択した人のみ回答

問１７－１　特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。【○は１つだけ】

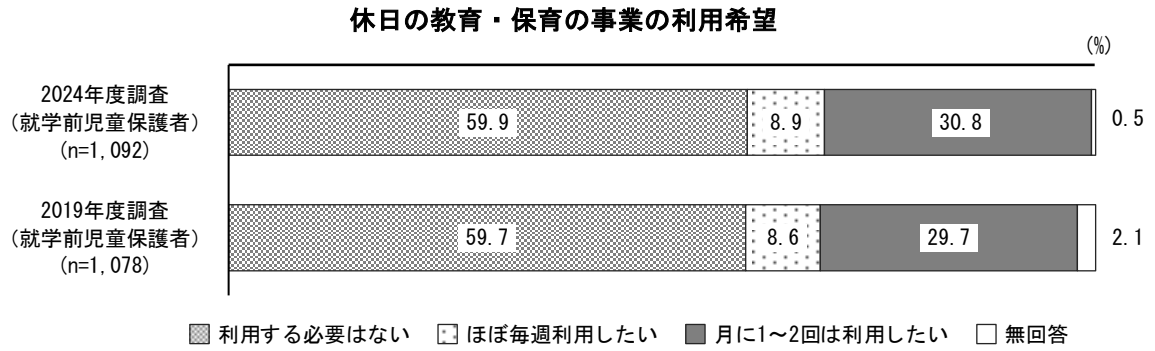
特に幼稚園の利用を希望する割合



（７）土曜日と日曜・祝日の教育・保育の事業の利用希望について

問１８　土曜日と日曜・祝日に、保育所、幼稚園等の定期的な教育・保育事業等の利用希望（一時的な利用は除く）はありますか。【○は１つだけ】
希望がある場合は、利用したい時間帯を数字でご記入ください。

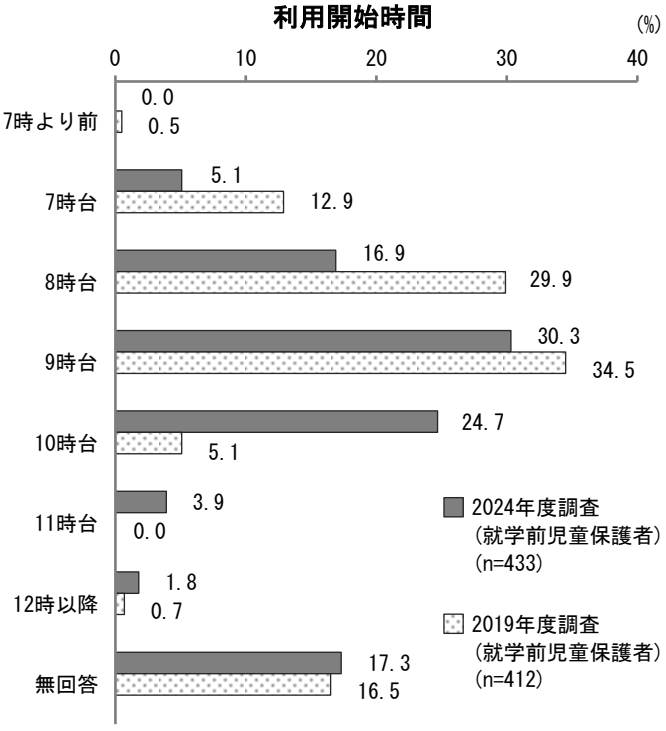
- 「利用する必要はない」が５９．９％と最も多く、次いで「月に１～２回は利用したい」が３０．８％、「ほぼ毎週利用したい」が８．９％となっています。
- ２０１９年度調査と比較して、大きな変化は見られません。



※【利用開始時間】と【利用終了時間】は、問１８で「ほぼ毎週利用したい」または「月に１～２回利用したい」を選択した人のみ回答

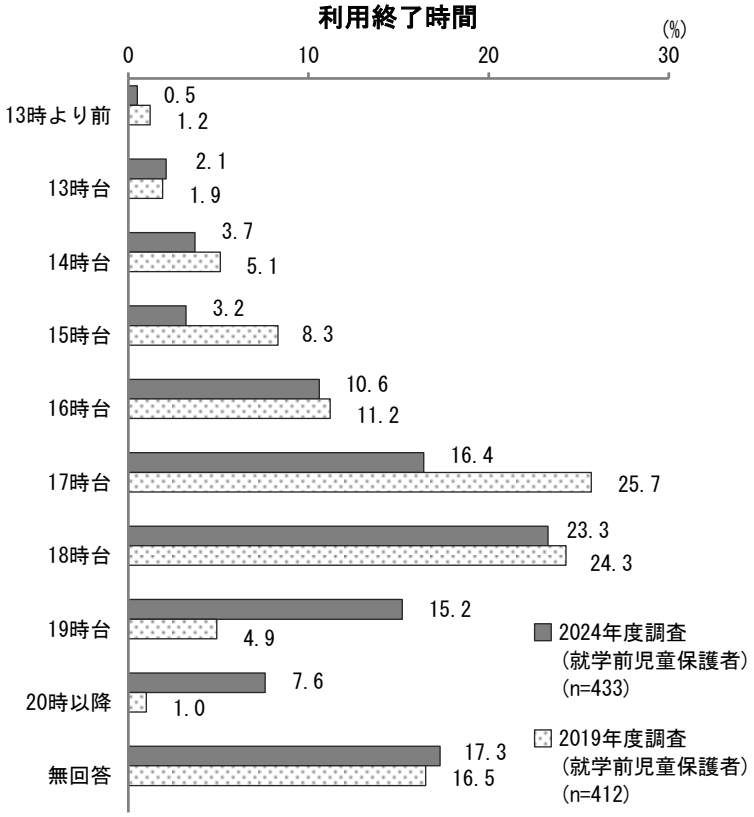
【利用開始時間】

- 「９時台」が３０．３％と最も多く、次いで「１０時台」が２４．７％、「８時台」が１６．９％となっています。
- ２０１９年度調査と比較して、「１０時台」の割合が大きく増加し、「７時台」「８時台」「９時台」の割合が大きく減少しています。



【利用終了時間】

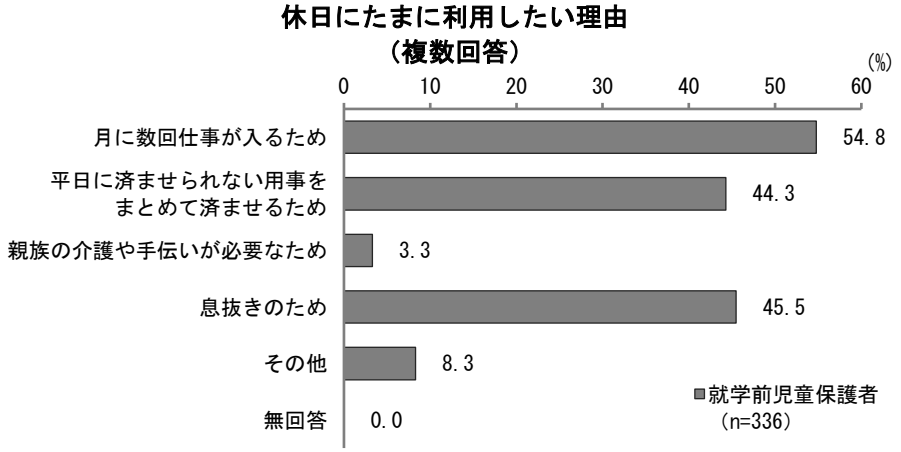
- 「１８時台」が２３．３％と最も多く、次いで「１７時台」が１６．４％、「１９時台」が１５．２％となっています。
- ２０１９年度調査と比較して、「１９時台」「２０時以降」の割合が大きく増加し、「１５時台」「１７時台」の割合が大きく減少しています。



※問１８－１は、問１８で「月に１～２回利用したい」を選択した人のみ回答

問１８－１　毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

- 「月に数回仕事が入るため」が５４．８％と最も多く、次いで「息抜きのため」が４５．５％、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が４４．３％となっています。

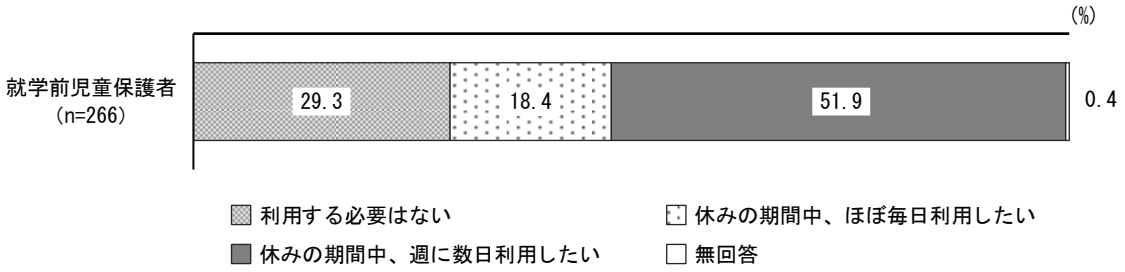


※問１９は、現在「幼稚園」を利用している人のみ回答

問１９　あて名のお子さんについて、夏休み、冬休みなどの長期休暇期間中に、教育・保育事業等の利用を希望しますか。【○は１つだけ】
希望がある場合は、利用したい時間帯を数字でご記入ください。

- 「休みの期間中、週に数日利用したい」が５１．９％と最も多く、次いで「利用する必要はない」が２９．３％、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が１８．４％となっています。

長期休暇中の教育・保育の事業の利用希望

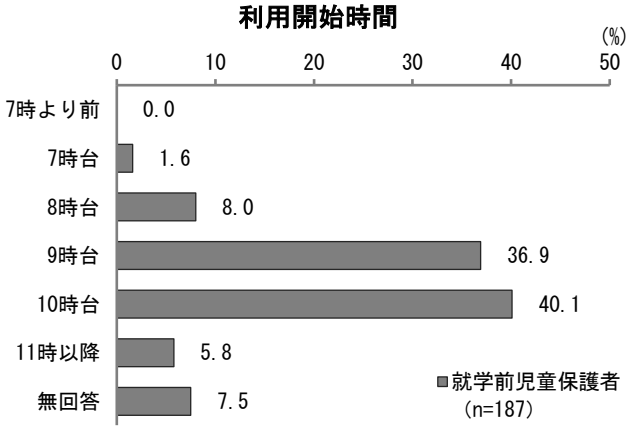


※【利用開始時間】と【利用終了時間】は、問１９で「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」または「休みの期間中、週に数日利用したい」を選択した人のみ回答

【利用開始時間】

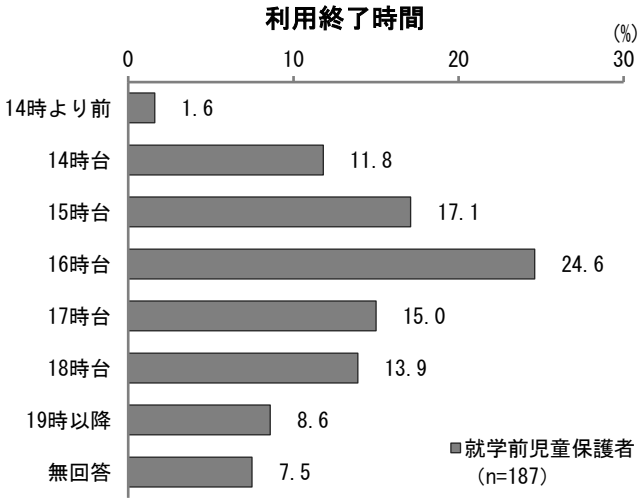
- 「１０時台」が４０．１％と最も多く、次いで「9時台」が３６．９％、「８時台」が８．０％となっています。

利用開始時間



【利用終了時間】

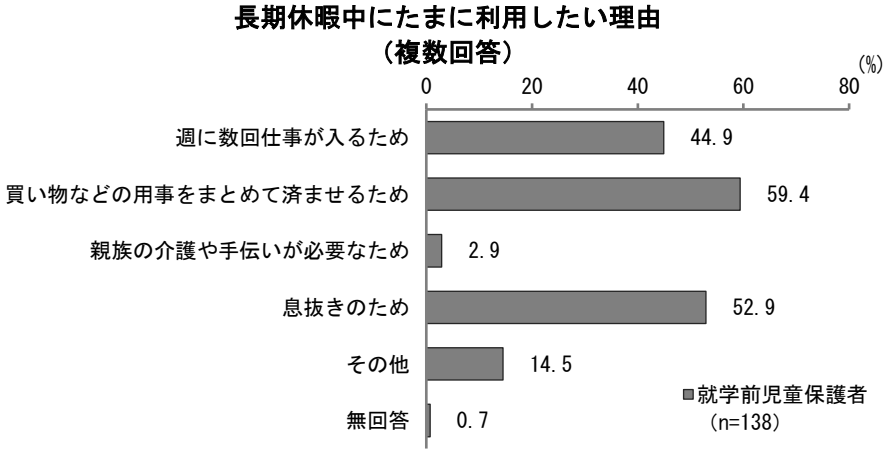
- 「１６時台」が２４．６％と最も多く、次いで「１５時台」が１７．１％、「１７時台」が１５．０％となっています。



※問１９－１は、問１９で「休みの期間中、週に数日利用したい」を選択した人のみ回答

問１９－１　毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

- 「買い物などの用事をまとめて済ませるため」が５９．４％と最も多く、次いで「息抜きのため」が５２．９％、「週に数回仕事が入るため」が４４．９％となっています。

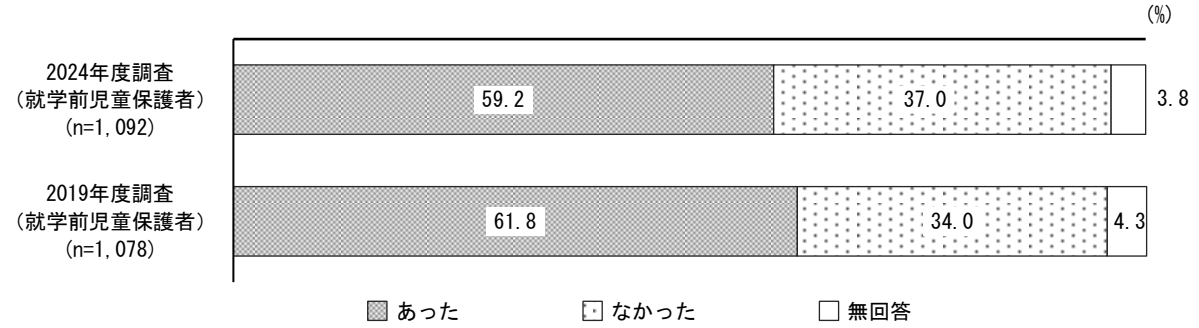


（８）病気の際の対応について

問２０　この１年間に、あて名のお子さんの病気やケガで保育所、幼稚園等を利用できなかったことはありますか。【○は１つだけ】

- 「あった」の割合が６割弱となっており、２０１９年度調査と比較して、大きな変化は見られません。

病気やケガで保育所、幼稚園等を利用できなかったことの有無



【子どもの年齢別】

- 子どもの年齢別でみると、０歳以外では「あった」の割合が高く、特に３歳以上で７割を超えて高くなっています。

病気やケガで保育所、幼稚園等を利用できなかったことの有無【子どもの年齢別】

(%)

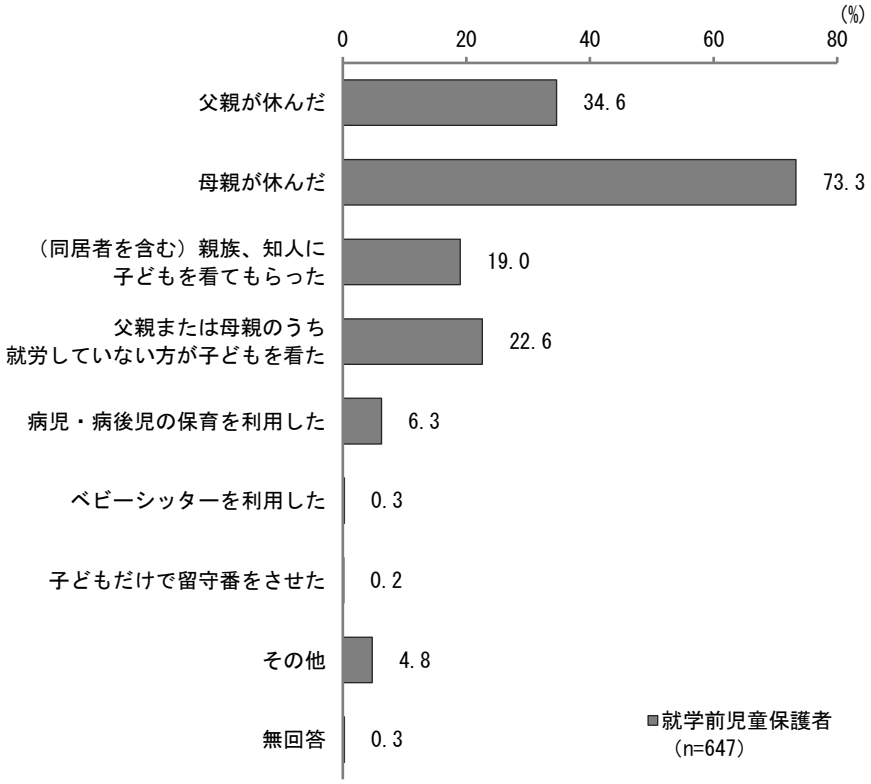
区分	回答者数（件）	あった	なかった	無回答
0歳	165	20.0	66.1	13.9
1歳	144	46.5	45.1	8.3
2歳	177	58.8	39.0	2.3
3歳	200	71.0	28.5	0.5
4歳	189	75.7	24.3	－
5歳	201	74.1	25.4	0.5

※問２０－１は、問２０で「あった」を選択した人のみ回答

問２０－１　どのように対処しましたか。【あてはまるものすべてに○】
あてはまる場合は、対処された年間の日数（おおよそ）を数字でご記入ください。

- 「母親が休んだ」が７３．３％と最も多く、次いで「父親が休んだ」が３４．６％、「父親または母親のうち就労していない方が子どもを看た」が２２．６％となっています。

保育所、幼稚園等を利用できなかった際の対処方法
（複数回答）



【１年間の対処日数】

- ２０１９年度調査と比較して、『父親が休んだ』『母親が休んだ』の双方で「５～９日」の割合が増加しています。

１年間の対処日数

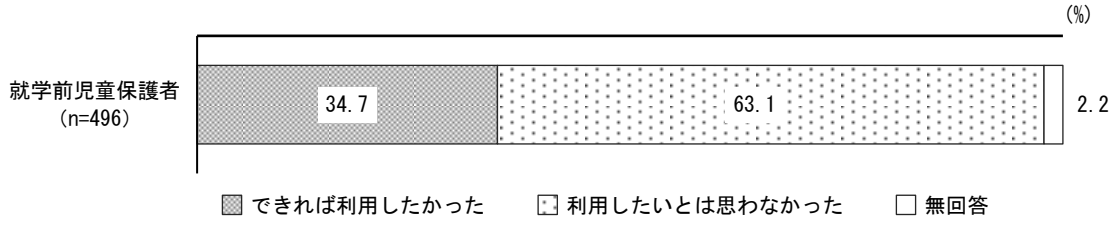
(%)

区分		回答者数（件）	1～4日	5～9日	10～14日	15～19日	20日以上	無回答
父親が休んだ	2024年度	224	47.3	32.6	10.7	2.2	4.5	2.7
	2019年度	188	59.0	23.4	7.4	0.5	1.1	8.5
母親が休んだ	2024年度	474	15.2	25.7	22.8	6.1	24.3	5.9
	2019年度	471	34.4	18.7	18.9	4.9	7.4	15.7
親族、知人に子どもを看てもらった	2024年度	123	33.3	18.7	23.6	6.5	8.9	8.9
	2019年度	164	40.9	19.5	15.2	2.4	4.9	17.1
父親または母親のうち就労していない方が子どもを看た	2024年度	146	14.4	8.2	15.8	10.3	37.0	14.4
	2019年度	169	24.9	24.3	16.6	3.6	8.3	22.5
病児・病後児の保育を利用した	2024年度	41	39.0	31.7	14.6	－	7.3	7.3
	2019年度	34	58.8	11.8	11.8	－	5.9	11.8
ベビーシッターを利用した	2024年度	2	50.0	－	－	－	50.0	－
	2019年度	－	－	－	－	－	－	－
子どもだけで留守番をさせた	2024年度	1	100.0	－	－	－	－	－
	2019年度	2	100.0	－	－	－	－	－
その他	2024年度	31	12.9	19.4	35.5	－	19.4	12.9
	2019年度	12	25.0	33.3	8.3	－	16.7	16.7

※問２０－２は、問２０－１で「父親が休んだ」または「母親が休んだ」を選択した人のみ回答

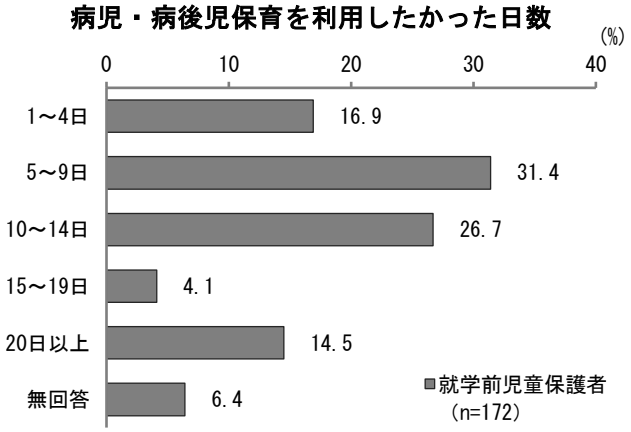
問２０－２　病児・病後児保育を利用したいと思いましたか。【○は１つだけ】
「１」を選んだ場合は、利用したかった年間の日数（おおよそ）を数字でご記入ください。

病児・病後児保育の利用希望



【病児・病後児保育を利用したかった日数】

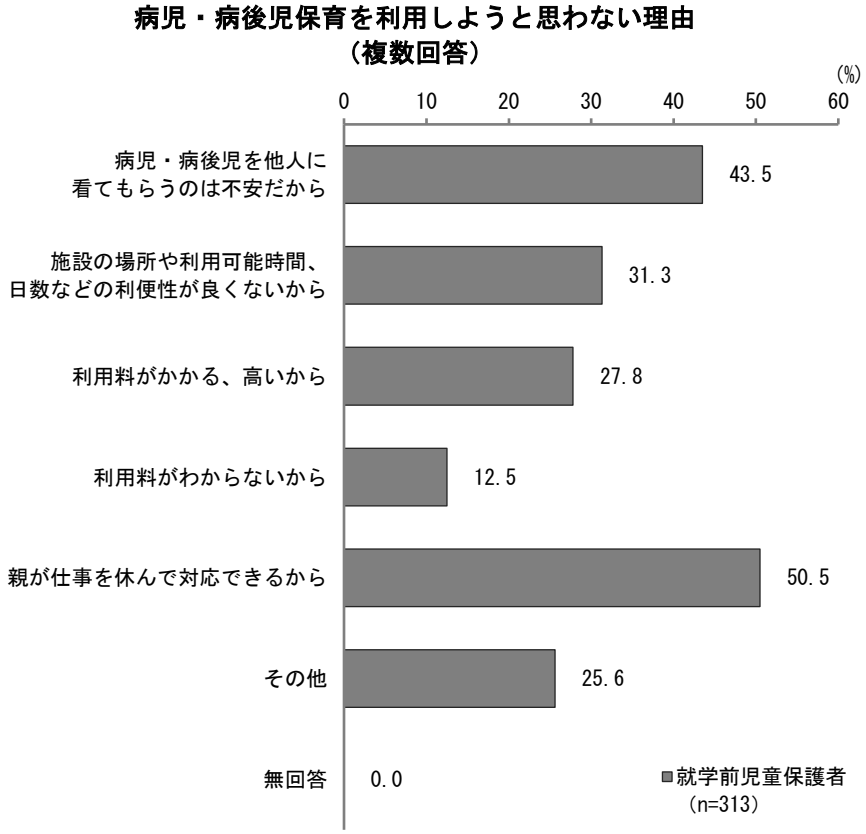
- 「５～９日」が３１．４％と最も多く、次いで「１０～１４日」が２６．７％、「１～４日」が１６．９％となっています。



※問２０－３は、問２０－２で「利用したいとは思わなかった」を選択した人のみ回答

問２０－３　病児・病後児保育を利用したいと思わない理由は何ですか。
【あてはまるものすべてに○】

- 「親が仕事を休んで対応できるから」が５０．５％と最も多く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安だから」が４３．５％、「施設の場所や利用可能時間、日数などの利便性が良くないから」が３１．３％となっています。

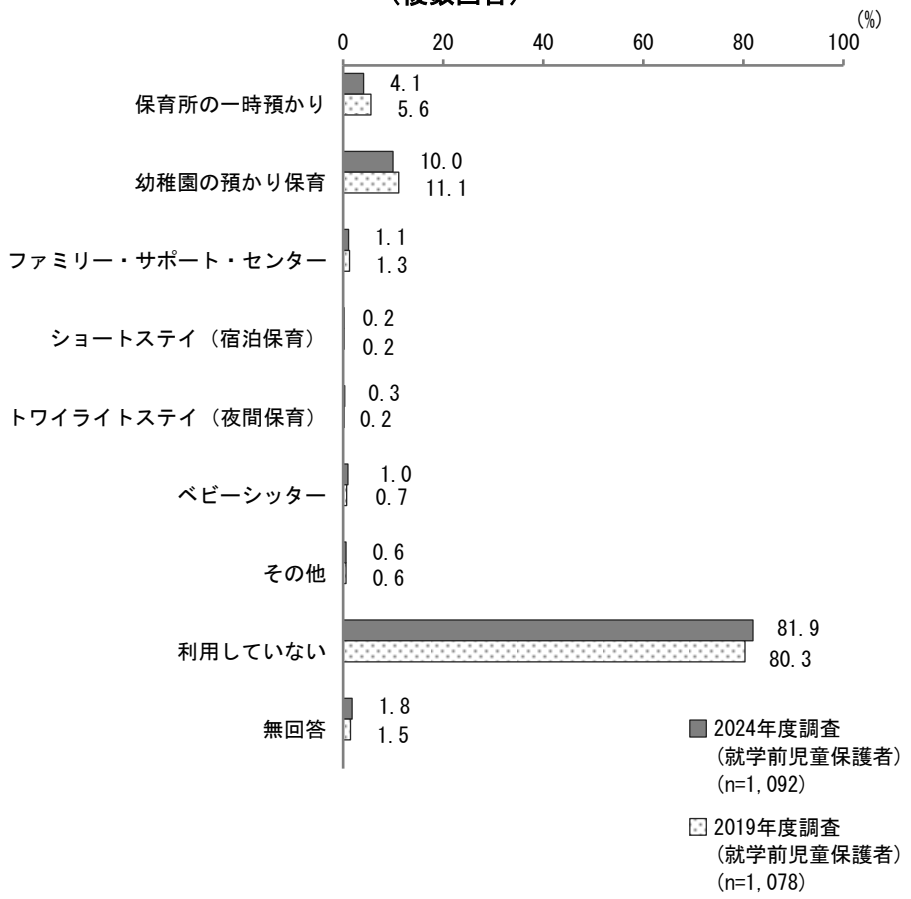


（９）不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について

問２１　親の通院、不定期の就労や私用、リフレッシュなどの目的で不定期に利用している事業はありますか。【あてはまるものすべてに○】
ある場合は、１年間の利用日数（おおよそ）を数字でご記入ください。

- 「利用していない」が８１．９％と最も多く、次いで「幼稚園の預かり保育」が１０．０％、「保育所の一時預かり」が４．１％となっています。
- ２０１９年度調査と比較して、大きな変化は見られません。

不定期に利用している教育・保育の事業
（複数回答）



【子どもの年齢別】

- 子どもの年齢別でみると、３歳から５歳で「幼稚園の預かり保育」の割合が高くなっています。「利用していない」の割合は、２歳以下で約９割となっています。

不定期に利用している教育・保育の事業【子どもの年齢別】

(%)

区分	回答者数(件)	保育所の一時預かり	幼稚園の預かり保育	ファミリー・サポート・センター	ショートステイ（宿泊保育）	トワイライトステイ（夜間保育）	ベビーシッター	その他	利用していない	無回答
0歳	165	4.2	0.6	－	0.6	0.6	2.4	1.8	89.1	1.8
1歳	144	8.3	0.7	0.7	－	－	0.7	－	88.2	1.4
2歳	177	5.6	2.8	1.1	0.6	0.6	－	－	89.3	1.1
3歳	200	3.5	11.5	2.5	－	－	1.5	0.5	81.5	1.5
4歳	189	3.2	20.6	0.5	－	0.5	1.6	0.5	71.4	2.6
5歳	201	1.5	19.9	1.5	－	－	－	1.0	73.6	2.5

【不定期に教育・保育の事業を利用した年間日数】

- 「保育所の一時預かり」では、「１～４日」の割合が最も高く、次いで「２０日以上」の割合が高くなっています。
- 「幼稚園の預かり保育」では、「２０日以上」の割合が最も高く、次いで「１０～１４日」の割合が高くなっています。

不定期に教育・保育の事業を利用している年間日数

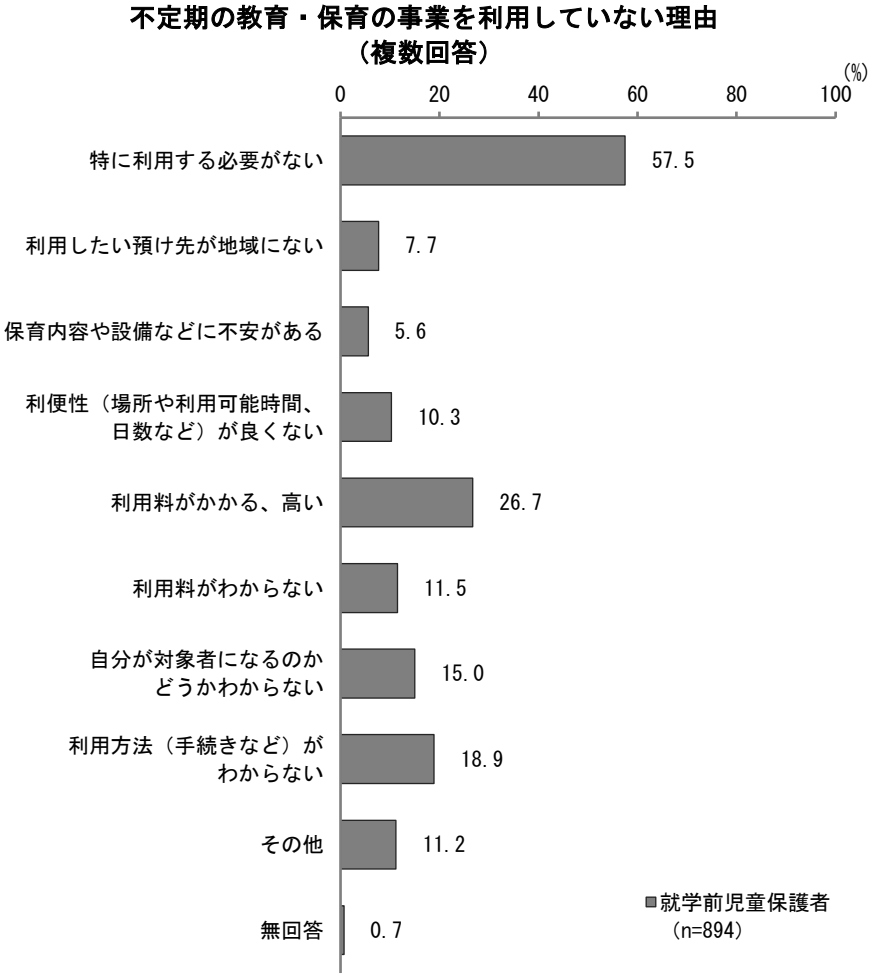
(%)

区分	回答者数(件)	1～4日	5～9日	10～14日	15～19日	20日以上	無回答
保育所の一時預かり	45	31.1	15.6	11.1	4.4	28.9	8.9
幼稚園の預かり保育	109	13.8	13.8	20.2	4.6	33.9	13.8
ファミリー・サポート・センター	12	33.3	8.3	8.3	－	41.7	8.3
ショートステイ（宿泊保育）	2	50.0	－	－	－	－	50.0
トワイライトステイ（夜間保育）	3	－	66.7	－	－	－	33.3
ベビーシッター	11	27.3	18.2	9.1	9.1	36.4	－
その他	7	14.3	－	42.9	－	14.3	28.6

※問２１－１は、問２１で「利用していない」を選択した人のみ回答

問２１－１　現在利用していない理由は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

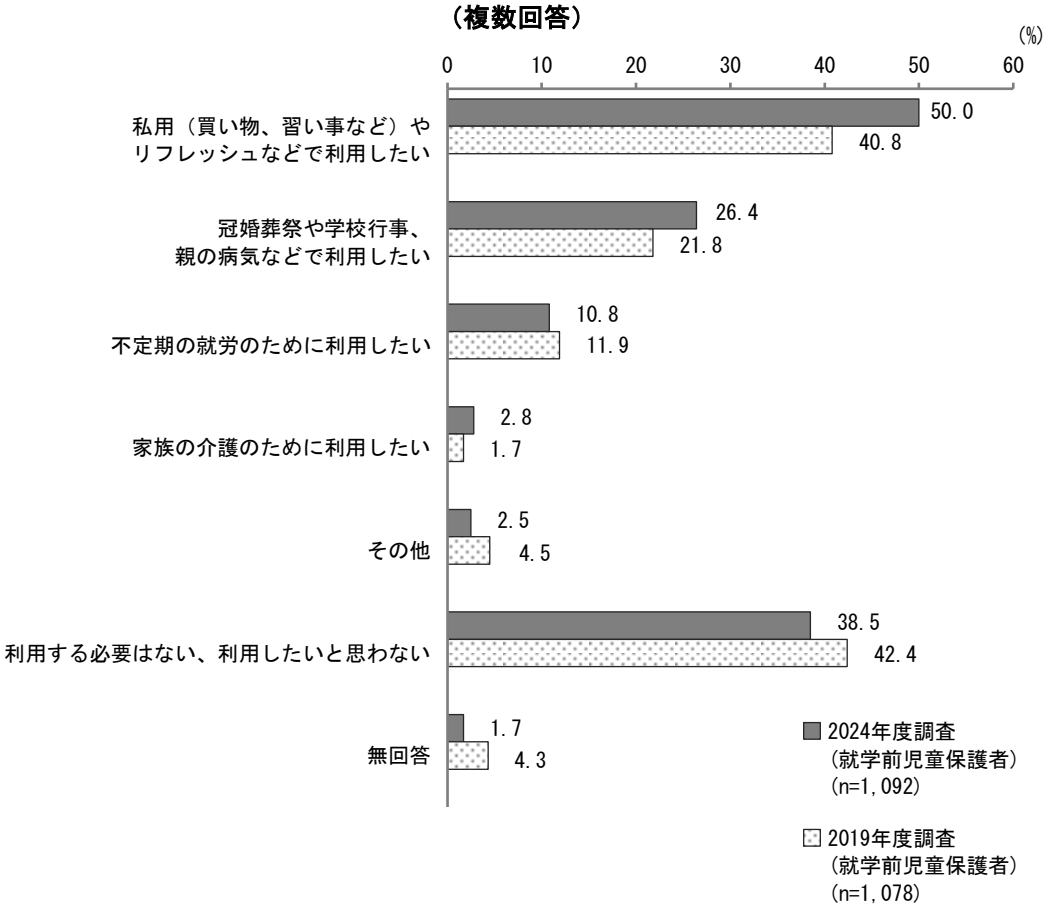
- 「特に利用する必要がない」が５７．５％と最も多く、次いで「利用料がかかる、高い」が２６．７％、「利用方法（手続きなど）がわからない」が１８．９％となっています。



問２２　私用やリフレッシュ、冠婚葬祭や親の病気、あるいは就労のため、あて名のお子さんに保育所の一時預かりを利用したいと思いますか。【あてはまるものすべてに○】
利用したい場合、利用希望の年間の日数（おおよそ）を数字でご記入ください。

- 「私用（買い物、習い事など）やリフレッシュなどで利用したい」が５０．０％と最も多く、次いで「利用する必要はない、利用したいと思わない」が３８．５％、「冠婚葬祭や学校行事、親の病気などで利用したい」が２６．４％となっています。
- ２０１９年度調査と比較して、「私用（買い物、習い事など）やリフレッシュなどで利用したい」の割合が最も増加し、「利用する必要はない、利用したいと思わない」の割合が４ポイントほど減少しています。

保育所の一時預かりを利用したい理由
（複数回答）



【保育所の一時預かりを利用したい年間日数】

- 「私用（買い物、習い事など）やリフレッシュなどで利用したい」では「１０～１４日」の割合が最も高く、次いで「２０日以上」の割合が高くなっています。
- 「冠婚葬祭や学校行事、親の病気などで利用したい」では「１～４日」の割合が最も高く、次いで「５～９日」の割合が高くなっています。
- 「不定期の就労のために利用したい」では「２０日以上」の割合が最も高く、次いで「１０～１４日」の割合が高くなっています。

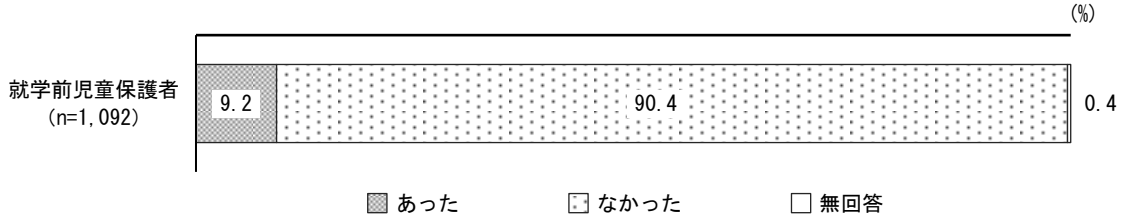
保育所の一時預かりを利用したい年間日数

(%)

区分	回答者数（件）	1～4日	5～9日	10～14日	15～19日	20日以上	無回答
私用（買い物、習い事など）やリフレッシュなどで利用したい	546	9.2	15.9	43.2	2.4	22.9	6.4
冠婚葬祭や学校行事、親の病気などで利用したい	288	29.5	29.2	22.9	1.0	9.7	7.6
不定期の就労のために利用したい	118	6.8	11.9	21.2	0.8	50.8	8.5
家族の介護のために利用したい	31	6.5	12.9	41.9	3.2	29.0	6.5
その他	27	7.4	14.8	22.2	3.7	25.9	25.9

問２３　この１年間に、泊りがけで家族以外にあて名のお子さんをみてもらわなければならないことはありましたか。【○は１つだけ】
※預け先が見つからなかった場合も含みます。

泊りがけで家族以外に子どもを見てもらう必要の有無

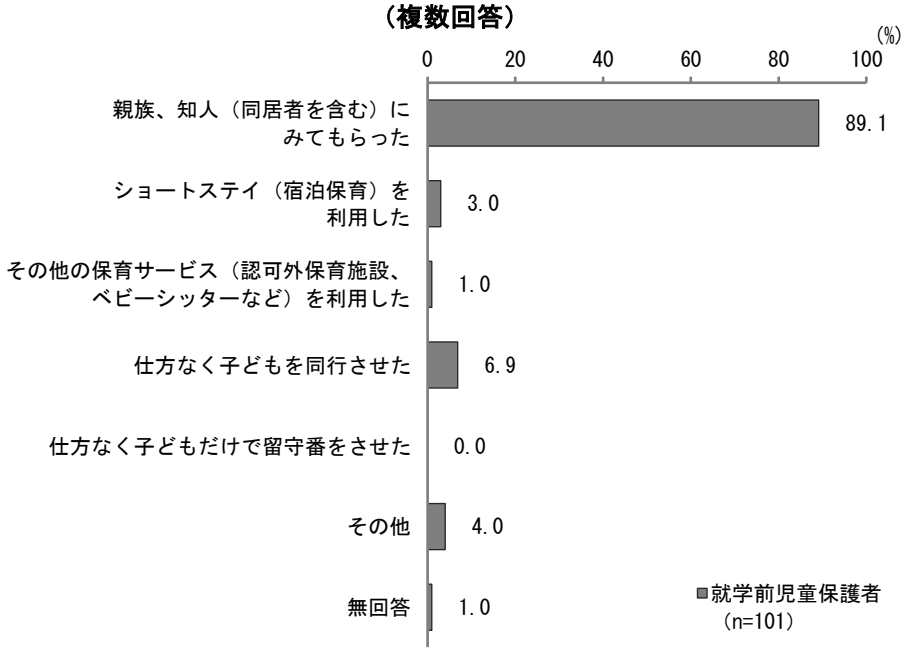


※問２３－１は、問２３で「あった」を選択した人のみ回答

問２３－１　家族以外にみてもらわなければならないときはどうしましたか。
【あてはまるものすべてに○】
対処方法としてあてはまる場合、１年間の泊数（おおよそ）を数字でご記入ください。

- 「親族、知人（同居者を含む）にみてもらった」が８９．１％と最も多く、他の項目は１割未満となっています。

泊りがけでみてもらった際の対処方法
（複数回答）



【泊りがけで子どもをみてもらった際の年間泊数】

- 「親族、知人（同居者を含む）にみてもらった」では「１～４泊」の割合が最も高く、次いで「５～９泊」の割合が高くなっています。

泊りがけで子どもをみてもらった際の年間泊数

(%)

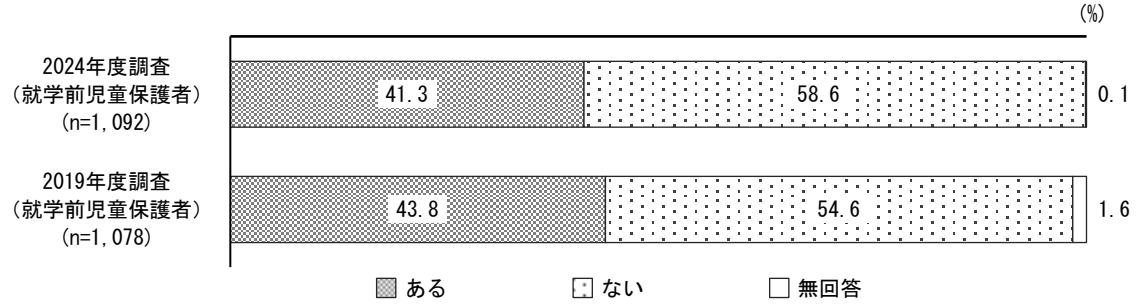
区分	回答者数（件）	1～4泊	5～9泊	10～14泊	15～19泊	20泊以上	無回答
親族、知人（同居人含む）にみてもらった	90	48.9	27.8	11.1	－	8.9	3.3
ショートステイを利用した	3	66.7	33.3	－	－	－	－
その他の保育サービスを利用した	1	－	100.0	－	－	－	－
仕方なく子どもを同行させた	7	85.7	14.3	－	－	－	－
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	0	－	－	－	－	－	－
その他	4	25.0	25.0	－	25.0	－	25.0

（１０）子育て支援事業の利用状況について

問２４（１）　子育てひろば事業についてお答えください。
子育てひろば事業を利用したことはありますか。【○は１つだけ】
ある場合、利用回数を数字でご記入ください。

- ２０１９年度調査と比較して、「ない」の割合が４ポイント増加していますが、大きな変化は見られません。

子育てひろば事業の利用有無



【子どもの年齢別】

- 子どもの年齢別でみると、１歳では「ある」の方が高い割合となっています。
- ４歳以上では「ある」の割合が３割台で、他の年齢より低くなっています。

子育てひろば事業の利用有無【子どもの年齢別】

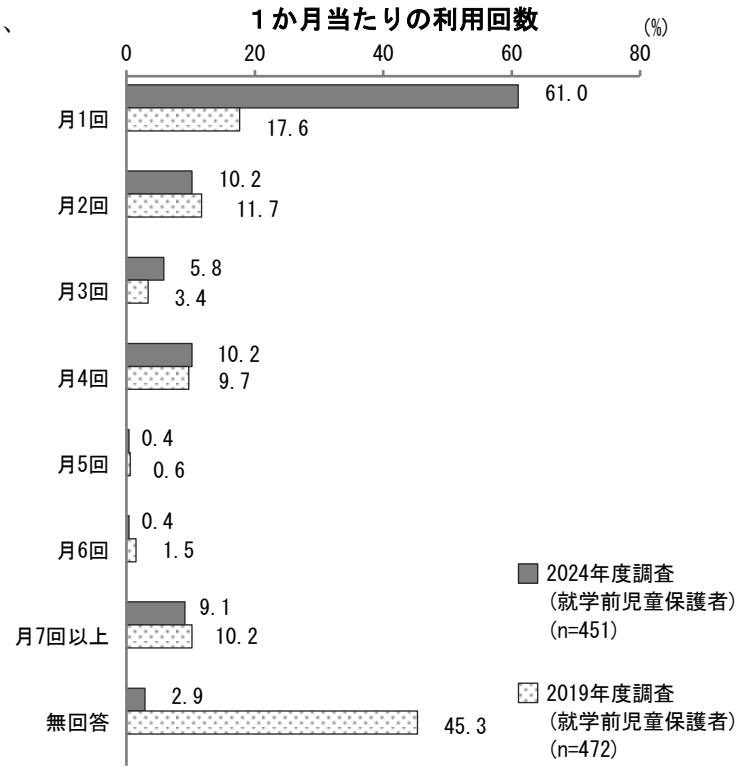
(%)

区分	回答者数（件）	ある	ない	無回答
0歳	165	46.7	53.3	－
1歳	144	52.1	47.9	－
2歳	177	43.5	56.5	－
3歳	200	42.0	58.0	－
4歳	189	35.4	64.6	－
5歳	201	31.8	67.7	0.5

※【１か月当たりの利用回数】は、問２４（１）で「ある」を選択した人のみ回答

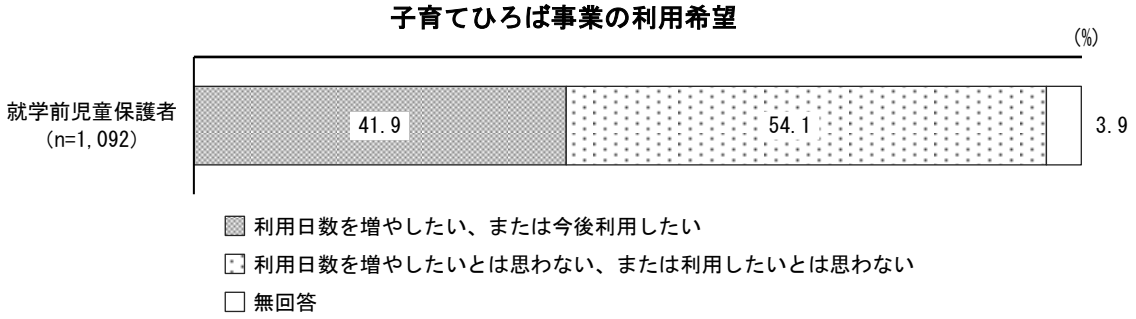
【１か月当たりの利用回数】

- 「月１回」が６１．０％と最も多く、次いで「月２回」と「月４回」が１０．２％となっています。
- ２０１９年度調査と比較して、「月１回」が４０ポイント以上増加しています。



問２４（２）　子育てひろば事業についてお答えください。
子育てひろば事業を今後利用したいと思いますか。【○は１つだけ】
利用したい場合、利用回数を数字でご記入ください。

子育てひろば事業の利用希望



【子どもの年齢別】

● 子どもの年齢別でみると、０歳と１歳では「利用日数を増やしたい、または今後利用したい」の割合が高く、それ以外では「利用日数を増やしたいとは思わない、または利用したいとは思わない」の割合が高くなっています。

子育てひろば事業の利用希望【子どもの年齢別】

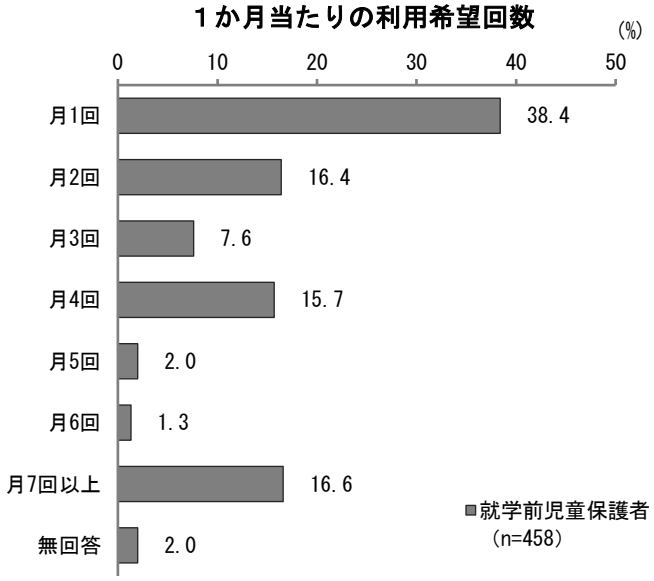
(%)

区分	回答者数（件）	利用日数を増やしたい、または今後利用したい	利用日数を増やしたいとは思わない、または利用したいとは思わない	無回答
0歳	165	63.0	32.7	4.2
1歳	144	52.1	43.8	4.2
2歳	177	41.8	54.8	3.4
3歳	200	35.5	61.5	3.0
4歳	189	35.4	59.8	4.8
5歳	201	29.4	66.2	4.5

※【１か月当たりの利用希望回数】は、問２４（２）で「利用日数を増やしたい、または今後利用したい」を選択した人のみ回答

【１か月当たりの利用希望回数】

- 「月１回」が３８．４％と最も多く、次いで「月７回以上」が１６．６％、「月２回」が１６．４％となっています。



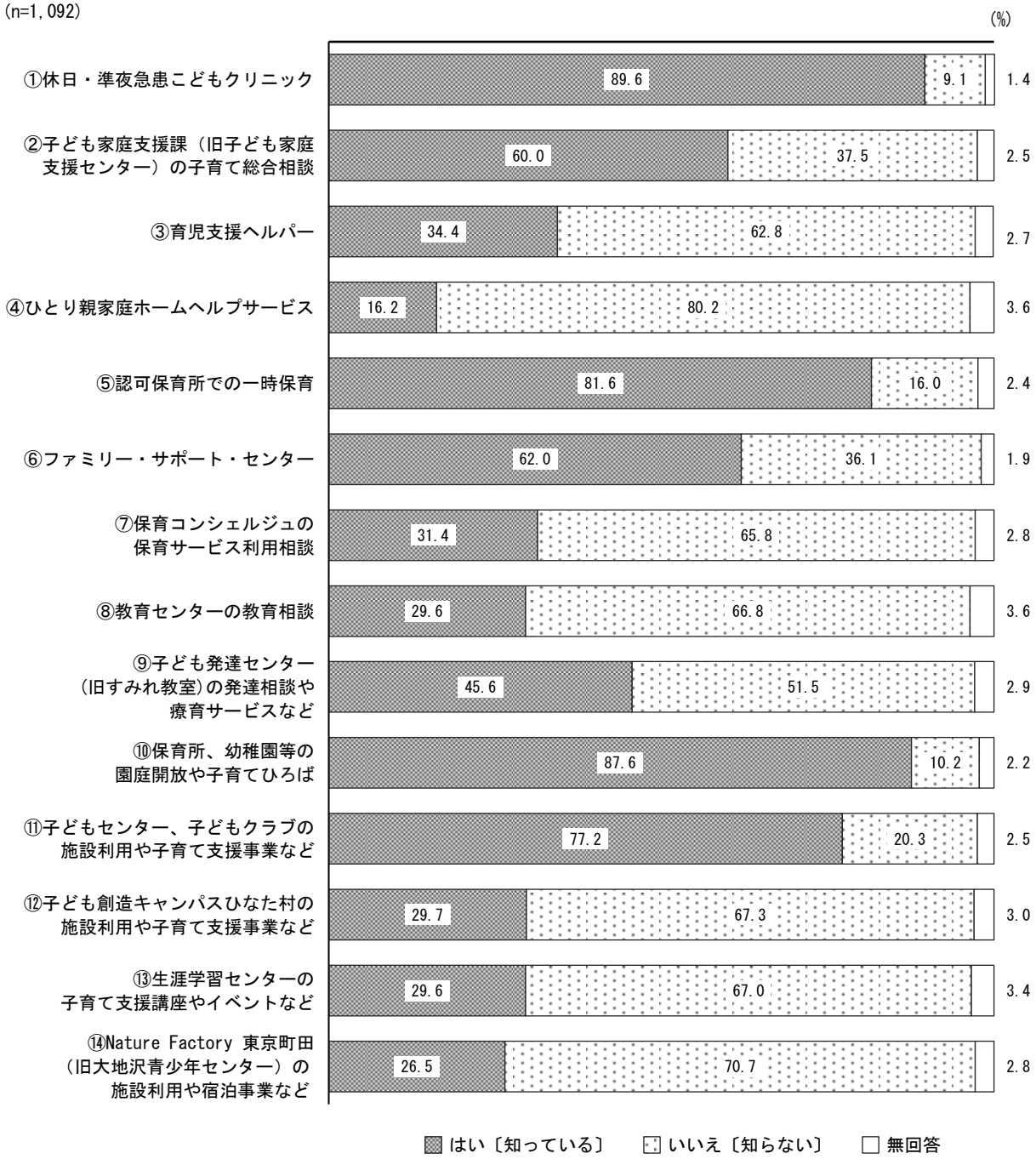
問２５　下記のサービスについて、お答えください。①～⑭の事業ごとに、Ａ～Ｃのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

【Ａ　認知度】

- 『①休日・準夜急患こどもクリニック』『⑤認可保育所での一時保育』『⑩保育所、幼稚園等の園庭開放や子育てひろば』は、知っている人の割合が８割以上と高くなっています。
- 『④ひとり親家庭ホームヘルプサービス』は知らない人の割合が８割と、認知度が低くなっています。

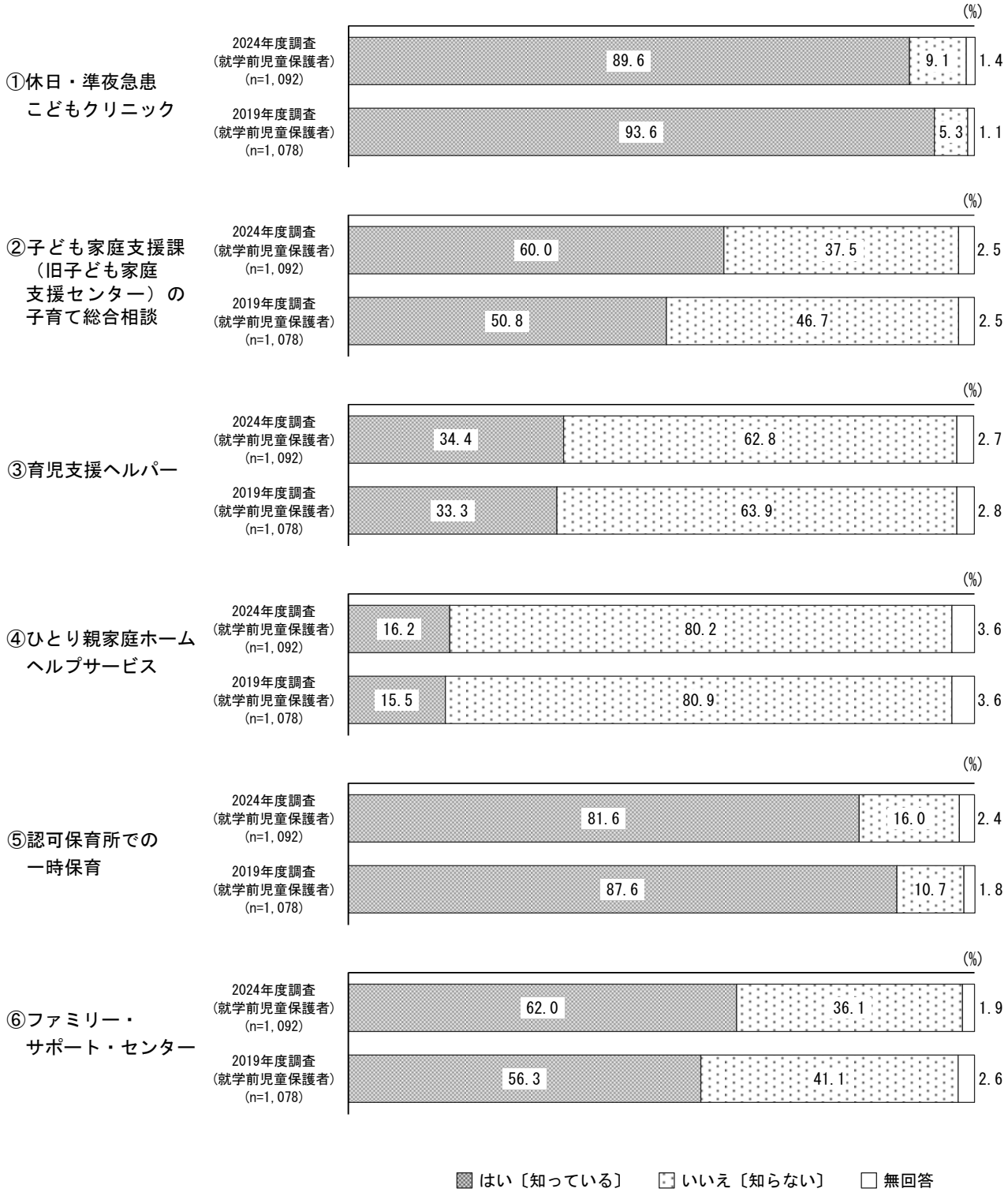
子育て支援事業の認知度

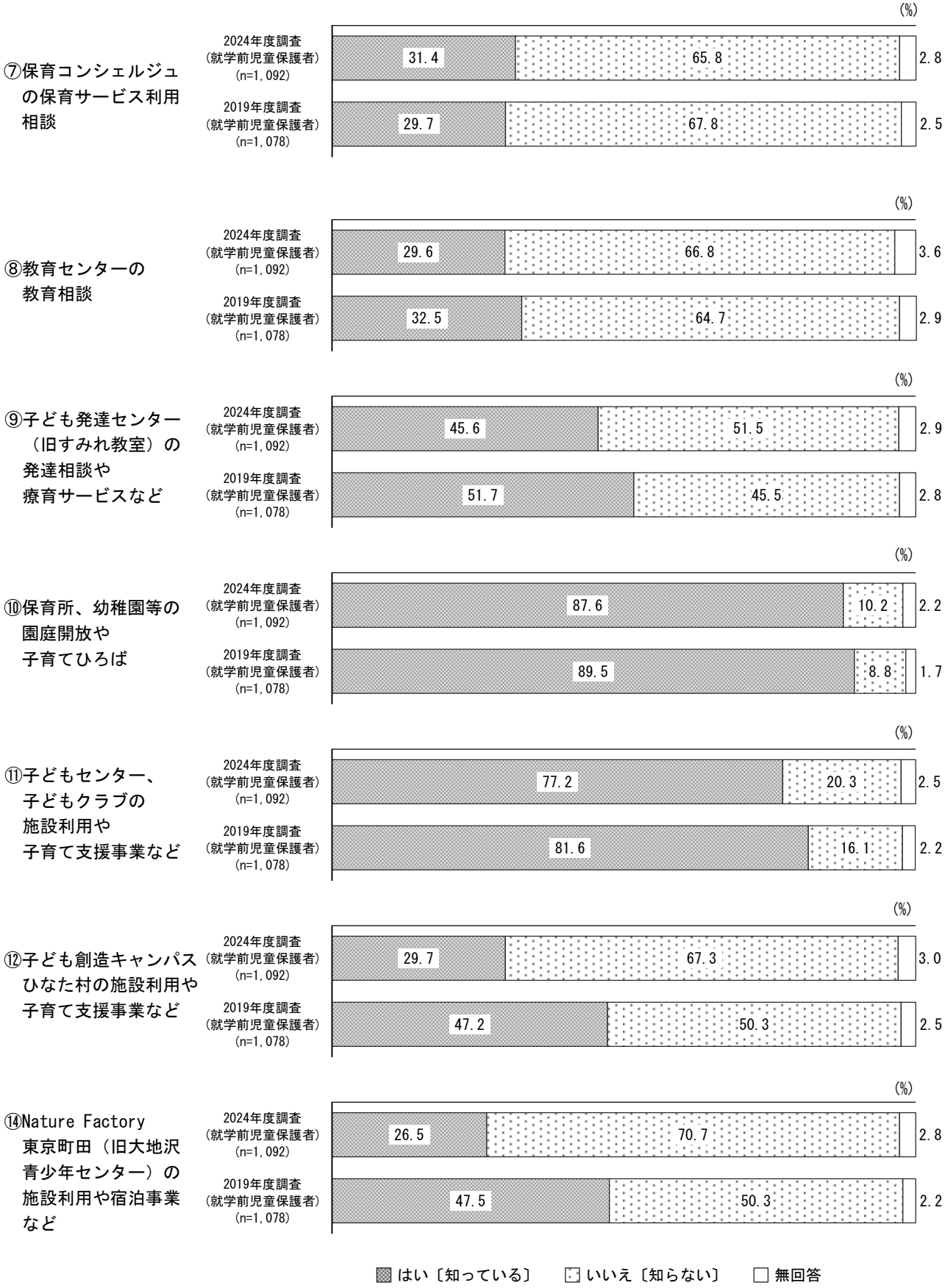
就学前児童保護者
(n=1,092)



○ ２０１９年度調査との比較

- ２０１９年度調査と比較して、『⑫子ども創造キャンパスひなた村の施設利用や子育て支援事業など』と『⑭Ｎａｔｕｒｅ　Ｆａｃｔｏｒｙ東京町田（旧大地沢青少年センター）の施設利用や宿泊事業など』では、知っている人の割合が大きく減少しています。

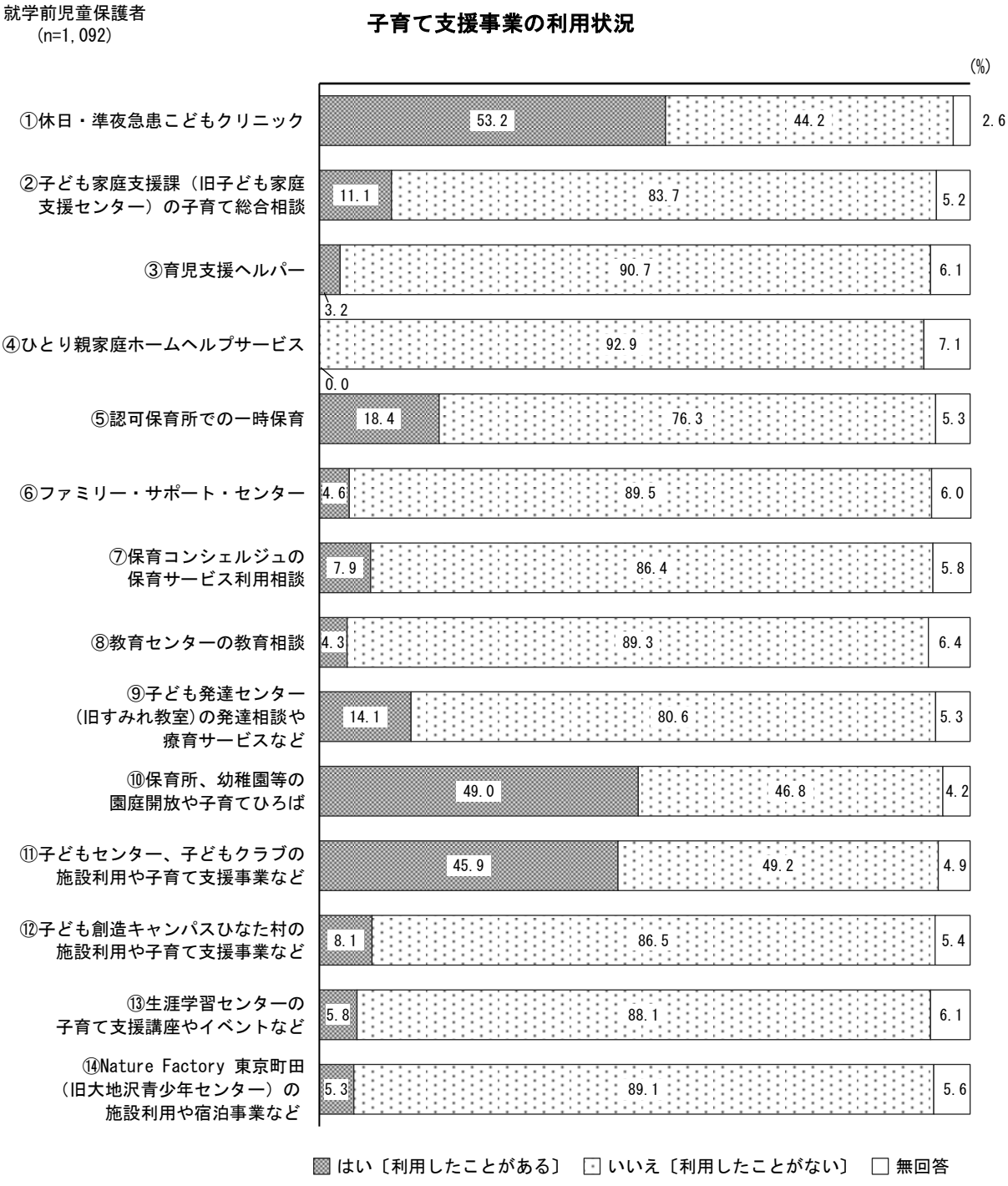




※「⑬生涯学習センターの子育て支援講座やイベントなど」は２０２４年度調査からの新規項目のため、比較なし。

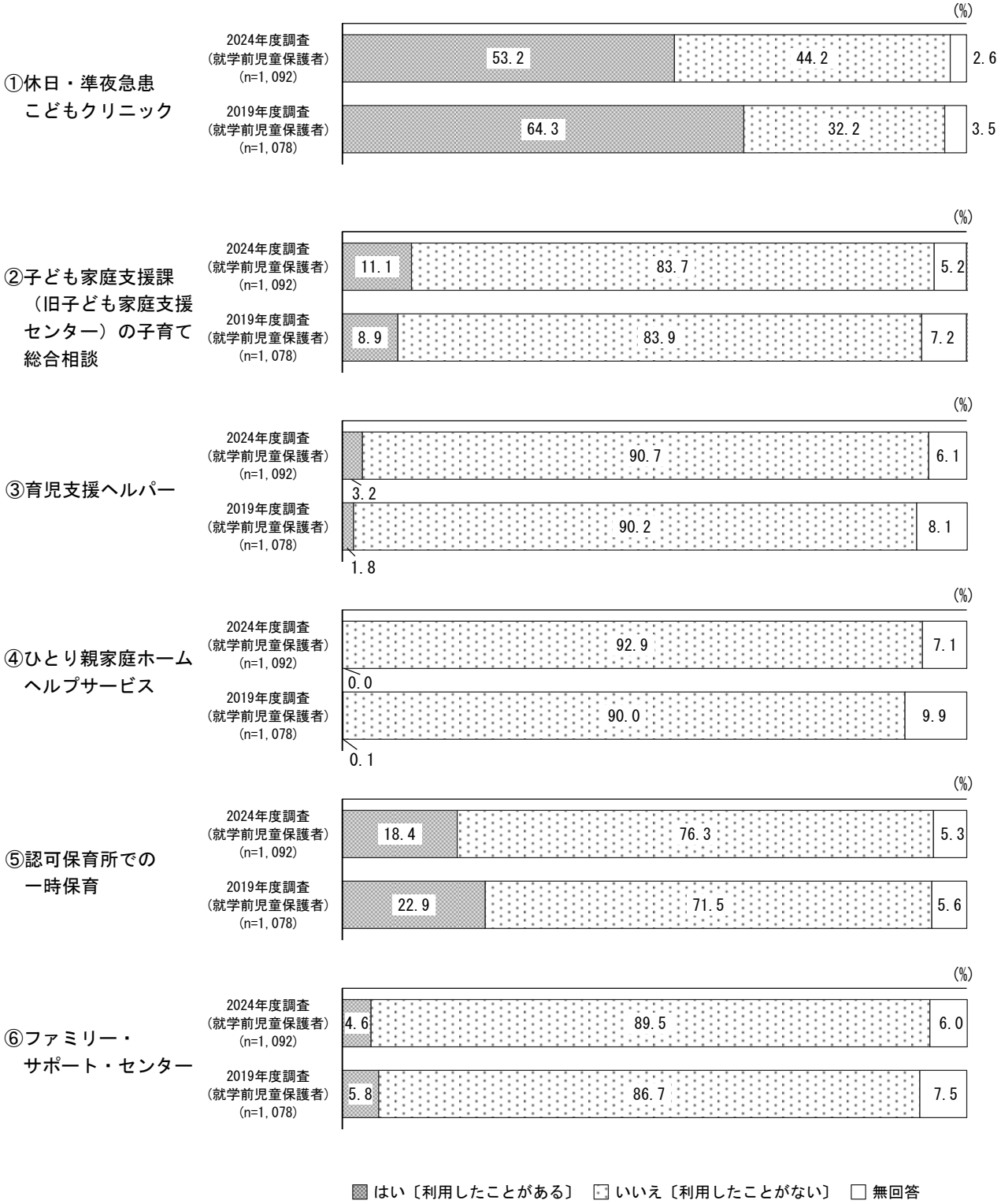
【B　利用状況】

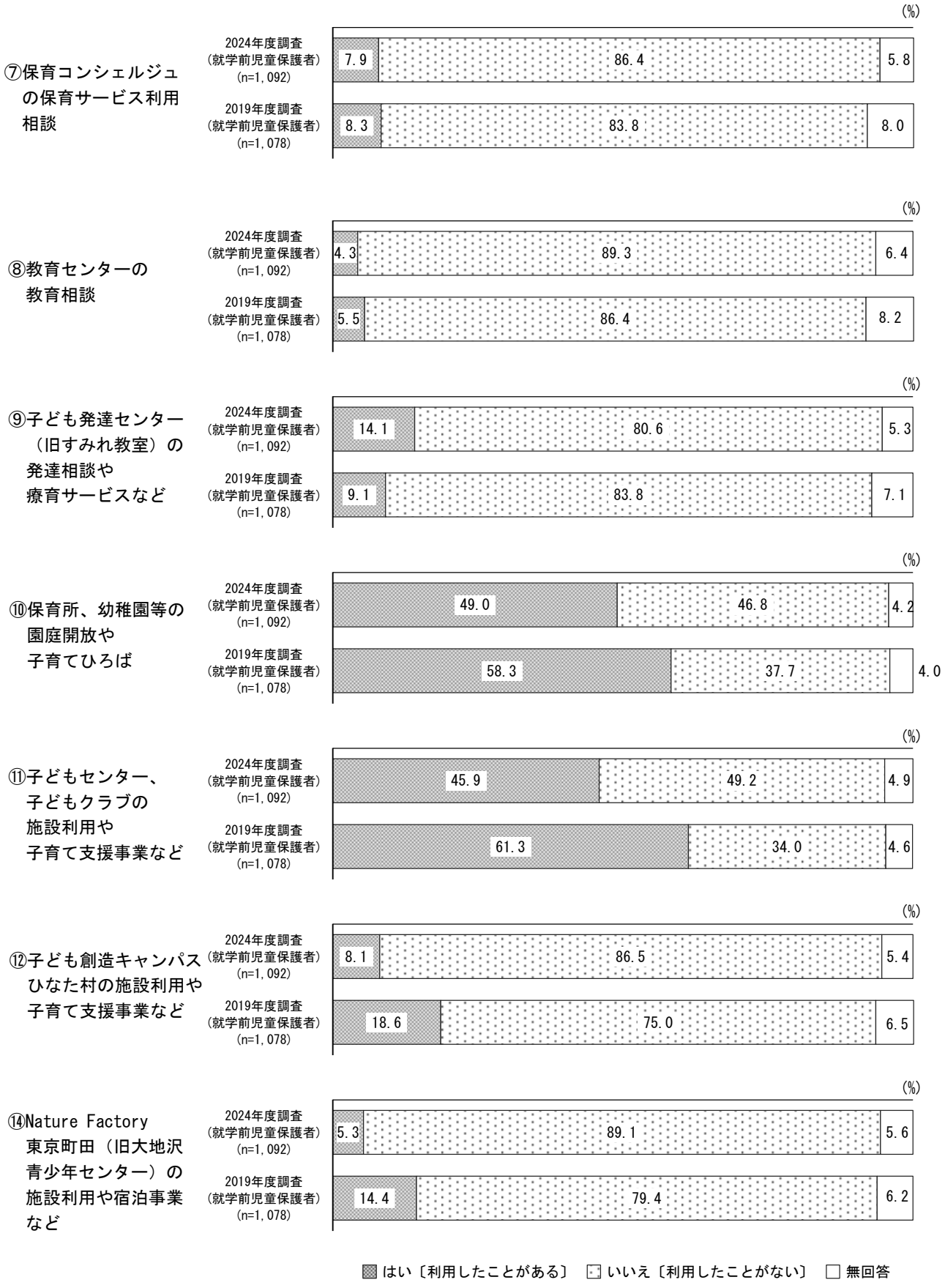
- 『休日・準夜急患こどもクリニック』『⑩保育所、幼稚園等の園庭開放や子育てひろば』『⑪子どもセンター、子どもクラブの施設利用や子育て支援事業など』は利用したことがある人の割合が５割前後と、他の事業に比べて高くなっています。
- 上記の事業と『⑤認可保育所での一時保育』を除いたすべての事業で、利用したことがない人の割合が８割以上となっています。



○ ２０１９年度調査との比較

- ２０１９年度調査と比較して、『②子ども家庭支援課（旧子ども家庭支援センター）の子育て相談』『③育児支援ヘルパー』『⑨子ども発達支援センター（旧すみれ教室）の発達相談や療育サービスなど』以外では、利用したことがある人の割合が減少しています。





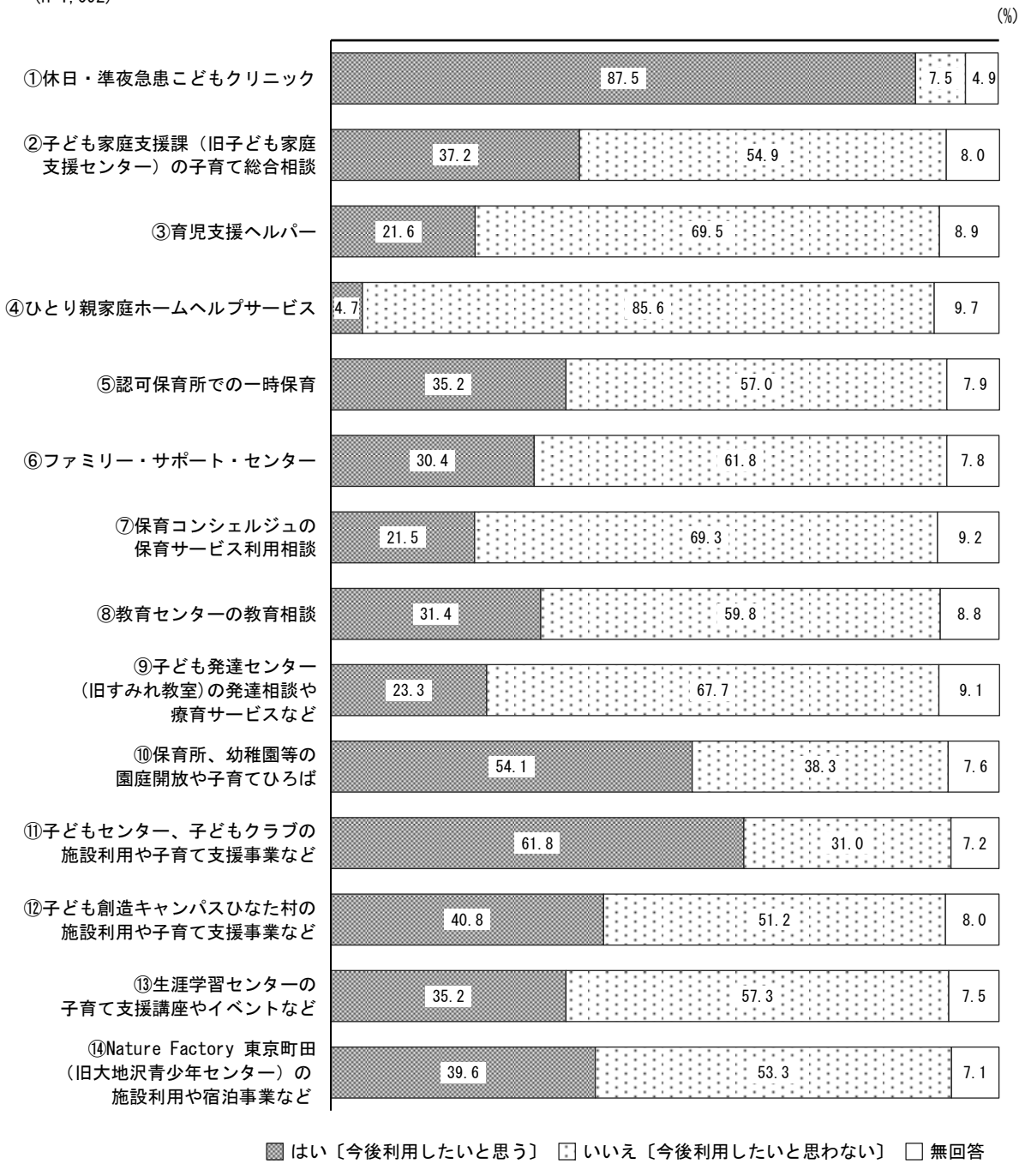
※「⑬生涯学習センターの子育て支援講座やイベントなど」は２０２４年度調査からの新規項目のため、比較なし。

【C　利用意向】

- 休日・準夜急患こどもクリニック』は今後利用したいと思う人の割合が８割以上と、最も利用意向が高くなっています。
- 『③育児支援ヘルパー』『④ひとり親家庭ホームヘルプサービス』『⑦保育コンシェルジュの保育サービス利用相談』『⑨子ども発達センター（旧すみれ教室）の発達相談や療育サービスなど』は、今後利用したいと思う人の割合が３割以下と低くなっています。

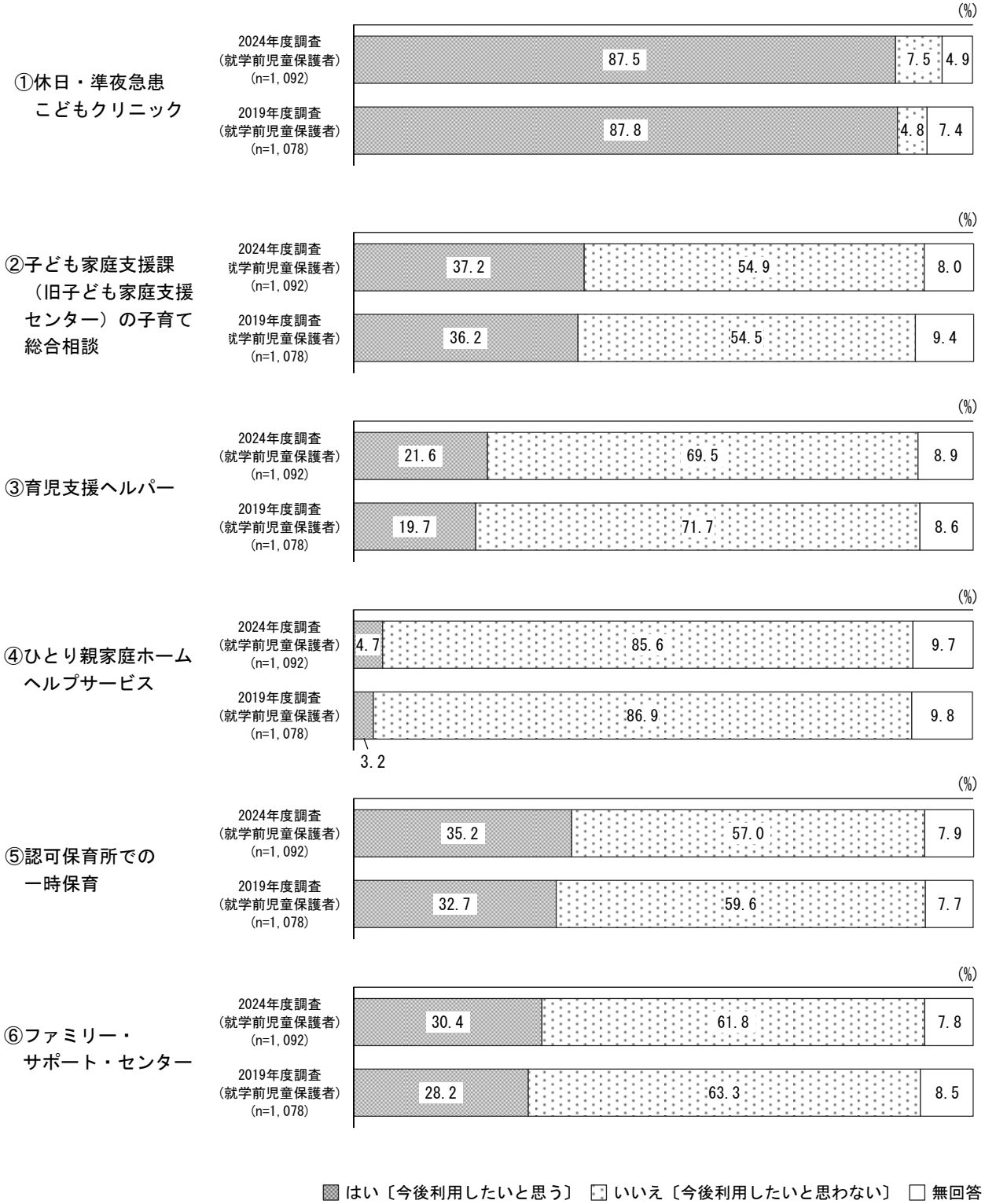
就学前児童保護者
(n=1,092)

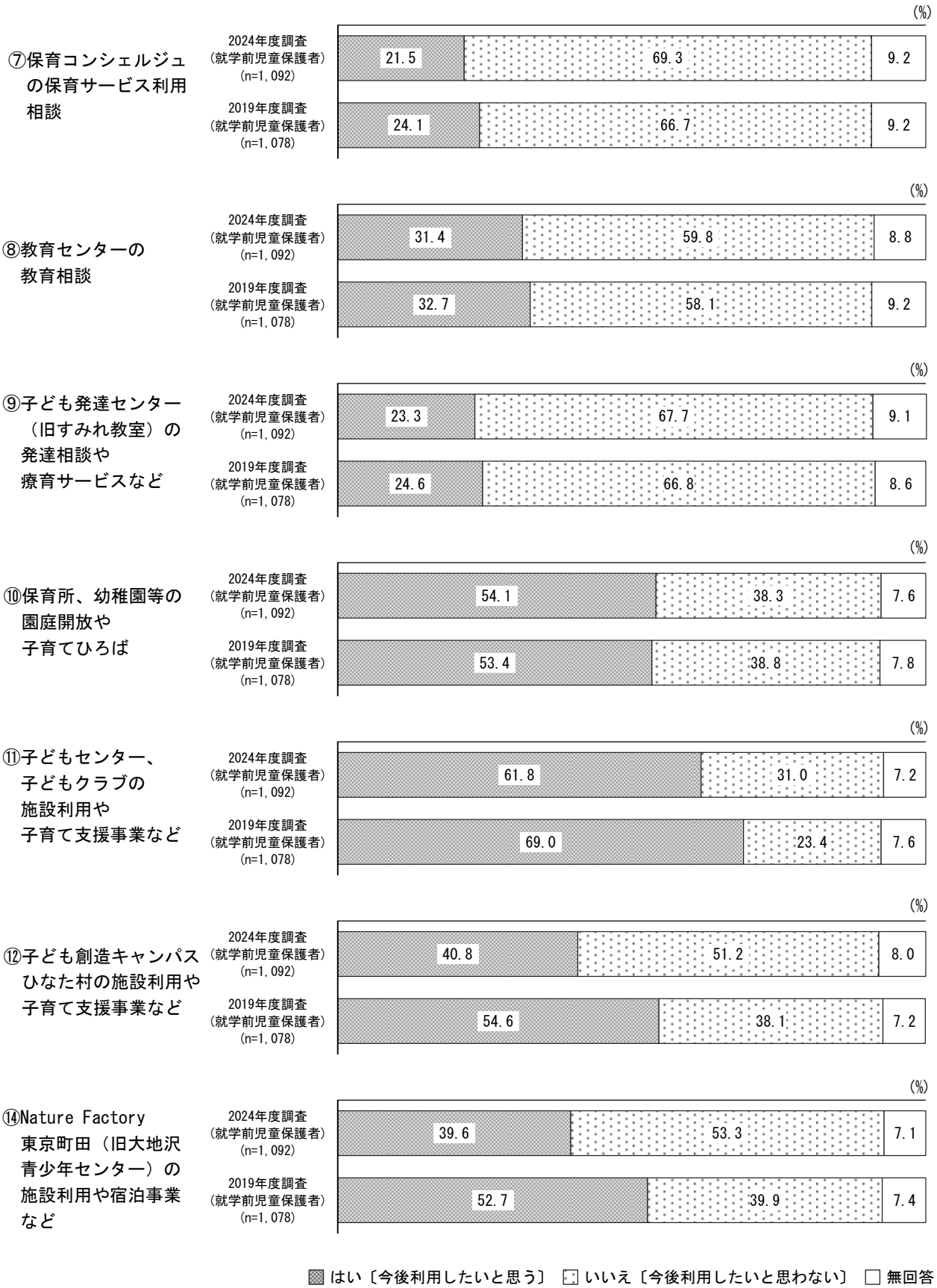
子育て支援事業の利用意向



○ ２０１９年度調査との比較

- ２０１９年度調査と比較して、『⑫子ども創造キャンパスひなた村の施設利用や子育て支援事業など』と『⑭Ｎａｔｕｒｅ　Ｆａｃｔｏｒｙ東京町田（旧大地沢青少年センター）の施設利用や宿泊事業など』では、今後利用したいと思う人の割合が１０ポイント以上減少しています。



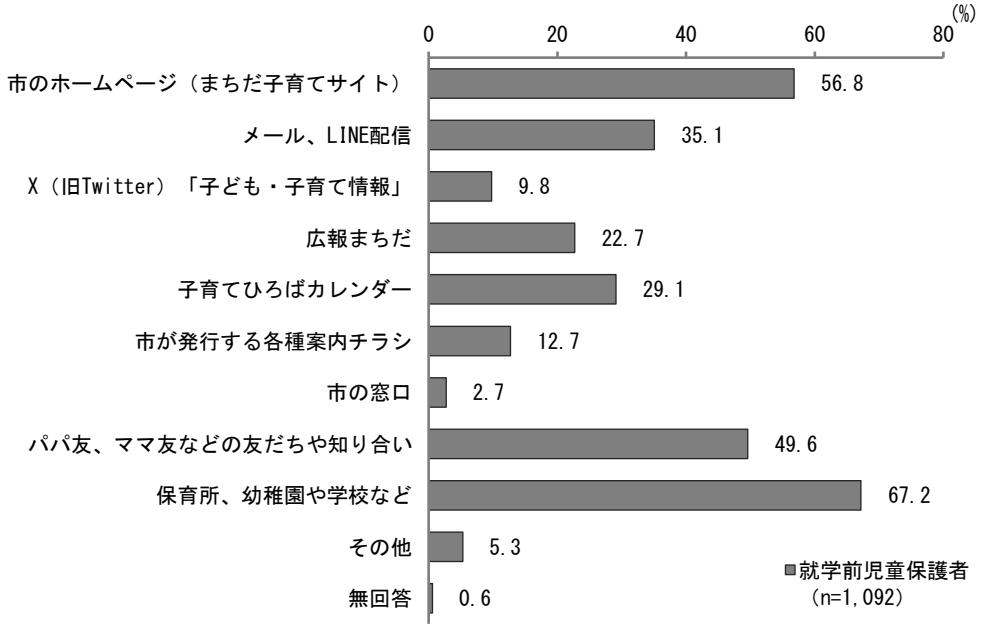


※「⑬生涯学習センターの子育て支援講座やイベントなど」は２０２４年度調査からの新規項目のため、比較なし。

問２６　子育てに関する情報をどのように得ていますか。【あてはまるものすべてに○】

- 「保育所、幼稚園や学校など」が６７．２％と最も多く、次いで「市のホームページ（まちだ子育てサイト)」が５６．８％、「パパ友、ママ友などの友だちや知り合い」が４９．６％となっています。

子育て情報の入手方法
（複数回答）

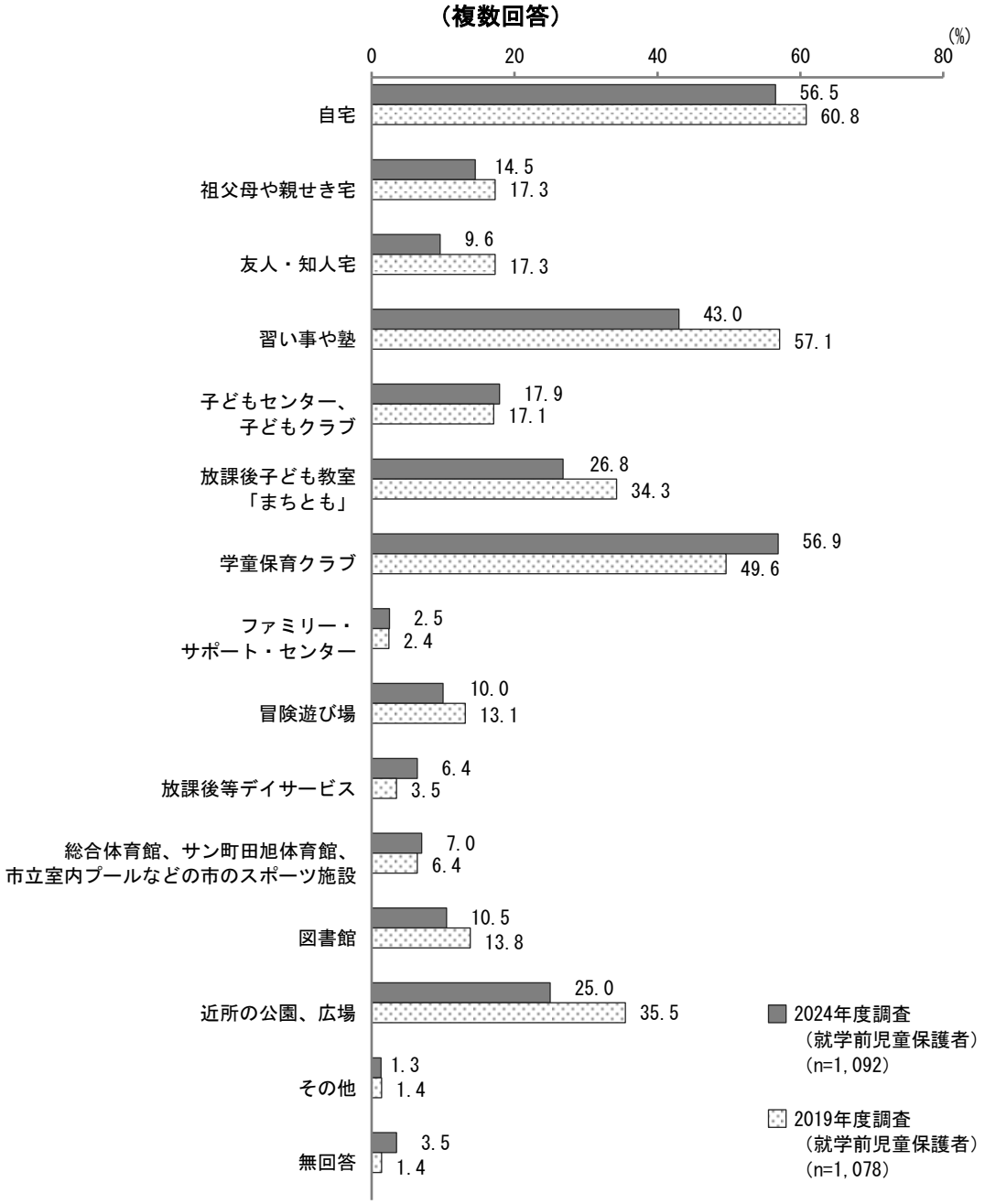


（１１）放課後の過ごし方について

問２７　あて名のお子さんが小学校低学年（１～３年生）の間は、放課後（平日の授業終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいですか。【あてはまるものすべてに○】
過ごさせたい場所にあてはまる場合、希望する週当たりの日数を数字でご記入ください。

- 「学童保育クラブ」が５６．９％と最も多く、次いで「自宅」が５６．５％、「習い事や塾」が４３．０％となっています。
- ２０１９年度調査と比較して、「習い事や塾」「近所の公園、広場」の割合が１０ポイント以上減少し、「学童保育クラブ」の割合が７ポイントほど増加しています。

放課後の時間を過ごさせたい場所（低学年）
（複数回答）



【１週当たりの希望日数】

- ほとんどの場所で「１日」または「２日」の割合が最も高くなっています。
- 学童保育クラブと放課後等デイサービスでは「５日」の割合が最も高くなっており、特に学童保育クラブでは約半数となっています。

過ごさせたい１週当たりの日数（低学年）

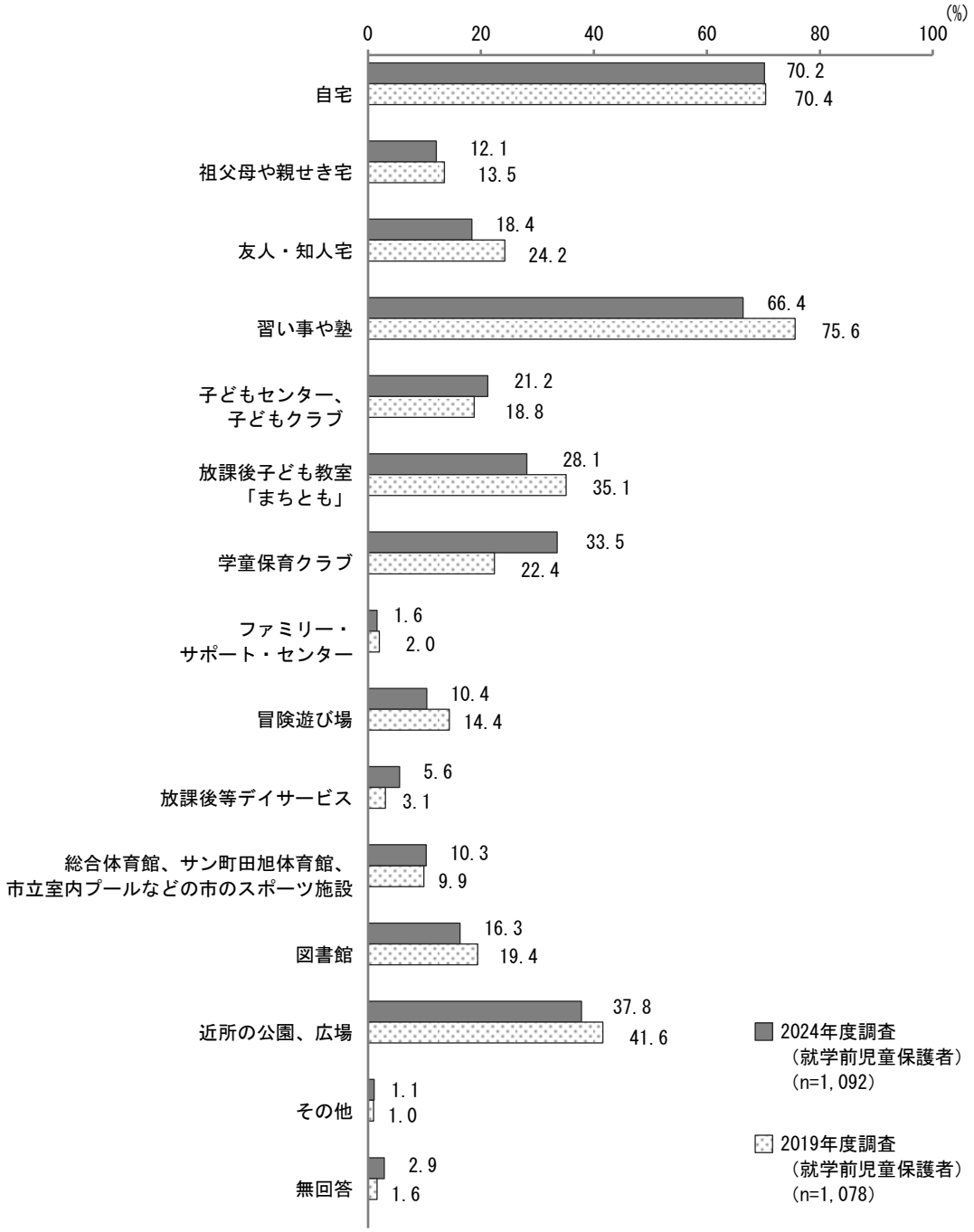
(%)

区分	回答者数（件）	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
自宅	617	12.2	25.0	21.1	8.8	19.6	0.8	3.4	9.2
祖父母や親せき宅	158	44.3	20.9	13.3	0.6	7.6	－	1.9	11.4
友人・知人宅	105	44.8	30.5	5.7	－	1.9	－	1.0	16.2
習い事や塾	470	37.9	42.8	10.6	1.1	1.3	－	－	6.4
子どもセンター、子どもクラブ	196	35.2	26.5	11.2	1.5	13.8	－	0.5	11.2
放課後子ども教室「まちとも」	293	26.3	23.9	19.5	3.4	19.1	0.7	－	7.2
学童保育クラブ	621	7.1	10.5	16.6	9.7	48.3	1.3	－	6.6
ファミリー・サポート・センター	27	33.3	29.6	3.7	－	14.8	－	－	18.5
冒険遊び場	109	45.0	24.8	9.2	－	4.6	0.9	－	15.6
放課後等デイサービス	70	21.4	18.6	21.4	2.9	24.3	1.4	－	10.0
総合体育館、サン町田旭体育館、市立室内プールなどの市のスポーツ施設	76	61.8	19.7	1.3	－	1.3	－	－	15.8
図書館	115	60.9	15.7	8.7	－	1.7	－	－	13.0
近所の公園、広場	273	23.1	27.8	23.1	4.8	8.4	0.4	1.5	11.0
その他	14	7.1	28.6	－	7.1	21.4	－	－	35.7

問２８　あて名のお子さんが小学校高学年（４～６年生）になったら、放課後（平日の授業終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいですか。【あてはまるものすべてに○】
過ごさせたい場所にあてはまる場合、希望する週当たりの日数を数字でご記入ください。

- 「自宅」が７０．２％と最も多く、次いで「習い事や塾」が６６．４％、「近所の公園、広場」が３７．８％となっています。
- ２０１９年度調査と比較して、「習い事や塾」「放課後子ども教室「まちとも」」の割合が７～９ポイントほど減少し、「学童保育クラブ」の割合が１０ポイント以上増加しています。

放課後の時間を過ごさせたい場所（高学年）
（複数回答）



【１週当たりの希望日数】

- ほとんどの場所で「１日」から「３日」の割合が最も高くなっていますが、学童保育クラブでは「５日」の割合が３割と最も高くなっています。

過ごさせたい１週当たりの日数（高学年）

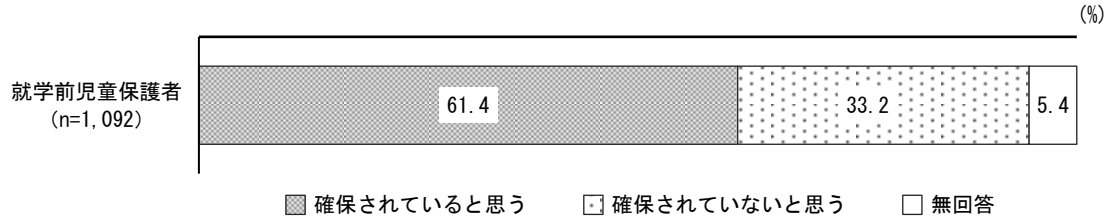
(%)

区分	回答者数(件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
自宅	767	15.9	26.2	19.4	5.7	20.1	0.9	2.5	9.3
祖父母や親せき宅	132	43.2	22.7	7.6	1.5	11.4	0.8	1.5	11.4
友人・知人宅	201	48.8	23.9	9.0	2.5	1.5	－	0.5	13.9
習い事や塾	725	24.8	40.8	21.4	2.6	2.2	0.3	0.1	7.7
子どもセンター、子どもクラブ	232	30.2	26.7	15.1	3.0	9.5	－	0.4	15.1
放課後子ども教室「まちとも」	307	22.5	21.2	26.1	3.9	15.0	0.3	－	11.1
学童保育クラブ	366	9.0	20.5	21.0	7.1	30.1	1.1	－	11.2
ファミリー・サポート・センター	18	38.9	16.7	11.1	－	16.7	－	－	16.7
冒険遊び場	114	39.5	23.7	10.5	0.9	3.5	0.9	－	21.1
放課後等デイサービス	61	21.3	19.7	23.0	3.3	23.0	1.6	－	8.2
総合体育館、サン町田旭体育館、市立室内プールなどの市のスポーツ施設	113	42.5	25.7	13.3	－	1.8	0.9	－	15.9
図書館	178	53.4	16.3	11.2	－	2.2	－	－	16.9
近所の公園、広場	413	22.3	26.4	21.3	5.8	9.4	0.2	1.2	13.3
その他	12	8.3	16.7	8.3	8.3	16.7	－	－	41.7

（１２）子どもの居場所について

問２９　町田市では、子どもが放課後や休日に過ごす場所（子どもの居場所）は確保されていると思いますか。【○は１つだけ】
※家と学校は除きます。

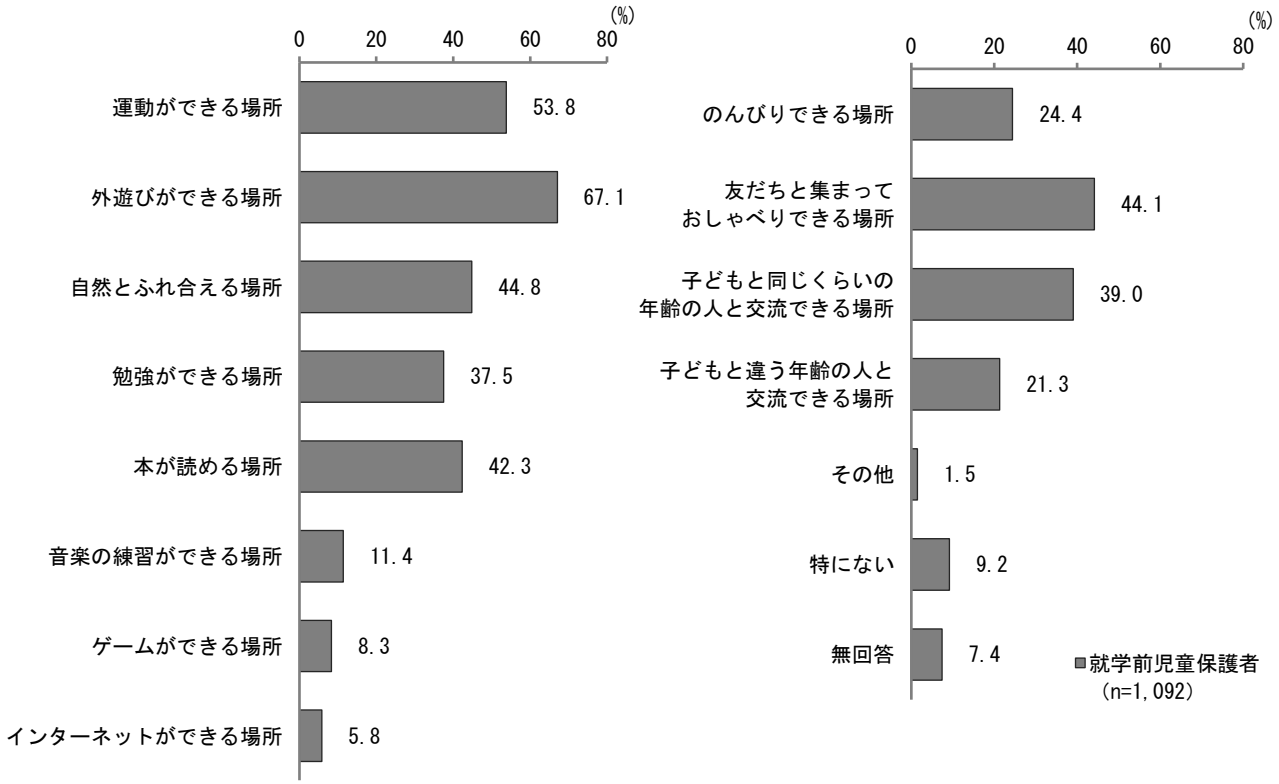
子どもの居場所の確保の状況



問２９－１　子どもが放課後や休日に過ごす場所（子どもの居場所）として確保されていると思う場所はどこですか。【あてはまるものすべてに○】

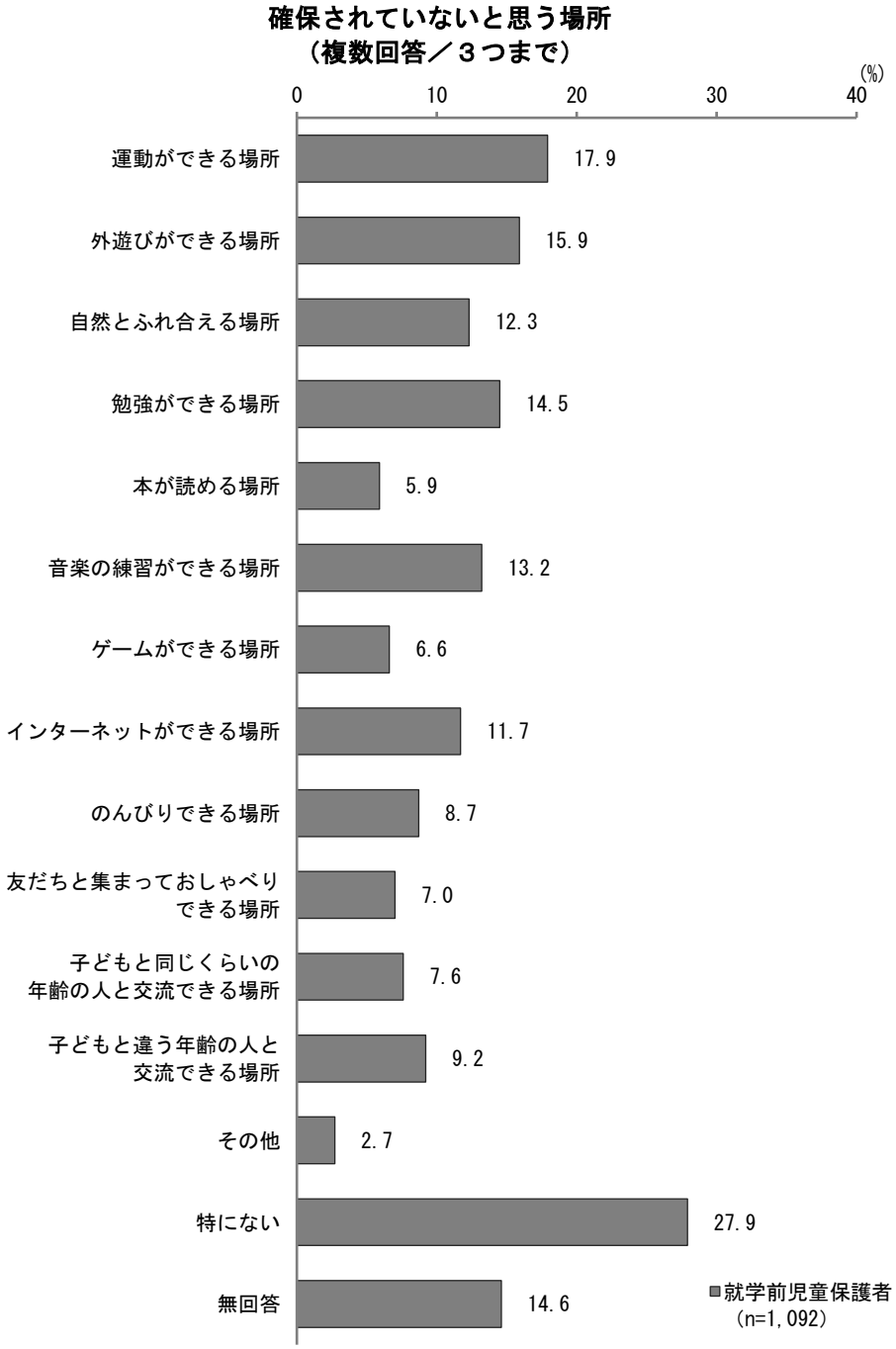
- 「外遊びができる場所」が６７．１％と最も多く、次いで「運動ができる場所」が５３．８％、「自然とふれ合える場所」が４４．８％となっています。

確保されていると思う場所
（複数回答）



問２９－２　子どもが放課後や休日に過ごす場所（子どもの居場所）として確保されていないと思う場所はどこですか。【○は３つまで】

- 「特にない」が２７．９％と最も多く、次いで「運動ができる場所」が１７．９％、「外遊びができる場所」が１５．９％となっています。

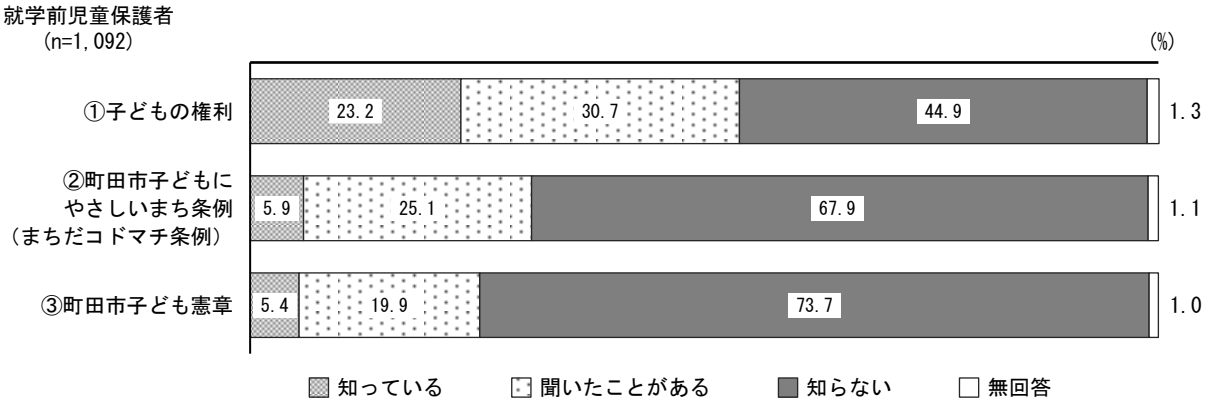


（１３）「子どもの権利」について

問３０　子どもには大切な「子どもの権利」があります。
町田市では、「子どもの権利」に関する条例「町田市子どもにやさしいまち条例」や、子ども自身の意見でつくられた子どもの行動指針「町田市子ども憲章」があります。
あなたは、これらについて知っていますか。
①～③について、それぞれ１つに○をつけてください。

- 『①子どもの権利』は認知度（「知っている」と「聞いたことがある」の合計）が５割を超えているのに対し、『②町田市子どもにやさしいまち条例（まちだコドマチ条例(ルール)）』と『③町田市子ども憲章』の認知度は３割程度となっています。

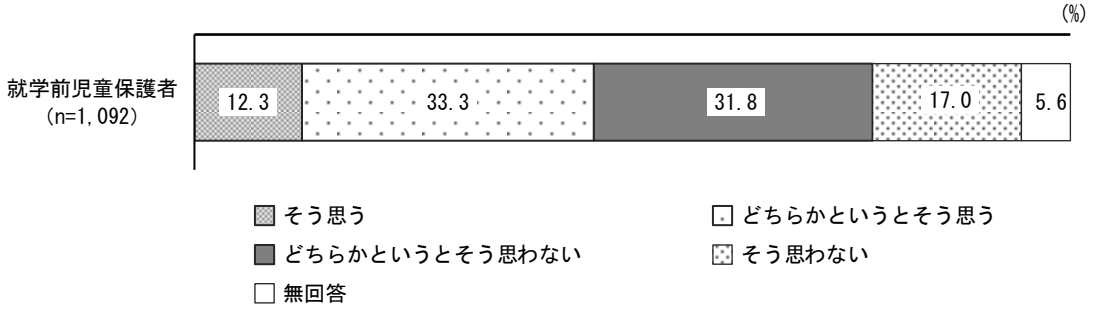
「子どもの権利」「まちだコドマチ条例(ルール)」「町田市子ども憲章」の認知度



問３１　「子どもの権利」の１つに「参加する権利」があります。「参加する権利」には、自分に関わることについて、意見が言えて、意見が大切にされることが含まれます。
町田市では、学校（授業以外）や地域などで子どもが意見を言ったり、決めたりする機会があると思いますか。【○は１つだけ】

- 「どちらかというとそう思う」が３３．３％と最も多く、次いで「どちらかというとそう思わない」が３１．８％、「そう思わない」が１７．０％となっています。

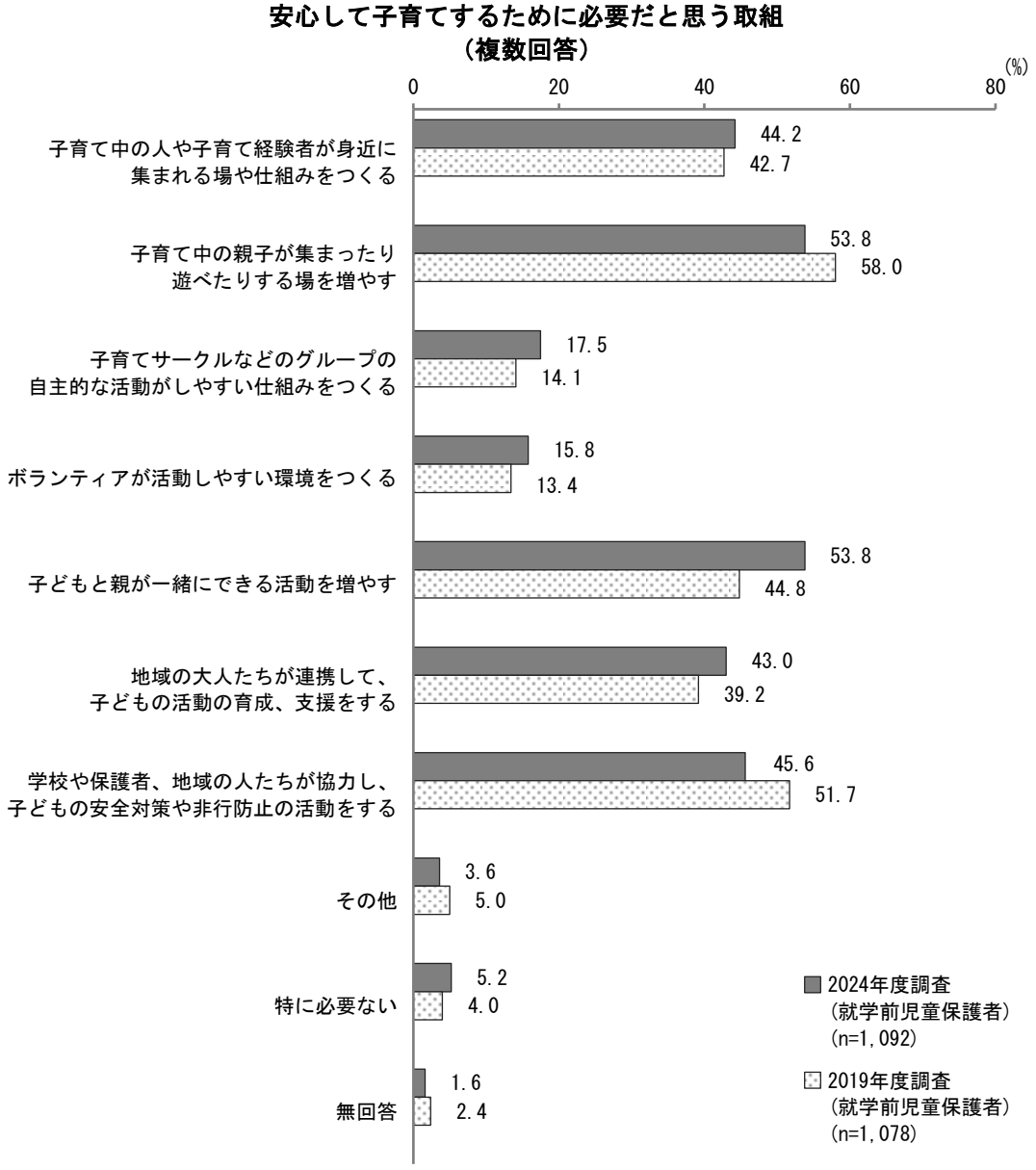
子どもが意見を言ったり、決めたりする機会の有無



（１４）子育て施策全般について

問３２　安心して子育てをするためには、地域の人とどのような取組をする必要があると思いますか。【あてはまるものすべてに○】

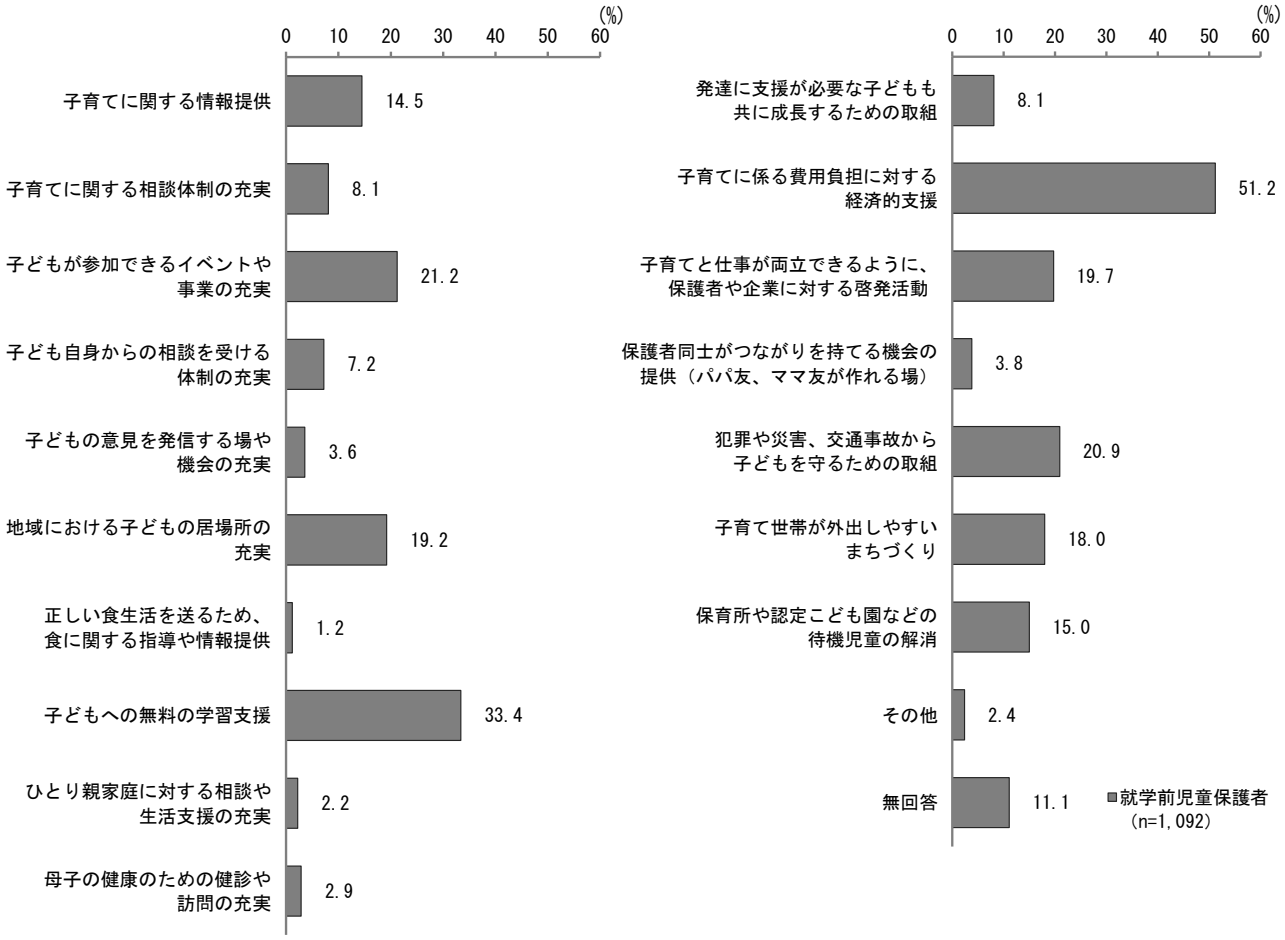
- 「子育て中の親子が集まったり遊べたりする場を増やす」と「子どもと親が一緒にできる活動を増やす」が５３．８％と最も多く、次いで「学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全対策や非行防止の活動をする」が４５．６％となっています。
- ２０１９年度調査と比較して、「子育て中の親子が集まったり遊べたりする場を増やす」と「学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全対策や非行防止の活動をする」の割合が６ポイントほど減少し、「子どもと親が一緒にできる活動を増やす」の割合が９ポイント増加しています。



問３３　市の子育て支援への取組や少子化対策として、期待すること、重要なことは何ですか。
【○は３つまで】

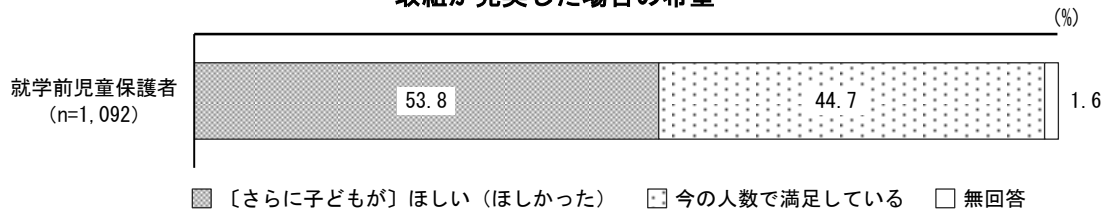
- 「子育てに係る費用負担に対する経済的支援」が５１．２％と最も多く、次いで「子どもへの無料の学習支援」が３３．４％、「子どもが参加できるイベントや事業の充実」が２１．２％となっています。

市に期待する支援や取組
（複数回答／３つまで）



問３４　問３３の取組が充実したとして、あなたは、現在よりさらに子どもがほしい（ほしかった）と思いますか。【○は１つだけ】

取組が充実した場合の希望



【子どもの年齢別】

- 子どもの年齢別でみると、０～２歳は「ほしい（ほしかった）」の割合が高く、３～５歳は「今の人数で満足している」の割合が高くなっています。

取組が充実した場合の希望【子どもの年齢別】

(%)

区分	回答者数（件）	ほしい（ほしかった）	今の人数で満足している	無回答
0歳	165	65.5	32.1	2.4
1歳	144	58.3	38.9	2.8
2歳	177	59.3	39.5	1.1
3歳	200	48.5	51.0	0.5
4歳	189	47.1	51.3	1.6
5歳	201	47.8	50.7	1.5

【母親の就労状況別】

- 母親の就労状況別でみると、『以前は就労していたが、現在は就労していない』『これまでに就労したことがない』以外は「ほしい（ほしかった）」の割合が高くなっています。

取組が充実した場合の希望【母親の就労状況別】

（%）

区分	回答者数（件）	ほしい（ほしかった）	今の人数で満足している	無回答
フルタイム	332	58.1	41.0	0.9
フルタイムで、現在産休・育休・介護休暇中	126	64.3	33.3	2.4
パートタイム、アルバイトなど	287	54.0	43.9	2.1
パートタイム、アルバイトなどで、現在産休・育休・介護休暇中	26	50.0	42.3	7.7
以前は就労していたが、現在は就労していない	287	47.4	51.9	0.7
これまでに就労したことがない	17	11.8	82.4	5.9

問３５　子育てに関するご意見があれば、ご自由にご記入ください。

- アンケート調査票の自由記述欄において、４２１人の方から、計６７１件の意見を寄せていただきました。
- 掲載している文章は、回答原文のうち各分類に関連する部分を要約・抜粋したものです。

【主な意見】

回答分類	件数
１　保育所・幼稚園等について	**５１**
（１）保育所・幼稚園等の受け入れ（利用条件）について	**１６**
・保育所について、自宅からの距離を考慮してもらうシステムになると良い。 ・姉弟で同じところに入所できるようにしてほしい。	
（２）保育所・幼稚園等の夜間・休日、長期休暇の受入れについて	**２**
・幼稚園で預かり保育を利用することがあるが、土曜日は保育時間が短く、仕事をするには不便。もう少し、土曜日の保育が充実していると助かる。	
（３）保育所・幼稚園等の利用に関する費用について	**１４**
・０～３歳までの保育料の無償化または少額化を希望。 ・幼稚園にかかる費用が高い。第２子、第３子への支援を充実することで少子化は対策できるのではないか。幼稚園の特別費にもあてられる補助金がほしい。保育所に入所できない第２子以降への補助をプラスしてほしい。	
（４）保育所・幼稚園等の質の向上について	**１０**
・認可保育所について、質が保育所によって違うのは、保育料が同じだけに複雑に感じる。	
（５）待機児童・施設設備について	**９**
・就労したいが子どもを預ける所がない。（近くに保育所はあるが、どこもいっぱいで入所できない）	
２　小学校就学後の生活について	**６９**
（１）小学校について	**３１**
・車通りの多い交差点を子どもだけで渡ることに不安を感じる。４月中だけでも集団登校を行ったり、交通量の多い場所での見守り等があると良い。 ・６学年差の子どもがいるが、第２子の給食費無償化が、上の子が高校に入るまでのため、３年生までの無償化となる。第２子は学年差関係なく、無償化にしてほしい。	
（２）学童保育クラブ・放課後子ども教室「まちとも」について	**３８**
・長期休みの学童オープン時間を午前７時（もしくは午前７時半）にしてほしい。フルタイムで就労していると、長期休みの預け先が見つからない。 ・新１年生４月から、まちともを利用できるようにしてほしい。	

【主な意見】

回答分類	件数
３　子育て支援全般について	１６８
（１）子どもの居場所やイベント（親子イベント、子どもセンター、子育てひろば事業など）について	３７
・子育てひろば（保育所の室内開放など）は、予約なしで出入りできる場所が少なく、子どもの気分や体調に合わせたスケジュールを立てにくい。もっと自由に出入りできる施設を増やしてほしい。 ・イベントがあっても遠くて行けないため、小学校や中学校の体育館を借りてイベントを行うことができれば、歩いて行けるのに思う。	
（２）病児・病後児保育や障がい児への支援について	３３
・子どもが４歳くらいまでは病気がちで、仕事を簡単に休めず苦労したため、病児保育の充実を希望する。施設を増やすこと、病児保育時間を７時～１９時頃までにするなど。また、利用したくても事前登録が必要など、制約も大きい。 ・グレーゾーンを含む発達に支援が必要な子ども達を受け入れてくれる、預かりサポート等のサービスを増やしてほしい。また、特別支援学級の数も少ないと思う。	
（３）子育て支援に関する情報、相談先について	３１
・市が行っているサービスは何かとハードルが高く感じる。出産直後は何に対しても不安だったため、タイムリーに、気軽にＬＩＮＥで相談できるシステムがほしかった。 ・育児支援の拠点に行くと、手厚いサポートが受けられるとわかっているが、拠点が少なく、施策の概要や詳細がわからないことが多い。	
（４）子どもを預けられる場所の充実について	６７
・一時保育の予約が取りにくく、利用できない。 ・２か月までの赤ちゃんを預かってくれるショートステイや、デイケアをもっと増やしてほしい。 ・乳児期に子どもを預けたいと思ったが、条件を満たせず、預けられなくてつらかった。保育士が、市の補助で安価に家まで来てくれるサービスや、子どもセンターなどに立ち寄ると、乳児を２時間くらい見てくれて、その間に親が仮眠を取るなどして、リフレッシュできるサービスがあったら良いと思う。	
４　子育て環境について	２２１
（１）公園・遊び場・外出について	６８
・遊ぶ場所が小さい公園しかないため、いつも家の近くで遊ぶことが多い。子どもが楽しく過ごせる場所がほしい。 ・近隣の公園の遊戯器具が老朽化している。安全性と衛生状況の向上を願う。 ・駅周辺で、屋外や室内で遊べる施設をもっと増やしてほしい。	
（２）公共施設等について	１１
・授乳室（鍵付き、個室）、オムツ交換する場所を増やしてほしい。 ・子どもと親がゆっくりと楽しめる図書館を作ってほしい。	

【主な意見】

回答分類	件数
（３）医療費補助・医療・健診体制について	４２
・１歳半検診のような自治体主体の検診の日程を、土日も選べるようにしてほしい。有給休暇は子の看病で消化しているので、欠勤する必要がある。 ・近くに小児科がなく、子ども２人を連れて、遠方の小児科まで行くのが大変。毎回タクシーを利用すると経済的負担が大きい。車がない世帯もあるため、受診の際にかかる交通費の負担を補助してほしい。	
（４）地域との協力について	１３
・地域のお年寄りの方に、放課後空き教室を使っておりがみや、習字、茶道など教えてもらえる取組があると嬉しい。夏休みのプール教室もやってほしい。 ・仕事と育児で手一杯のため、正直、地域との交流は余裕がない。外に出て、つながりを作れればとは思っているが、そこまでの体力、気力が持てない。	
（５）教育環境や学習支援について	３
・経済格差による子ども達の経験格差があると思う。もっと子ども達が受けられる、勉強やスポーツ、何かの体験学習などがあると良いと思う。	
（６）防犯・安全面について	３０
・人通りが少なく、子どもを一人で歩かせることが不安な道が多い。防犯カメラの設置、カーブミラーの整備や街路樹の整備をお願いしたい。 ・歩道が狭く、ガードレールや歩道すらない場所も多いため、ベビーカーや自転車でも移動が怖い。	
（７）まちづくりについて	５４
・車がないと行きづらい場所が多く、駅近辺以外は乳児、幼児を育てづらいと感じる。 ・子育て世代を集めるためにも、大型ショッピングモールなどを作るべき。駅前以外はカフェなども少なく、子育て世代が交流できるような場所が少ない。もう少し商業施設を市として特定地域に誘致するなどがあっても良いのではないか。 ・家賃が安い公営住宅が、今より増えると良い。	
５　子育て中の保護者の状況について	１２１
（１）社会制度等（育休・就労状況・男女の子育て意識など）について	１２
・職場で育児中の時短勤務が制度としてあるものの、取りづらい雰囲気や、部所内で複数の人が取ることは難しい現状がある。また、取得できるのは未就学児の間だけで、小学校入学後は取れず、不安に感じる。社会全体として、子育てと仕事が両立できる勤務形態を選べるようになってほしい。 ・雇用されていない個人事業主にも育児休業手当を保証するなど、自営業の世帯に向けた経済的支援政策があると良いと思った。個人事業主は、育児休業中は収入がゼロになり、出産育児一時金と児童手当だけでは、出産から育児までの経済的負担をカバーできないのが現状である。	

【主な意見】

回答分類	件数
（２）子育てのその他経済的負担の軽減・支援について	１０９
・出産費用、妊婦健診費用の補助を拡充してほしい。オムツ、ミルク代を補助してほしい。 ・子育て支援における、子ども〇人以上などの制限は、昨今の晩婚傾向にやさしくない制度だと思う。１人目から充実した支援をしてもらえると、子どもの貧困などが減らせるのではないかと思う。 ・子どもはたくさんほしいが、やはり経済面で妥協してしまうため、正直経済的なサポートが一番嬉しい。 ・子育てしやすくなるには、子育て世代の交通機関の無償化も必要だと思う。子育て世代がもっと外に出る機会が増えれば経済も充実すると思う。	
６　その他	４１
・妊娠後に受けた「しっかりサポート面接」がとても良かった。０歳時から保育所に預けて仕事復帰を希望していたため、市での保育所の申込状況など教えてもらえたのがとても良かった。町田市は子育て支援策が豊富な印象があり、いつも助かっている。 ・今回、産後ケアを始めて利用したが、予約が取れないところがほとんどだった。また、３か月未満のみのため、日にちも限られており、利用が大変だった。せめて生後半年以内、連泊でなくても６泊可能など、見直していただきたい。	

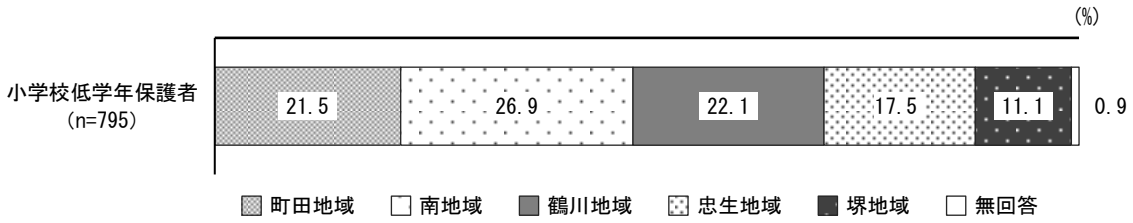
3　【調査②】小学校低学年保護者

（1）家族の状況について

問１　お住まいの郵便番号を数字でご記入ください。

- 「南地域」が２６．９％と最も多く、次いで「鶴川地域」が２２．１％、「町田地域」が２１．５％となっています。

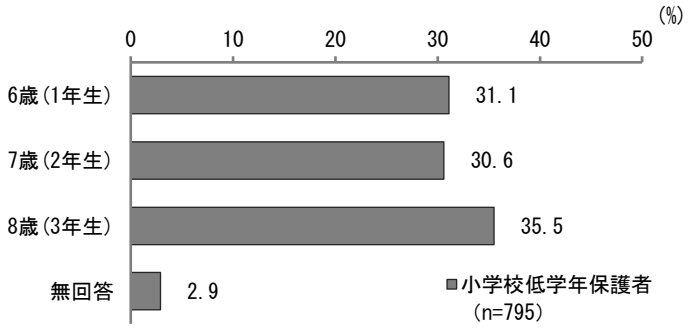
回答者の居住地域



問２　あて名のお子さんの生年月を数字でご記入ください。

- 「８歳」が３５．５％と最も多く、次いで「６歳」が３１．１％、「７歳」が３０．６％となっています。

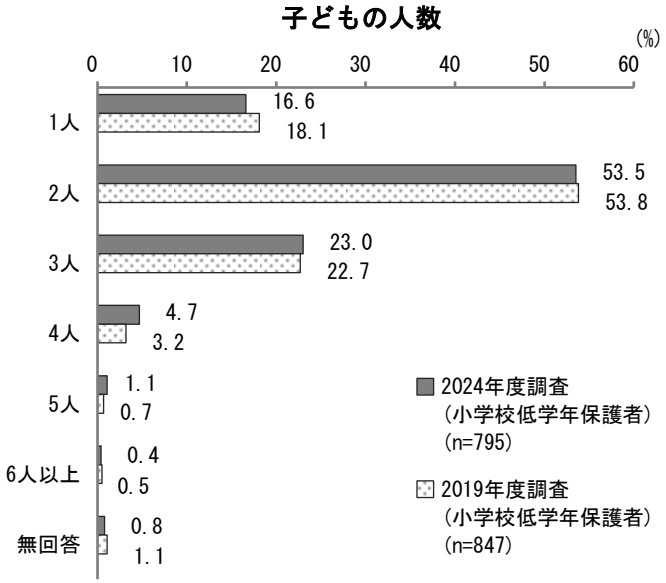
子どもの年齢



問３　あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。
あて名のお子さんを含めた人数を数字でご記入ください。
２人以上の場合、末のお子さんの生年月もご記入ください。

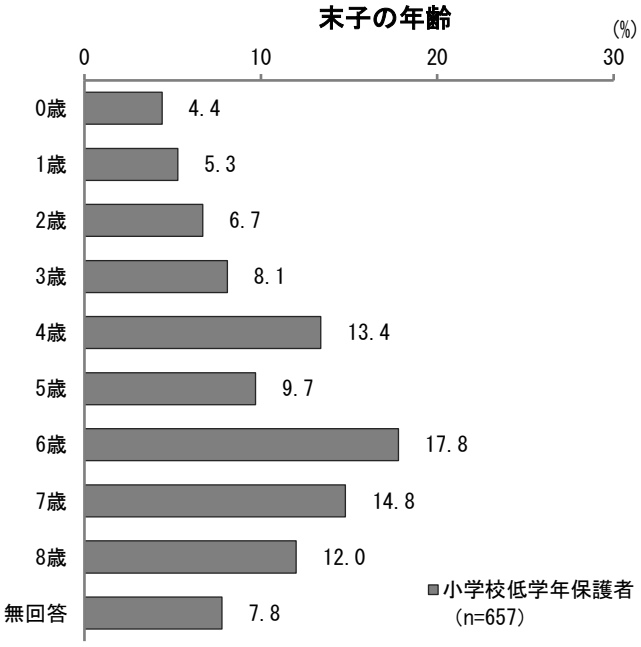
【子どもの人数】

- 「２人」が５３．５％と最も多く、次いで「３人」が２３．０％、「１人」が１６．６％となっています。
- ２０１９年度調査と比較して、大きな変化は見られません。



【末子の年齢】

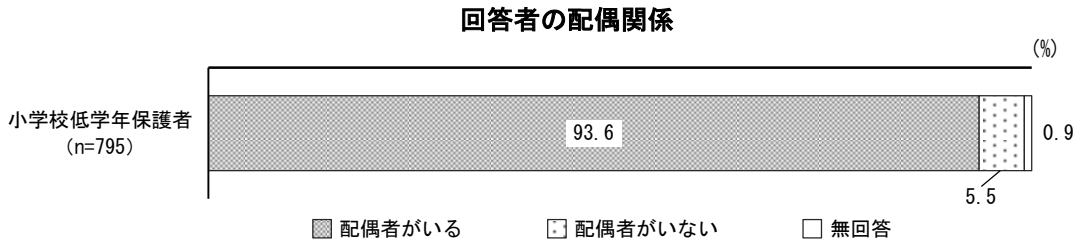
- 「６歳」が１７．８％と最も多く、次いで「７歳」が１４．８％、「４歳」が１３．４％となっています。



問４　この調査票にご回答いただく方はどなたですか。
あて名のお子さんからみた関係で、お答えください。【○は１つだけ】

※問５は、問４で「父親」または「母親」を選択した人のみ回答

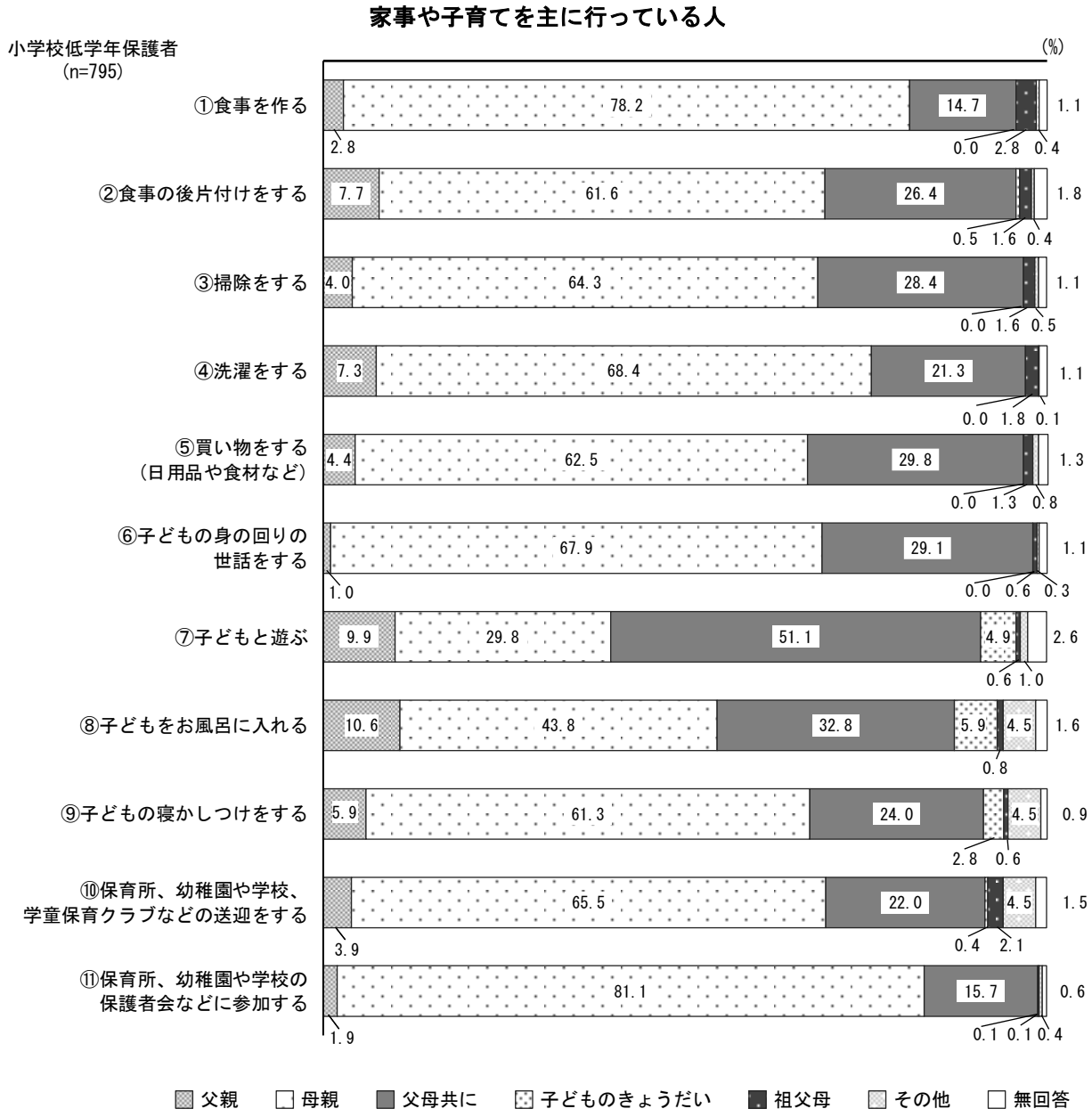
問５　この調査票にご回答いただいている方の配偶関係について、教えてください。
【○は１つだけ】



（２）子どもの育ちをめぐる環境について

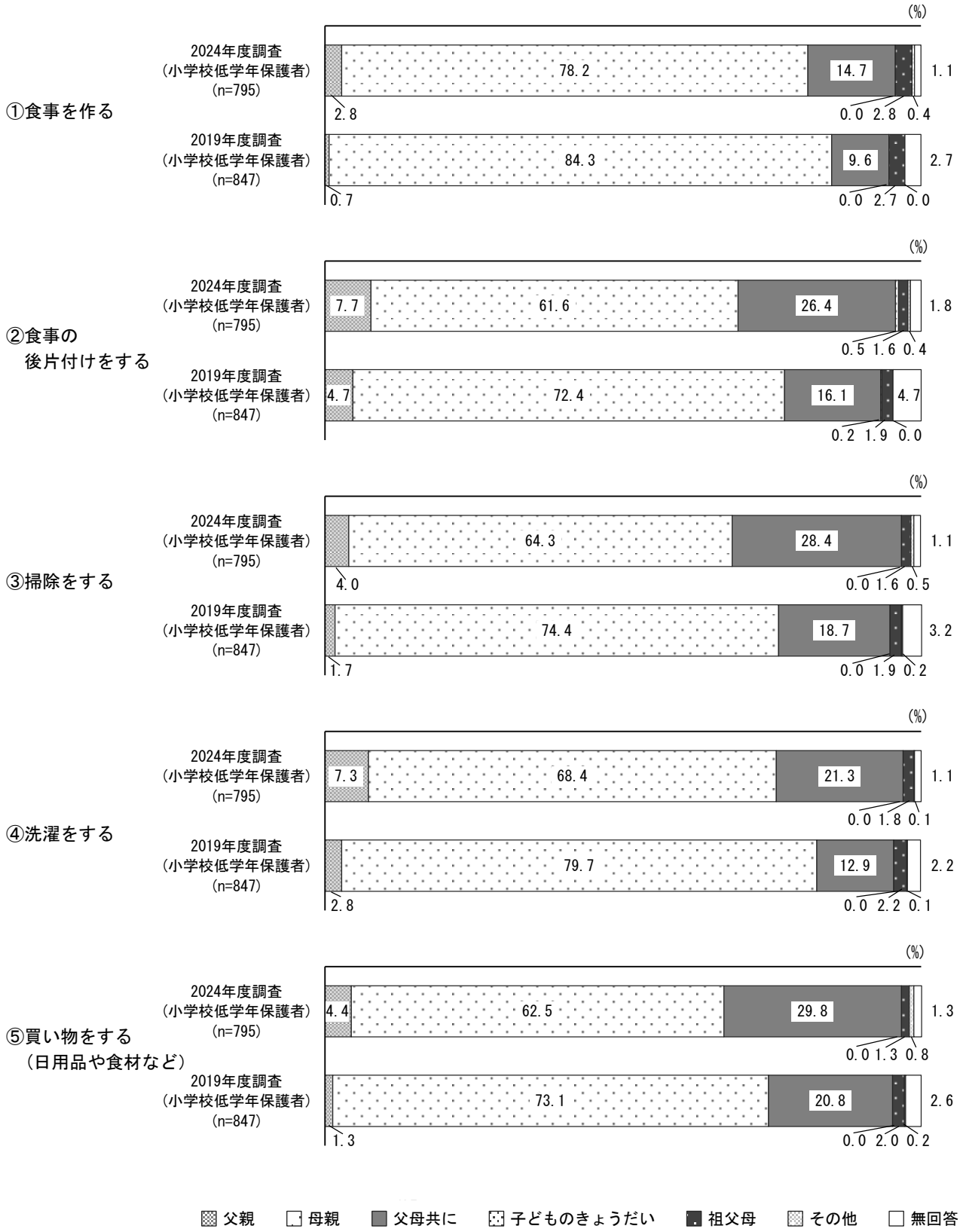
問６　家事や子育てを、主に行っている人は、あて名のお子さんからみてどなたですか。
①～⑪について、それぞれ１つに○をつけてください。

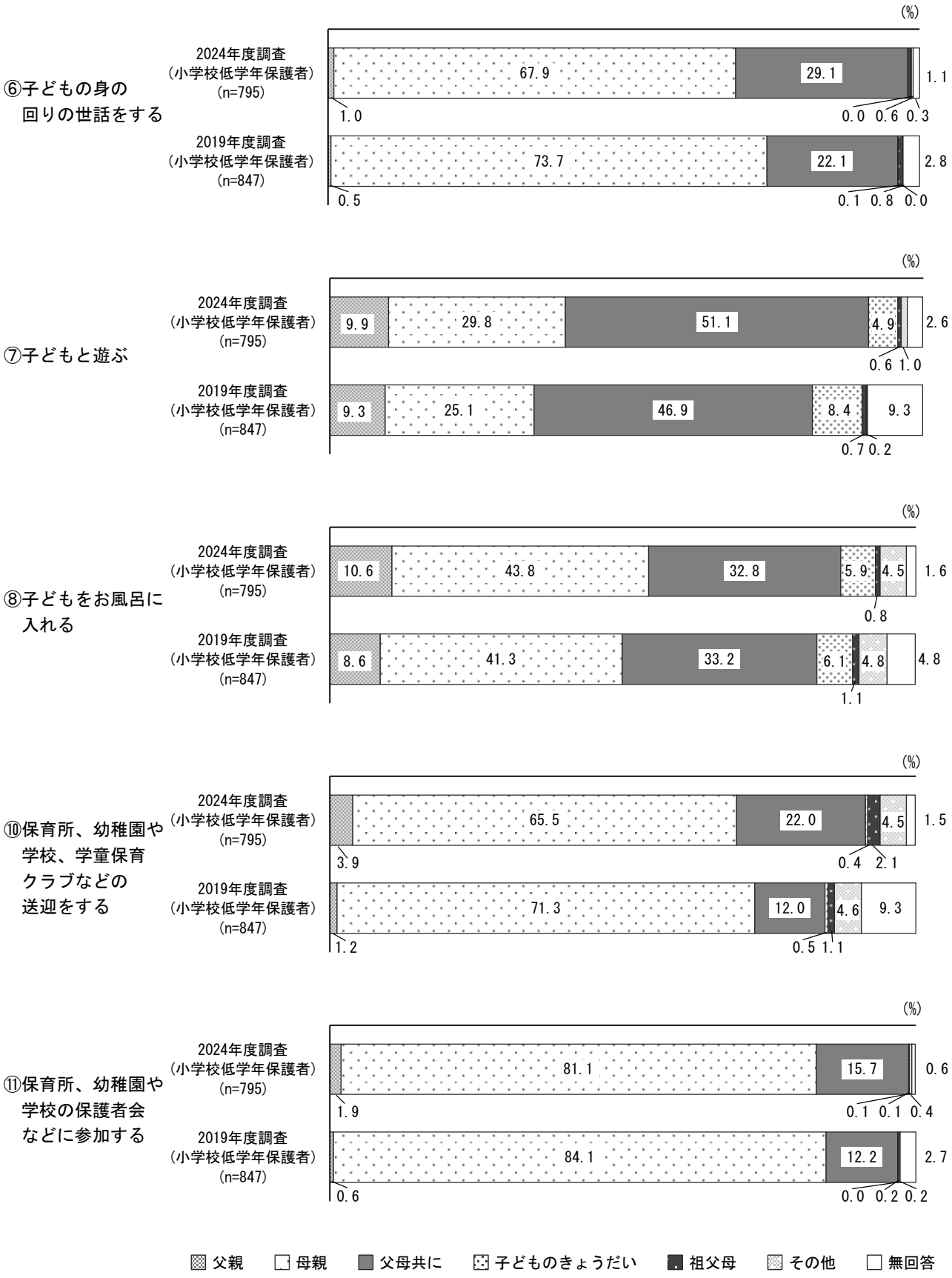
- 『⑦子どもと遊ぶ』を除くすべての項目で、「母親」の割合が最も高くなっています。
- 『⑦子どもと遊ぶ』では、「父母共に」の割合が半数以上となっています。



○ ２０１９年度調査との比較

- 『⑧子どもをお風呂に入れる』を除くすべての項目で、「父母共に」の割合が増加しており、特に『②食事の後片付けをする』『③掃除をする』で最も多く増加しています。



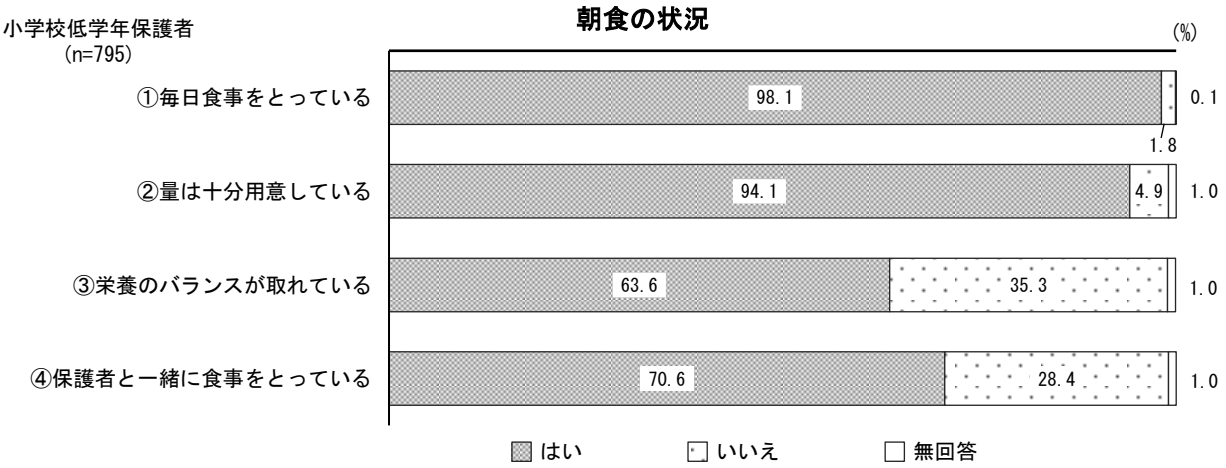


※「⑨子どもの寝かしつけをする」は２０２４年度調査からの新規項目のため、比較なし。

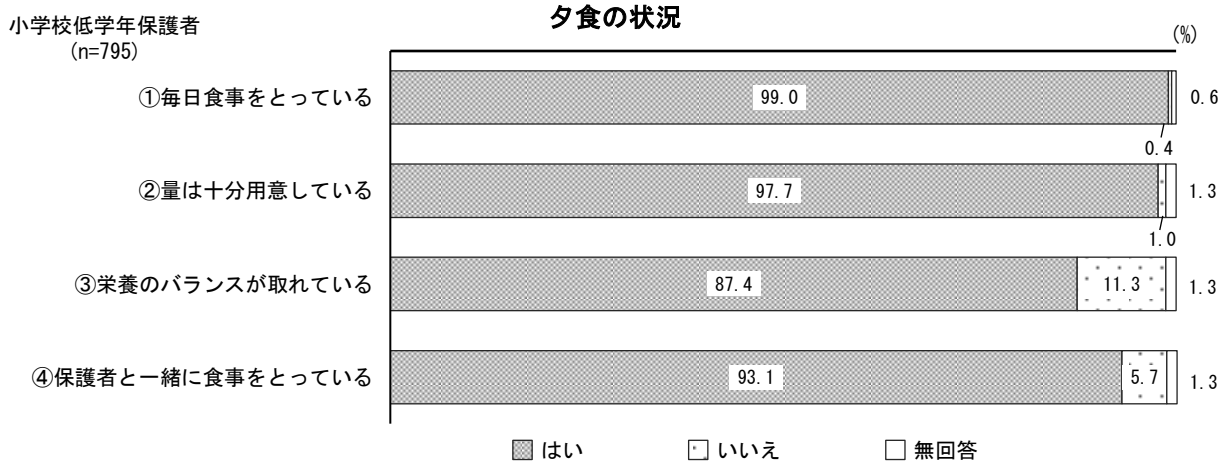
問７　あて名のお子さんの食事について、お答えください。
①～④ごとに、Ａ・Ｂのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

【A 朝食】

- 全ての項目で「はい」の割合が高くなっていますが、『③栄養のバランスが取れている』と『④保護者と一緒に食事をとっている』では「いいえ」の割合が３割程度となっています。

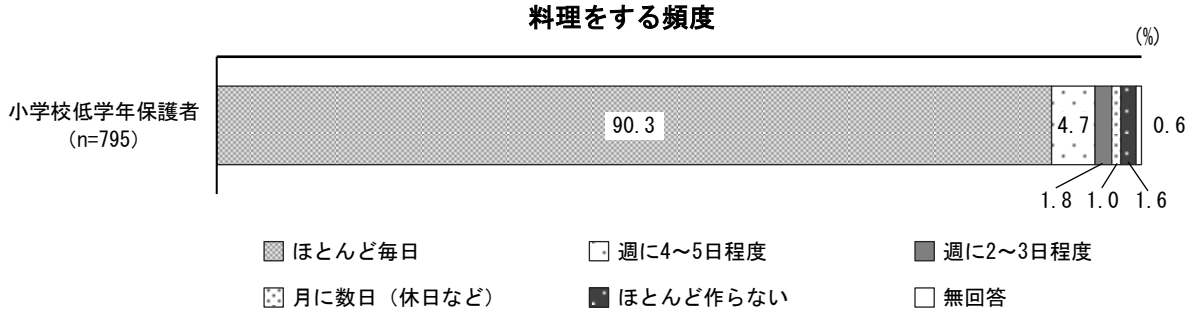


【B 夕食】



問８　あなたのご家庭では、あて名のお子さんに食事を作る（料理する）ことがどのくらいありますか。【○は１つだけ】
※食事を作る（料理する）には、目玉焼きなどの簡単な料理を含みます。

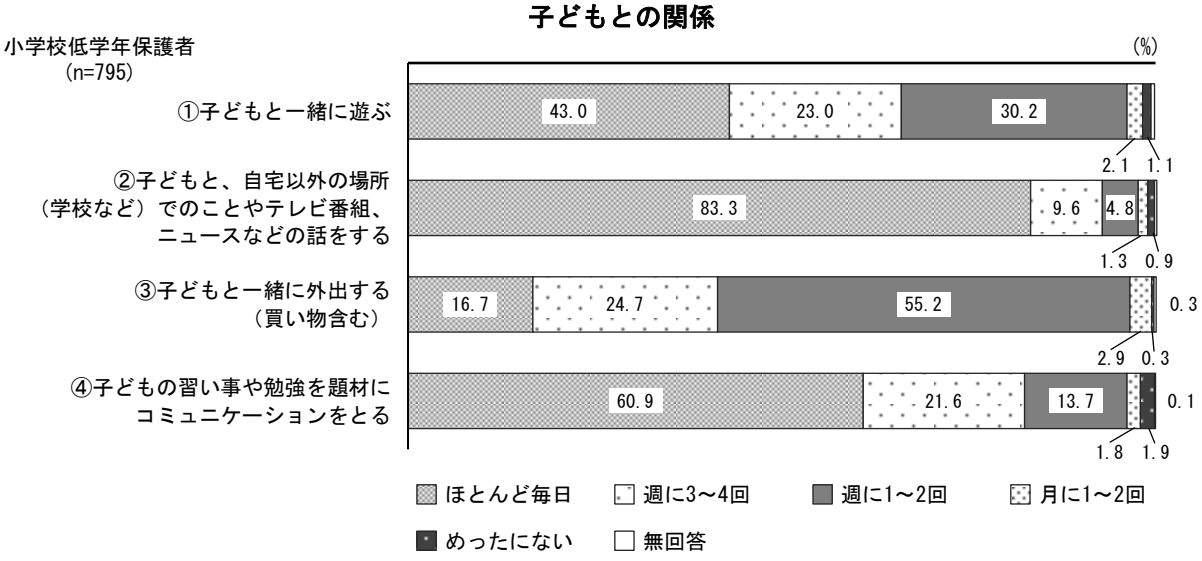
料理をする頻度



問９　あなたを含めた、ご家族とあて名のお子さんとの関係について、お伺いします。
あなたのご家庭では、あて名のお子さんと次のようなことをすることがありますか。
①～④について、それぞれ１つに○をつけてください。

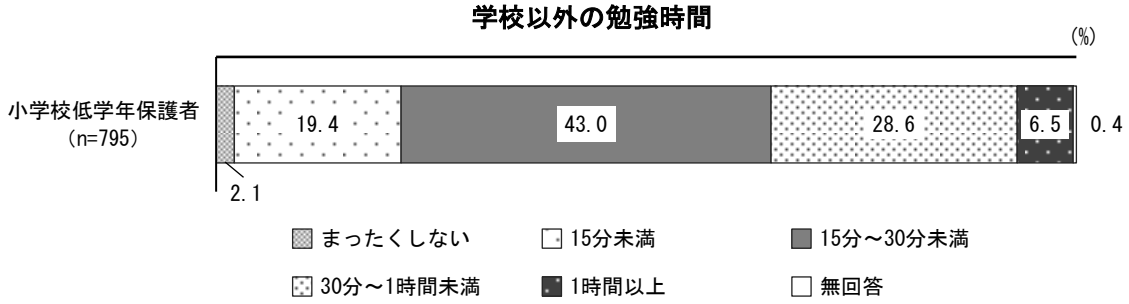
- 『①子どもと一緒に遊ぶ』と『②子どもと、自宅以外の場所（学校など）でのことやテレビ番組、ニュースなどの話をする』『④子どもの習い事や勉強を題材にコミュニケーションをとる』では「ほとんど毎日」の割合が最も高くなっています。
- 『③子どもと一緒に外出する（買い物含む）』では「週に１～２回」の割合が最も高くなっています。

子どもとの関係



問１０　あて名のお子さんの学習環境についてお伺いします。
あて名のお子さんは、普段（月曜日～金曜日）、学校以外で１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。【○は１つだけ】
※塾などの時間も含みます。

- 「１５分～３０分未満」が４３．０％と最も多く、次いで「３０分～１時間未満」が２８．６％、「１５分未満」が１９．４％となっています。

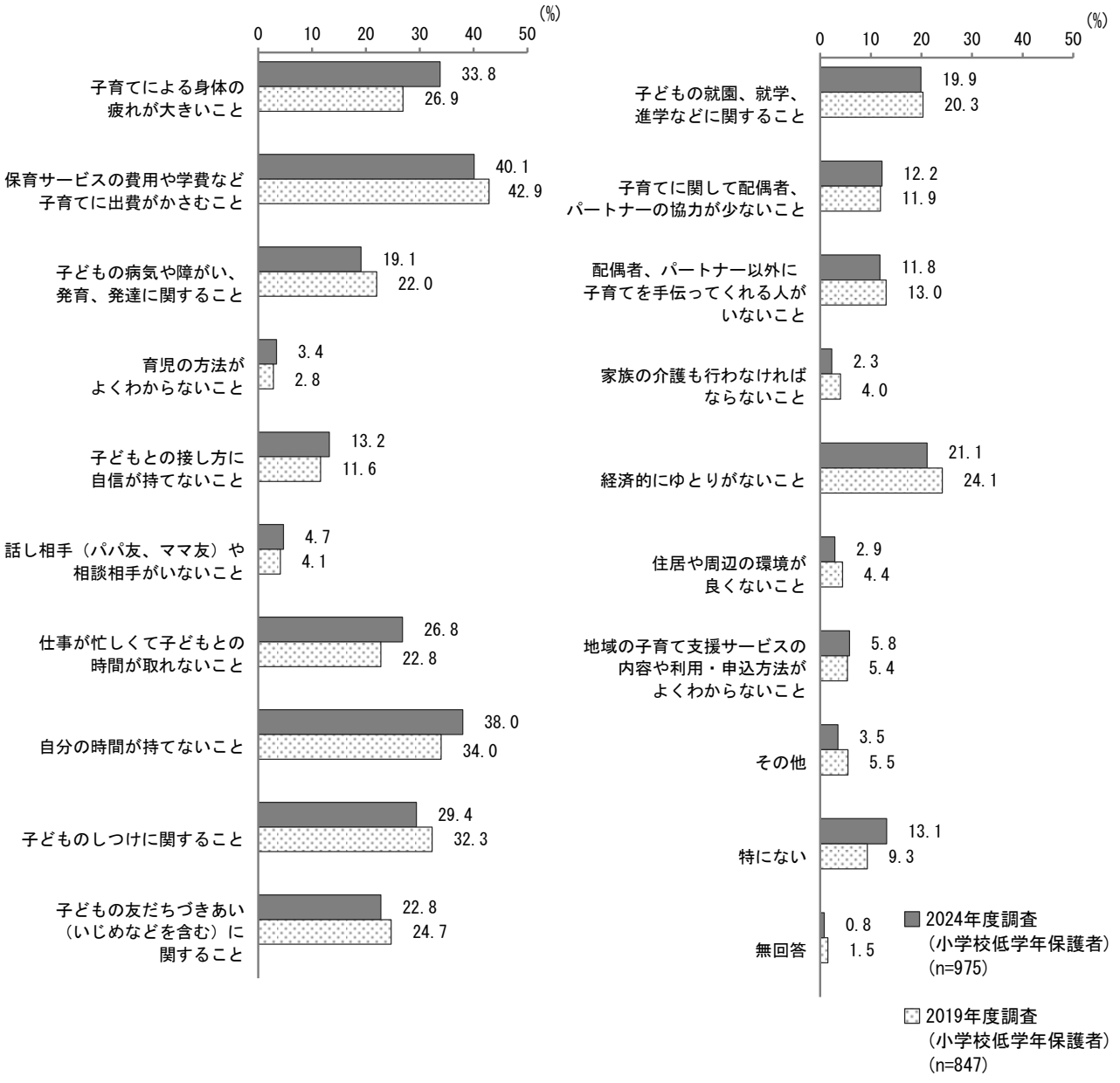


（３）子育ての悩みについて

問１１　子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。
【あてはまるものすべてに○】

- 「保育サービスの費用や学費など子育てに出費がかさむこと」が４０．１％と最も多く、次いで「自分の時間が持てないこと」が３８．０％、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」が３３．８％となっています。
- ２０１９年度調査と比較して、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」の割合が最も増加し、「子どもの病気や障がい、発育、発達に関すること」「子どものしつけに関すること」「経済的にゆとりがないこと」などの割合が３ポイントほど減少しています。

子育ての悩み
（複数回答）



【母親の就労状況別】

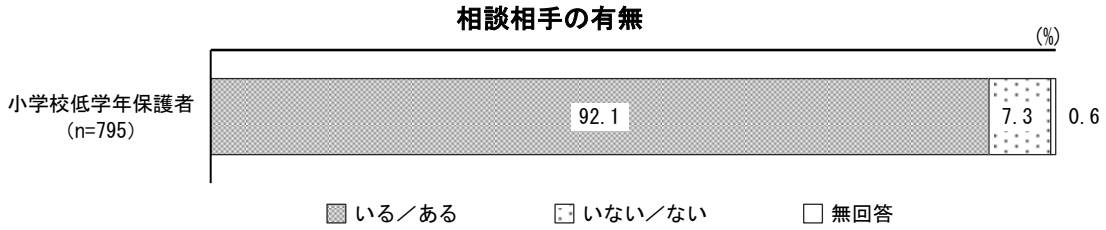
- 母親の就労状況別でみると、『フルタイム』では、「仕事が忙しくて子どもとの時間が取れないこと」の割合が最も高く、次いで「自分の時間が持てないこと」の割合が高くなっています。
- 『パートタイム、アルバイトなど』『以前は就労していたが、現在は就労していない』では、どちらも「保育サービスの費用や学費など子育てに出費がかさむこと」の割合が最も高くなっています。次いで、『パートタイム、アルバイトなど』では「自分の時間が持てないこと」、『以前は就労していたが、現在は就労していない』では「子育てによる身体の疲れが大きいこと」の割合が高くなっています。

子育ての悩み【母親の就労状況別】

(%)

区分	回答者数(件)	子育てによる身体の疲れが大きいこと	保育サービスの費用や学費など子育てに出費がかさむこと	子どもの病気や障がい、発育、発達に関すること	育児の方法がよくわからないこと	子どもとの接し方に自信が持てないこと	話し相手（パパ友、ママ友）や相談相手がいないこと	仕事が忙しくて子どもとの時間が取れないこと	自分の時間が持てないこと	子どものしつけに関すること	子どもの友だちづきあい（いじめなどを含む）に関すること	子どもの就園、就学、進学などに関すること	子育てに関して配偶者、パートナーの協力が少ないこと	配偶者、パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	家族の介護も行わなければならないこと	経済的にゆとりがないこと	住居や周辺の環境が良くないこと	地域の子育て支援サービスの内容や利用・申込方法がよくわからないこと	その他	特にない	無回答
フルタイム	261	32.2	37.9	16.9	3.4	11.1	3.4	51.7	47.9	28.4	21.1	21.5	11.5	10.3	1.9	21.8	2.7	5.7	3.8	11.5	0.8
フルタイムで、現在産休・育休・介護休暇中	16	50.0	68.8	6.3	6.3	12.5	12.5	25.0	43.8	37.5	31.3	18.8	－	12.5	－	6.3	6.3	18.8	－	6.3	－
パートタイム、アルバイトなど	297	32.3	42.8	18.9	3.0	13.5	2.7	20.9	36.7	29.6	22.9	18.5	11.4	12.1	2.4	22.9	3.4	3.4	3.0	11.4	0.7
パートタイム、アルバイトなどで、現在産休・育休・介護休暇中	5	40.0	20.0	20.0	20.0	40.0	－	20.0	20.0	60.0	40.0	－	－	－	－	20.0	－	－	－	20.0	－
以前は就労していたが、現在は就労していない	184	36.4	37.5	23.4	3.8	16.3	7.6	3.3	25.0	29.9	23.9	21.7	15.2	14.1	2.7	16.8	2.7	8.7	4.3	18.5	－
これまでに就労したことがない	12	25.0	33.3	25.0	－	8.3	－	8.3	41.7	16.7	25.0	－	16.7	16.7	8.3	25.0	－	8.3	－	25.0	－

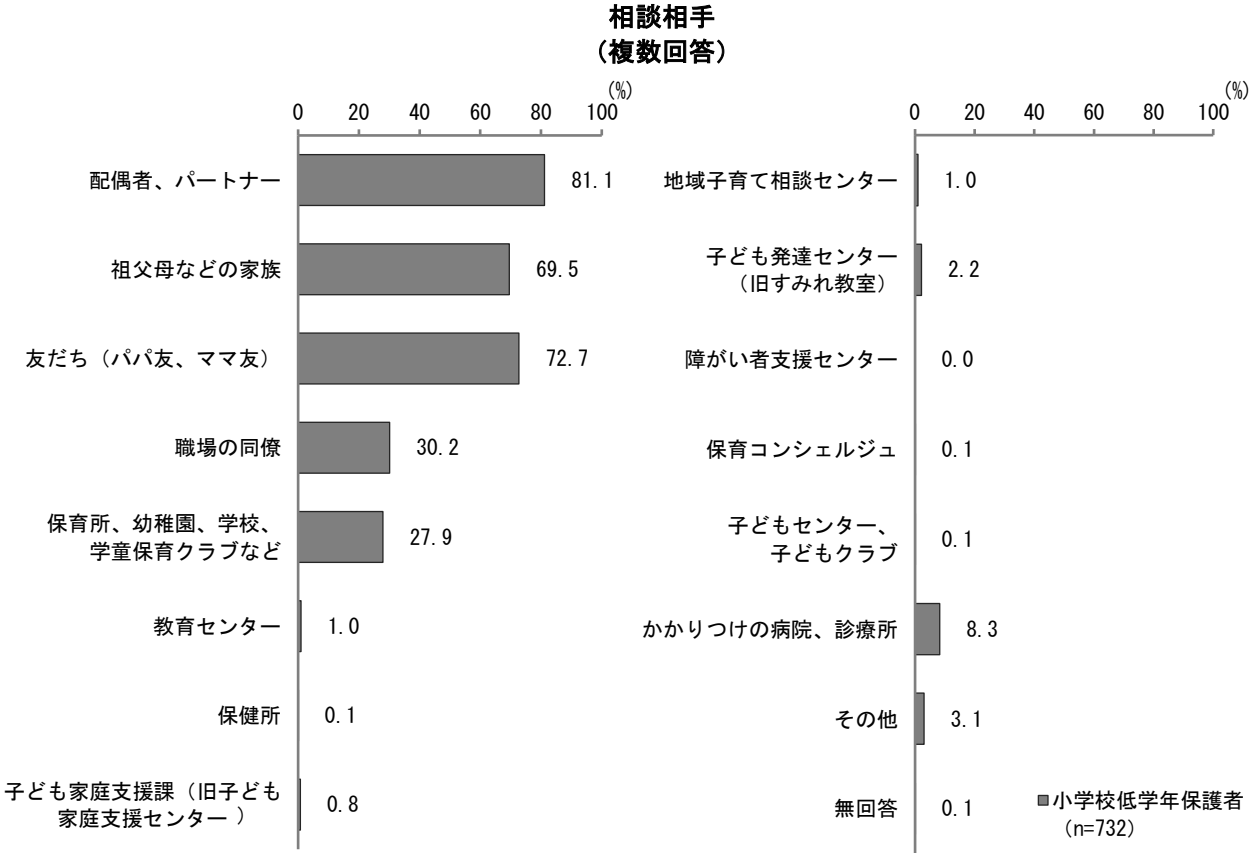
問１２　あなたは、子育てについて気軽に相談できる人がいますか（または場所はありますか）。
【○は１つだけ】



※問１２－１は、問１２で「いる／ある」を選択した人のみ回答

問１２－１　あて名のお子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。
【あてはまるものすべてに○】

- 「配偶者、パートナー」が８１．１％と最も多く、次いで「友だち（パパ友、ママ友）」が７２．７％、「祖父母などの家族」が６９．５％となっています。

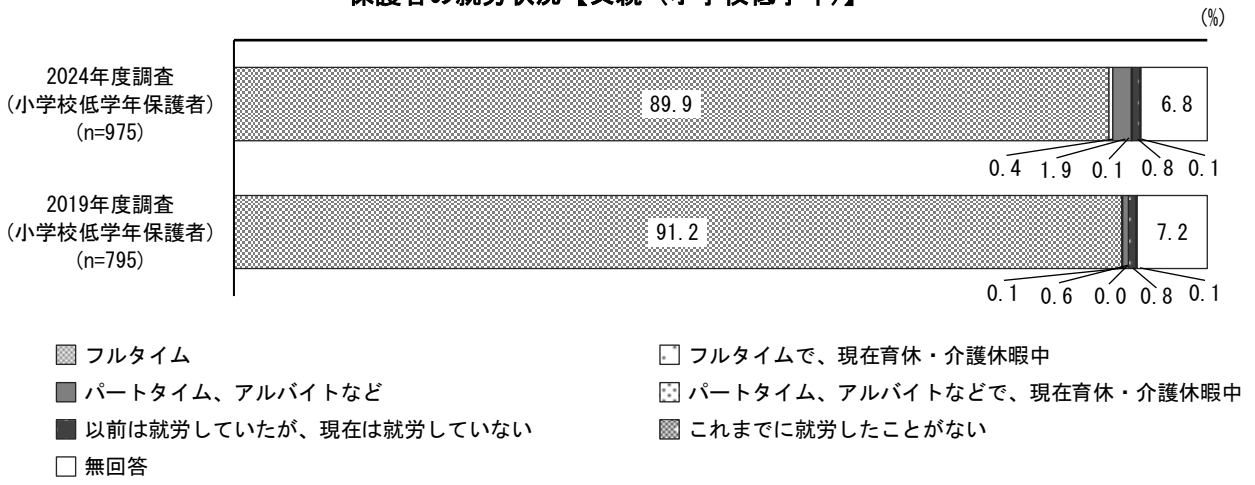


（４）保護者の就労状況について

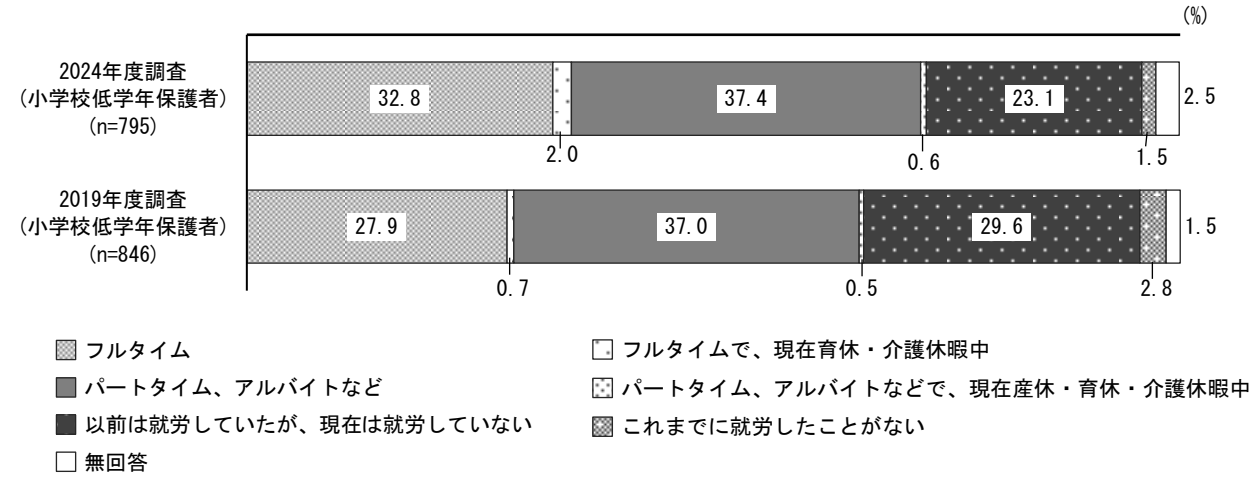
問１３　現在の就労状況をお答えください。【それぞれ○は１つだけ】

- 母親は、「パートタイム、アルバイトなど」が３７．４％と最も多く、次いで「フルタイム」が３２．８％、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が２３．１％となっています。
- 母親の就労状況を２０１９年度調査と比較すると、「フルタイム」の割合が増加し、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が減少しています。

保護者の就労状況【父親（小学校低学年）】



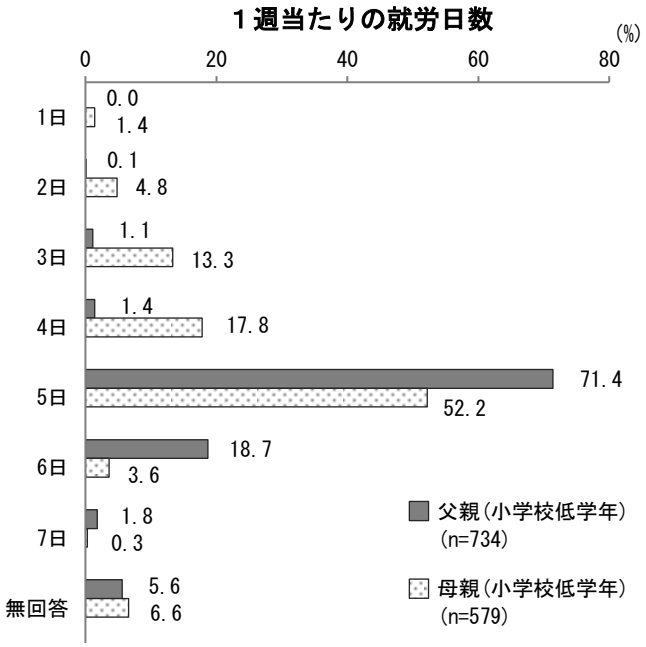
保護者の就労状況【母親（小学校低学年）】



※【１週当たりの就労日数】から【帰宅時間】は、問１３で「フルタイム」から「パートタイム、アルバイトなどで、現在育休・介護休暇中」のいずれかを選択した人のみ回答

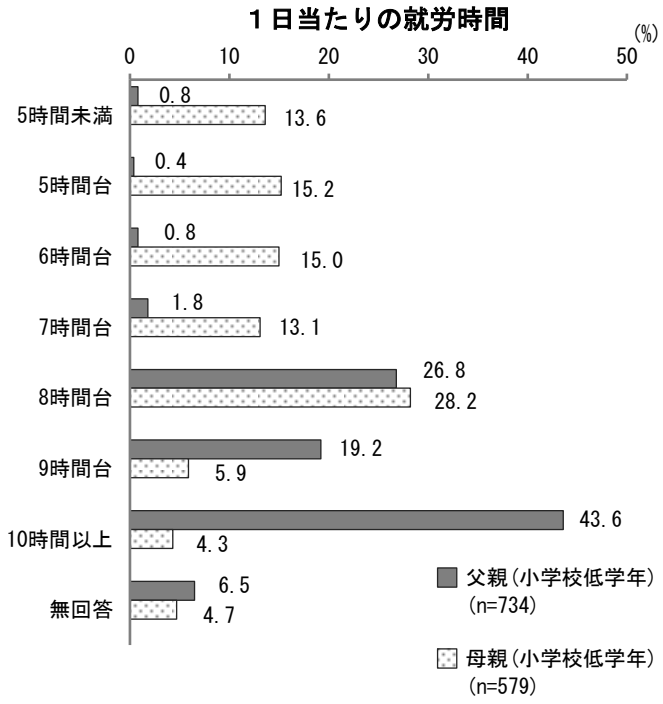
【１週当たりの就労日数】

- 父親、母親ともに「５日」が最も多く、次いで父親では「６日」、母親では「４日」が多くなっています。



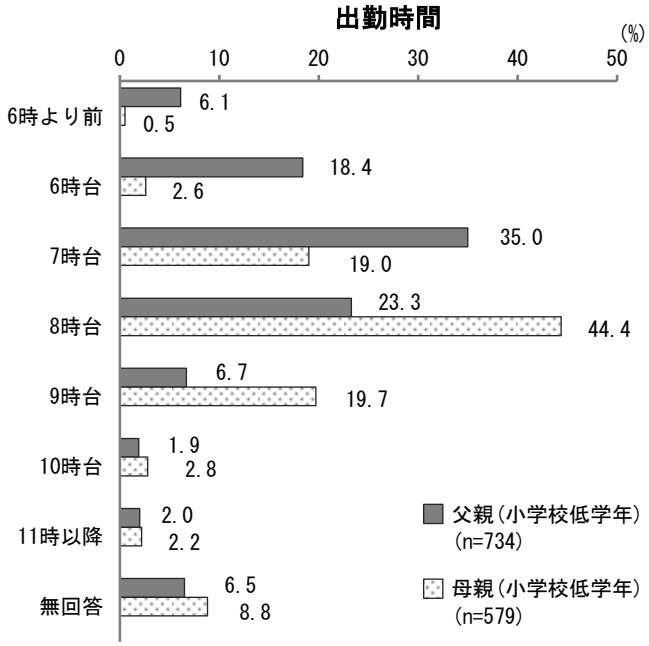
【１日当たりの就労時間】

- 父親、母親ともに「８時間台」が３割弱となっています。
- 父親では「８時間台」以上の割合が高く、母親では「８時間台」以下の割合が１～２割台となっています。



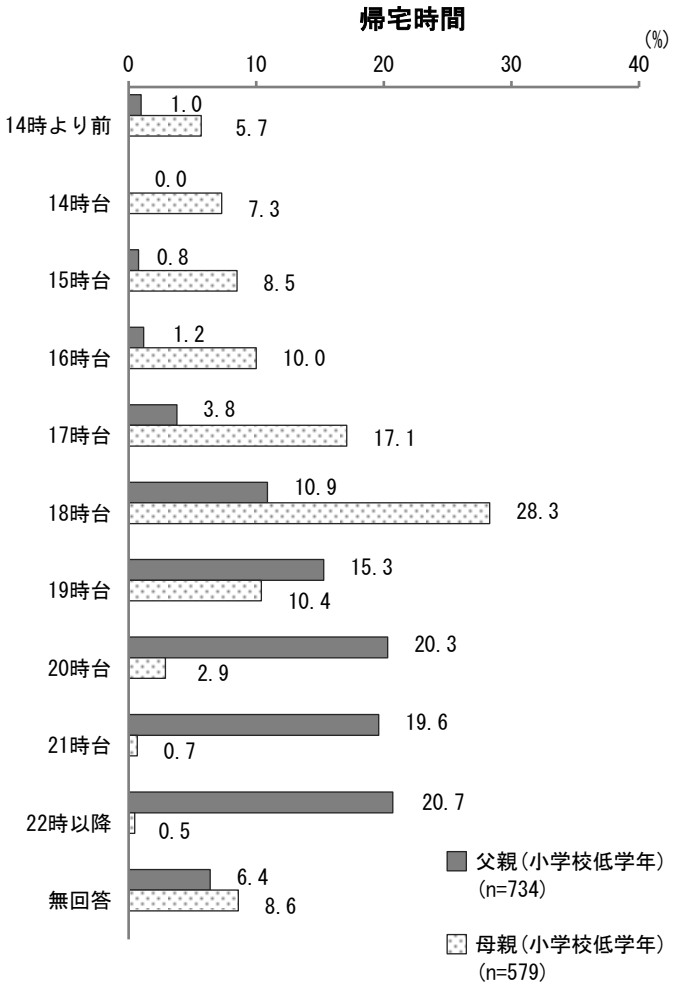
【出勤時間】

- 父親では「７時台」、母親では「８時台」が最も多くなっています。
- 父親では「６時台」から「８時台」、母親では「７時台」から「９時台」が多い傾向にあります。



【帰宅時間】

- 父親では「２０時台」以降が２割前後となっています。
- 母親では「１８時台」が２８．３％と最も多く、「１９時台」以前の割合が高い傾向にあります。

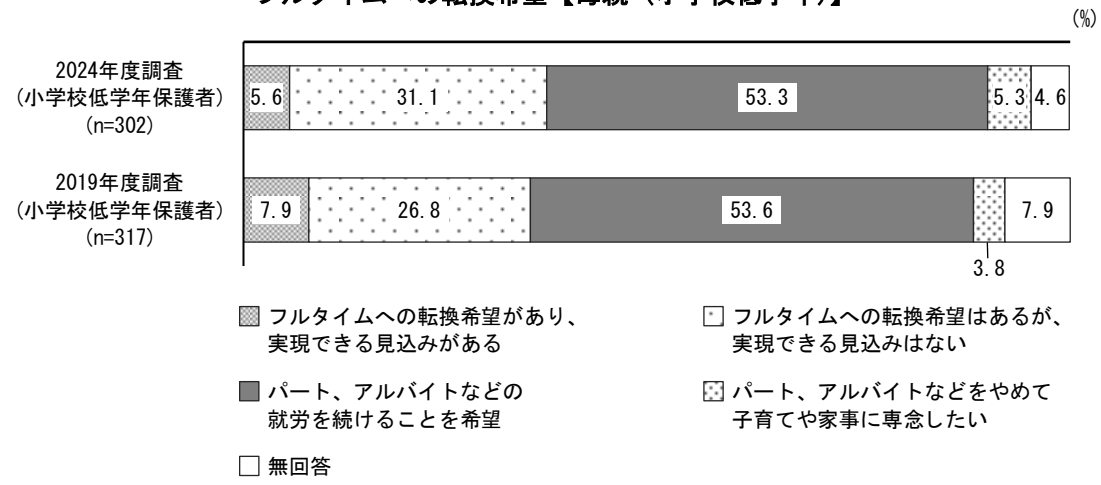


※問１３－１は、問１３で「パートタイム、アルバイトなど」または「パートタイム、アルバイトなどで、現在育休・介護休暇中」のいずれかを選択した人のみ回答

問１３－１　フルタイムへの転換希望はありますか。【それぞれ○は１つだけ】

- 母親は、「パート、アルバイトなどの就労を続けることを希望」が５３．３％と最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が３１．１％、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が５．６％となっています。
- ２０１９年度調査と比較して、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が増加しています。

フルタイムへの転換希望【母親（小学校低学年）】

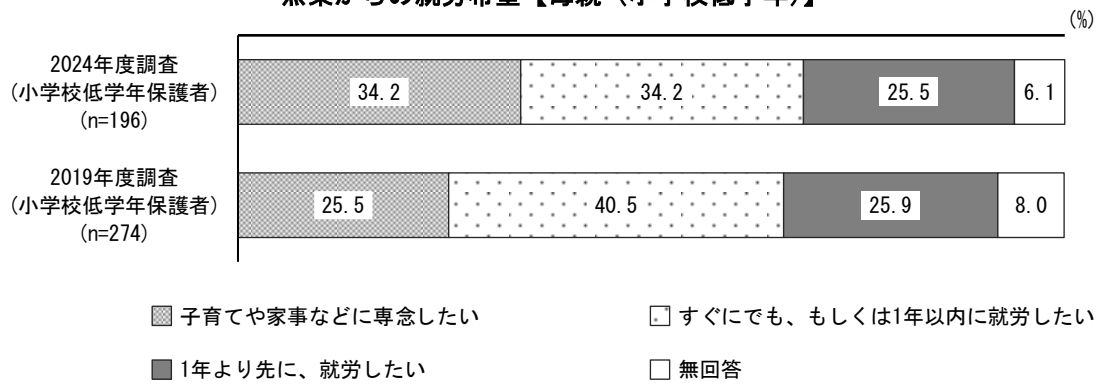


※問１３－２は、問１３で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまでに就労したことがない」のいずれかを選択した人のみ回答

問１３－２　就労希望はありますか。【それぞれ○は１つだけ】
「１年より先に、就労したい」を選んだ場合、希望する時期を数字でご記入ください。

- 母親は、「子育てや家事などに専念したい」と「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」が３４．２％と最も多く、次いで、「１年より先に、就労したい」が２５．５％となっています。
- ２０１９年度調査と比較して、「子育てや家事などに専念したい」が増加しています。

無業からの就労希望【母親（小学校低学年）】

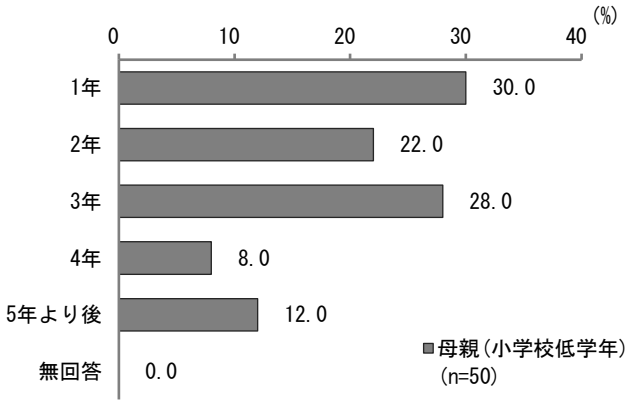


※【１年より先に就労したい場合の希望年数】は、問１３－２で「１年より先に、就労したい」を選択した人のみ回答

【１年より先に就労したい場合の希望年数】

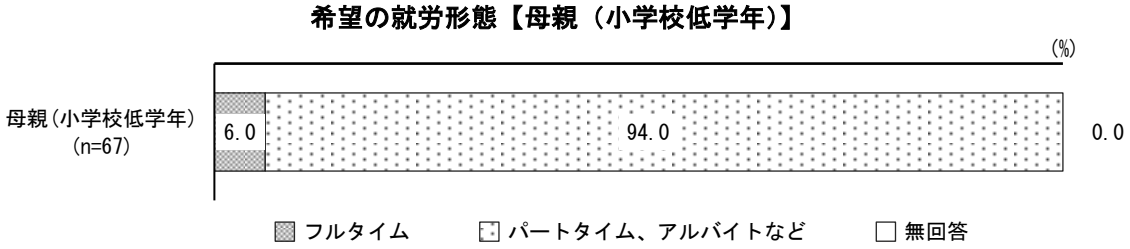
- 「１年」が３０．０％と最も多く、次いで「３年」が２８．０％、「２年」が２２．０％となっています。

１年より先に就労したい場合の希望年数



※【希望の就労形態】は、問１３－２で「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」を選択した人のみ回答

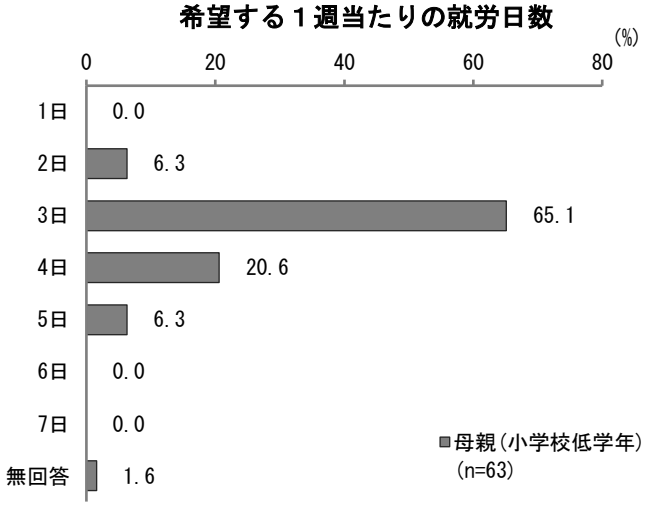
【希望の就労形態】



※【希望する１週当たりの就労日数】と【希望する１日当たりの就労時間】は、【希望の就労形態】で「パートタイム、アルバイトなど」を選択した人のみ回答

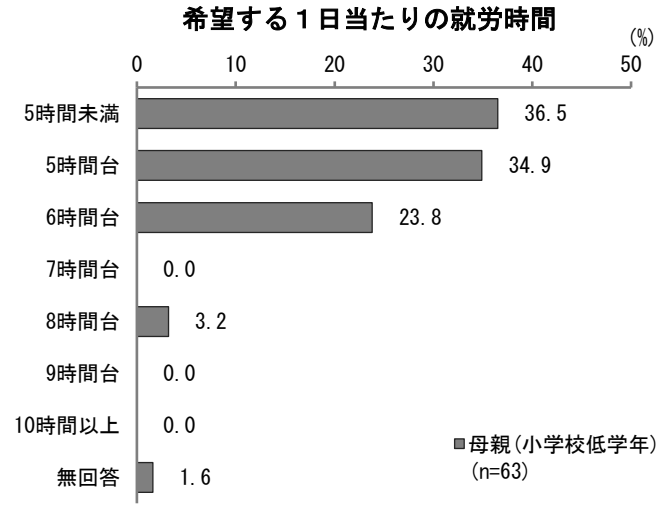
【希望する１週当たりの就労日数】

- 「３日」が６５．１％と最も多く、次いで「４日」が２０．６％、「２日」と「５日」が６．３％となっています。



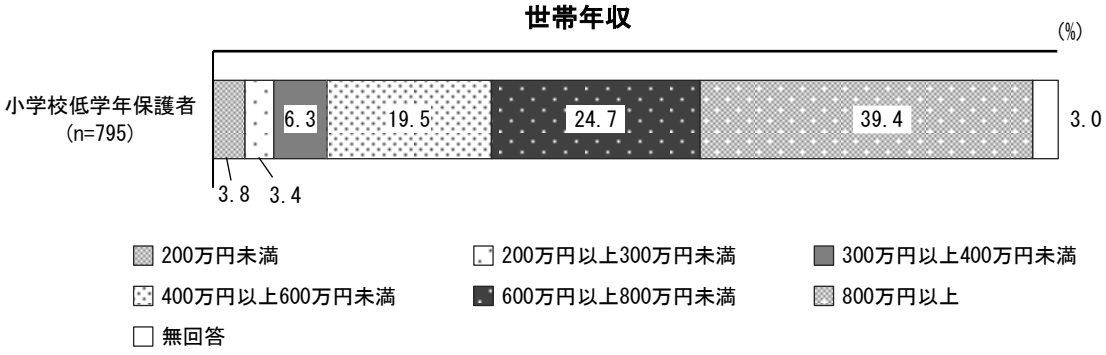
【希望する１日当たりの就労時間】

- 「５時間未満」が３６．５％と最も多く、次いで「５時間台」が３４．９％、「６時間台」が２３．８％となっています。



問１４　２０２３年の世帯合計の年間総収入額（手当、養育費、生活保護費などを含む）をお答えください。【○は１つだけ】

- 「８００万円以上」が３９．４％と最も多く、次いで「６００万円以上８００万円未満」が２４．７％、「４００万円以上６００万円未満」が１９．５％となっています。

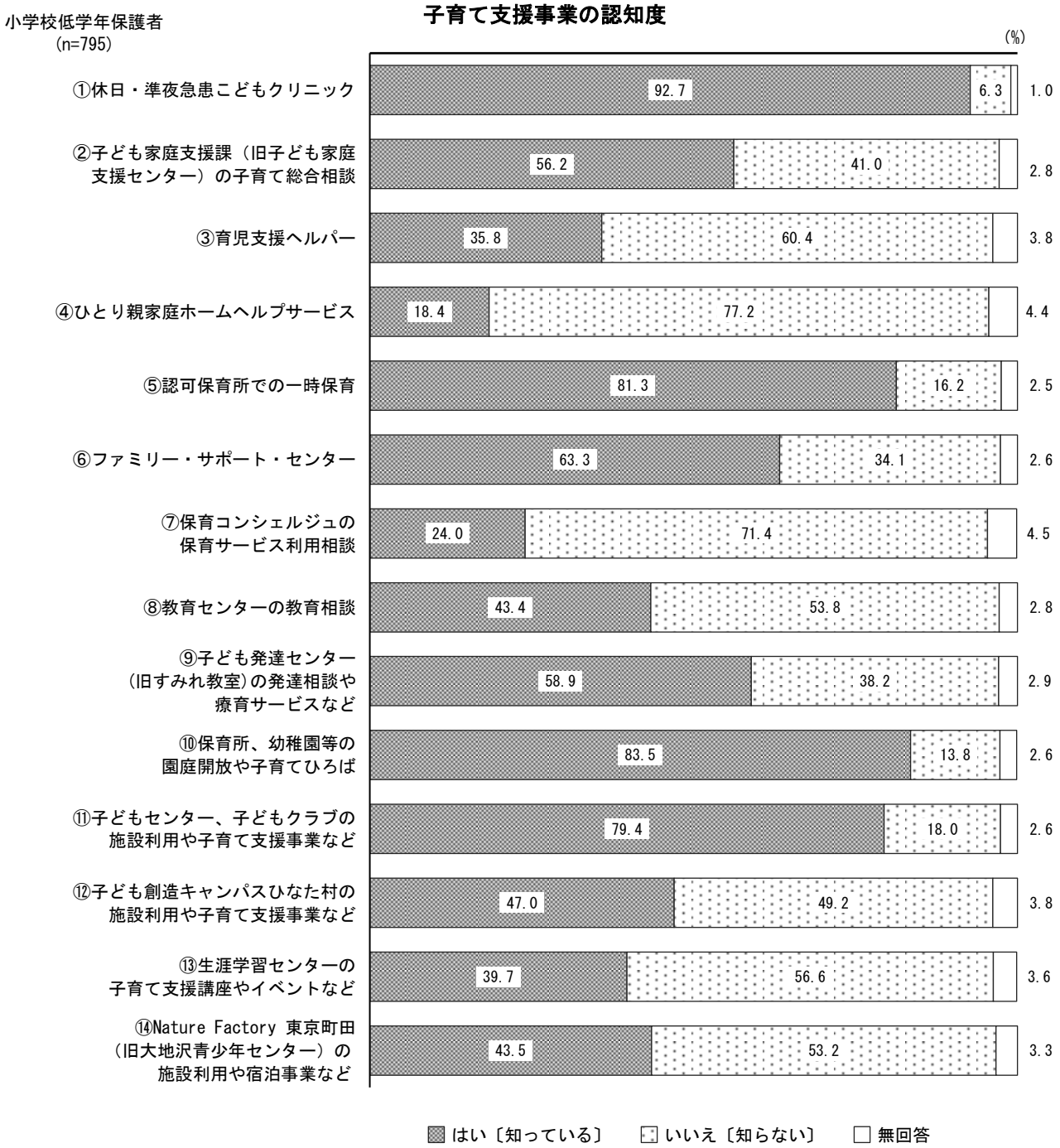


（５）子育て支援事業の利用状況について

問１５　下記のサービスについて、お答えください。①～⑭の事業ごとに、Ａ～Ｃのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

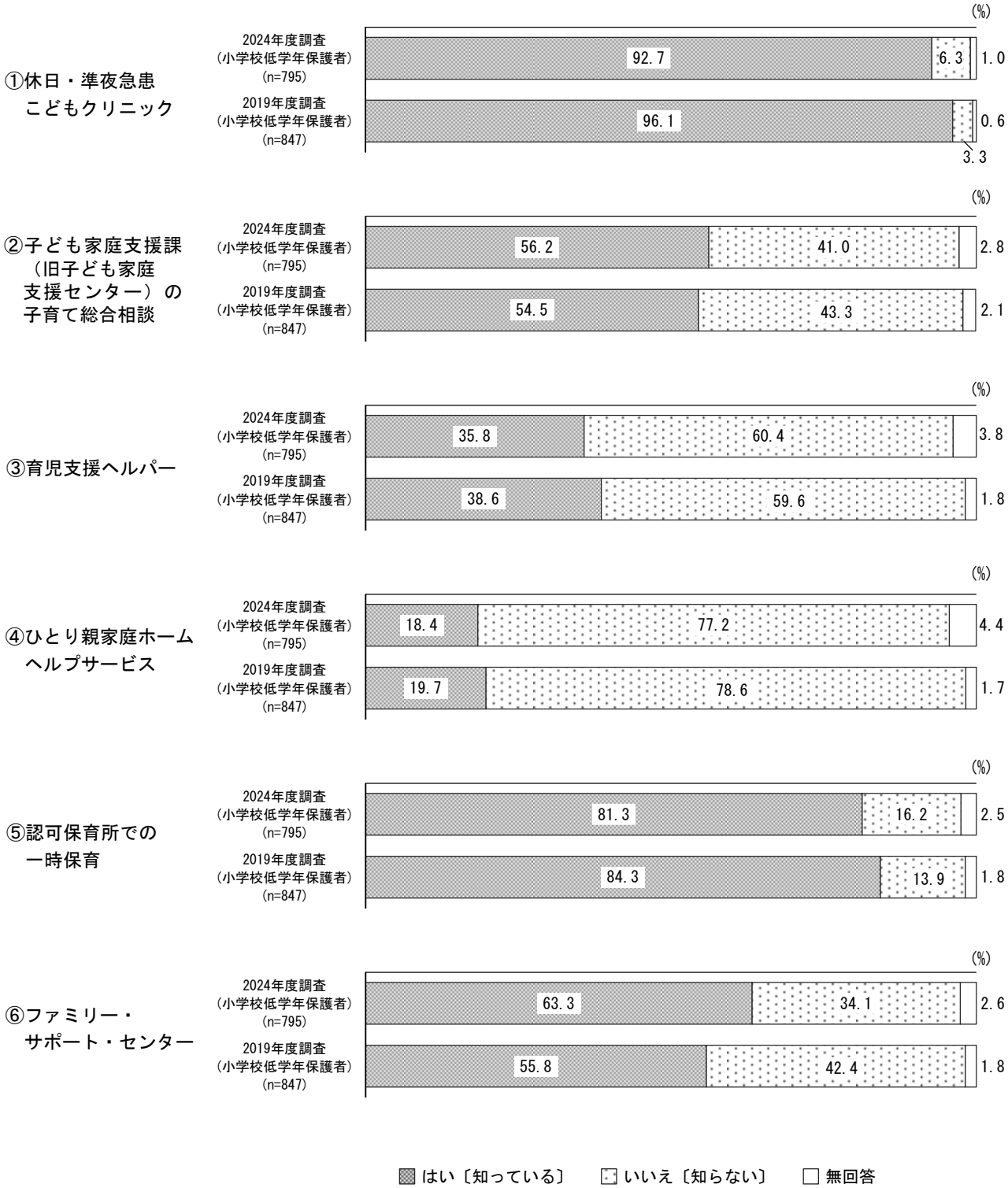
【Ａ　認知度】

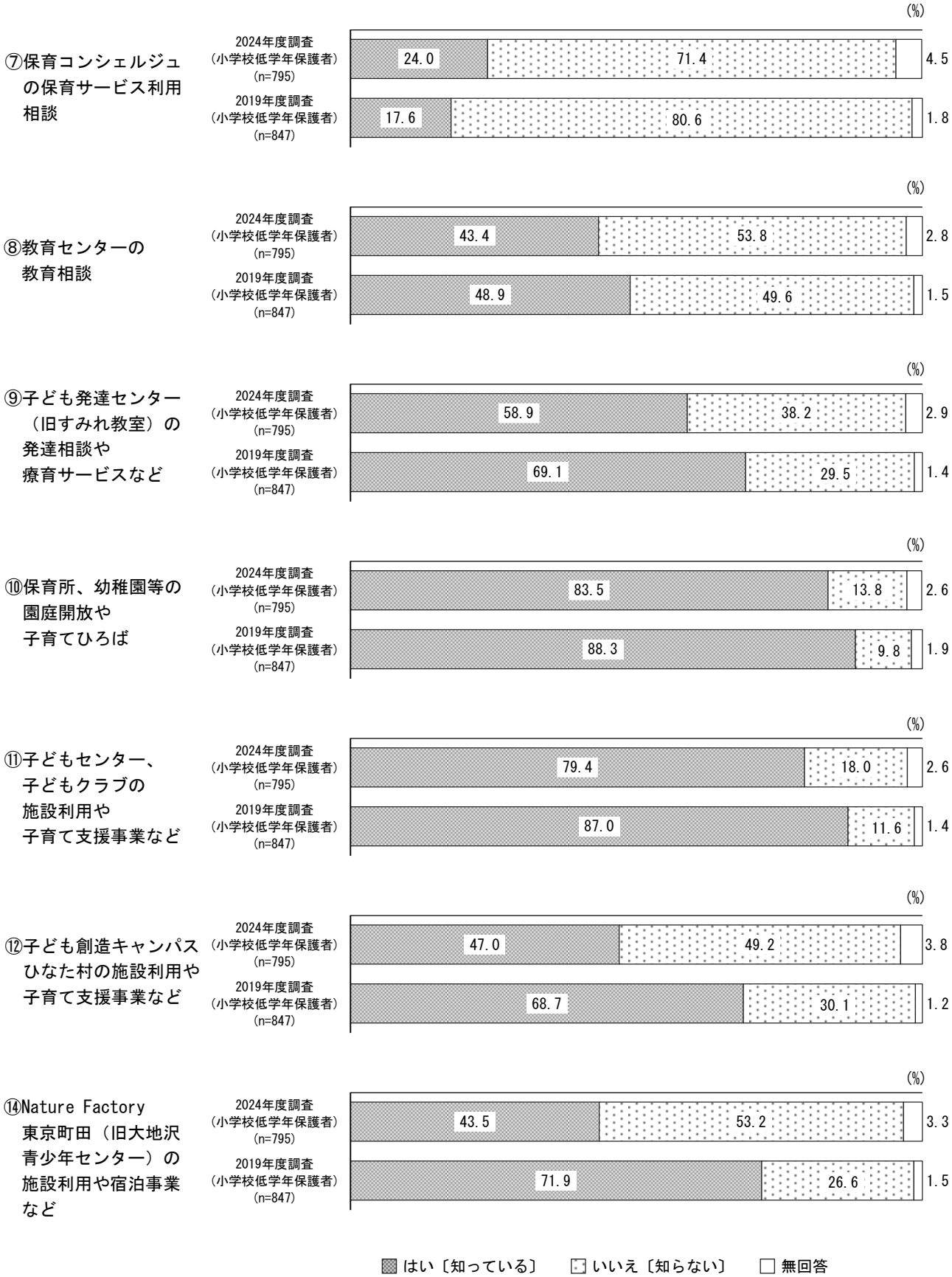
- 『①休日・準夜急患こどもクリニック』『⑤認可保育所での一時保育』『⑩保育所、幼稚園等の園庭開放や子育てひろば』は、知っている人の割合が８割以上と高くなっています。
- 『④ひとり親家庭ホームヘルプサービス』『⑦保育コンシェルジュの保育サービス利用相談』は知らない人の割合が７割以上と認知度が低くなっています。



○ ２０１９年度調査との比較

- ２０１９年度調査と比較して、『⑫子ども創造キャンパスひなた村の施設利用や子育て支援事業など』と『⑭Ｎａｔｕｒｅ　Ｆａｃｔｏｒｙ東京町田（旧大地沢青少年センター）の施設利用や宿泊事業など』では知っている人の割合が大きく減少しています。





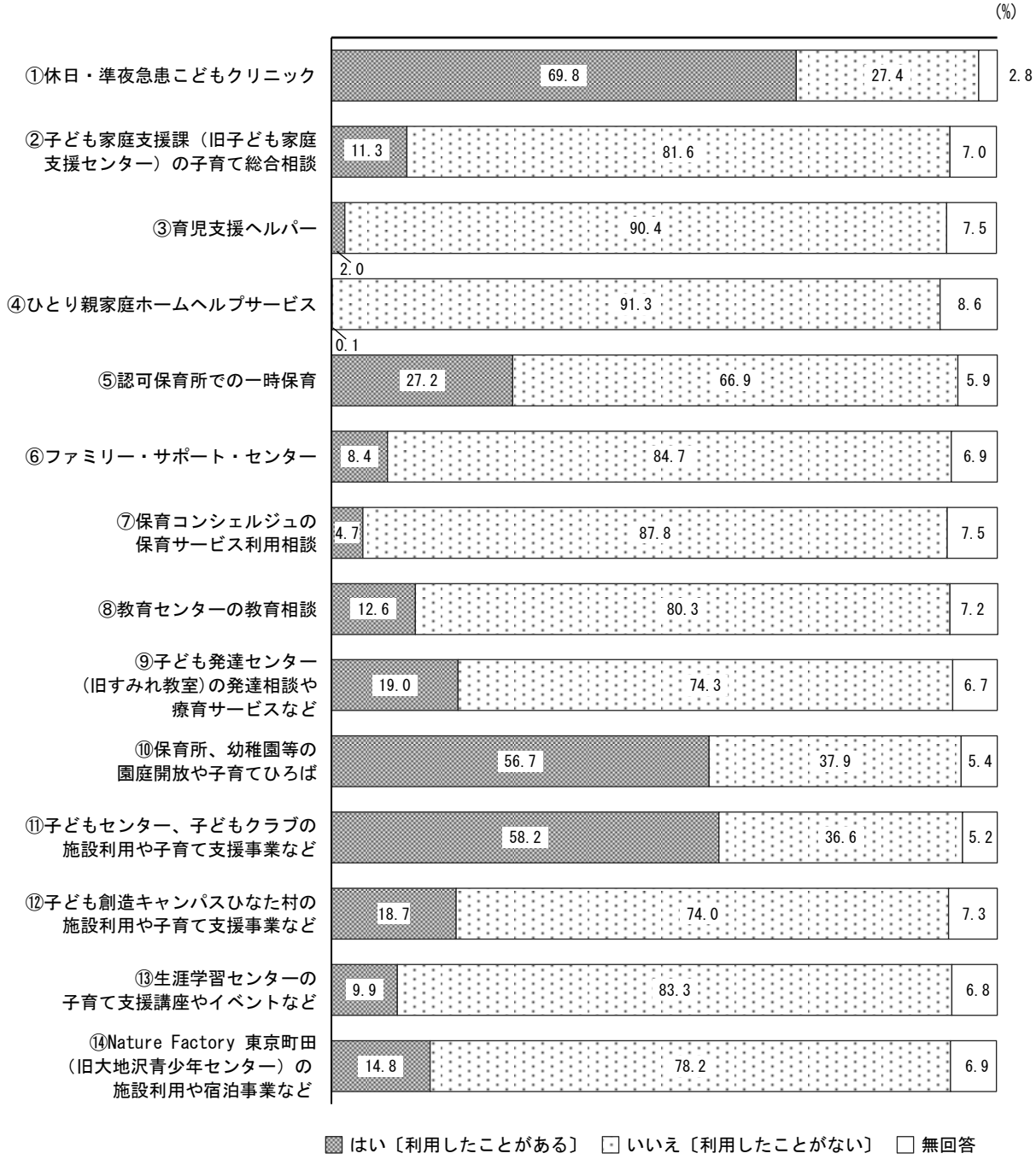
※「⑬生涯学習センターの子育て支援講座やイベントなど」は２０２４年度調査からの新規項目のため、比較なし。

【B　利用状況】

- 『①休日・準夜急患こどもクリニック』『⑩保育所、幼稚園等の園庭開放や子育てひろば』『⑪子どもセンター、子どもクラブの施設利用や子育て支援事業など』は、利用したことがある人の割合が他の事業に比べて高くなっています。
- 『③育児支援ヘルパー』『④ひとり親家庭ホームヘルプサービス』『⑦保育コンシェルジュの保育サービス利用相談』は、利用したことがない人が９割以上となっています。

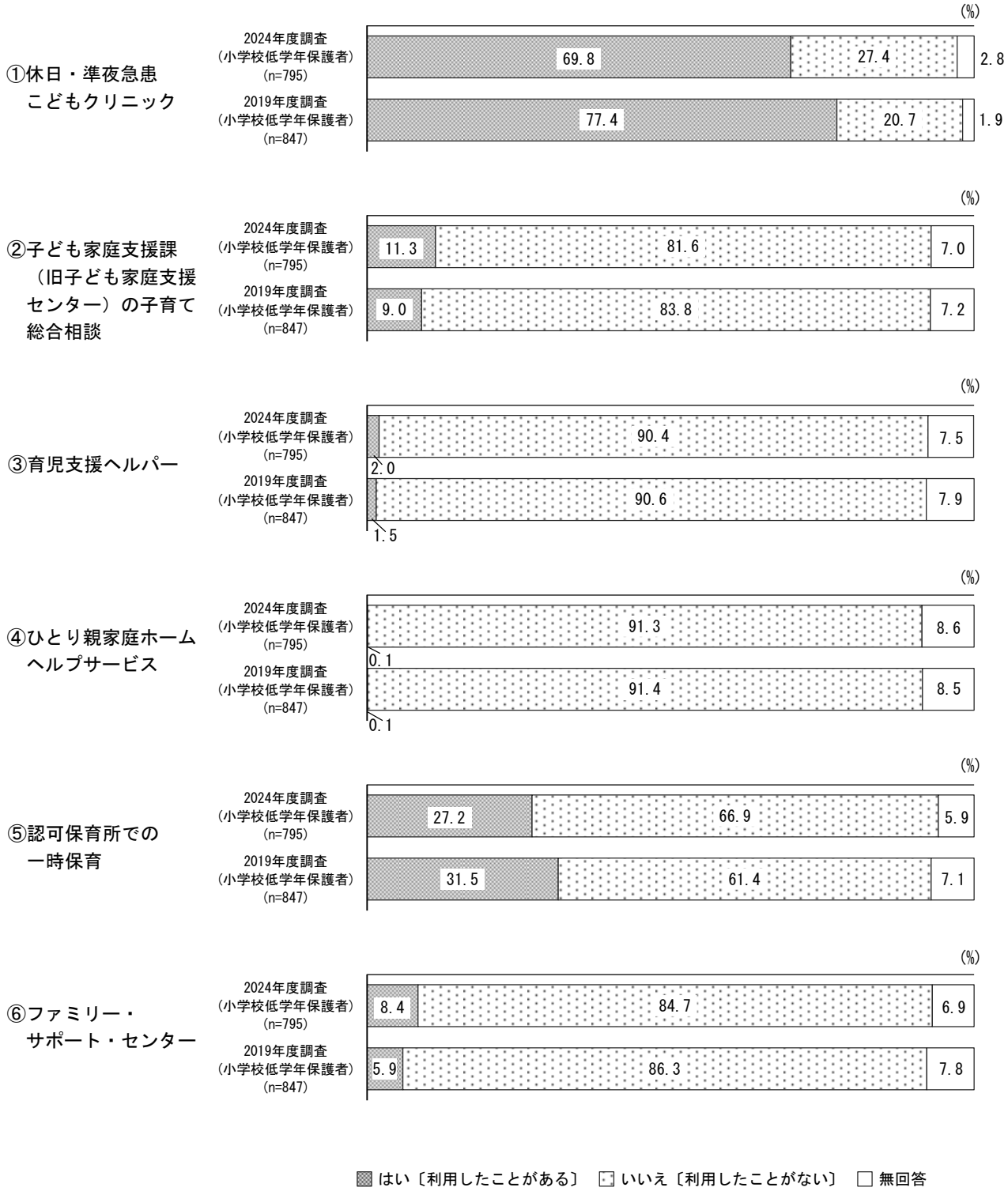
小学校低学年保護者
(n=795)

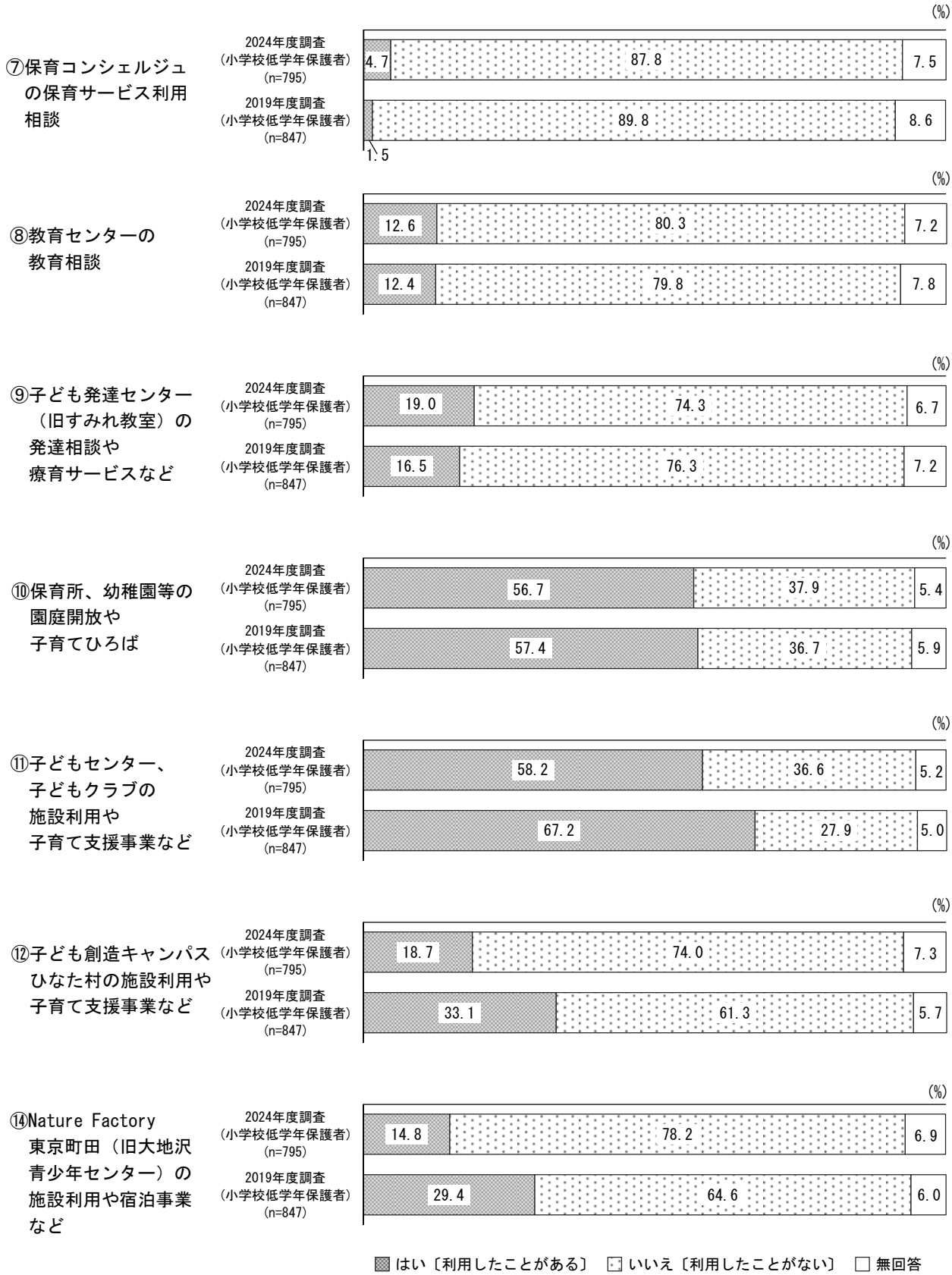
子育て支援事業の利用状況



○ ２０１９年度調査との比較

- ２０１９年度調査と比較して、『②子ども家庭支援課（旧子ども家庭支援センター）の子育て総合相談』『③育児支援ヘルパー』『⑥ファミリー・サポート・センター』『⑦保育コンシェルジュの保育サービス利用相談』『⑧教育センターの教育相談』『⑨子ども発達支援センター（旧すみれ教室）の発達相談や療育サービスなど』では利用したことがある人の割合が増加しています。





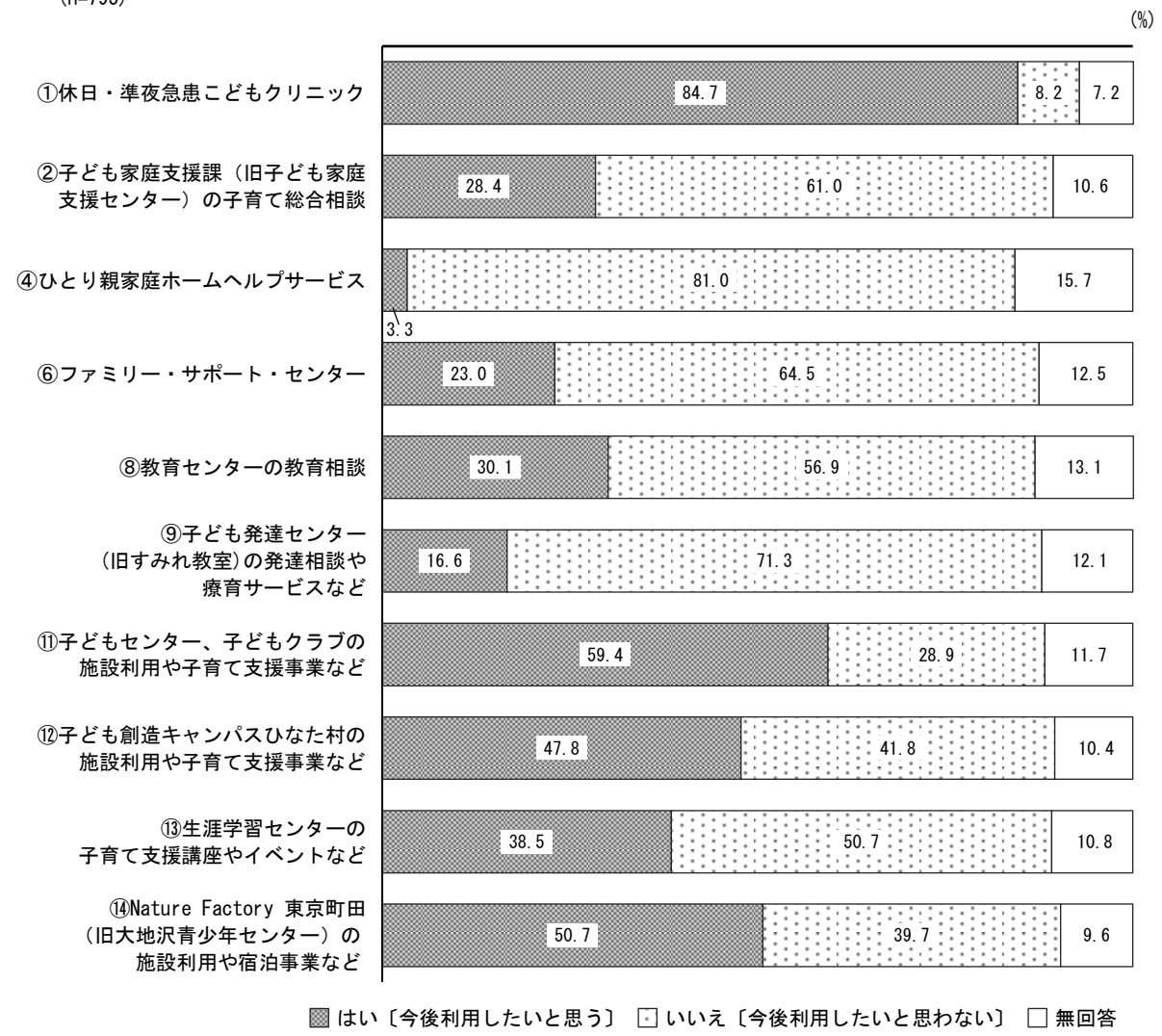
※「⑬生涯学習センターの子育て支援講座やイベントなど」は２０２４年度調査からの新規項目のため、比較なし。

【C　利用意向】

- 『①休日・準夜急患こどもクリニック』は今後利用したいと思う人の割合が８割以上と、最も利用意向が高くなっています。
- 『④ひとり親家庭ホームヘルプサービス』『⑨子ども発達センター（旧すみれ教室）の発達相談や療育サービスなど』は、今後利用したいと思う人の割合が２割以下と低くなっています。

小学校低学年保護者
(n=795)

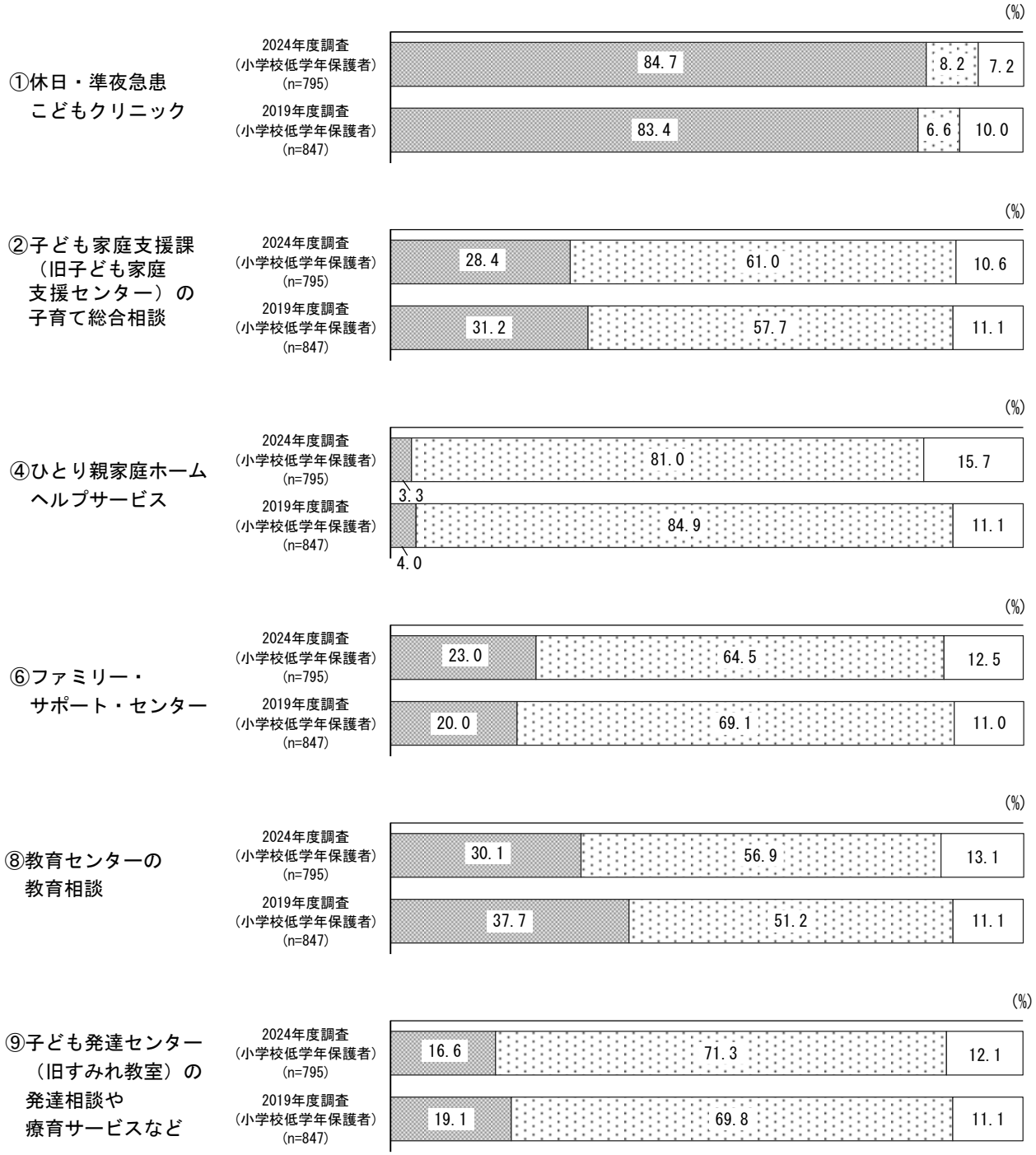
子育て支援事業の利用意向

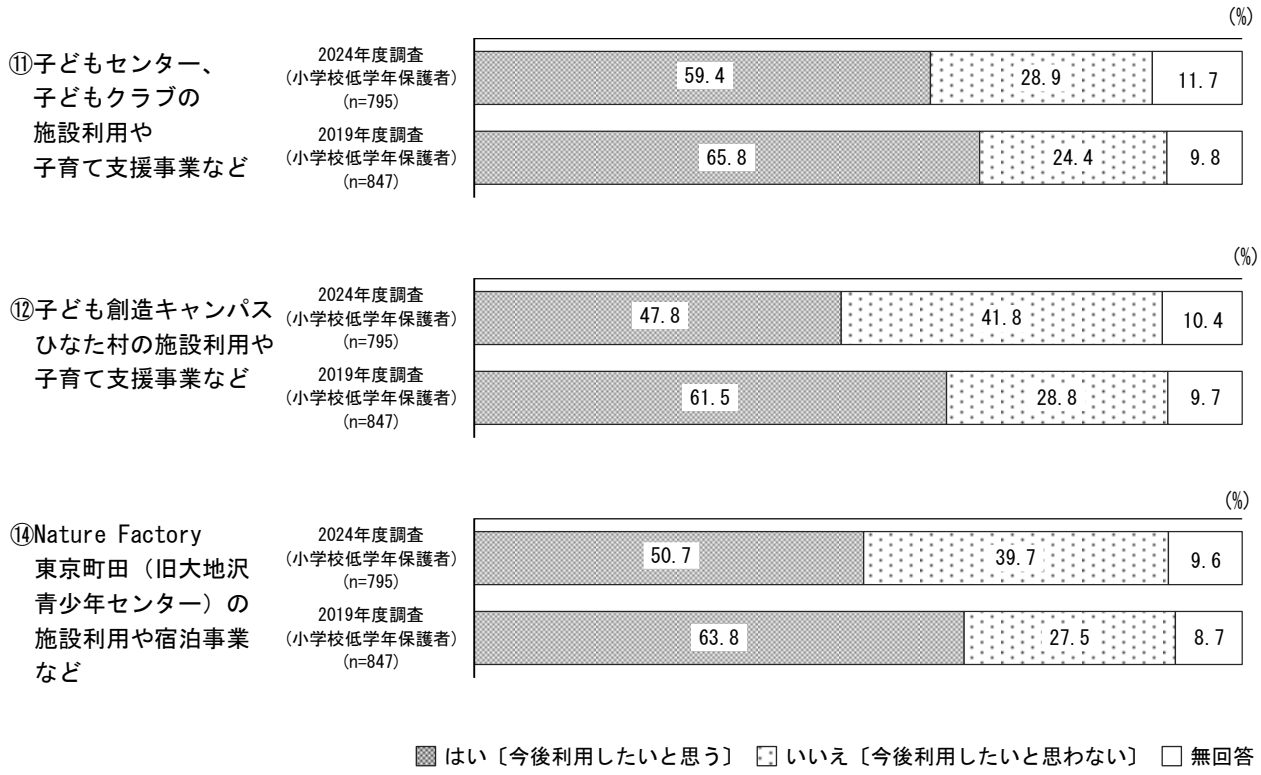


※「③育児支援ヘルパー」「⑤認可保育所での一時保育」「⑦保育コンシェルジュの保育サービス利用相談」「⑩保育所、幼稚園等の園庭開放や子育てひろば」は就学前児童対象の事業のため、利用意向は未調査。

○ ２０１９年度調査との比較

- ２０１９年度調査と比較して、『⑫子ども創造キャンパスひなた村の施設利用や子育て支援事業など』と『⑭Ｎａｔｕｒｅ　Ｆａｃｔｏｒｙ東京町田（旧大地沢青少年センター）の施設利用や宿泊事業など』では今後利用したいと思う人の割合が１０ポイント以上減少しています。



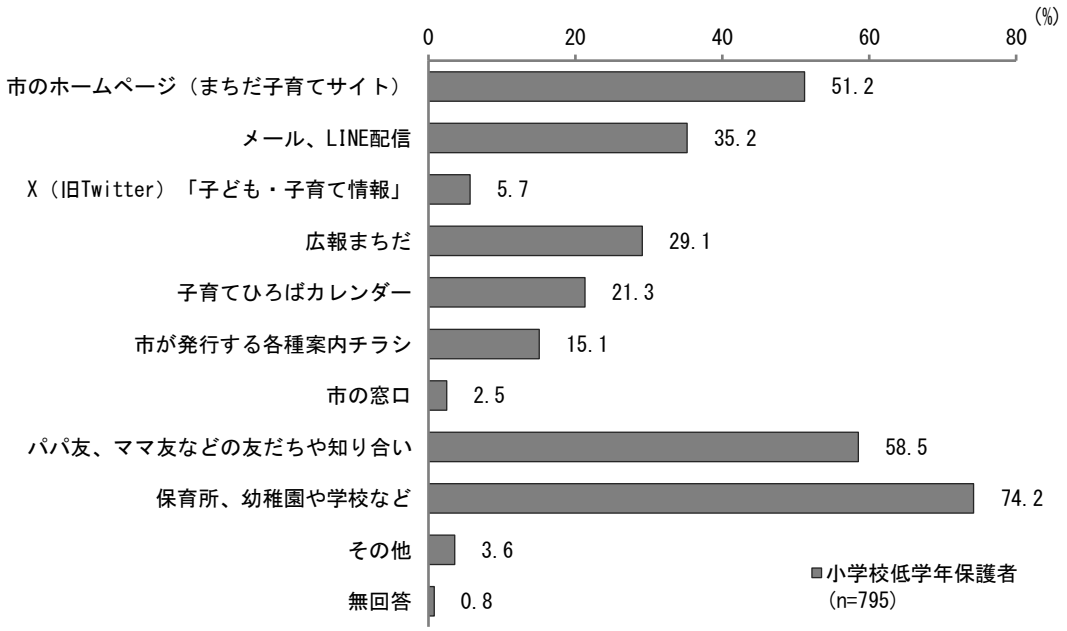


※「③育児支援ヘルパー」「⑤認可保育所での一時保育」「⑦保育コンシェルジュの保育サービス利用相談」「⑩保育所、幼稚園等の園庭開放や子育てひろば」は、就学前児童対象の事業のため、利用意向は未調査。

問１６　子育てに関する情報をどのように得ていますか。【あてはまるものすべてに○】

- 「保育所、幼稚園や学校など」が７４．２％と最も多く、次いで「パパ友、ママ友などの友だちや知り合い」が５８．５％、「市のホームページ（まちだ子育てサイト)」が５１．２％となっています。

子育て情報の入手方法
（複数回答）

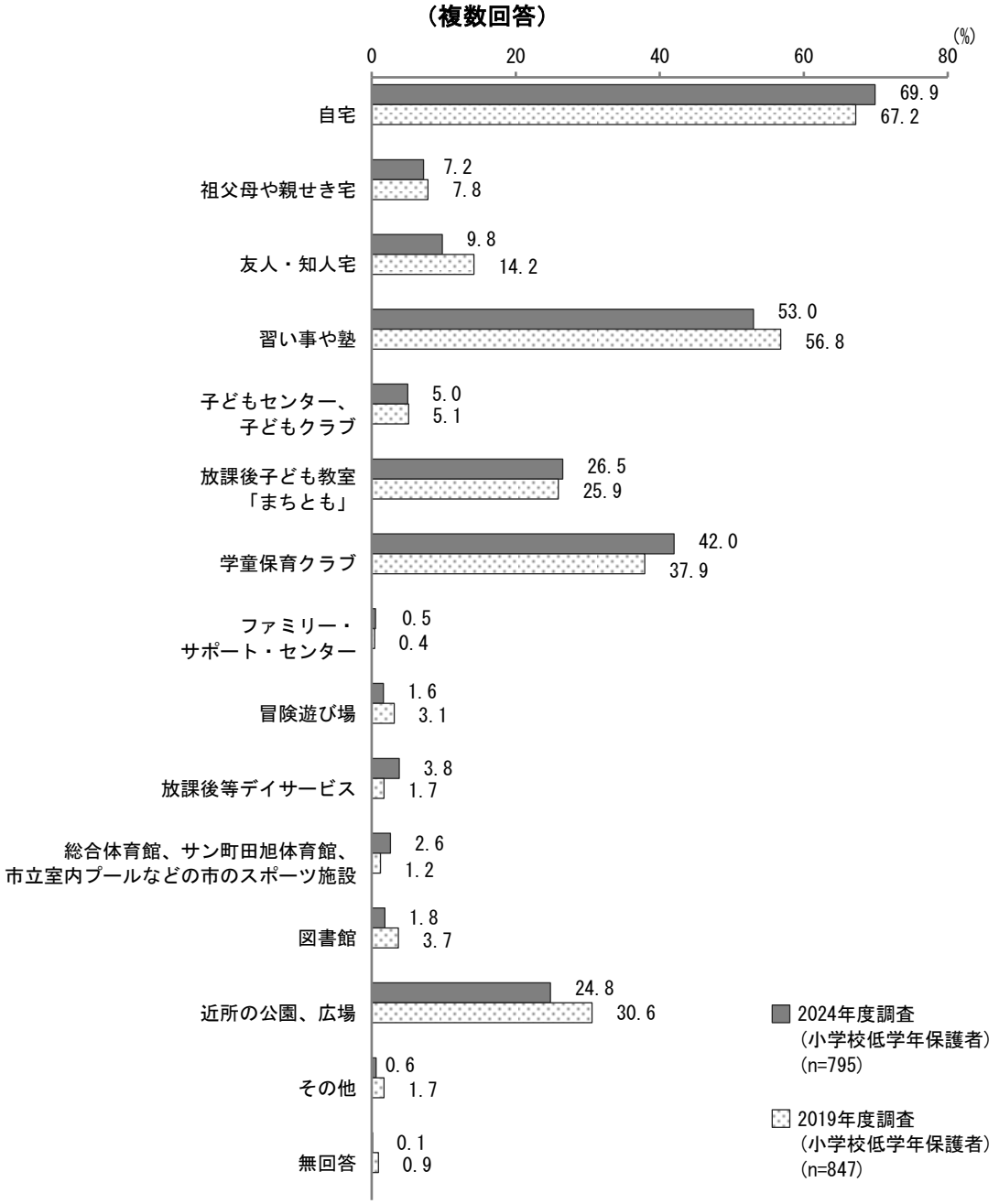


（６）放課後の過ごし方について

問１７　あて名のお子さんは、放課後（平日の授業終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。【あてはまるものすべてに○】
過ごしている場所にあてはまる場合、過ごしている週当たりの日数を数字でご記入ください。

- 「自宅」が６９．９％と最も多く、次いで「習い事や塾」が５３．０％、「学童保育クラブ」が４２．０％となっています。
- ２０１９年度調査と比較して、「近所の公園、広場」の割合が最も減少し、「学童保育クラブ」の割合が５ポイントほど増加しています。

放課後の時間を過ごしている場所（低学年）
（複数回答）



【１週当たりの日数】

- ほとんどの場所で「１日」または「２日」の割合が最も高くなっています。
- 自宅と学童保育クラブでは「５日」、放課後等デイサービスでは「４日」の割合が最も高くなっており、学童保育クラブの「５日」の割合は半数以上となっています。

過ごしている１週当たりの日数（低学年）

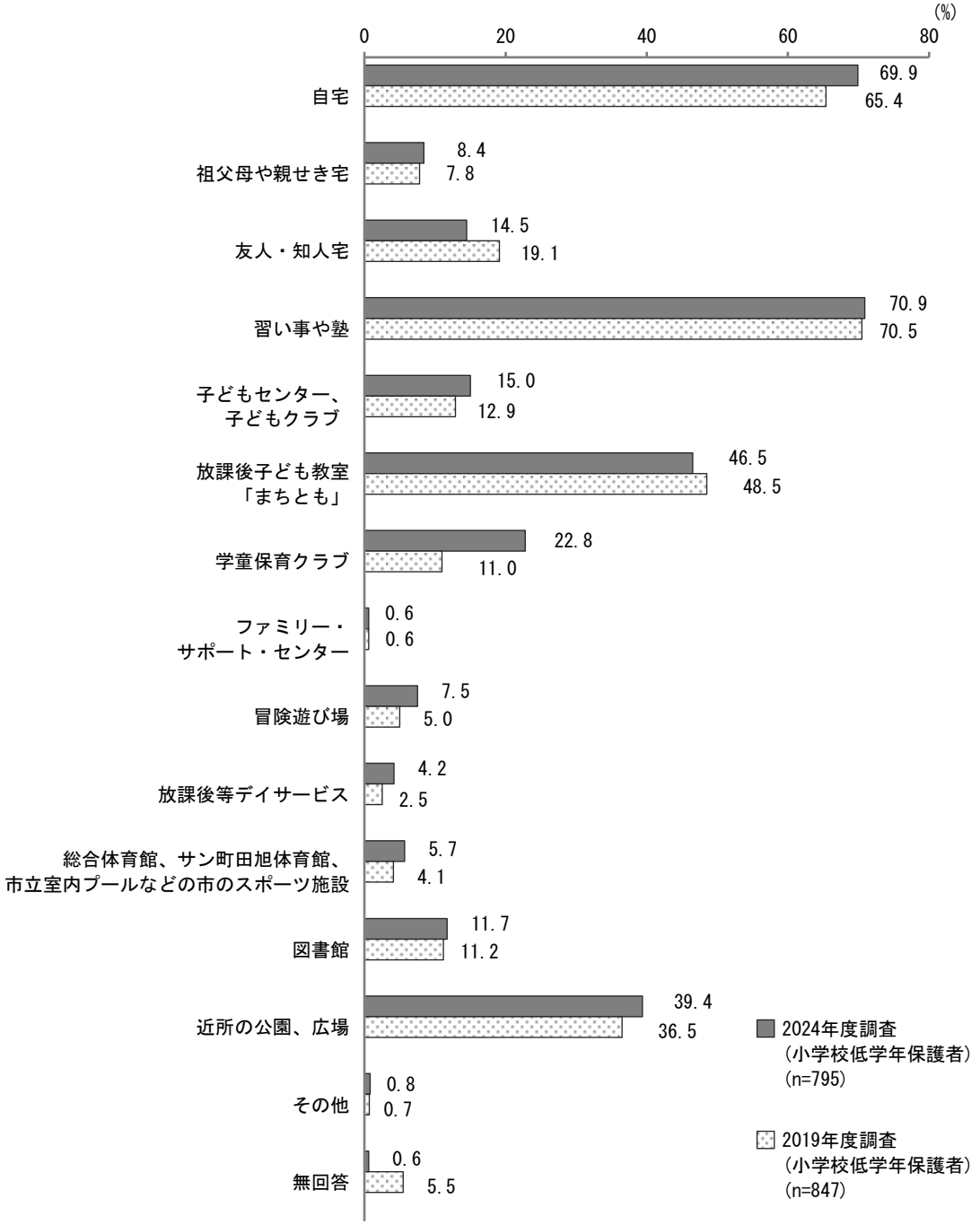
(%)

区分	回答者数（件）	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
自宅	556	14.6	16.5	19.8	11.9	24.3	1.6	7.6	3.8
祖父母や親せき宅	57	45.6	10.5	12.3	7.0	15.8	1.8	1.8	5.3
友人・知人宅	78	69.2	15.4	7.7	－	1.3	－	－	6.4
習い事や塾	421	29.9	34.0	21.9	10.2	2.1	0.2	0.2	1.4
子どもセンター、子どもクラブ	40	60.0	12.5	5.0	5.0	－	5.0	－	12.5
放課後子ども教室「まちとも」	211	49.3	15.2	13.3	9.5	8.1	－	－	4.7
学童保育クラブ	334	1.8	6.6	11.1	22.5	53.3	2.7	－	2.1
ファミリー・サポート・センター	4	50.0	－	－	－	25.0	－	－	25.0
冒険遊び場	13	38.5	23.1	15.4	－	－	－	－	23.1
放課後等デイサービス	30	13.3	20.0	16.7	23.3	20.0	－	－	6.7
総合体育館、サン町田旭体育館、市立室内プールなどの市のスポーツ施設	21	95.2	－	－	－	－	－	－	4.8
図書館	14	85.7	7.1	－	－	－	－	－	7.1
近所の公園、広場	197	50.8	27.4	13.7	2.0	2.5	0.5	－	3.0
その他	5	－	40.0	20.0	20.0	－	－	－	20.0

問１８　あて名のお子さんが小学校高学年（４～６年生）になったら、放課後（平日の授業終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいですか。【あてはまるものすべてに○】
過ごさせたい場所にあてはまる場合、希望する週当たりの日数を数字でご記入ください。

- 「習い事や塾」が７０．９％と最も多く、次いで「自宅」が６９．９％、「放課後子ども教室「まちとも」」が４６．５％となっています。
- ２０１９年度調査と比較して、「友人・知人宅」の割合が５ポイントほど減少し、「学童保育クラブ」の割合が大きく増加しています。

放課後の時間を過ごさせたい場所（高学年）
（複数回答）



【１週当たりの希望日数】

- ほとんどの場所で「１日」または「２日」の割合が最も高くなっていますが、学童保育クラブでは「５日」の割合が最も高くなっています。

過ごさせたい１週当たりの日数（高学年）

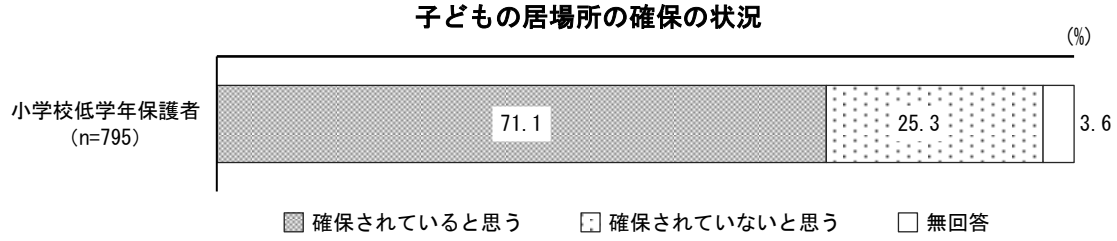
(%)

区分	回答者数(件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
自宅	556	18.3	27.3	20.1	4.5	19.4	0.9	3.4	5.9
祖父母や親せき宅	67	38.8	23.9	11.9	1.5	16.4	1.5	1.5	4.5
友人・知人宅	115	65.2	20.0	6.1	－	1.7	－	－	7.0
習い事や塾	564	19.3	37.6	28.4	7.1	3.5	0.2	－	3.9
子どもセンター、子どもクラブ	119	47.1	17.6	16.8	－	4.2	1.7	－	12.6
放課後子ども教室「まちとも」	370	25.9	28.1	21.9	5.4	11.6	0.3	－	6.8
学童保育クラブ	181	8.3	18.2	22.1	11.0	32.6	1.1	－	6.6
ファミリー・サポート・センター	5	100.0	－	－	－	－	－	－	－
冒険遊び場	60	56.7	18.3	10.0	3.3	1.7	－	－	10.0
放課後等デイサービス	33	18.2	15.2	27.3	18.2	15.2	－	－	6.1
総合体育館、サン町田旭体育館、市立室内プールなどの市のスポーツ施設	45	73.3	13.3	8.9	－	－	－	－	4.4
図書館	93	66.7	19.4	4.3	－	2.2	－	－	7.5
近所の公園、広場	313	33.5	32.9	18.2	3.8	5.8	0.3	0.3	5.1
その他	6	16.7	16.7	－	16.7	－	－	16.7	33.3

（７）子どもの居場所について

問１９　町田市では、子どもが放課後や休日に過ごす場所（子どもの居場所）は確保されていると思いますか。【○は１つだけ】
※家と学校は除きます。

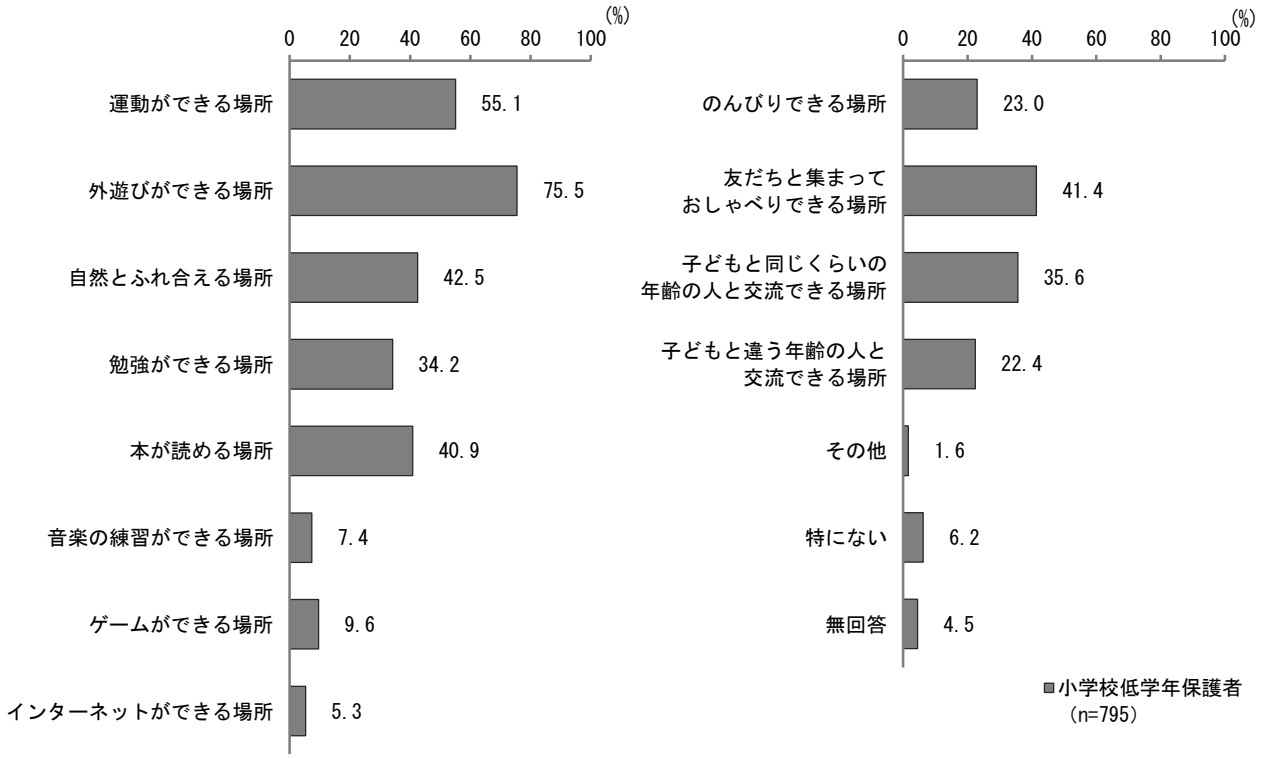
子どもの居場所の確保の状況



問１９－１　子どもが放課後や休日に過ごす場所（子どもの居場所）として確保されていると思う場所はどこですか。【あてはまるものすべてに○】

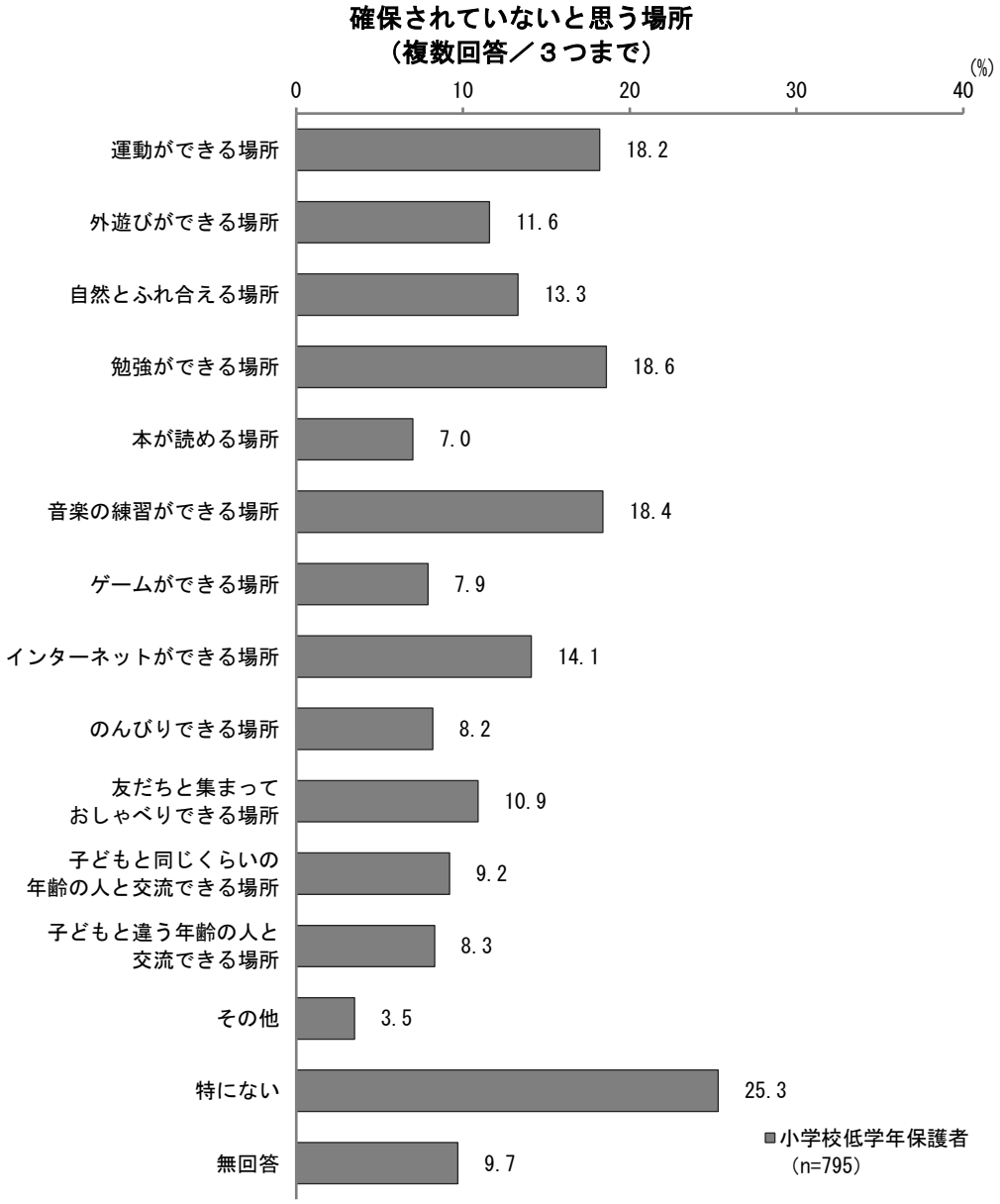
- 「外遊びができる場所」が７５．５％と最も多く、次いで「運動ができる場所」が５５．１％、「自然とふれ合える場所」が４２．５％となっています。

確保されていると思う場所
（複数回答）



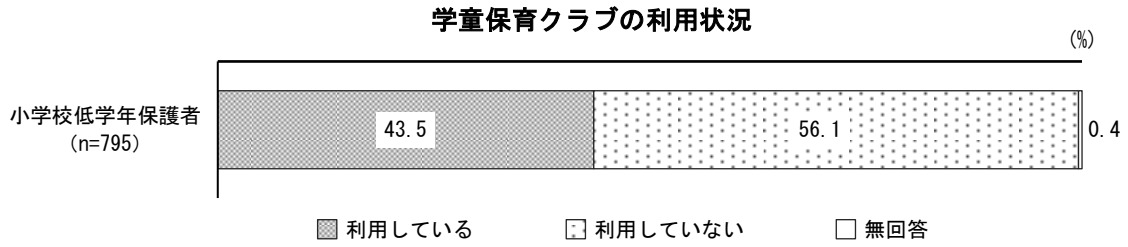
問１９－２　子どもが放課後や休日に過ごす場所（子どもの居場所）として確保されていないと思う場所はどこですか。【○は３つまで】

- 「特にない」が２５．３％と最も多く、次いで「勉強ができる場所」が１８．６％、「音楽の練習ができる場所」が１８．４％となっています。



（８）学童保育クラブについて

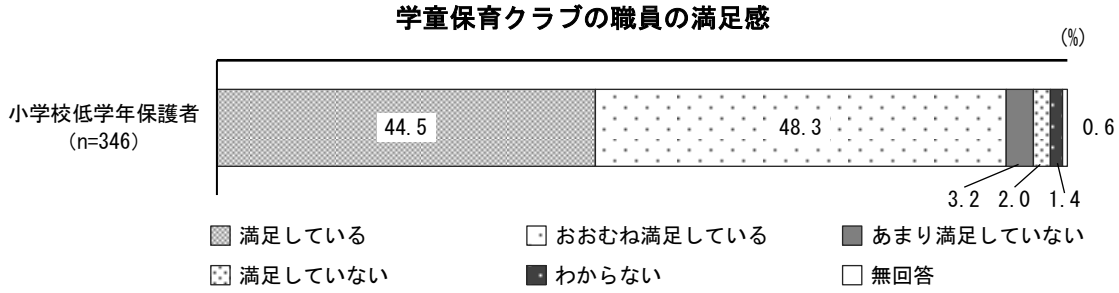
問２０　あて名のお子さんは学童保育クラブを利用していますか。【○は１つだけ】



※問２１～２３は、問２０で「利用している」を選択した人のみ回答

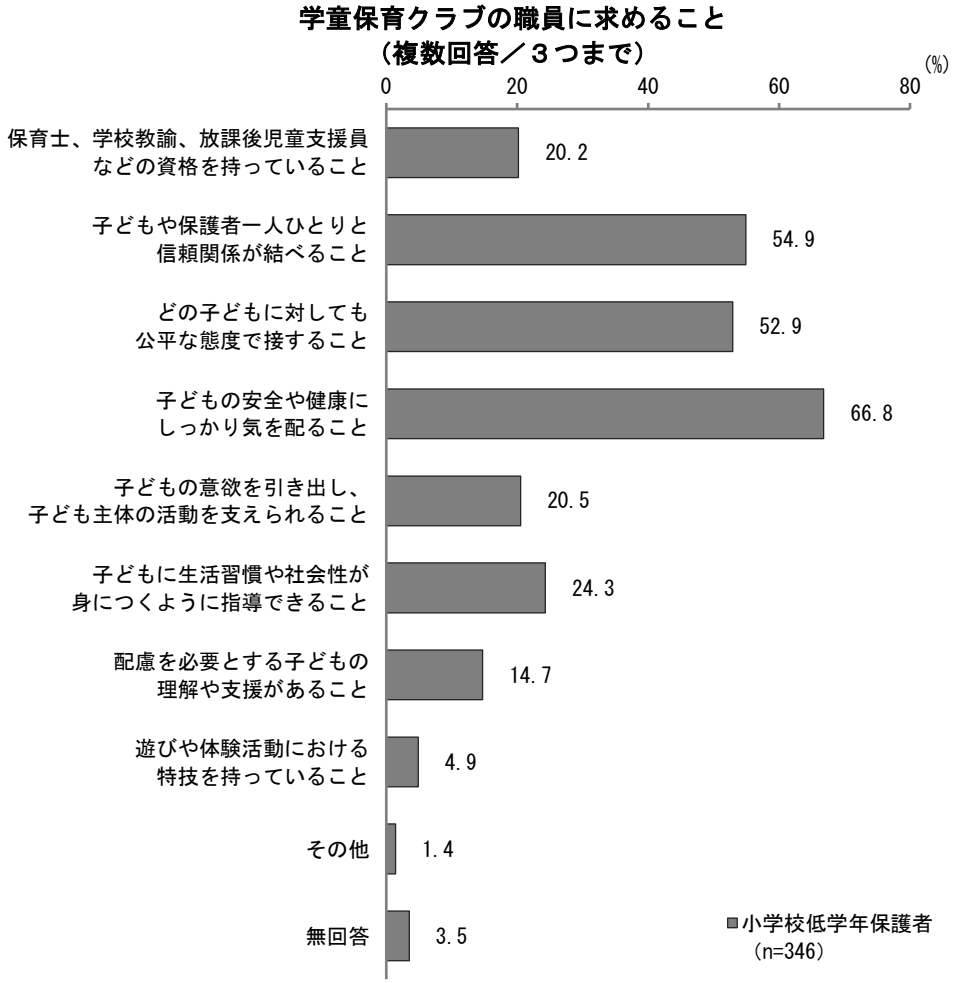
問２１　学童保育クラブの職員に満足していますか。【○は１つだけ】

- 「おおむね満足している」が４８．３％と最も多く、次いで「満足している」が４４．５％、「あまり満足していない」が３．２％となっています。



問２２　学童保育クラブの職員に求めることは何ですか。【○は３つまで】

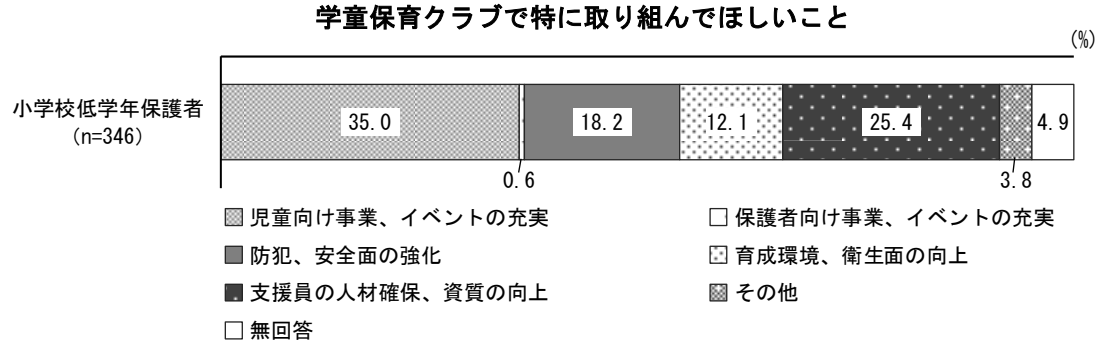
- 「子どもの安全や健康にしっかり気を配ること」が６６．８％と最も多く、次いで「子どもや保護者一人ひとりと信頼関係が結べること」が５４．９％、「どの子どもに対しても公平な態度で接すること」が５２．９％となっています。



問２３　学童保育クラブで特に取り組んでほしいことは何ですか。【○は１つだけ】

- 「児童向け事業、イベントの充実」が３５．０％と最も多く、次いで「支援員の人材確保、資質の向上」が２５．４％、「防犯、安全面の強化」が１８．２％となっています。

学童保育クラブで特に取り組んでほしいこと

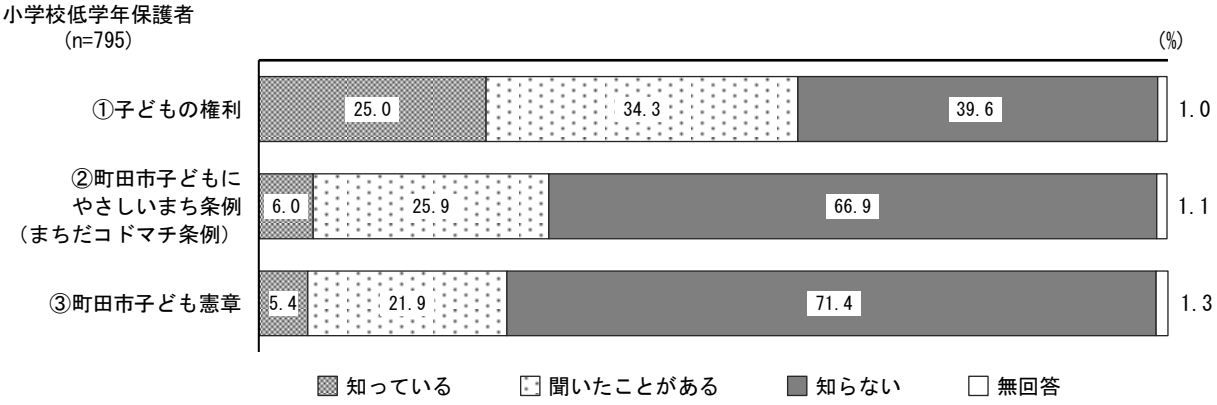


（9）「子どもの権利」について

問２４　子どもには大切な「子どもの権利」があります。
町田市では、「子どもの権利」に関する条例「町田市子どもにやさしいまち条例」や、子ども自身の意見でつくられた子どもの行動指針「町田市子ども憲章」があります。
あなたは、これらについて知っていますか。
①～③について、それぞれ１つに○をつけてください。

- 『①子どもの権利』は認知度（「知っている」と「聞いたことがある」の合計）が約６割と高くなっているのに対し、『②町田市子どもにやさしいまち条例（まちだコドマチ条例(ルール)）』と『③町田市子ども憲章』の認知度は３割程度と低くなっています。

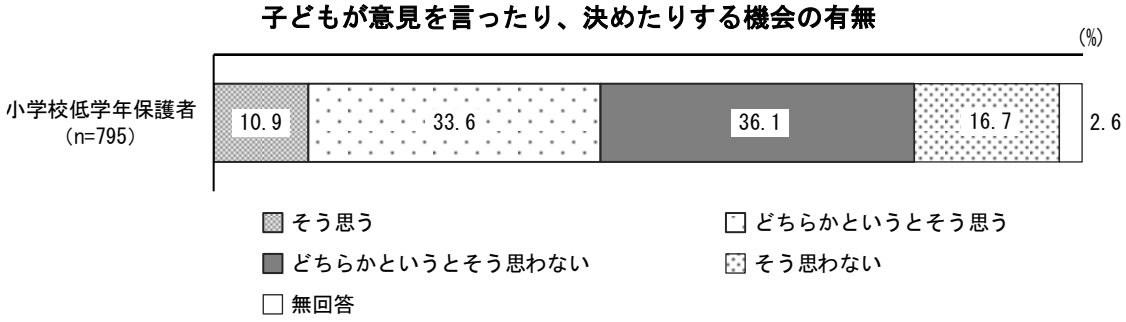
「子どもの権利」「まちだコドマチ条例(ルール)」「町田市子ども憲章」の認知度



問２５　「子どもの権利」の１つに「参加する権利」があります。
「参加する権利」には、自分に関わることについて、意見が言えて、意見が大切にされることが含まれます。町田市では、学校（授業以外）や地域などで子どもが意見を言ったり、決めたりする機会があると思いますか。【○は１つだけ】

- 「どちらかというとそう思わない」が３６．１％と最も多く、次いで「どちらかというとそう思う」が３３．６％、「そう思わない」が１６．７％となっています。

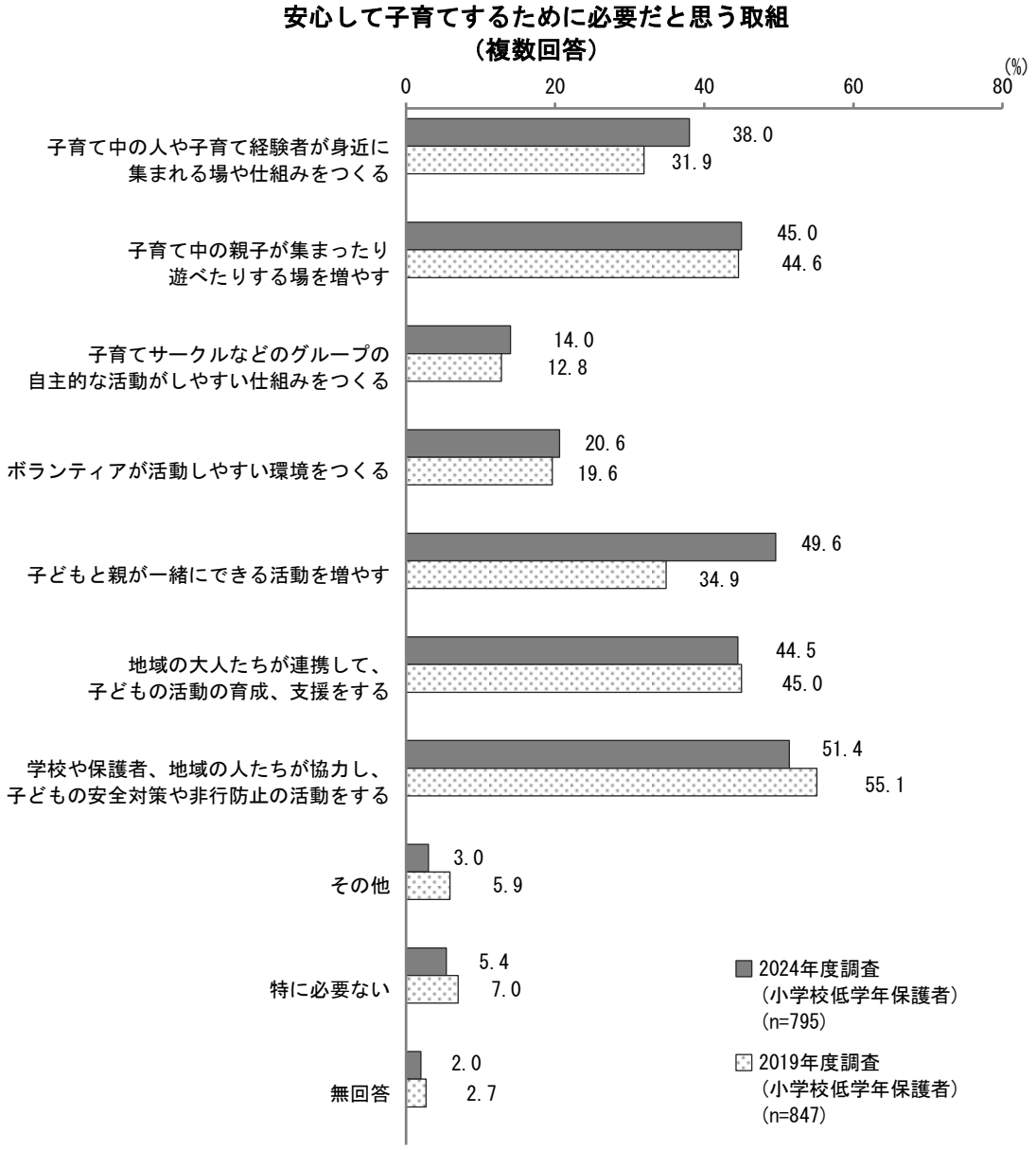
子どもが意見を言ったり、決めたりする機会の有無



（１０）子育て施策全般について

問２６　安心して子育てをするためには、地域の人とどのような取組をする必要があると思いますか。【あてはまるものすべてに○】

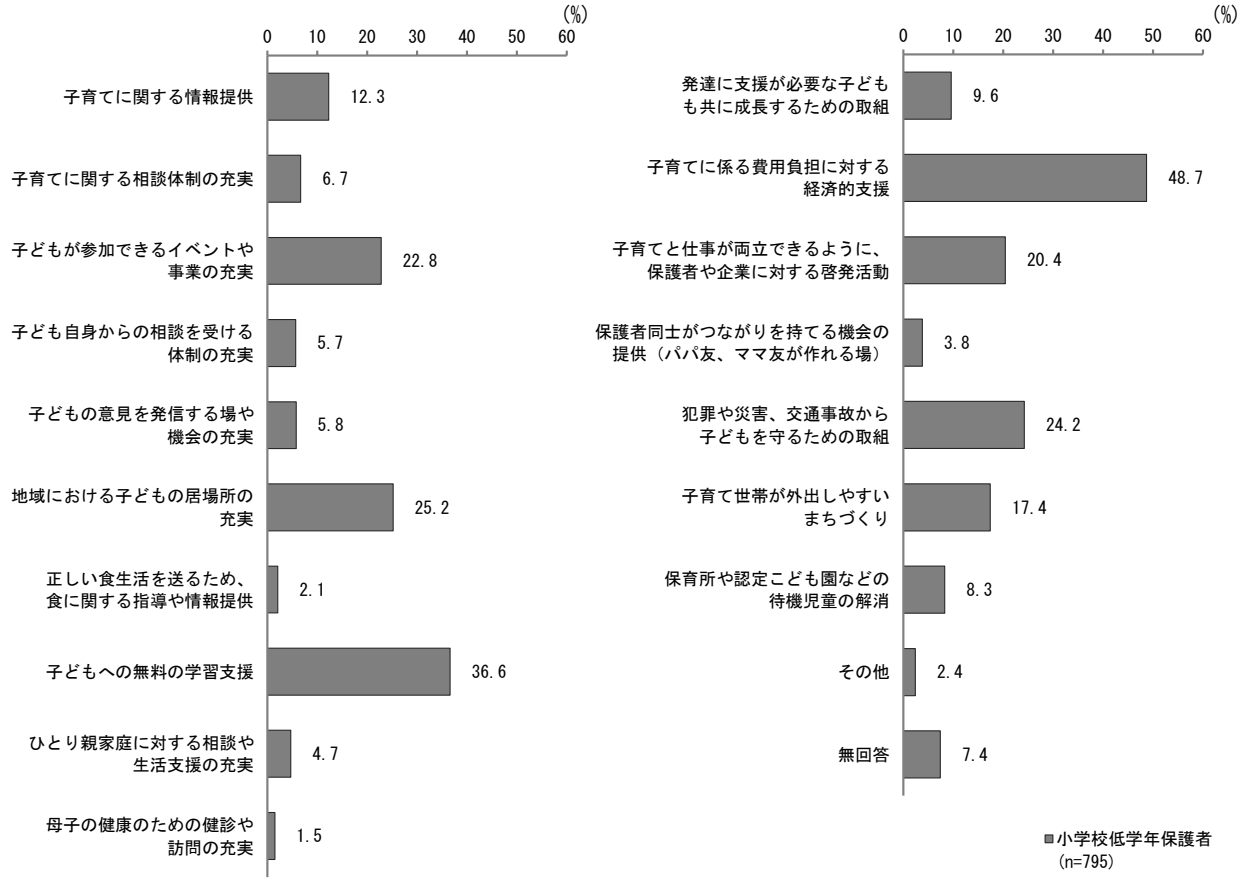
- 「学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全対策や非行防止の活動をする」が５１．４％と最も多く、次いで「子どもと親が一緒にできる活動を増やす」が４９．６％、「子育て中の親子が集まったり遊べたりする場を増やす」が４５．０％となっています。
- ２０１９年度調査と比較して、「子どもと親が一緒にできる活動を増やす」の割合が大きく増加し、「学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全対策や非行防止の活動をする」の割合が４ポイントほど減少しています。



問２７　市の子育て支援への取組や少子化対策として、期待すること、重要なことは何ですか。
【○は３つまで】

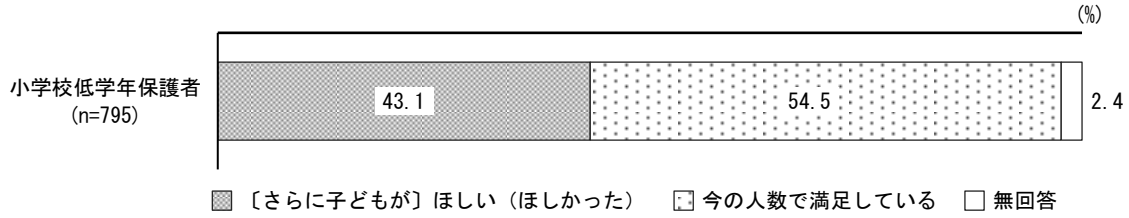
- 「子育てに係る費用負担に対する経済的支援」が４８．７％と最も多く、次いで「子どもへの無料の学習支援」が３６．６％、「地域における子どもの居場所の充実」が２５．２％となっています。

市に期待する支援や取組
（複数回答／３つまで）



問２８　問２７の取組が充実したとして、あなたは、現在よりさらに子どもがほしい（ほしかった）と思いますか。【○は１つだけ】

取組が充実した場合の希望



【子どもの年齢別】

- 子どもの年齢別でみると、全ての年齢で「今の人数で満足している」の割合が高くなっており、７歳で最も高くなっています。

取組が充実した場合の希望【子どもの年齢別】

(%)

区分	回答者数（件）	ほしい（ほしかった）	今の人数で満足している	無回答
6歳	247	44.5	54.3	1.2
7歳	243	38.7	57.6	3.7
8歳	282	45.7	52.1	2.1

【母親の就労状況別】

- 母親の就労状況別でみると、『パートタイム、アルバイトなどで、現在産休・育休・介護休暇中』以外は「今の人数で満足している」の割合が高くなっています。

取組が充実した場合の希望【母親の就労状況別】

(%)

区分	回答者数(件)	ほしい(ほしかった)	今の人数で満足している	無回答
フルタイム	261	48.7	50.2	1.1
フルタイムで、現在産休・育休・介護休暇中	16	43.8	56.3	－
パートタイム、アルバイトなど	297	43.1	54.2	2.7
パートタイム、アルバイトなどで、現在産休・育休・介護休暇中	5	60.0	40.0	－
以前は就労していたが、現在は就労していない	184	35.9	60.9	3.3
これまでに就労したことがない	12	41.7	58.3	－

問２９　子育てに関するご意見があれば、ご自由にご記入ください。

- アンケート調査票の自由記述欄において、２６９人の方から、計４２０件の意見を寄せていただきました。
- 掲載している文章は、回答原文のうち各分類に関連する部分を要約・抜粋したものです。

【主な意見】

回答分類	件数
１　小学校の生活について	７６
（１）小学校について	３２
・集団登下校がなく、旗振りの方もいないため、大きな道路を渡るのが不安で、毎日学校まで迎えに行っている。地域の見守り不足だと思う。 ・タブレット学習等、教育の充実は嬉しい反面、そういったツールを利用した問題（いじめ等）も心配している。勉学面も生活面も大人の目が行き届く環境づくりをお願いしたい。	
（２）学童保育クラブ・放課後子ども教室「まちとも」について	４４
・学童保育の金額を通所日数によって設定してもらえると、パート等で働きやすくなると思う。 ・「まちとも」は雨だとやらなかったり、夏休みはやってくれないことも多く、利用しづらい。また、学校によって差もあるのでもっと利用しやすくしてほしい。	
２　子育て支援全般について	５６
（１）子どもの居場所やイベント（子どもセンター、親子イベントなど）について	１６
・徒歩圏内に子どもセンターなど夏休みの居場所がほしい。町田の自然を活かした冒険遊び場はありがたい。 ・親子で参加できる運動クラブなどをもっと増やしてほしい。	
（２）病児・病後児保育や障がい児への支援について	１４
・発達に支援が必要な子どもに対する施設や支援をもっと充実させてほしい。働きながら利用できる放課後等デイサービスや、特別支援学級の各校への配置、インクルーシブ教育の拡充など、選択肢を増やしてほしい。 ・サポートルームの利用について、基本１年という縛りなく、利用したい人が利用できる環境にしてほしい。普通級だけではサポートが足りないものの、特別支援学校に行くほどではない発達障がいのある子どもが、安心して通える場所が、学校に常にあってほしい。	
（３）子育て支援に関する情報、相談先について	１２
・小学生以上向けの情報がほしいので、小学生以上向けの講座を開催してほしい。第１子は、受験や塾などの情報が入りにくいのではないかと不安。そのような情報をもらえる場があれば安心できる。 ・市に相談したいが、平日フルタイムで仕事のため窓口に行く時間の確保が難しく苦慮している。	

【主な意見】

回答分類	件数
（４）子どもを預けられる場所の充実について	１４
・ファミリー・サポート・センターは事前の登録が必要で、利用しにくい。急な病気や、学級閉鎖などで急に休みになった場合に、すぐに手頃な金額で預けられたりできる場所があると、大変助かる。 ・就労日数が少ない親でも安心して必ず預けられるところがあると、とてもありがたい。	
３　子育て環境について	１７３
（１）公園・遊び場・外出について	５７
・町田市は、ボール遊びできない公園が多く、子どもよりもお年寄り向けの場所が多いため、もう少し子どもが外で遊べるようにしてほしい。 ・子ども達が楽しく過ごせる場が増えると良いと思う。近所の公園も、遊具が老朽化ではずされてから、一向に新しくなる気配がないなど、そういう所が改善されると良いと思う。 ・室内で遊べる場所を、学校付近に作ってほしい。公園の中に屋根があるところを作ってくれると雨の日や、暑い日でも外で遊べる。	
（２）公共施設等について	９
・子どもが夏などに、自分の足で行って室内で過ごせる場を作ってほしい。日中仕事で送迎ができないため、小規模でもあると助かる。	
（３）医療費補助・医療・健診体制について	２０
・医療費を２３区と同様に無料にしてほしい。 ・小児科が少なく、通院が一苦労なので、通院の為の配車割引のようなサービスがほしい(病気の際バスには乗れないため)。	
（４）地域との協力について	１５
・小学生になると、親の目の届かない所へ行くようになるが、困った時、どこを頼るよう子どもに伝えれば良いか悩んでいる。子どもを地域で育てるという考え方が復活すると良いと思った。地域のつながりは、子どもだけでなく、高齢者にも必要となってくるため、任意参加の登校班を町内会などで取りまとめるなど、お互いにサポートできるような町づくりができれば良いと思う。 ・子どもが豊かに成長していくためには、親（家族）だけではなく、様々な方の関わり・支えが大切になってくると実感している。子どものみならず、地域の方など、みんなが支え合い、思いやり・感謝の気持ちを持った温かいまちになればと思っている。	
（５）教育環境や学習支援について	１３
・授業についていけない子ども達が学ぶ場所がほしい。例えば、板書を早くできる練習、決まった時間内に考えたり解いたりする練習、今すべきことを理解し、行動する練習などができる施設。 ・ひとり親であるため、子ども達の教育をあまり見てあげられていないことに一番困っている。仕事から帰ってきて宿題を見てあげたり、採点をする余裕がなかなかない。	

【主な意見】

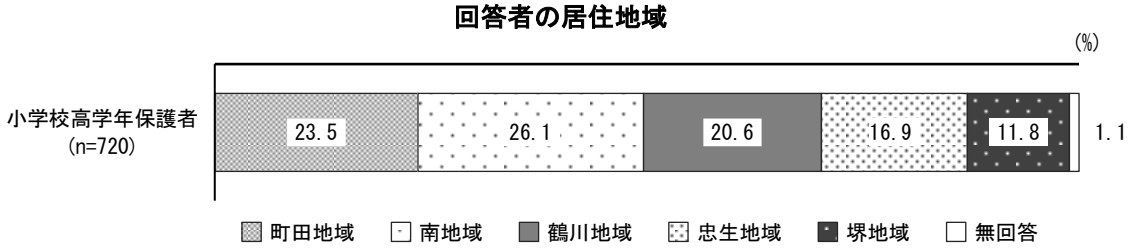
回答分類	件数
（６）防犯・安全面について	２６
・公園で一人または子だけで、とても遊ばせられない。防犯にもっと力を入れてほしい。交通面も道路の白線が消えていたり、非常に危ないまま放置されている。 ・時々不審者が出るため、防犯カメラの設置を検討してほしい。学校下校時は歩行者が少なく、地域の目が足りないと思う。	
（７）まちづくりについて	３３
・町田市には、小さい子ども連れの家族が車で買い物できる場所がとても少なく、多くの人が、相模原方面や座間などに買い物に行っている。町田市にも大型ショッピングモールのような施設ができてほしい。 ・大きな公園に行くには車が必要になったりするが、駐車場料金が負担になるので遊ぶ時間を減らす必要が出てくる。思い切り子どもと遊べるように、市民もしくは子育て世代の駐車場の優遇や無料化をお願いしたい。	
４　子育て中の保護者の状況について	８７
（１）社会制度等（育休・就労状況・男女の子育て意識など）について	５
・子育て中の親を雇用している企業に対して、子育てと仕事の両立の啓発活動を期待する。在宅ワークの推進、子どもの行事のための休暇取得、父親も時短勤務・残業削減の推奨など。	
（２）子育てのその他経済的負担の軽減・支援について	８２
・子育てには、学童保育や習い事など、どうしてもお金がかかる。引き続き、経済的な観点からも支援をいただけると助かる。 ・物価上昇と教育費の上昇などがあり、金銭負担が多い。金銭問題を解決するためにダブルワークしている。そのため、家にいる時間がない。子どもとの時間が作れないことや、自由に子どもと使えるお金がない。 ・学費や生活費などの心配がなくなれば、子どもを産みたい方はたくさんいると思うので、もっと子どもも増えるのではないかと思う。	
５　その他	２８
・父親が単身赴任中なためワンオペ状態で、自分の時間も持てず、家事育児で毎日気付いたら次の日という状況である。親が余裕を持てるように支援をしてほしい。 ・町田市では、子どもの意見を取り入れる動きが加速しており、とても良いことだと思う。一方で、市の政策として考えた場合、その効果は厳しく見なければならない。町田市のそれぞれの担当者が責任を持って判断し、進めていってほしいと考える。	

４　【調査③】小学校高学年保護者

（１）家族の状況について

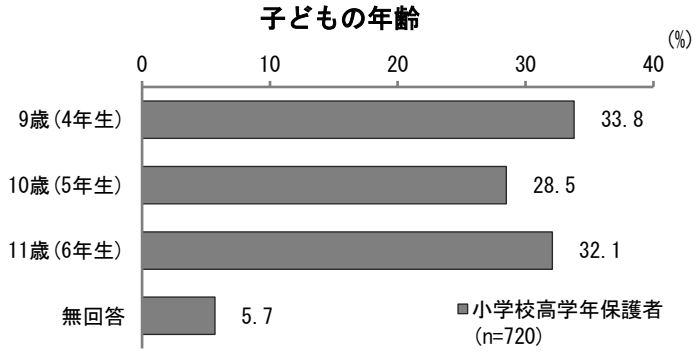
問１　お住まいの郵便番号を数字でご記入ください。

- 「南地域」が２６．１％と最も多く、次いで「町田地域」が２３．５％、「鶴川地域」が２０．６％となっています。



問２　あて名のお子さんの生年月を数字でご記入ください。

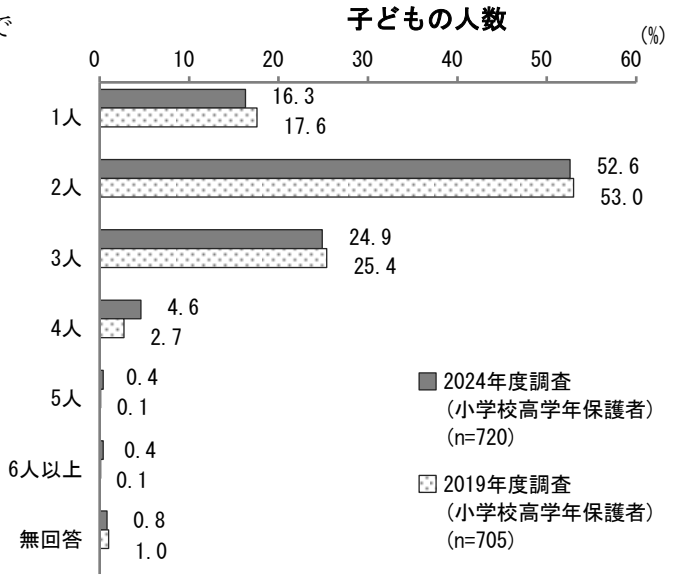
- 「９歳」が３３．８％と最も多く、次いで「１１歳」が３２．１％、「１０歳」が２８．５％となっています。



問３　あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。
あて名のお子さんを含めた人数を数字でご記入ください。
２人以上の場合、末のお子さんの生年月もご記入ください。

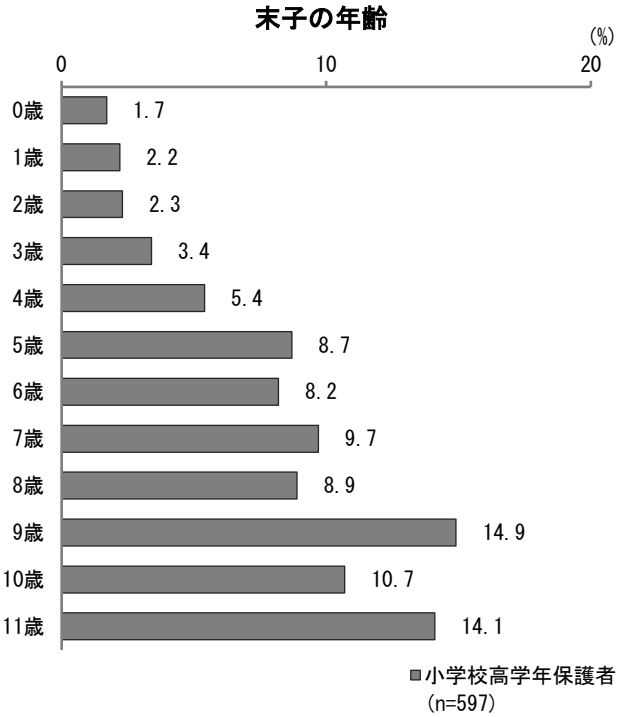
【子どもの人数】

- 「２人」が５２．６％と最も多く、次いで「３人」が２４．９％、「１人」が１６．３％となっています。
- ２０１９年度調査と比較して、大きな変化は見られません。



【末子の年齢】

- 「９歳」が１４．９％と最も多く、次いで「１１歳」が１４．１％、「１０歳」が１０．７％となっています。



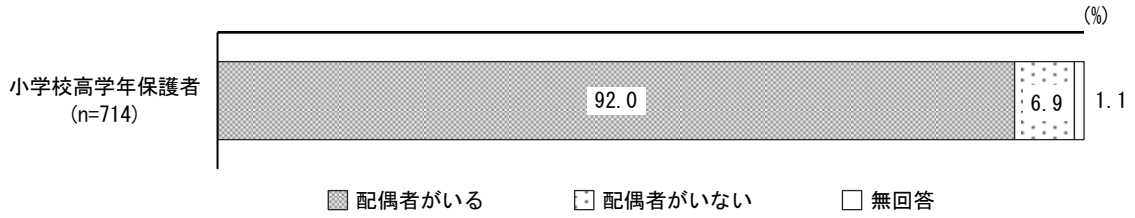
問４　この調査票にご回答いただく方はどなたですか。
あて名のお子さんからみた関係で、お答えください。【○は１つだけ】

回答者

※問５は、問４で「父親」または「母親」を選択した人のみ回答

問５　この調査票にご回答いただいている方の配偶関係について、教えてください。
【○は１つだけ】

回答者の配偶関係

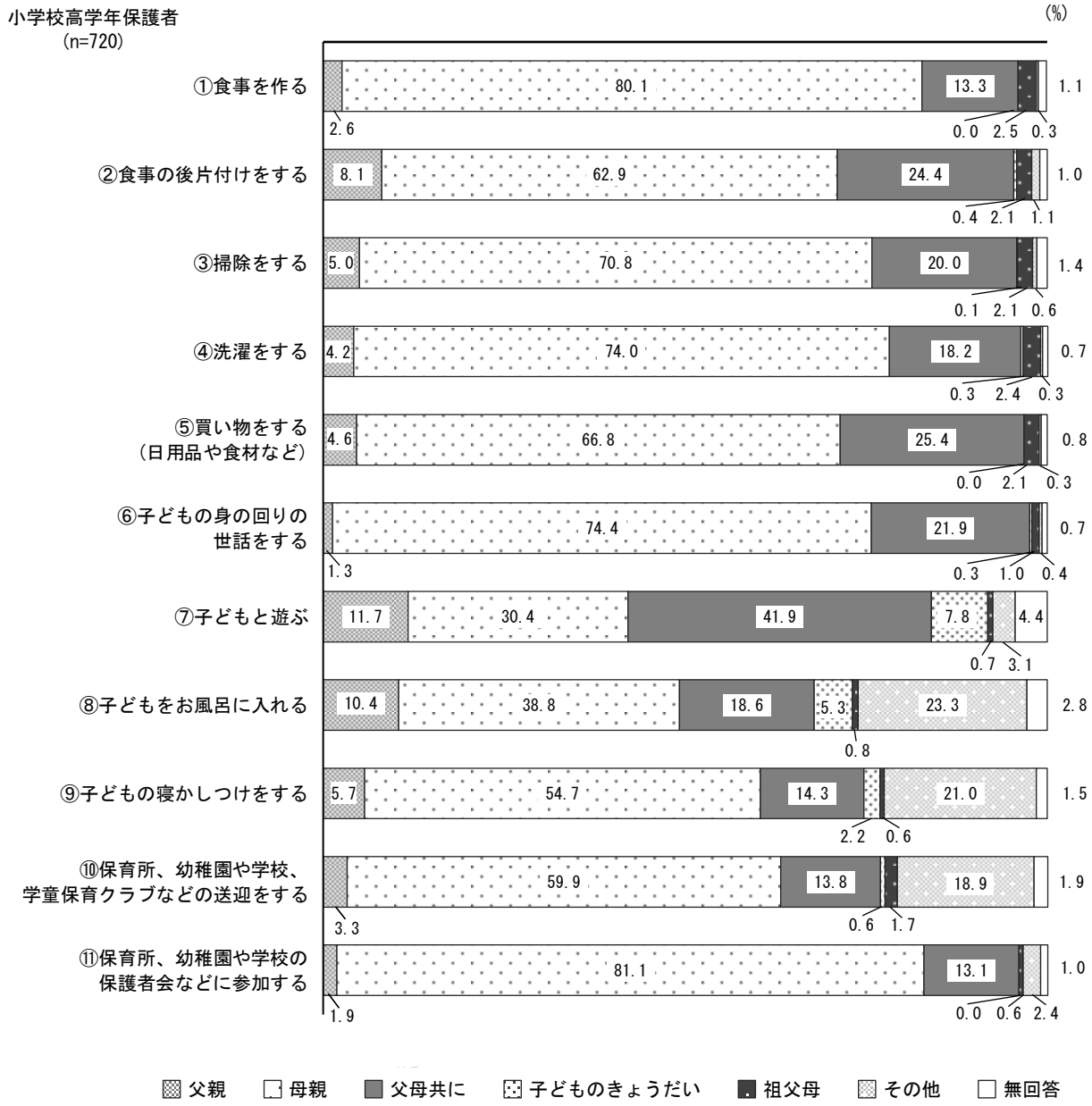


（２）子どもの育ちをめぐる環境について

問６　家事や子育てを、主に行っている人は、あて名のお子さんからみてどなたですか。
①～⑪について、それぞれ１つに○をつけてください。

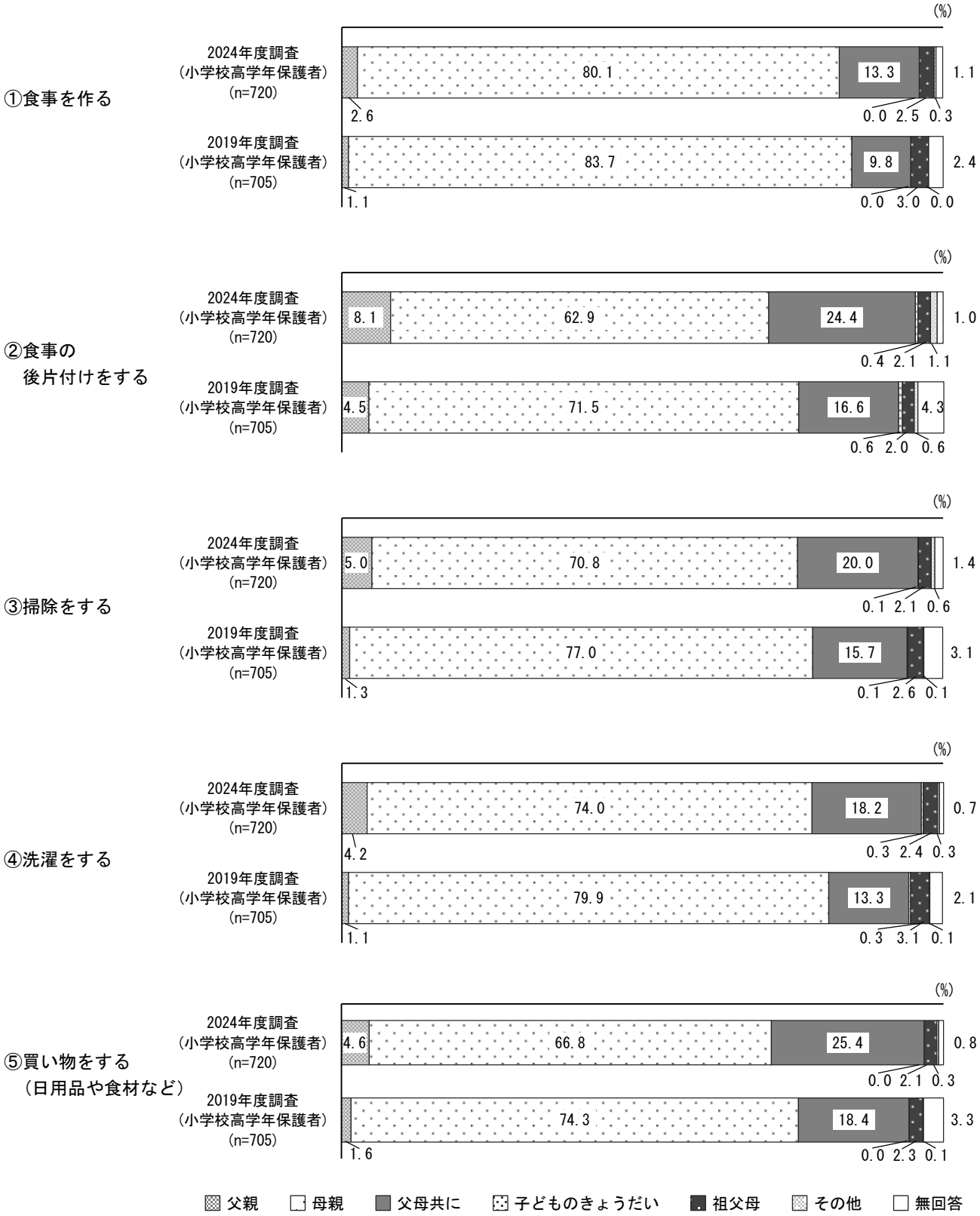
- 『⑦子どもと遊ぶ』を除くすべての項目で、「母親」の割合が最も高くなっています。
- 『⑦子どもと遊ぶ』と『⑧子どもをお風呂に入れる』では、「父親」の割合が１割台と、他の項目に比べて高くなっています。

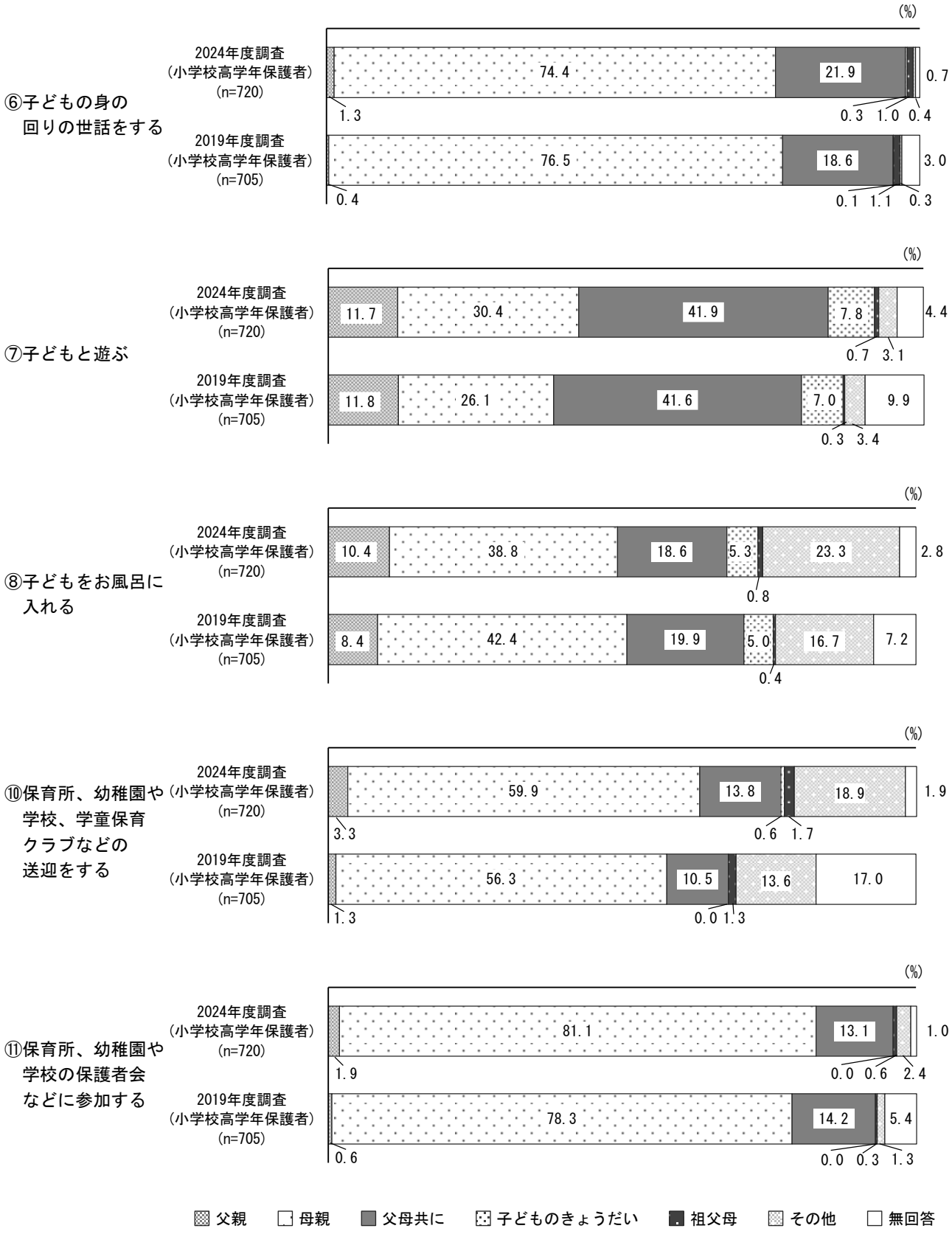
家事や子育てを主に行っている人



○ ２０１９年度調査との比較

- 『⑧子どもをお風呂に入れる』と『保育所、幼稚園や学校の保護者会などに参加する』を除くすべての項目で、「父母共に」の割合が増加しており、特に『②食事の後片付けをする』で最も多く増加しています。



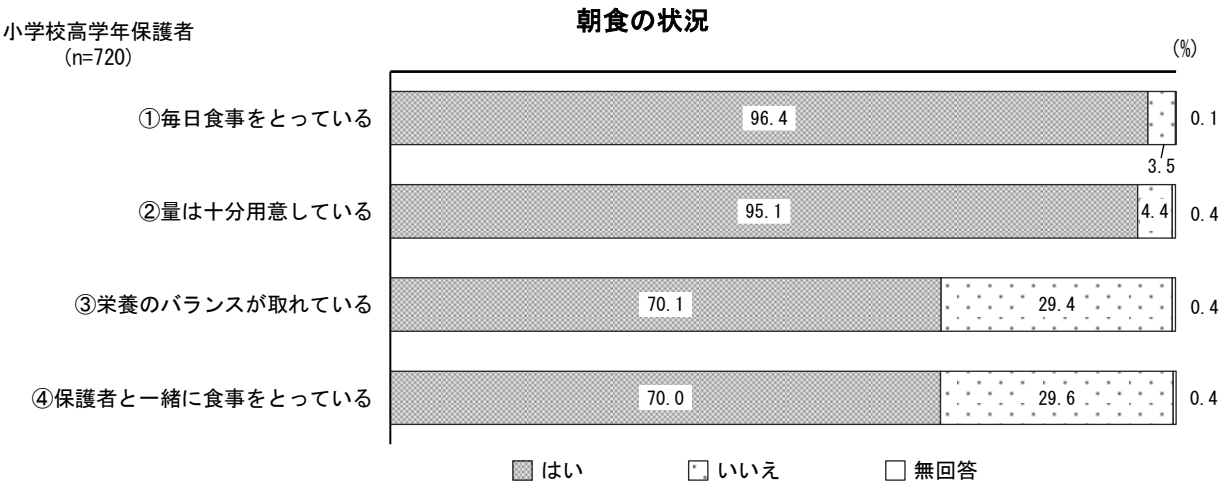


※「⑨子どもの寝かしつけをする」は２０２４年度調査からの新規項目のため、比較なし。

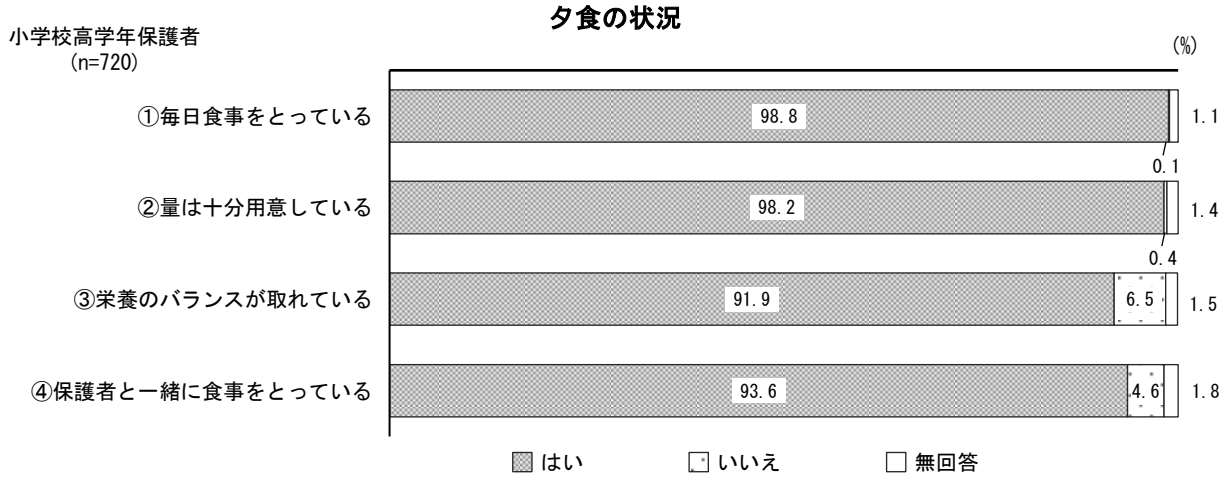
問７　あて名のお子さんの食事について、お答えください。
①～④ごとに、Ａ・Ｂのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

【A 朝食】

- 全ての項目で「はい」の割合が高くなっていますが、『③栄養のバランスが取れている』と『④保護者と一緒に食事をとっている』では「いいえ」の割合が３割程度となっています。

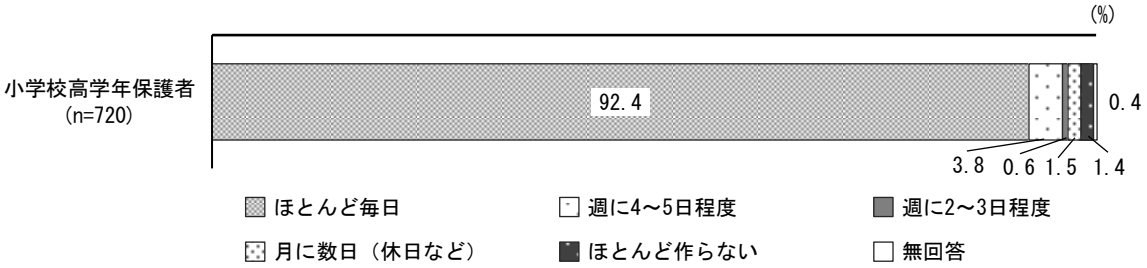


【B 夕食】



問８　あなたのご家庭では、あて名のお子さんに食事を作る（料理する）ことがどのくらいありますか。【○は１つだけ】
※食事を作る（料理する）には、目玉焼きなどの簡単な料理を含みます。

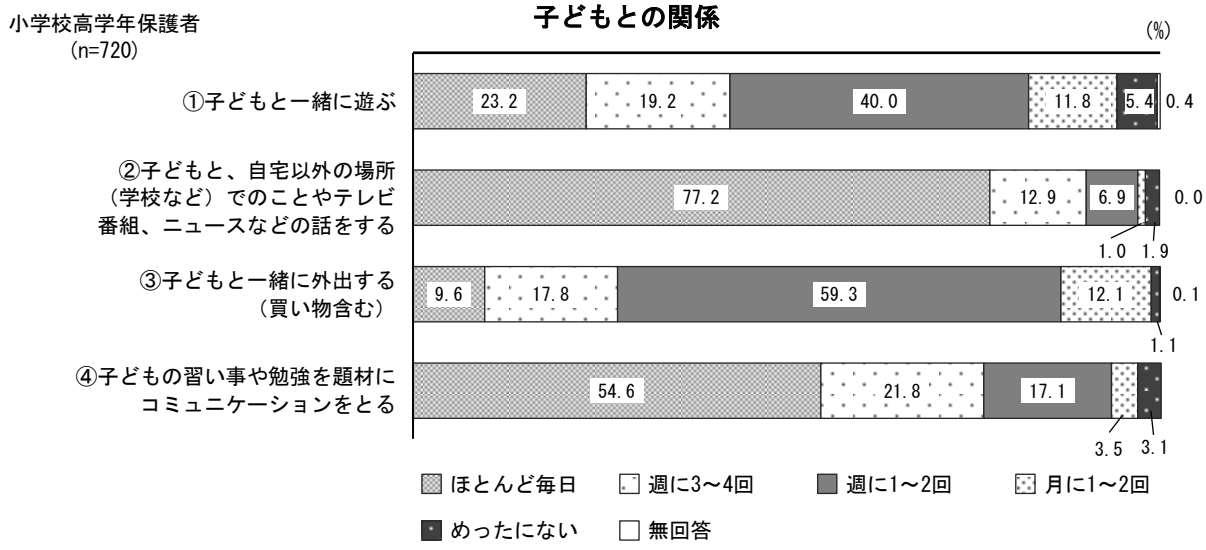
料理をする頻度



問９　あなたを含めた、ご家族とあて名のお子さんとの関係について、お伺いします。
あなたのご家庭では、あて名のお子さんと次のようなことをすることがありますか。
①～④について、それぞれ１つに○をつけてください。

- 『①子どもと一緒に遊ぶ』と『③子どもと一緒に外出する（買い物含む）』では、「週に１～２回」の割合が最も高くなっています。
- 『②子どもと、自宅以外の場所（学校など）でのことやテレビ番組、ニュースなどの話をする』と『④子どもの習い事や勉強を題材にコミュニケーションをとる』では、「ほとんど毎日」の割合が最も高くなっています。

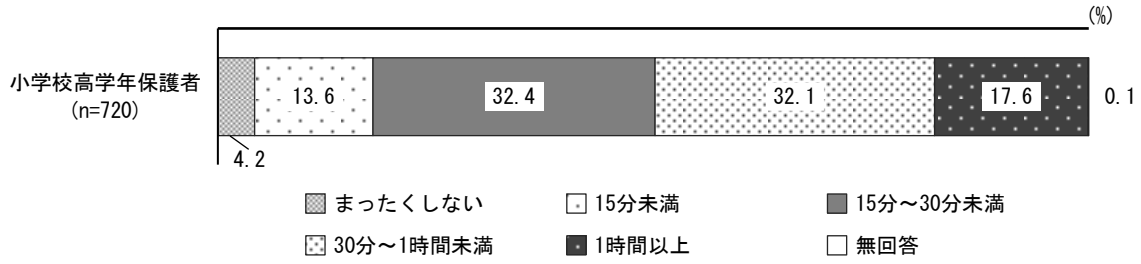
子どもとの関係



問１０　あて名のお子さんの学習環境についてお伺いします。
あて名のお子さんは、普段（月曜日～金曜日）、学校以外で１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。【○は１つだけ】
※塾などの時間も含みます。

- 「１５分～３０分未満」が３２．４％と最も多く、次いで「３０分～１時間未満」が３２．１％、「１時間以上」が１７．６％となっています。

学校以外の勉強時間

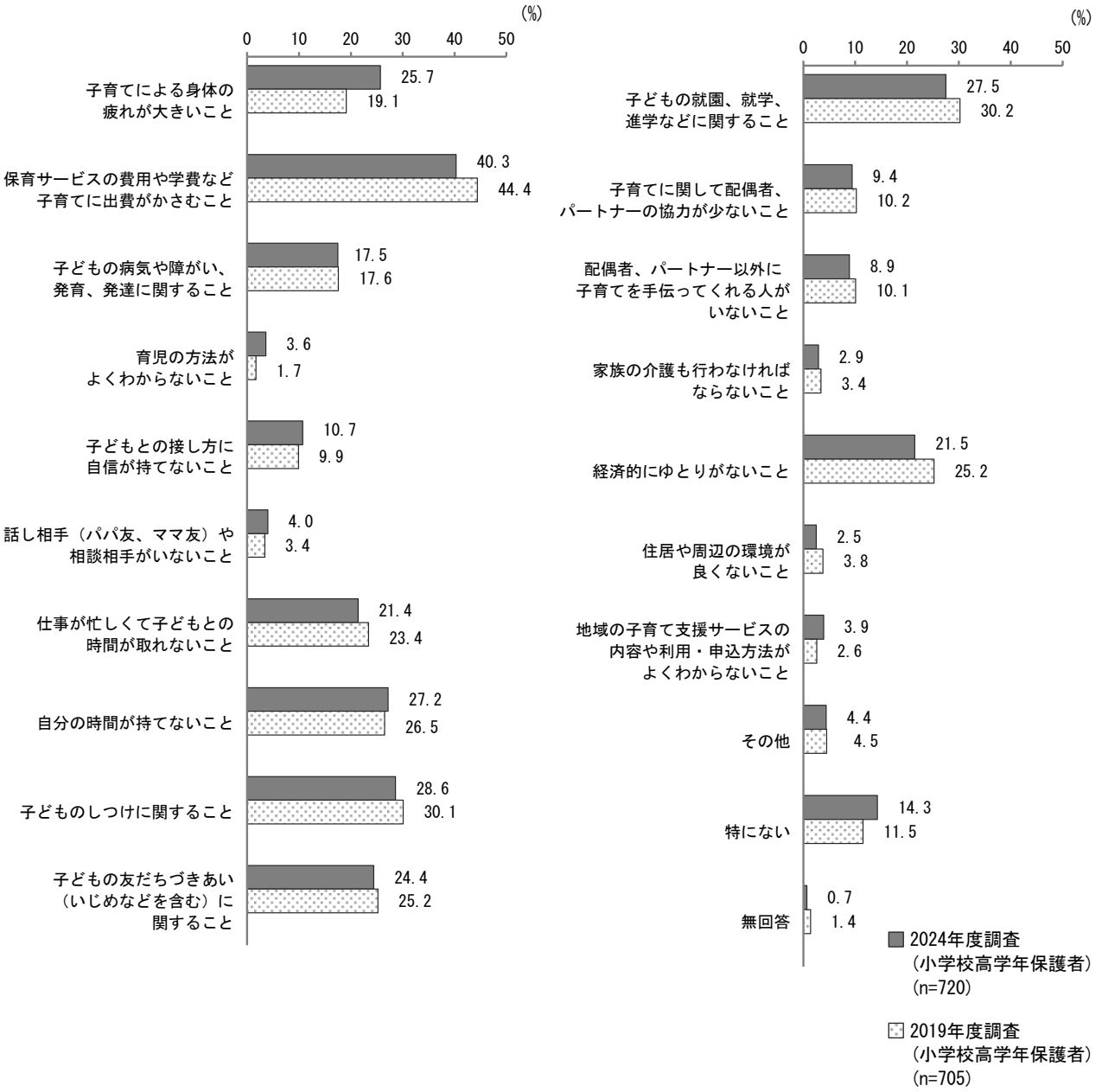


（３）子育ての悩みについて

問１１　子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。
【あてはまるものすべてに○】

- 「保育サービスの費用や学費など子育てに出費がかさむこと」が４０．３％と最も多く、次いで「子どものしつけに関すること」が２８．６％、「子どもの就園、就学、進学などに関すること」が２７．５％となっています。
- ２０１９年度調査と比較して、「保育サービスの費用や学費など子育てに出費がかさむこと」のポイントが最も減少し、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」の割合が７ポイントほど増加しています。

子育ての悩み
（複数回答）



【母親の就労状況別】

- 母親の就労状況別でみると、『フルタイム』では「仕事が忙しくて子どもとの時間が取れないこと」の割合が最も高く、次いで「自分の時間が持てないこと」の割合が高くなっています。
- 『パートタイム、アルバイトなど』『以前は就労していたが、現在は就労していない』では、どちらも「保育サービスの費用や学費など子育てに出費がかさむこと」の割合が最も高く、次いで「子どものしつけに関すること」が高くなっています。

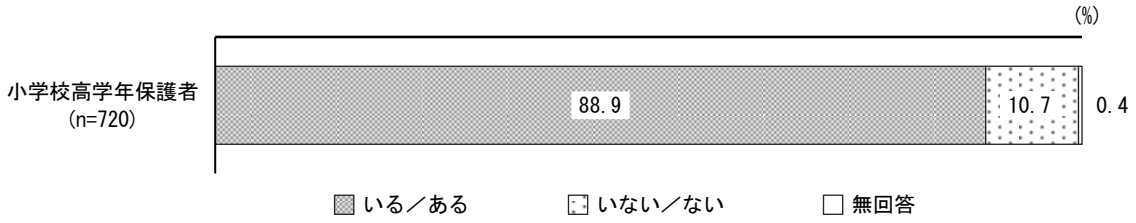
子育ての悩み【母親の就労状況別】

(%)

区分	回答者数(件)	子育てによる身体の疲れが大きいこと	保育サービスの費用や学費など子育てに出費がかさむこと	子どもの病気や障がい、発育、発達に関すること	育児の方法がよくわからないこと	子どもとの接し方に自信が持てないこと	話し相手（パパ友、ママ友）や相談相手がいないこと	仕事が忙しくて子どもとの時間が取れないこと	自分の時間が持てないこと	子どものしつけに関すること	子どもの友だちづきあい（いじめなどを含む）に関すること	子どもの就園、就学、進学などに関すること	子育てに関して配偶者、パートナーの協力が少ないこと	配偶者、パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	家族の介護も行わなければならないこと	経済的にゆとりがないこと	住居や周辺の環境が良くないこと	地域の子育て支援サービスの内容や利用・申込方法がよくわからないこと	その他	特にない	無回答
フルタイム	202	22.8	37.6	15.8	4.0	7.9	4.0	44.1	39.1	28.7	19.8	30.2	11.9	7.9	3.0	17.3	3.0	4.5	3.0	14.9	0.5
フルタイムで、現在産休・育休・介護休暇中	2	－	－	50.0	－	－	－	－	－	－	－	50.0	－	－	－	－	－	－	－	50.0	－
パートタイム、アルバイトなど	305	25.2	45.6	14.1	2.6	10.2	3.3	15.7	24.3	27.5	26.6	26.6	8.9	9.2	3.0	24.3	1.3	2.6	3.6	14.1	0.3
パートタイム、アルバイトなどで、現在産休・育休・介護休暇中	1	100.0	－	－	－	100.0	－	－	100.0	100.0	－	－	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－
以前は就労していたが、現在は就労していない	170	28.8	38.8	27.6	5.9	15.3	3.5	5.3	21.2	30.6	29.4	28.8	7.1	10.0	2.9	22.4	4.7	5.9	7.6	12.9	1.2
これまでに就労したことがない	17	29.4	23.5	5.9	－	5.9	－	5.9	11.8	35.3	11.8	11.8	17.6	17.6	－	17.6	－	5.9	5.9	23.5	5.9

問１２　あなたは、子育てについて気軽に相談できる人がいますか（または場所はありますか）。
【○は１つだけ】

相談相手の有無

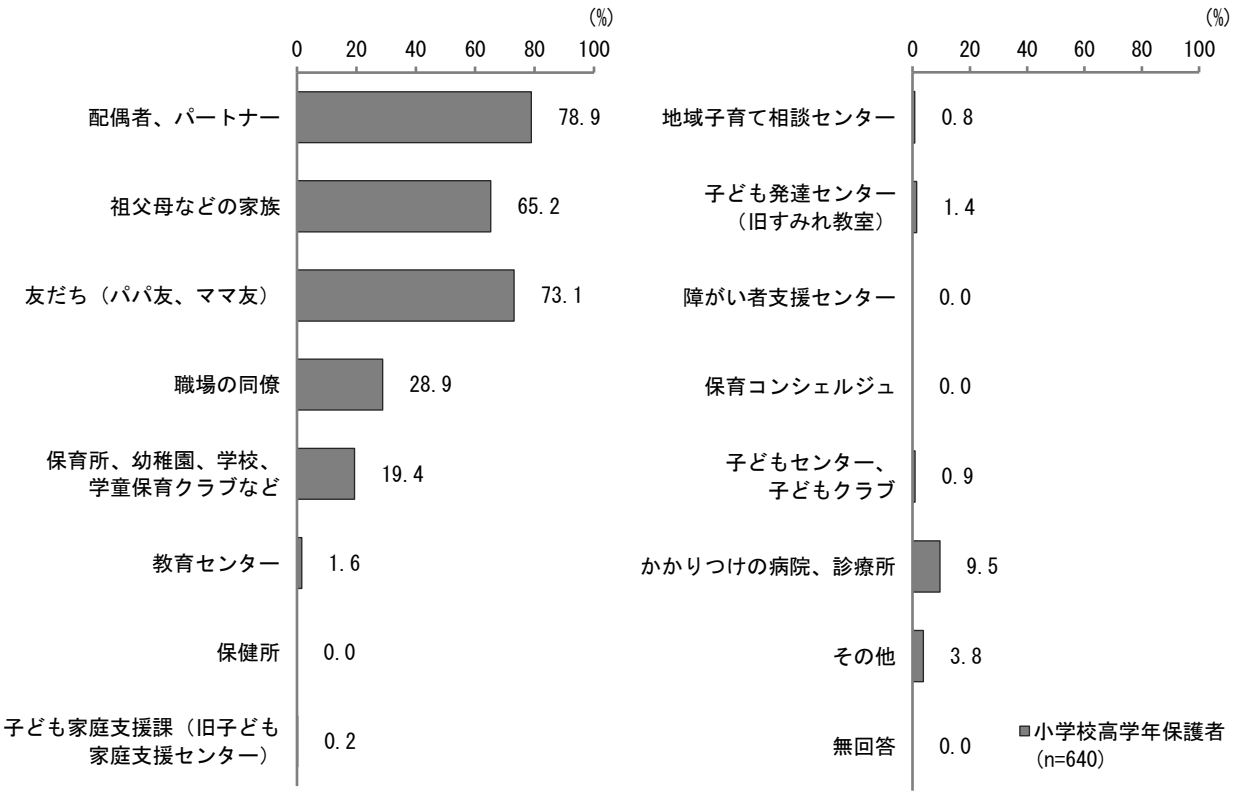


※問１２－１は、問１２で「いる／ある」を選択した人のみ回答

問１２－１　あて名のお子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。
【あてはまるものすべてに○】

- 「配偶者、パートナー」が７８．９％と最も多く、次いで「友だち（パパ友、ママ友）」が７３．１％、「祖父母などの家族」が６５．２％となっています。

相談相手
（複数回答）

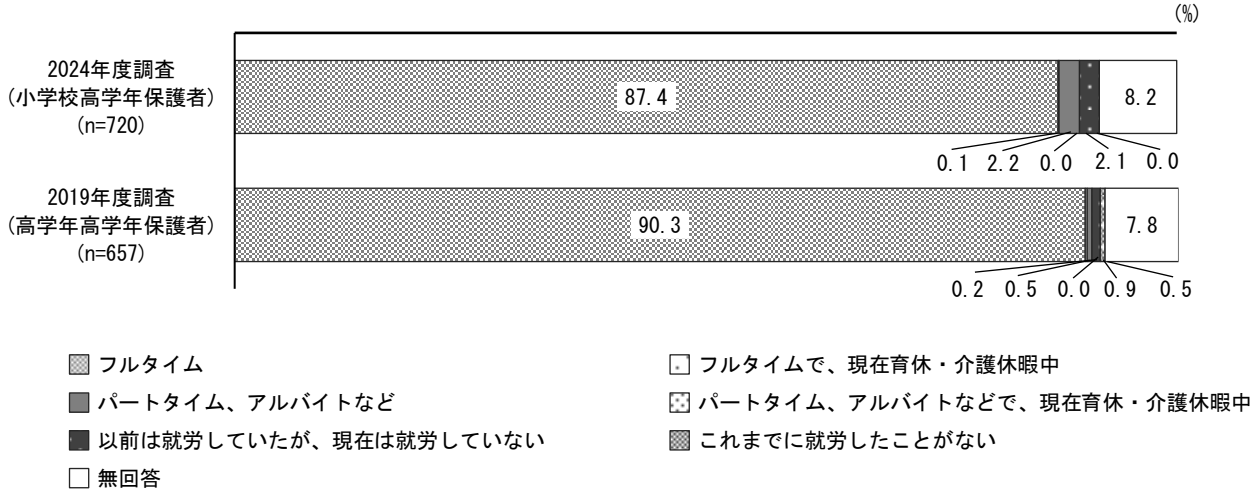


（４）保護者の就労状況について

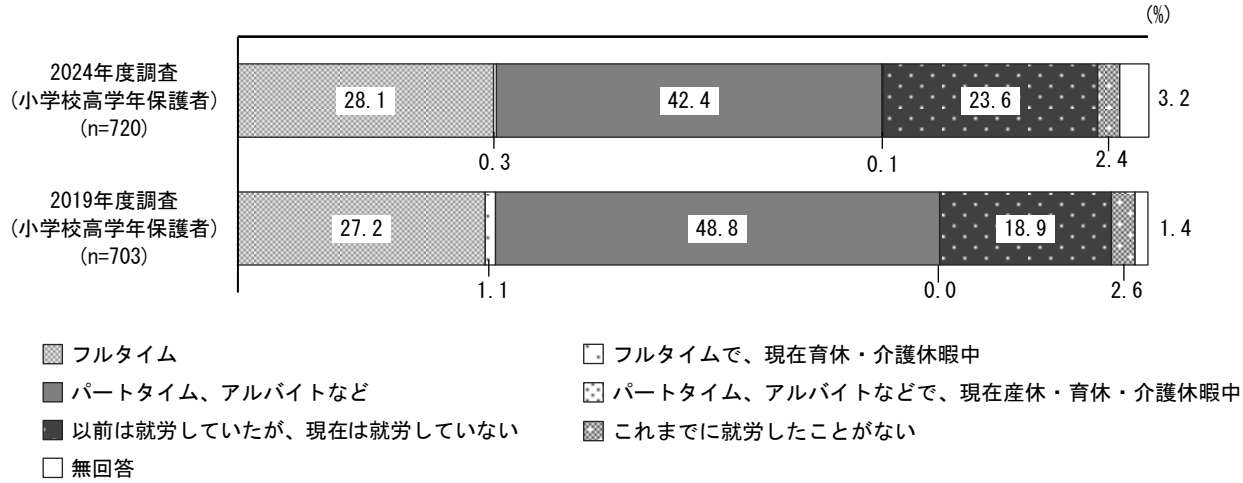
問１３　現在の就労状況をお答えください。【それぞれ○は１つだけ】

- 母親は、「パートタイム、アルバイトなど」が４２．４％と最も多く、次いで「フルタイム」が２８．１％、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が２３．６％となっています。
- 母親の就労状況を２０１９年度調査と比較すると、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が５ポイント増加し、「パートタイム、アルバイトなど」の割合が６ポイント程度減少しています。

保護者の就労状況【父親（小学校高学年）】



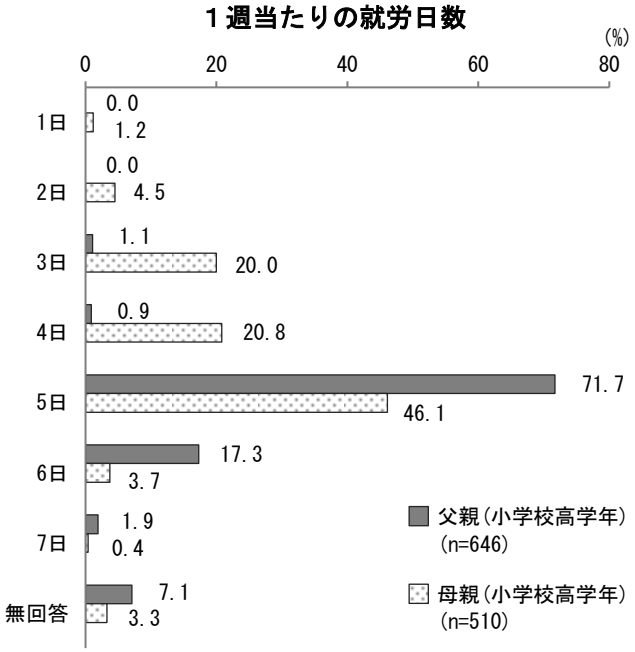
保護者の就労状況【母親（小学校高学年）】



※【１週当たりの就労日数】から【帰宅時間】は、問１３で「フルタイム」から「パートタイム、アルバイトなどで、現在育休・介護休暇中」のいずれかを選択した人のみ回答

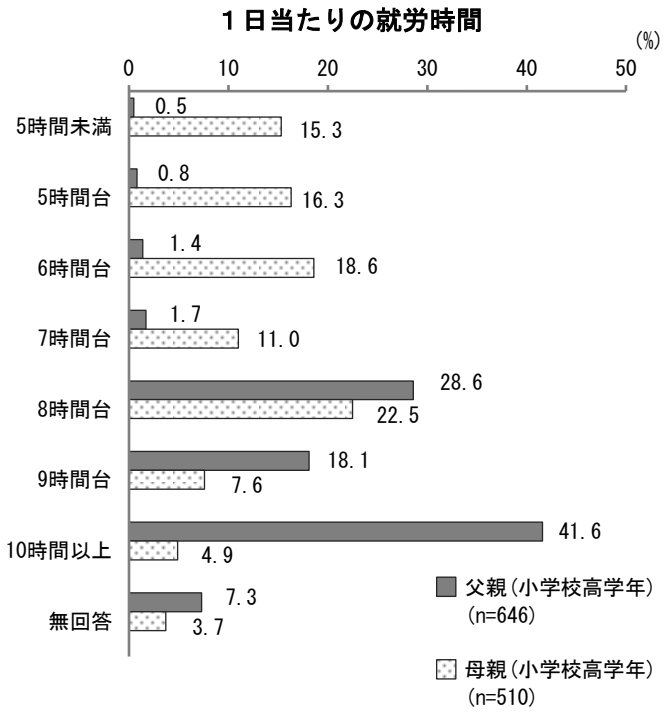
【１週当たりの就労日数】

- 父親、母親ともに「５日」が最も多く、次いで父親では「６日」が多く、母親では「３日」「４日」が同程度の割合となっています。



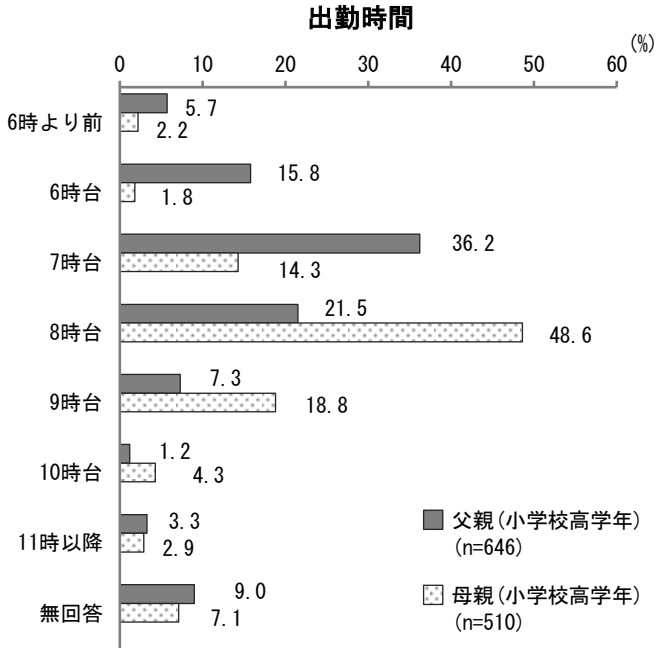
【１日当たりの就労時間】

- 父親は、「１０時間以上」が４１．６％と最も多くなっています。
- 父親、母親ともに「８時間台」が２割台となっています。



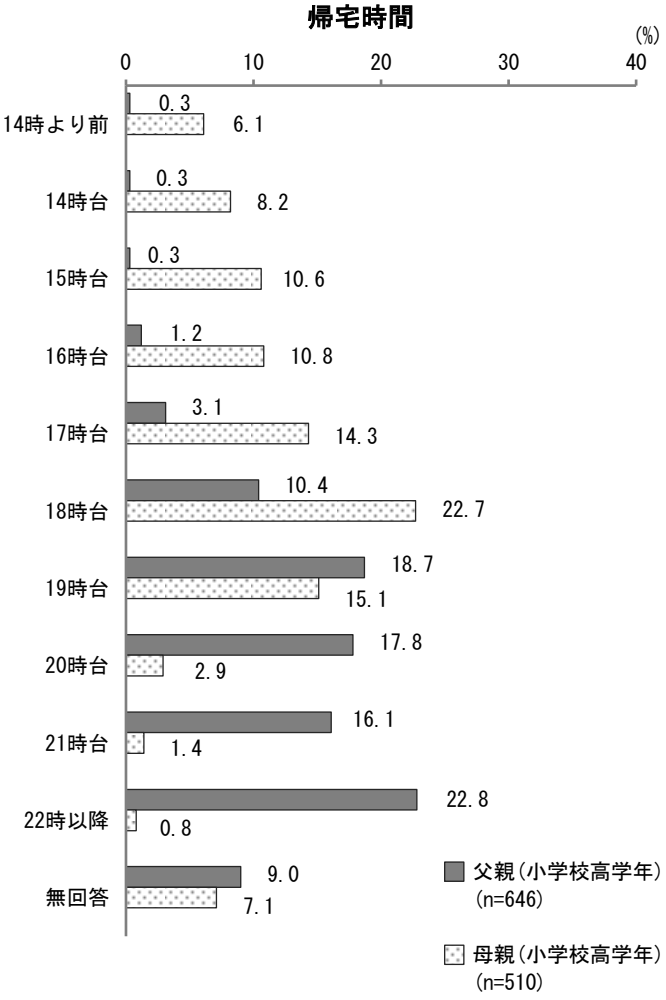
【出勤時間】

- 父親では「７時台」、母親では「８時台」が最も多くなっており、母親の「８時台」は約半数となっています。
- 父親では「６時台」から「８時台」、母親では「７時台」から「９時台」が多い傾向にあります。



【帰宅時間】

- 父親では「１９時台」以降が２割前後となっています。
- 母親では「１８時台」が２２．７％と最も多く、「１９時台」以前の割合が高い傾向にあります。

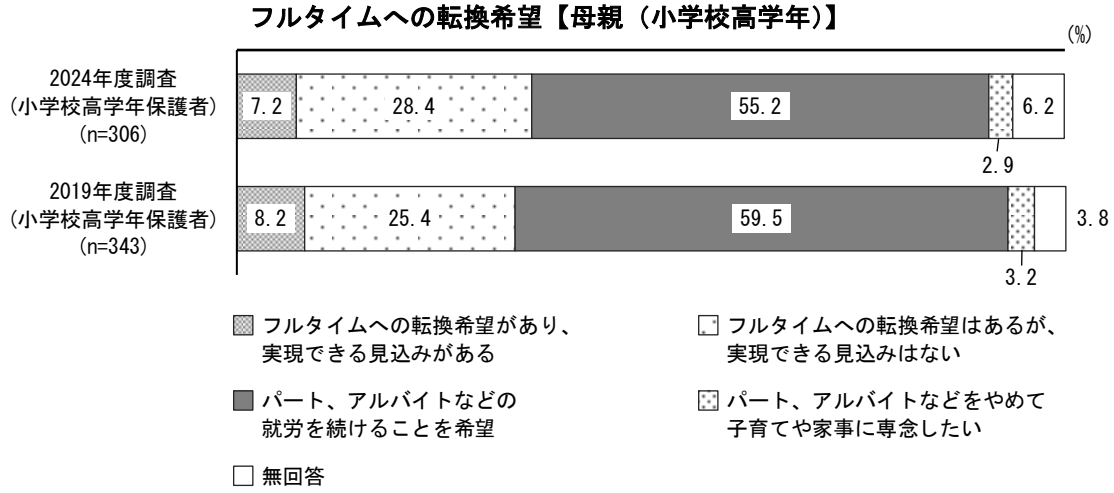


※問１３－１は、問１３で「パートタイム、アルバイトなど」または「パートタイム、アルバイトなどで、現在育休・介護休暇中」のいずれかを選択した人のみ回答

問１３－１　フルタイムへの転換希望はありますか。【それぞれ○は１つだけ】

- 母親は、「パート、アルバイトなどの就労を続けることを希望」が５５．２％と最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が２８．４％、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が７．２％となっています。
- ２０１９年度調査と比較して、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が増加しています。

フルタイムへの転換希望【母親（小学校高学年）】

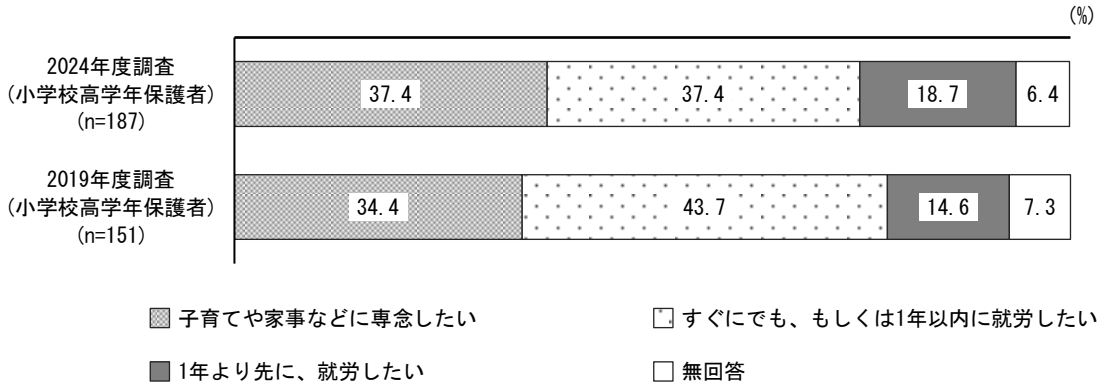


※問１３－２は、問１３で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまでに就労したことがない」のいずれかを選択した人のみ回答

問１３－２　就労希望はありますか。【それぞれ○は１つだけ】
「１年より先に、就労したい」を選んだ場合、希望する時期を数字でご記入ください。

- 母親は、「子育てや家事などに専念したい」と「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」が３７．４％と最も多く、次いで、「１年より先に、就労したい」が１８．７％となっています。
- ２０１９年度調査と比較して、「子育てや家事などに専念したい」が増加しています。

無業からの就労希望【母親（小学校高学年）】

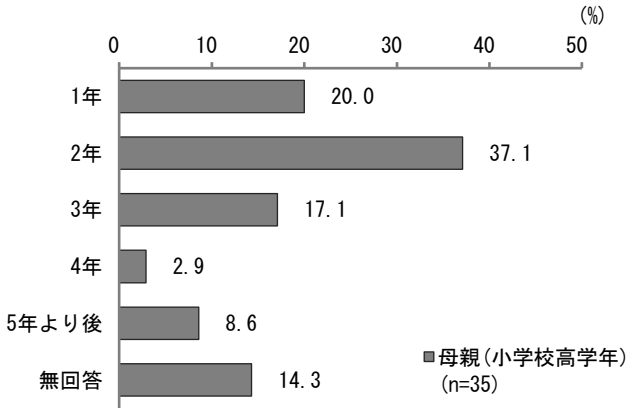


※【１年より先に就労したい場合の希望年数】は、問１３－２で「１年より先に、就労したい」を選択した人のみ回答

【１年より先に就労したい場合の希望年数】

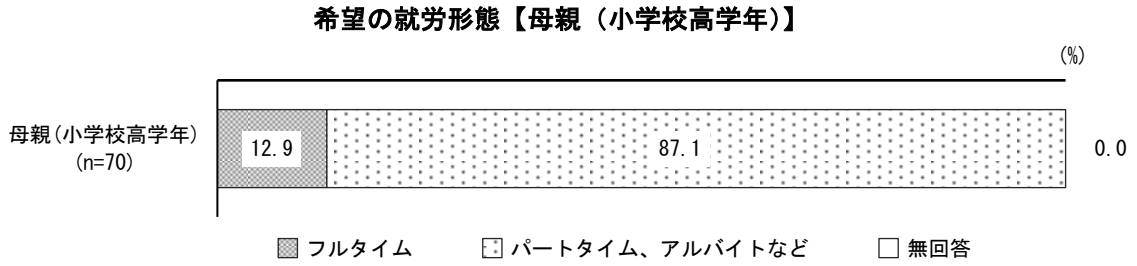
- 「２年」が３７．１％と最も多く、次いで「１年」が２０．０％、「３年」が１７．１％となっています。

１年より先に就労したい場合の希望年数



※【希望の就労形態】は、問１３－２で「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」を選択した人のみ回答

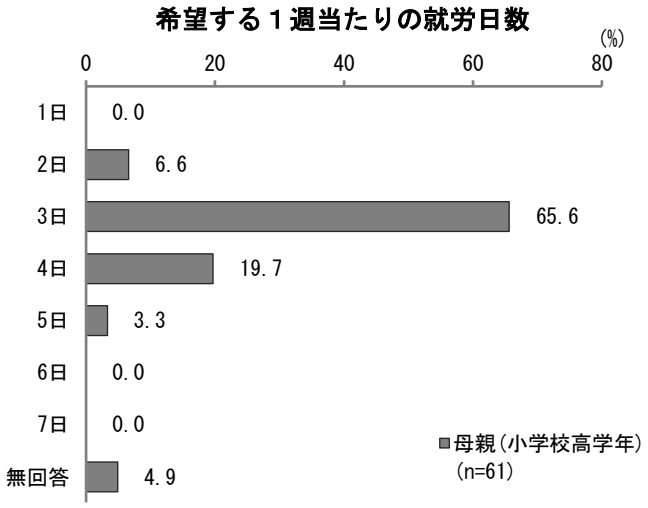
【希望の就労形態】



※【希望する１週当たりの就労日数】と【希望する１日当たりの就労時間】は、【希望の就労形態】で「パートタイム、アルバイトなど」を選択した人のみ回答

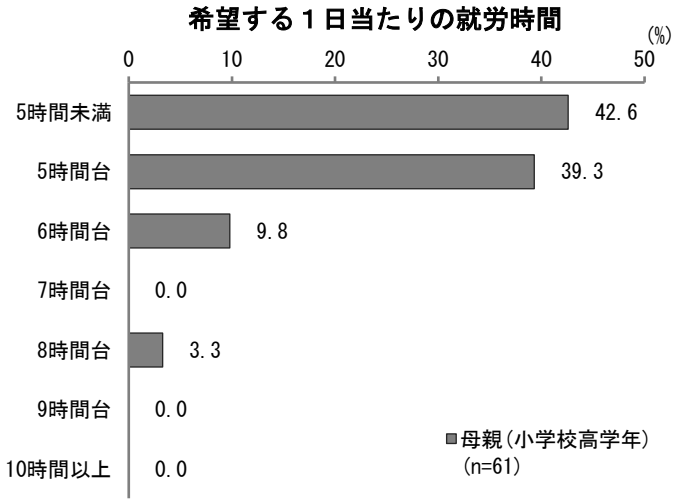
【希望する１週当たりの就労日数】

- 「３日」が６５．６％と最も多く、次いで「４日」が１９．７％、「２日」が６．６％となっています。



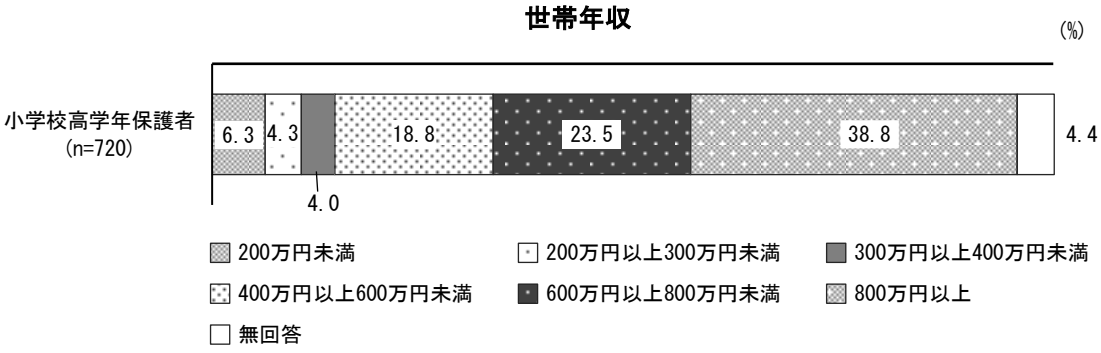
【希望する１日当たりの就労時間】

- 「５時間未満」が４２．６％と最も多く、次いで「５時間台」が３９．３％、「６時間台」が９．８％となっています。



問１４　２０２３年の世帯合計の年間総収入額（手当、養育費、生活保護費などを含む）をお答えください。【○は１つだけ】

- 「８００万円以上」が３８．８％と最も多く、次いで「６００万円以上８００万円未満」が２３．５％、「４００万円以上６００万円未満」が１８．８％となっています。

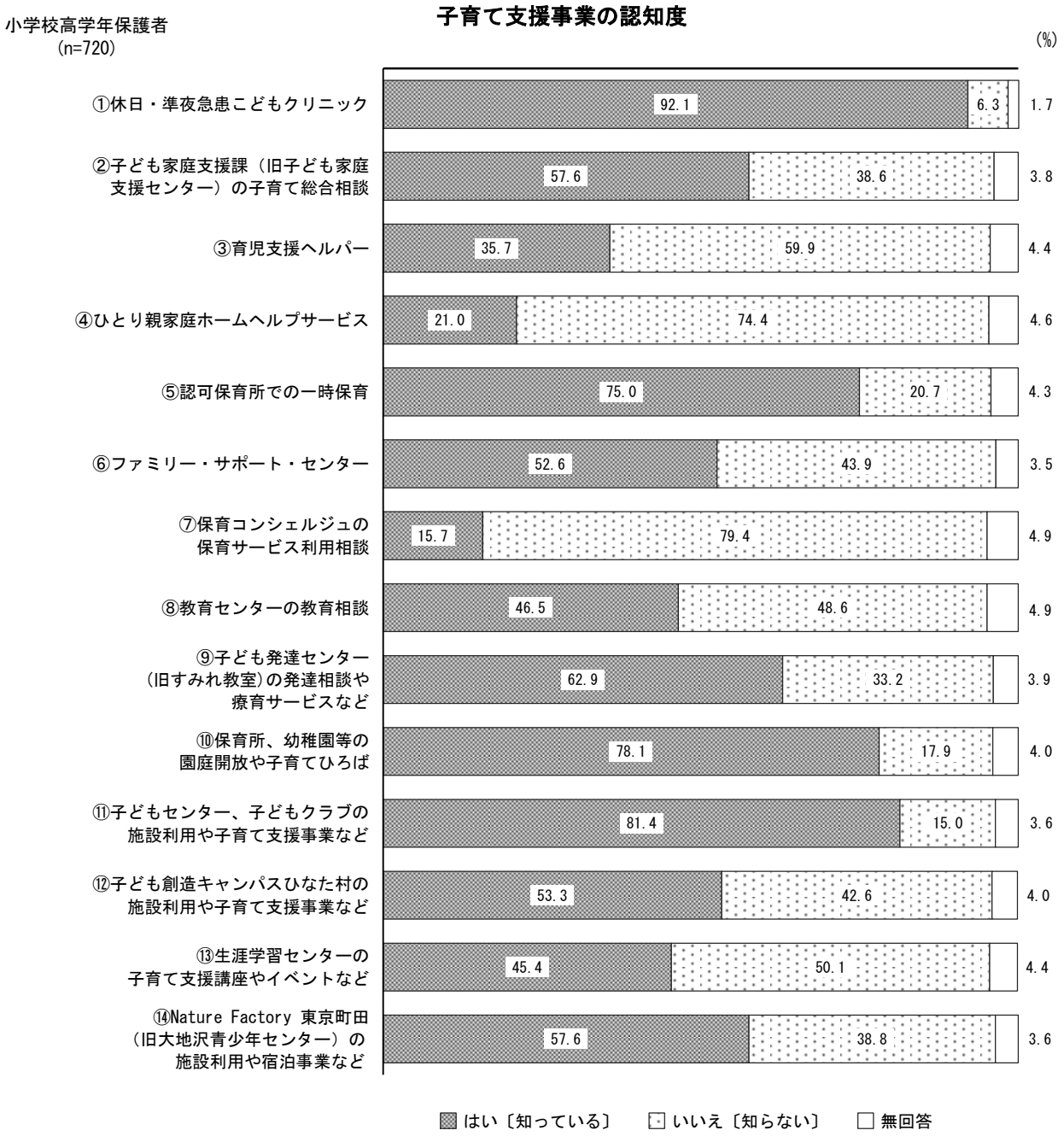


（５）子育て支援事業の利用状況について

問１５　下記のサービスについて、お答えください。①～⑭の事業ごとに、Ａ～Ｃのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

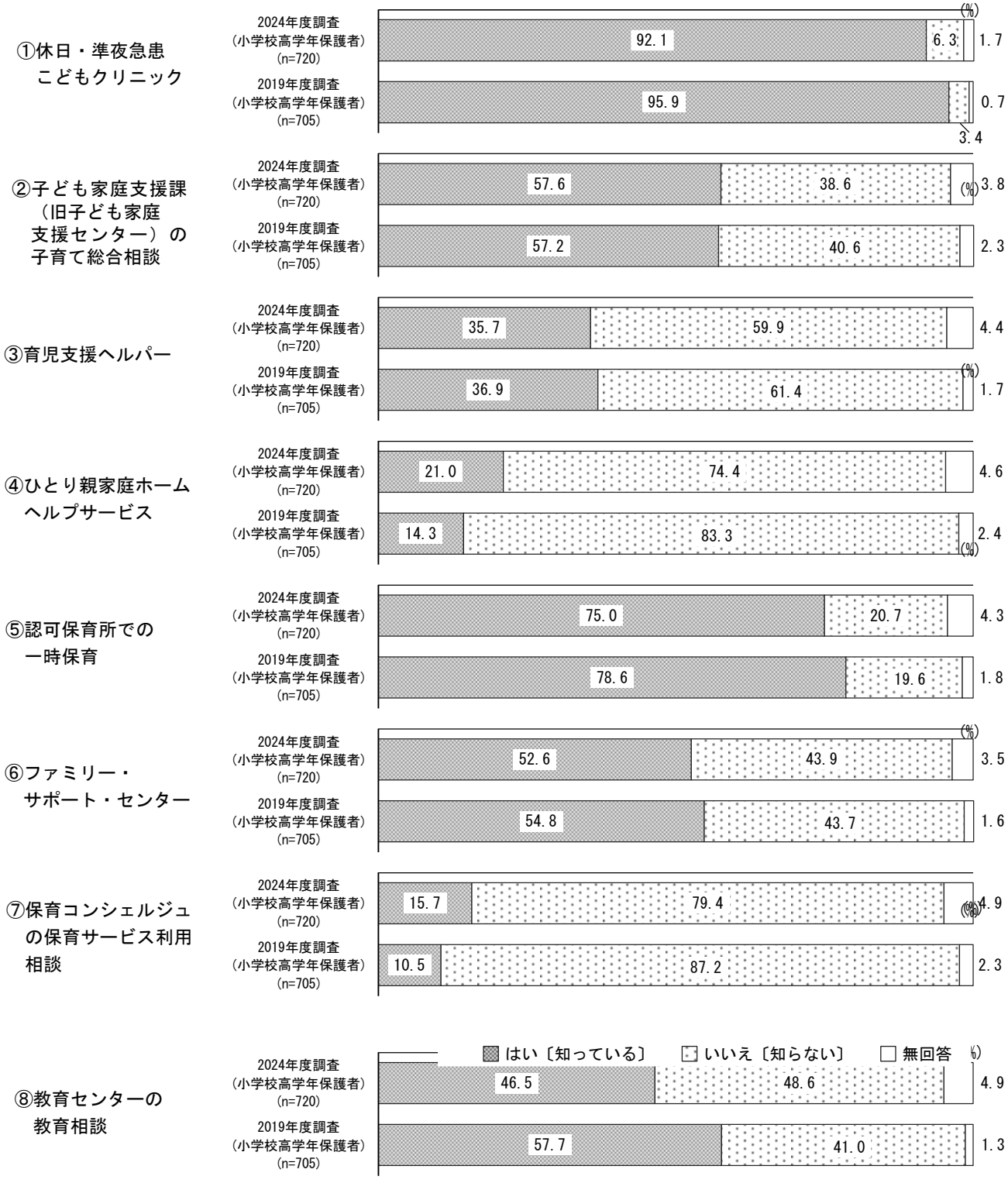
【Ａ　認知度】

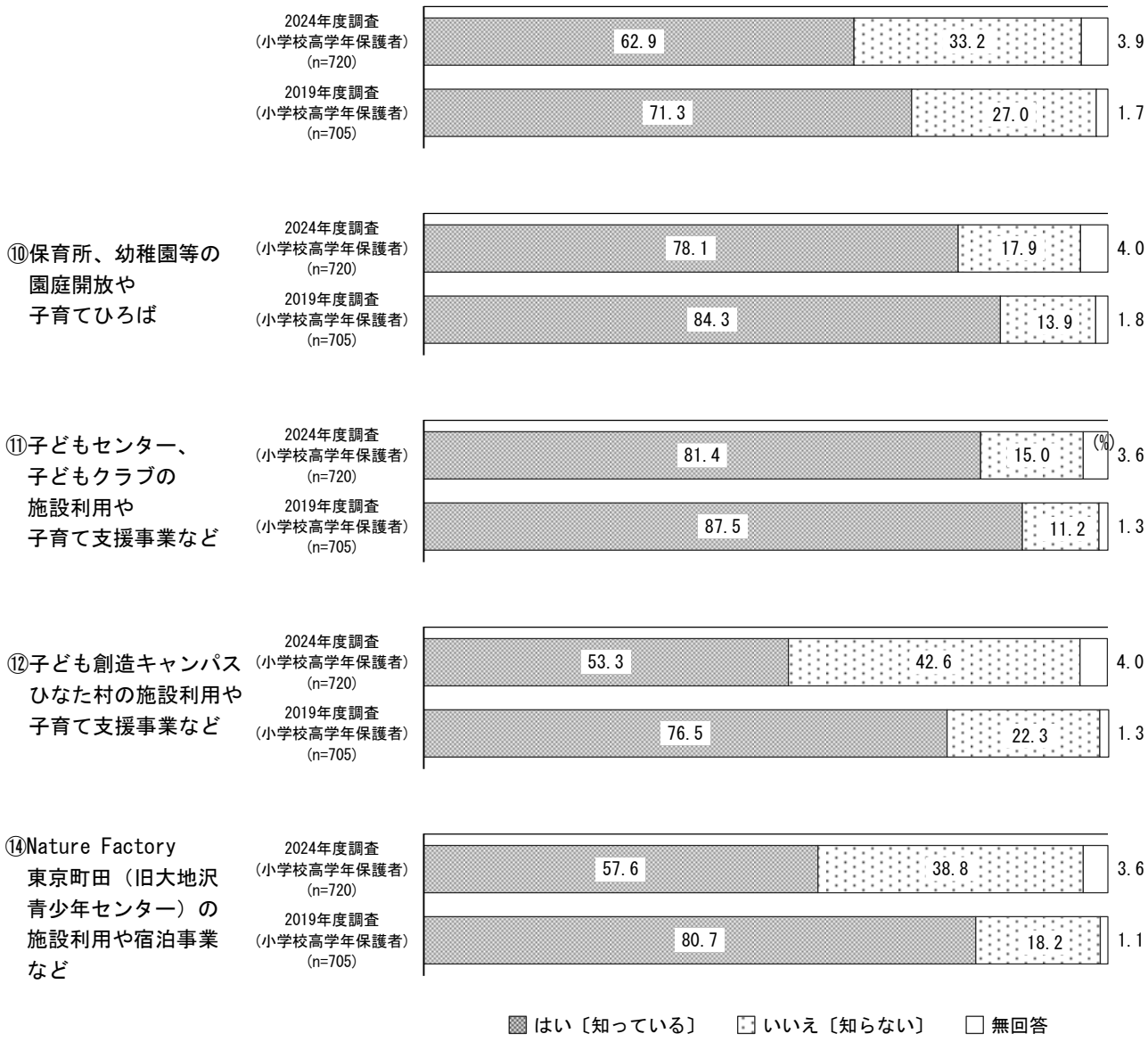
- 『①休日・準夜急患こどもクリニック』『⑪子どもセンター、子どもクラブの施設利用や子育て支援事業など』では、知っている人の割合が８割以上と高くなっています。
- 『④ひとり親家庭ホームヘルプサービス』『⑦保育コンシェルジュの保育サービス利用相談』では、知らない人の割合が７割以上となっています。



○ ２０１９年度調査との比較

- ２０１９年度調査と比較して、『⑧教育センターの教育相談』『⑫子ども創造キャンパスひなた村の施設利用や子育て支援事業など』と『⑭Ｎａｔｕｒｅ　Ｆａｃｔｏｒｙ東京町田（旧大地沢青少年センター）の施設利用や宿泊事業など』では知っている人の割合が大きく減少しています。





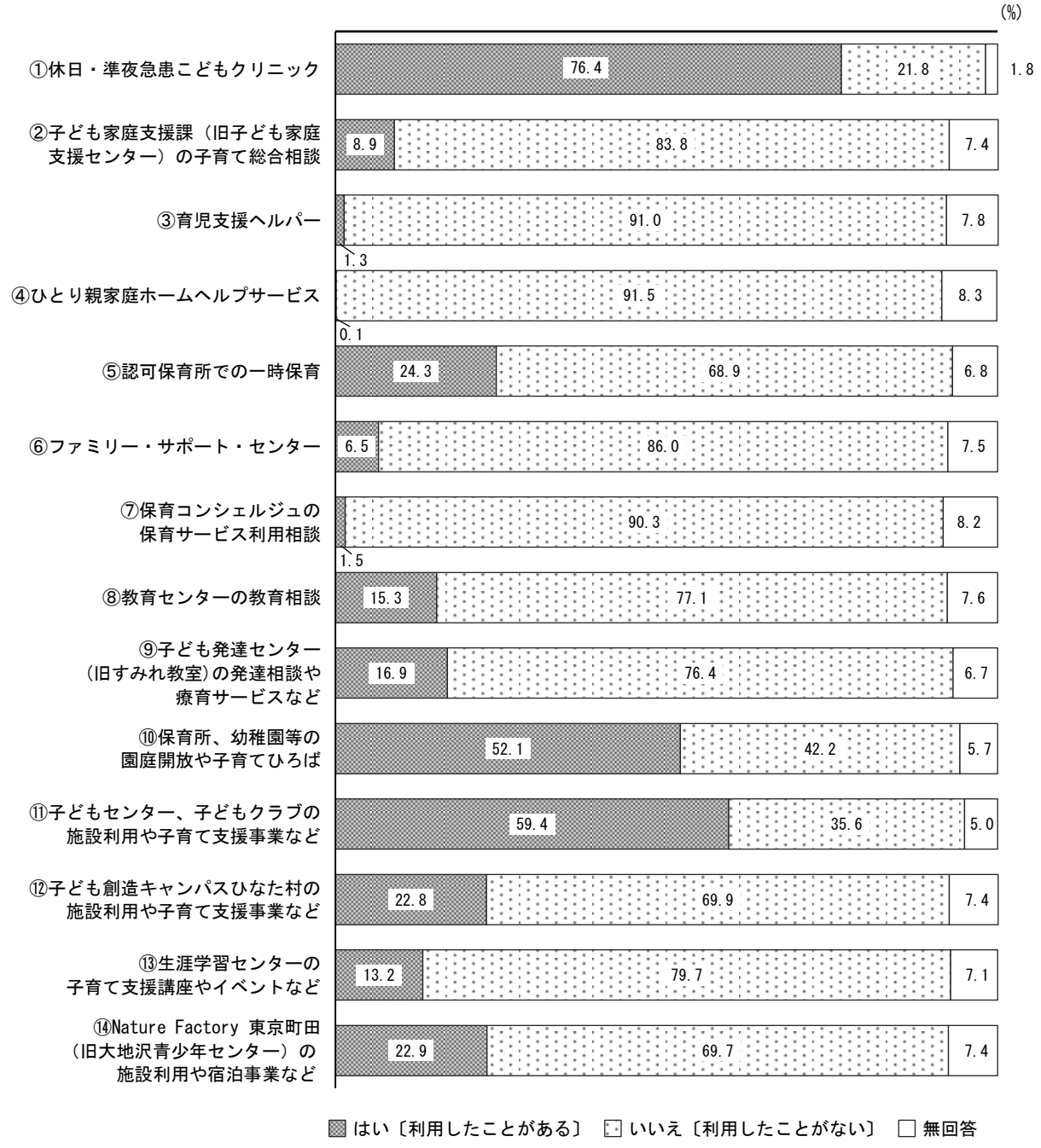
※「⑬生涯学習センターの子育て支援講座やイベントなど」は２０２４年度調査からの新規項目のため、比較なし。

【B　利用状況】

- 『①休日・準夜急患こどもクリニック』『⑩保育所、幼稚園等の園庭開放や子育てひろば』『⑪子どもセンター、子どもクラブの施設利用や子育て支援事業など』では、利用したことがある人の割合が５割以上と、他の事業に比べて高くなっています。
- 『③育児支援ヘルパー』『④ひとり親家庭ホームヘルプサービス』『⑦保育コンシェルジュの保育サービス利用相談』では、利用したことがない人が９割以上となっています。

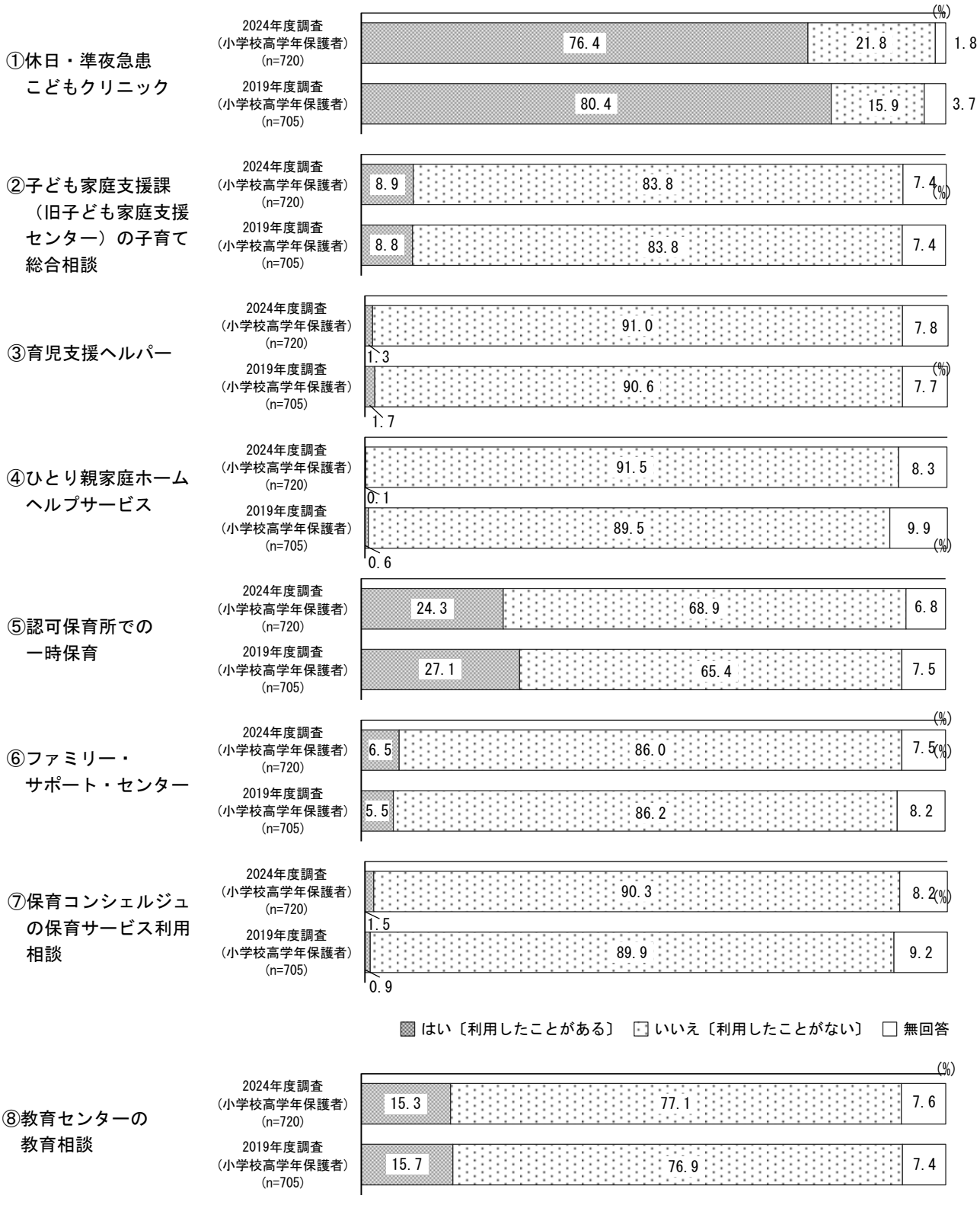
小学校高学年保護者
(n=795)

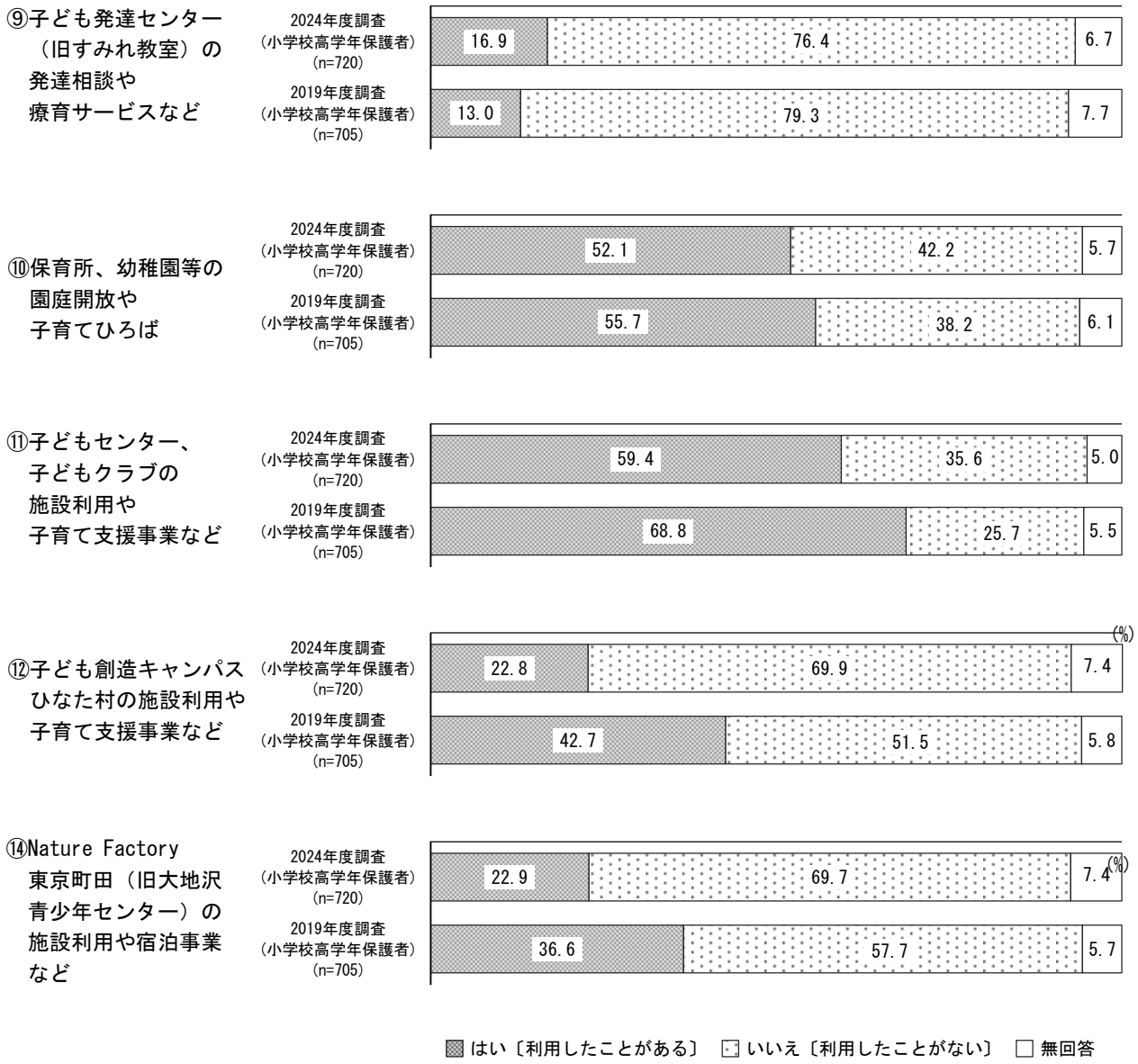
子育て支援事業の利用状況



○ ２０１９年度調査との比較

- ２０１９年度調査と比較して、『②子ども家庭支援課（旧子ども家庭支援センター）の子育て総合相談』『⑥ファミリー・サポート・センター』『⑦保育コンシェルジュの保育サービス利用相談』『⑨子ども発達支援センター（旧すみれ教室）の発達相談や療育サービスなど』では、利用したことがある人の割合が増加しています。





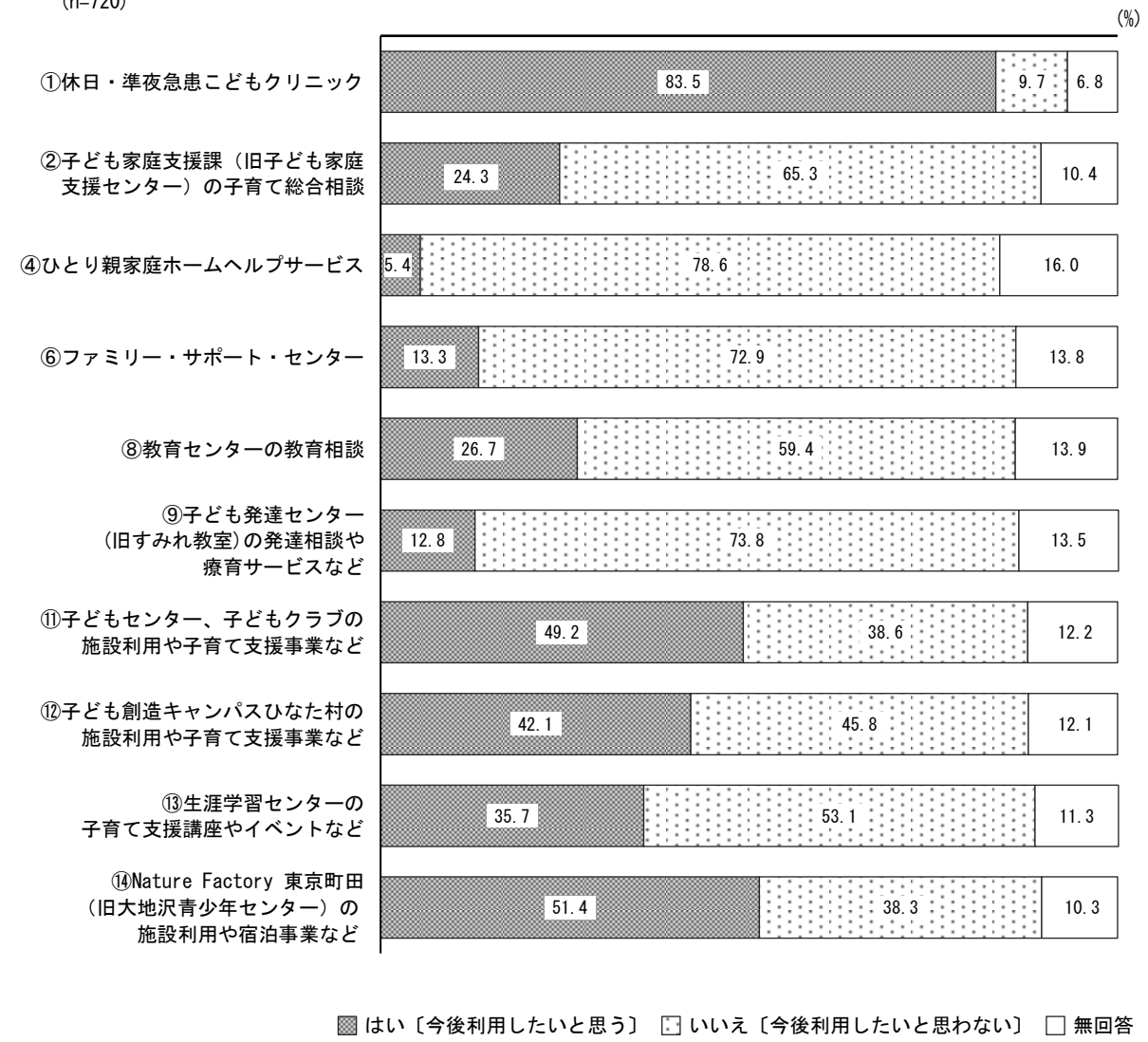
※「⑬生涯学習センターの子育て支援講座やイベントなど」は２０２４年度調査からの新規項目のため、比較なし。

【C　利用意向】

- 『①休日・準夜急患こどもクリニック』は、今後利用したいと思う人の割合が８割以上と、最も利用意向が高くなっています。
- 『④ひとり親家庭ホームヘルプサービス』『⑥ファミリー・サポート・センター』『⑨子ども発達センター（旧すみれ教室）の発達相談や療育サービスなど』では、今後利用したいと思う人の割合が２割未満と低くなっています。

小学校高学年保護者
(n=720)

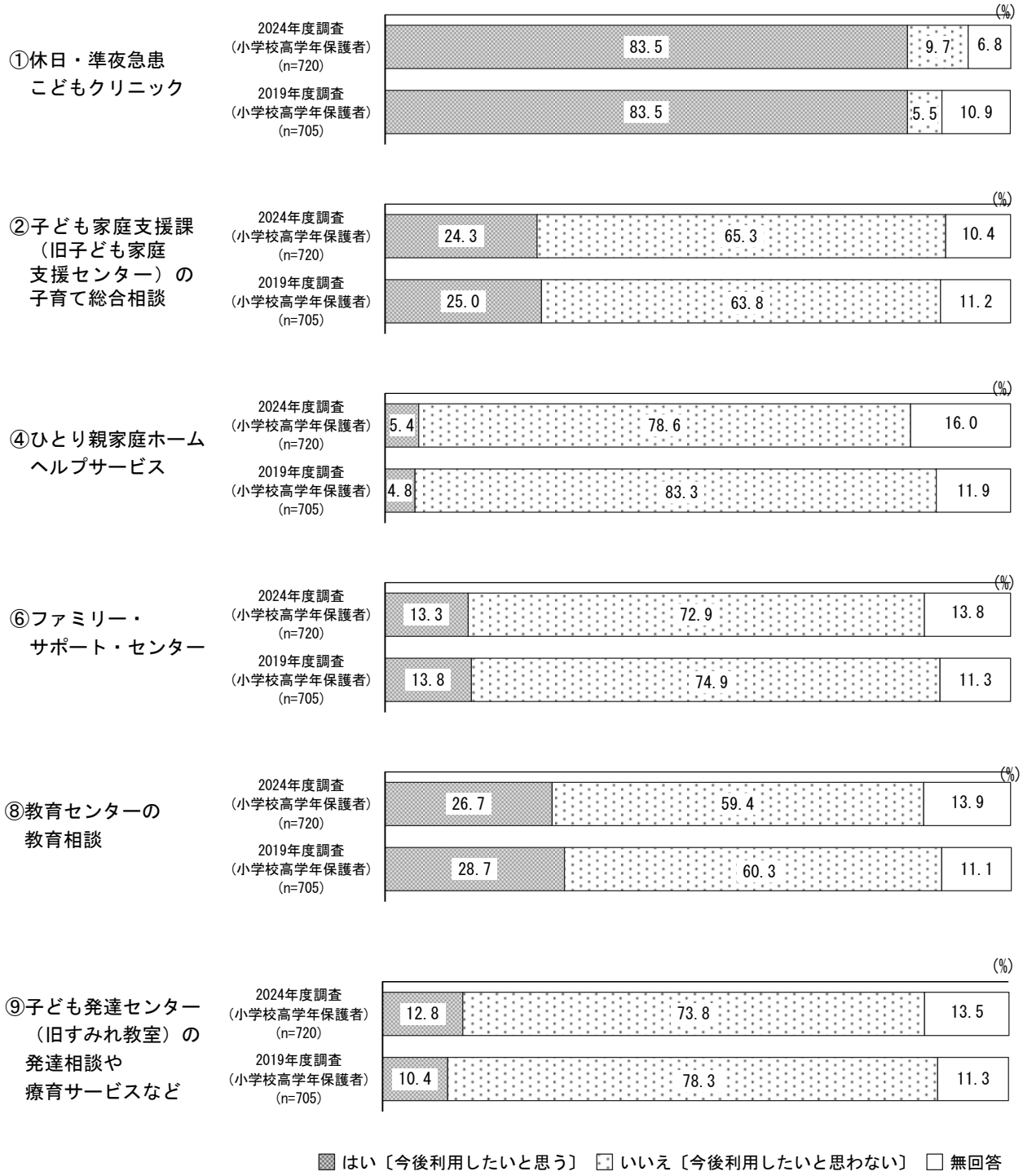
子育て支援事業の利用意向

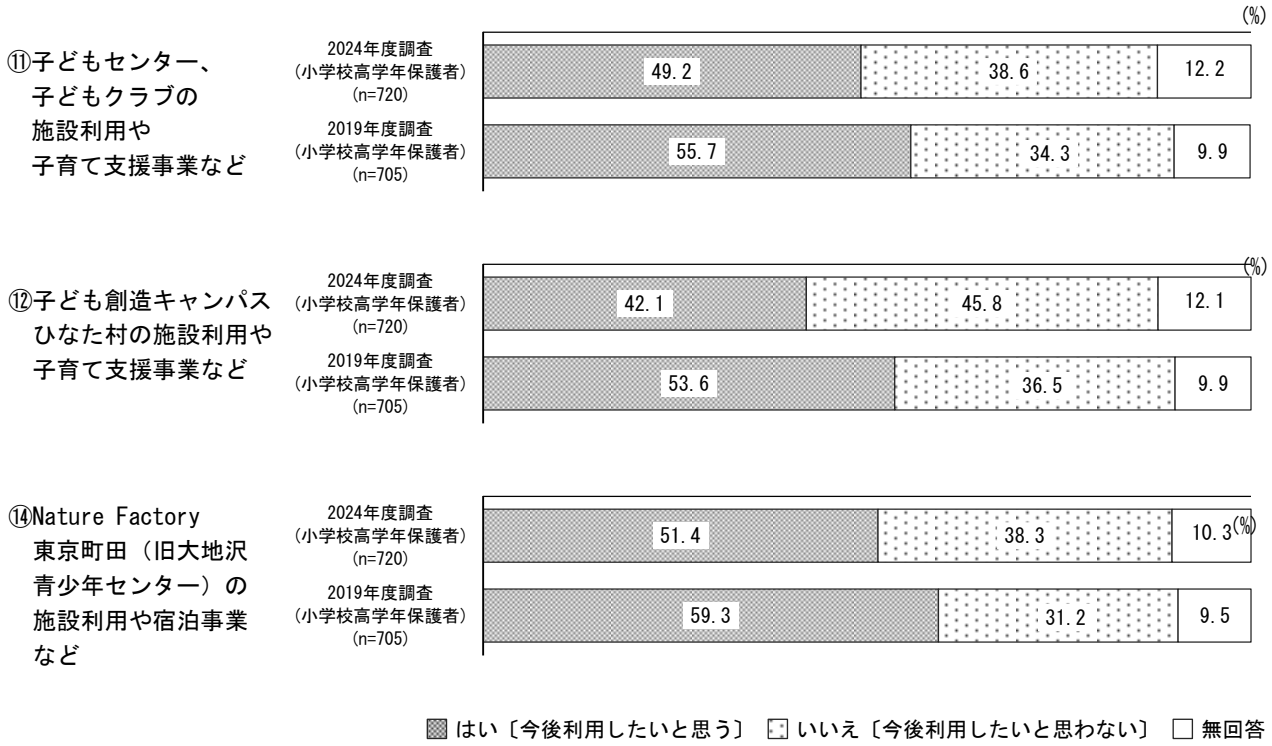


※「③育児支援ヘルパー」「⑤認可保育所での一時保育」「⑦保育コンシェルジュの保育サービス利用相談」「⑩保育所、幼稚園等の園庭開放や子育てひろば」は就学前児童対象の事業のため、利用意向は未調査。

○ ２０１９年度調査との比較

- ２０１９年度調査と比較して、『⑫子ども創造キャンパスひなた村の施設利用や子育て支援事業など』では、今後利用したいと思う人の割合が１０ポイント以上減少しています。



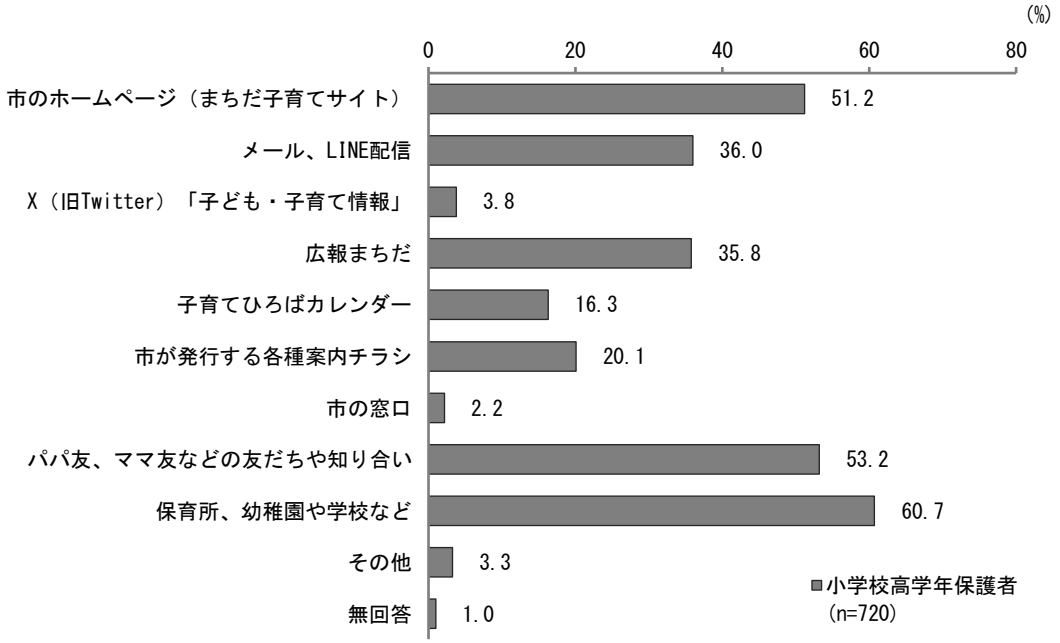


※「③育児支援ヘルパー」「⑤認可保育所での一時保育」「⑦保育コンシェルジュの保育サービス利用相談」「⑩保育所、幼稚園等の園庭開放や子育てひろば」は、就学前児童対象の事業のため、利用意向は未調査。

問１６　子育てに関する情報をどのように得ていますか。【あてはまるものすべてに○】

- 「保育所、幼稚園や学校など」が６０．７％と最も多く、次いで「パパ友、ママ友などの友だちや知り合い」が５３．２％、「市のホームページ（まちだ子育てサイト)」が５１．２％となっています。

子育て情報の入手方法
（複数回答）

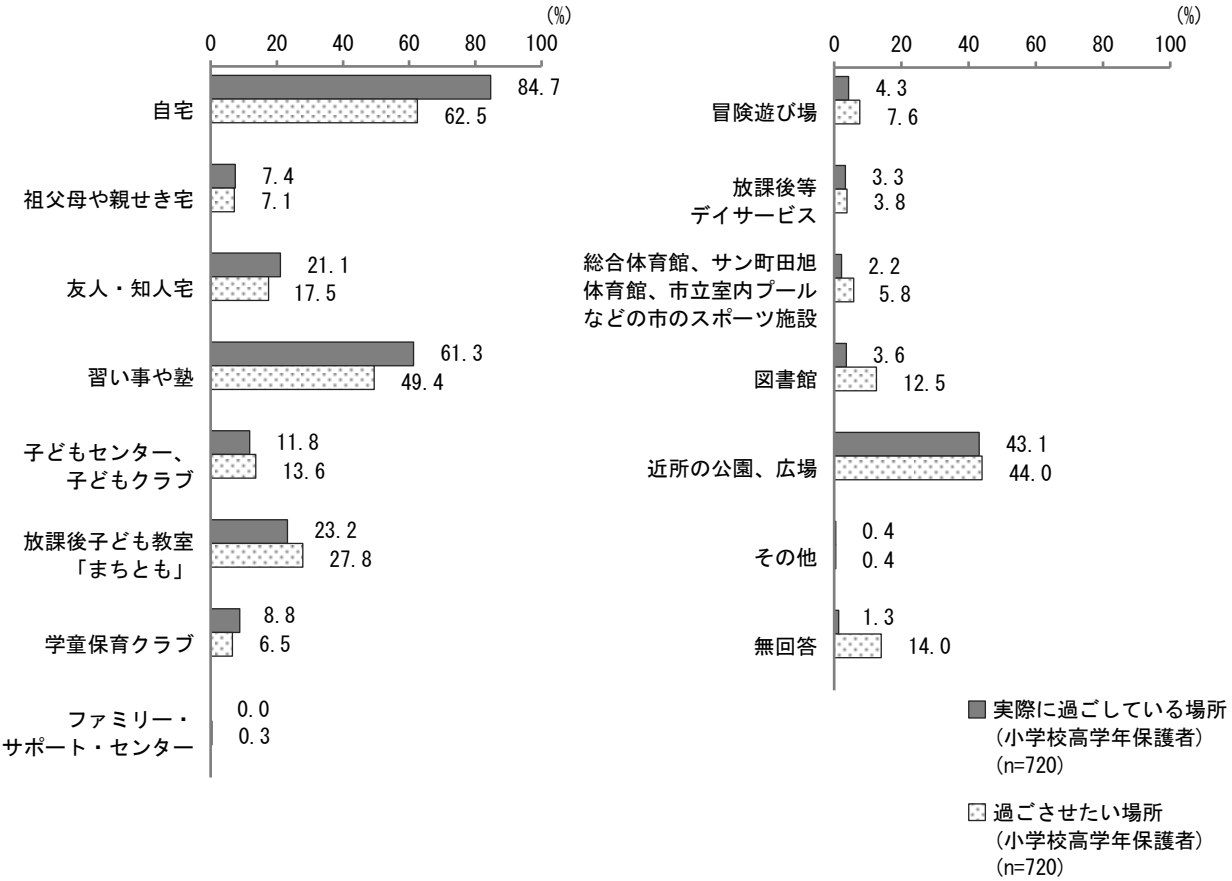


（６）放課後の過ごし方について

問１７　あて名のお子さんは、放課後（平日の授業終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。また、どのような場所で過ごさせたいですか。【あてはまるものすべてに○】過ごしている、または、過ごさせたい場所にあてはまる場合、週当たりの日数を数字でご記入ください。

- 実際に過ごしている場所は、「自宅」が８４．７％と最も多く、次いで「習い事や塾」が６１．３％、「近所の公園、広場」が４３．１％となっています。
- 過ごさせたい場所は、「自宅」が６２．５％と最も多く、次いで「習い事や塾」が４９．４％、「近所の公園、広場」が４４．０％となっています。
- 実際に過ごしている場所と過ごさせたい場所を比較すると、実際に過ごしている割合が「自宅」では約２２ポイント、「習い事や塾」では約１２ポイント上回っています。

放課後の時間を過ごしている場所・過ごさせたい場所
（複数回答）



【過ごしている１週当たりの日数】

- ほとんどの場所で「１日」または「２日」が最も多くなっています。
- 自宅と学童保育クラブでは「５日」の割合が最も高く、学童保育クラブは「５日」が４割以上となっています。

過ごしている１週当たりの日数（高学年）

(%)

区分	回答者数（件）	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
自宅	610	11.3	16.2	16.2	13.3	28.9	3.0	11.1	－
祖父母や親せき宅	53	43.4	18.9	3.8	5.7	20.8	1.9	5.7	－
友人・知人宅	152	69.7	19.7	5.9	3.3	1.3	－	－	－
習い事や塾	441	23.4	29.7	21.3	16.1	6.1	2.9	0.5	－
子どもセンター、子どもクラブ	85	64.7	20.0	7.1	1.2	4.7	2.4	－	－
放課後子ども教室「まちとも」	167	50.3	22.2	13.8	8.4	5.4	－	－	－
学童保育クラブ	63	7.9	11.1	14.3	20.6	44.4	1.6	－	－
ファミリー・サポート・センター	－	－	－	－	－	－	－	－	－
冒険遊び場	31	58.1	22.6	9.7	6.5	3.2	－	－	－
放課後等デイサービス	24	16.7	16.7	33.3	12.5	20.8	－	－	－
総合体育館、サン町田旭体育館、市立室内プールなどの市のスポーツ施設	16	81.3	12.5	6.3	－	－	－	－	－
図書館	26	96.2	3.8	－	－	－	－	－	－
近所の公園、広場	310	44.8	24.8	16.5	8.4	5.2	0.3	－	－
その他	3	－	33.3	33.3	－	－	－	33.3	－

【過ごさせたい１週当たりの日数】

- ほとんどの場所で「１日」または「２日」が最も多くなっていますが、学童保育クラブでは「５日」の割合が最も高くなっています。
- 過ごしている日数と比べて、学童保育クラブでは「５日」の割合が１０ポイント以上低くなっています。

過ごさせたい１週当たりの日数（高学年）

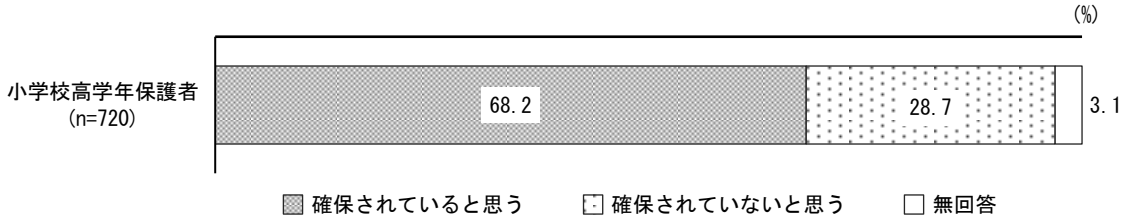
(%)

区分	回答者数(件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
自宅	450	12.4	22.9	22.7	10.9	21.8	0.9	8.4	－
祖父母や親せき宅	51	41.2	29.4	11.8	－	13.7	2.0	2.0	－
友人・知人宅	126	77.0	13.5	4.8	2.4	2.4	－	－	－
習い事や塾	356	17.7	31.2	28.9	14.6	5.9	0.8	0.8	－
子どもセンター、子どもクラブ	98	50.0	27.6	15.3	2.0	5.1	－	－	－
放課後子ども教室「まちとも」	200	31.5	33.5	18.0	8.0	9.0	－	－	－
学童保育クラブ	47	6.4	14.9	14.9	27.7	34.0	2.1	－	－
ファミリー・サポート・センター	2	100.0	－	－	－	－	－	－	－
冒険遊び場	55	52.7	32.7	9.1	5.5	－	－	－	－
放課後等デイサービス	27	22.2	22.2	29.6	7.4	18.5	－	－	－
総合体育館、サン町田旭体育館、市立室内プールなどの市のスポーツ施設	42	66.7	26.2	4.8	－	2.4	－	－	－
図書館	90	77.8	15.6	6.7	－	－	－	－	－
近所の公園、広場	317	28.4	30.3	26.2	6.9	7.6	0.3	0.3	－
その他	3	33.3	－	－	－	33.3	－	33.3	－

（7）子どもの居場所について

問１８　町田市では、子どもが放課後や休日に過ごす場所（子どもの居場所）は確保されていると思いますか。【○は１つだけ】
※家と学校は除きます。

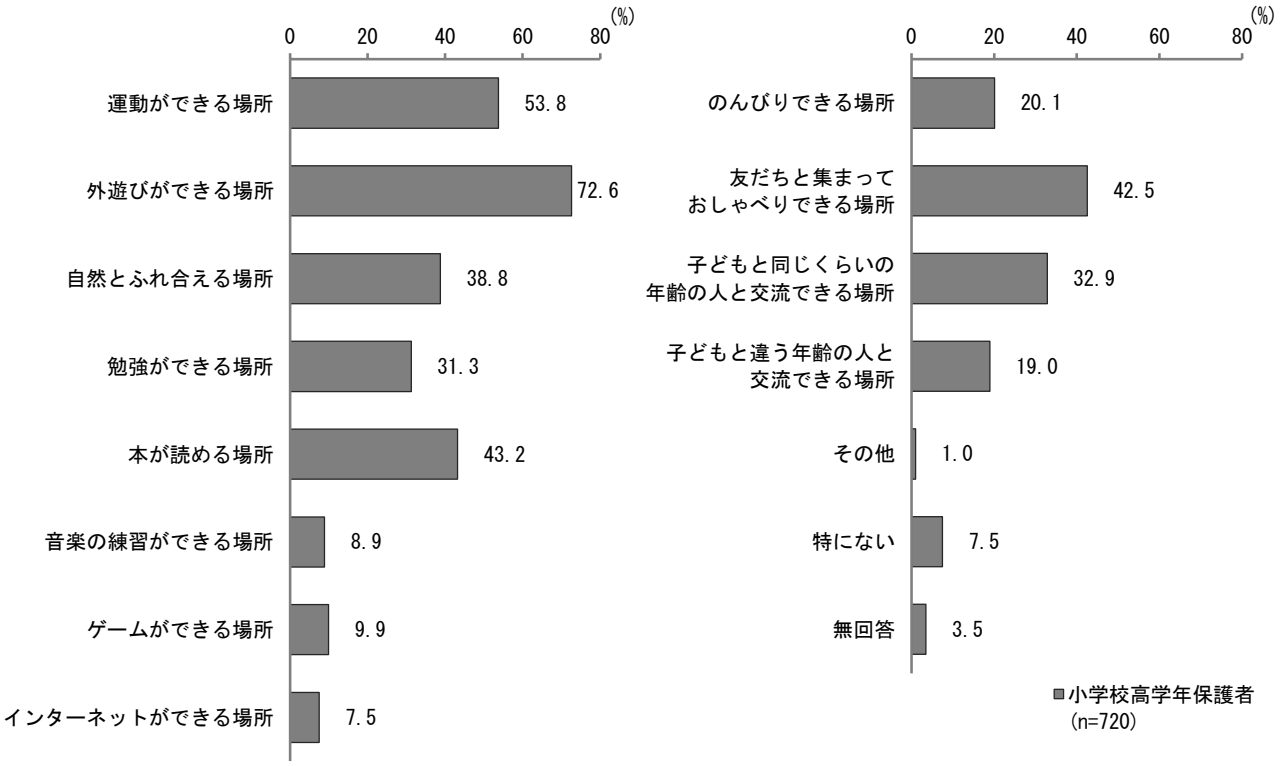
子どもの居場所の確保の状況



問１８－１　子どもが放課後や休日に過ごす場所（子どもの居場所）として確保されていると思う場所はどこですか。【あてはまるものすべてに○】

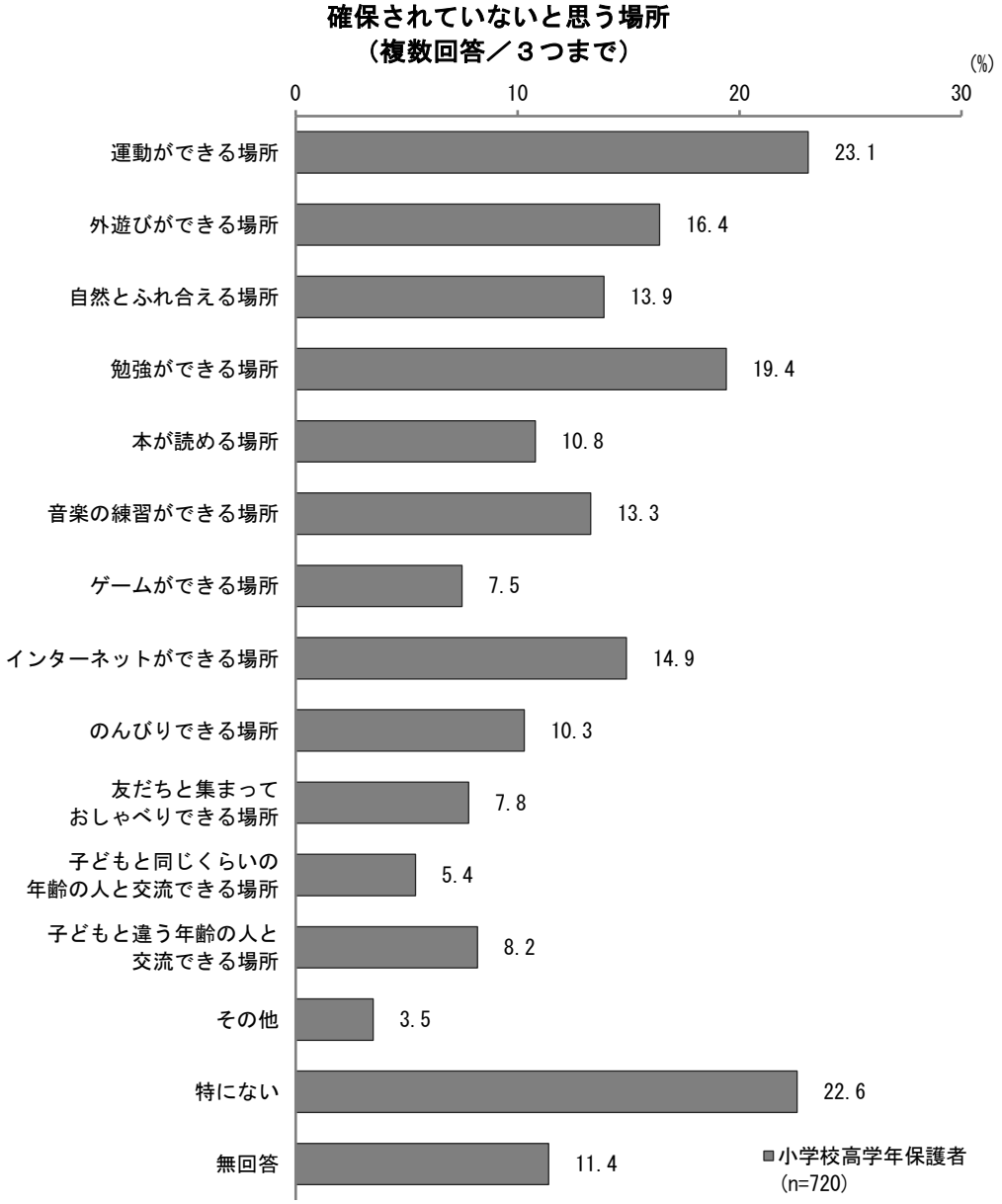
- 「外遊びができる場所」が７２．６％と最も多く、次いで「運動ができる場所」が５３．８％、「本が読める場所」が４３．２％となっています。

確保されていると思う場所
（複数回答）



問１９－２　子どもが放課後や休日に過ごす場所（子どもの居場所）として確保されていないと思う場所はどこですか。【○は３つまで】

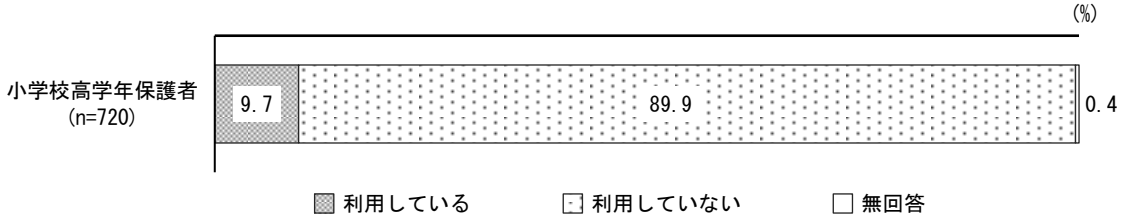
- 「運動ができる場所」が２３．１％と最も多く、次いで「特にない」が２２．６％、「勉強ができる場所」が１９．４％となっています。



（8）学童保育クラブについて

問１９　あて名のお子さんは学童保育クラブを利用していますか。【○は１つだけ】

学童保育クラブの利用状況

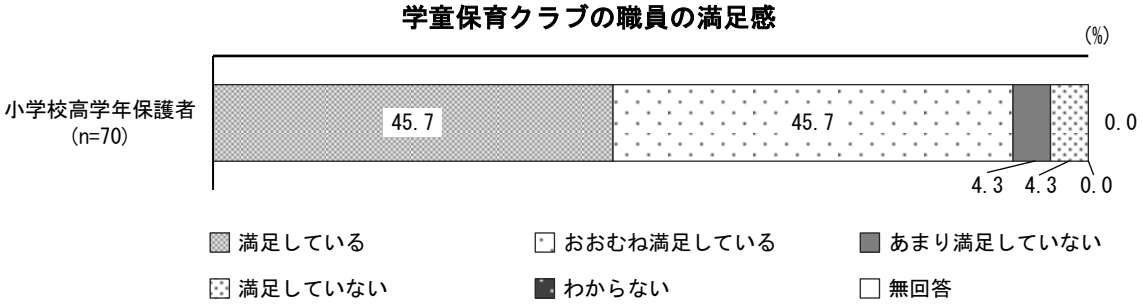


※問２０～２２は、問２０で「利用している」を選択した人のみ回答

問２０　学童保育クラブの職員に満足していますか。【○は１つだけ】

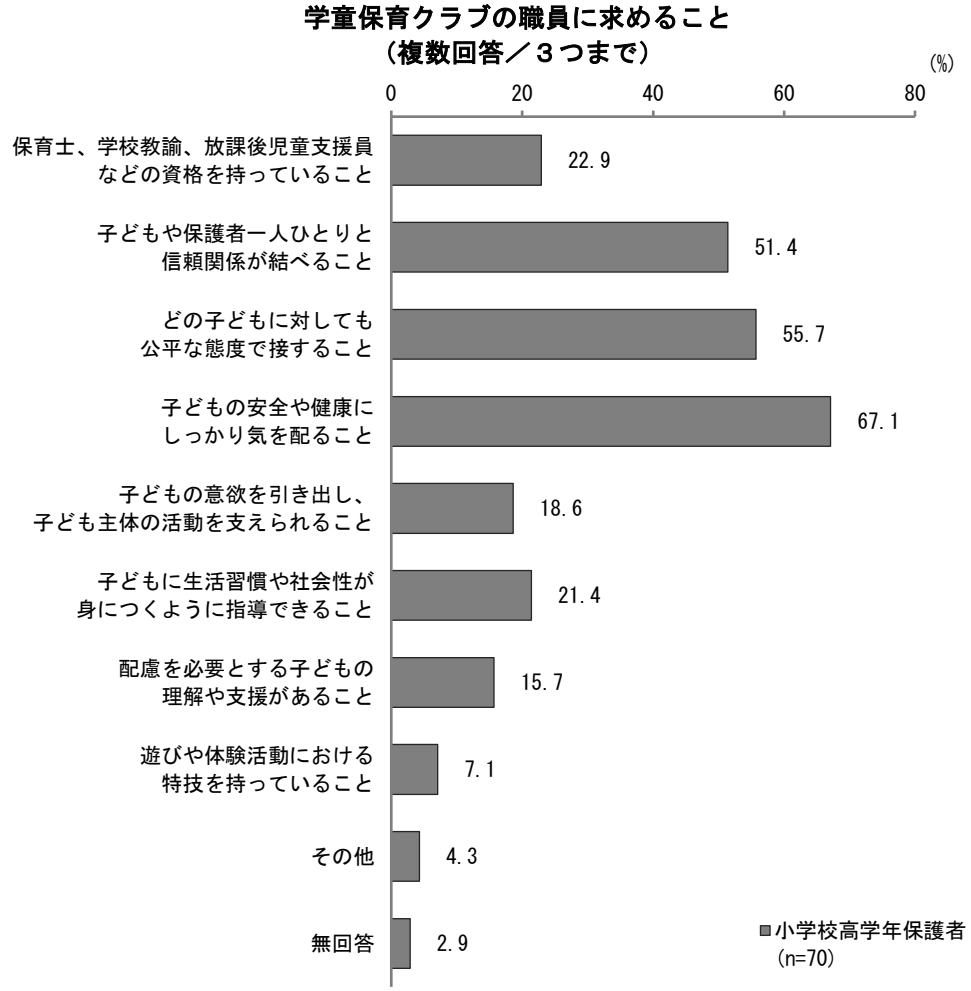
- 「満足している」と「おおむね満足している」が４５．７％と最も多く、次いで「あまり満足していない」と「満足していない」が４．３％となっています。

学童保育クラブの職員の満足感



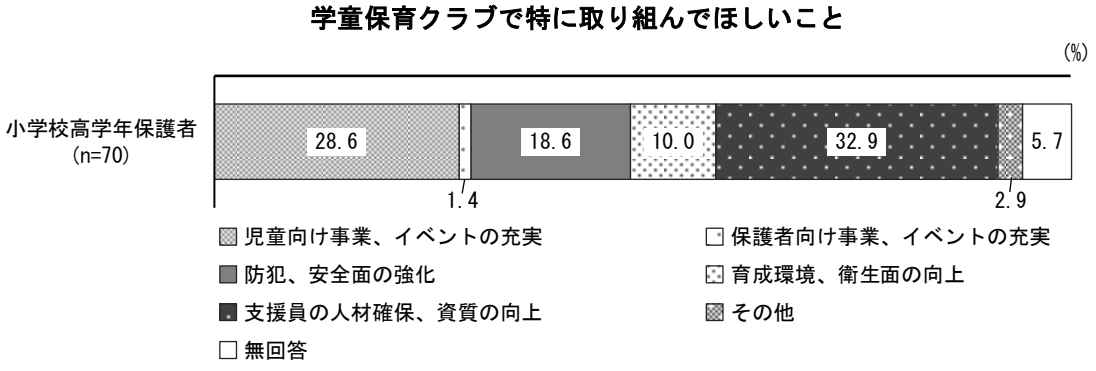
問２１　学童保育クラブの職員に求めることは何ですか。【○は３つまで】

- 「子どもの安全や健康にしっかり気を配ること」が６７．１％と最も多く、次いで「どの子どもに対しても公平な態度で接すること」が５５．７％、「子どもや保護者一人ひとりと信頼関係が結べること」が５１．４％となっています。



問２２　学童保育クラブで特に取り組んでほしいことは何ですか。【○は１つだけ】

- 「支援員の人材確保、資質の向上」が３２．９％と最も多く、次いで「児童向け事業、イベントの充実」が２８．６％、「防犯、安全面の強化」が１８．６％となっています。

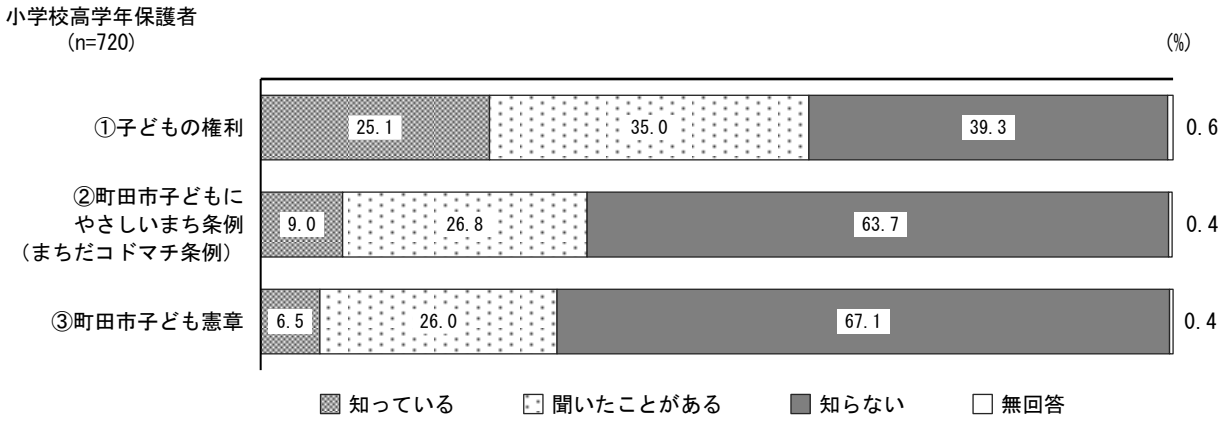


（9）「子どもの権利」について

問２３　子どもには大切な「子どもの権利」があります。
町田市では、「子どもの権利」に関する条例「町田市子どもにやさしいまち条例」や、子ども自身の意見でつくられた子どもの行動指針「町田市子ども憲章」があります。
あなたは、これらについて知っていますか。
①～③について、それぞれ１つに○をつけてください。

- 『①子どもの権利』は認知度（「知っている」と「聞いたことがある」の合計）が約６割と高くなっているのに対し、『②町田市子どもにやさしいまち条例（まちだコドマチ条例(ルール)）』と『③町田市子ども憲章』の認知度は３割程度と低くなっています。

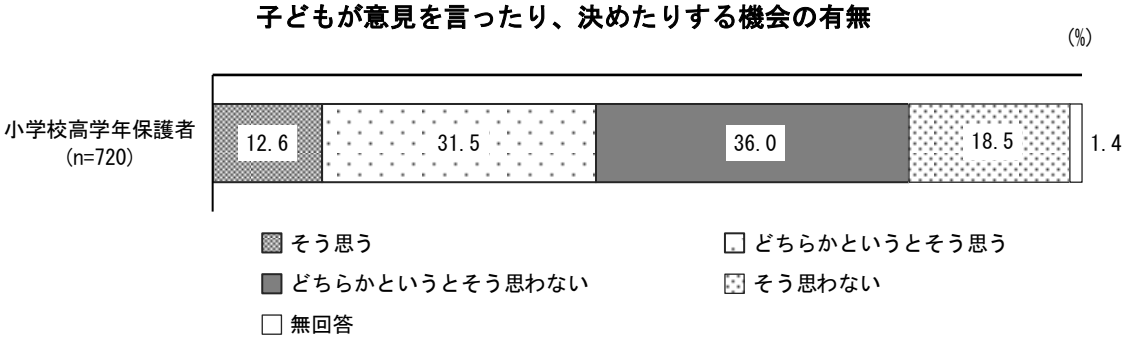
「子どもの権利」「まちだコドマチ条例(ルール)」「町田市子ども憲章」の認知度



問２４　「子どもの権利」の１つに「参加する権利」があります。
「参加する権利」には、自分に関わることについて、意見が言えて、意見が大切にされることが含まれます。町田市では、学校（授業以外）や地域などで子どもが意見を言ったり、決めたりする機会があると思いますか。【○は１つだけ】

- 「どちらかというとそう思わない」が３６．０％と最も多く、次いで「どちらかというとそう思う」が３１．５％、「そう思わない」が１８．５％となっています。

子どもが意見を言ったり、決めたりする機会の有無

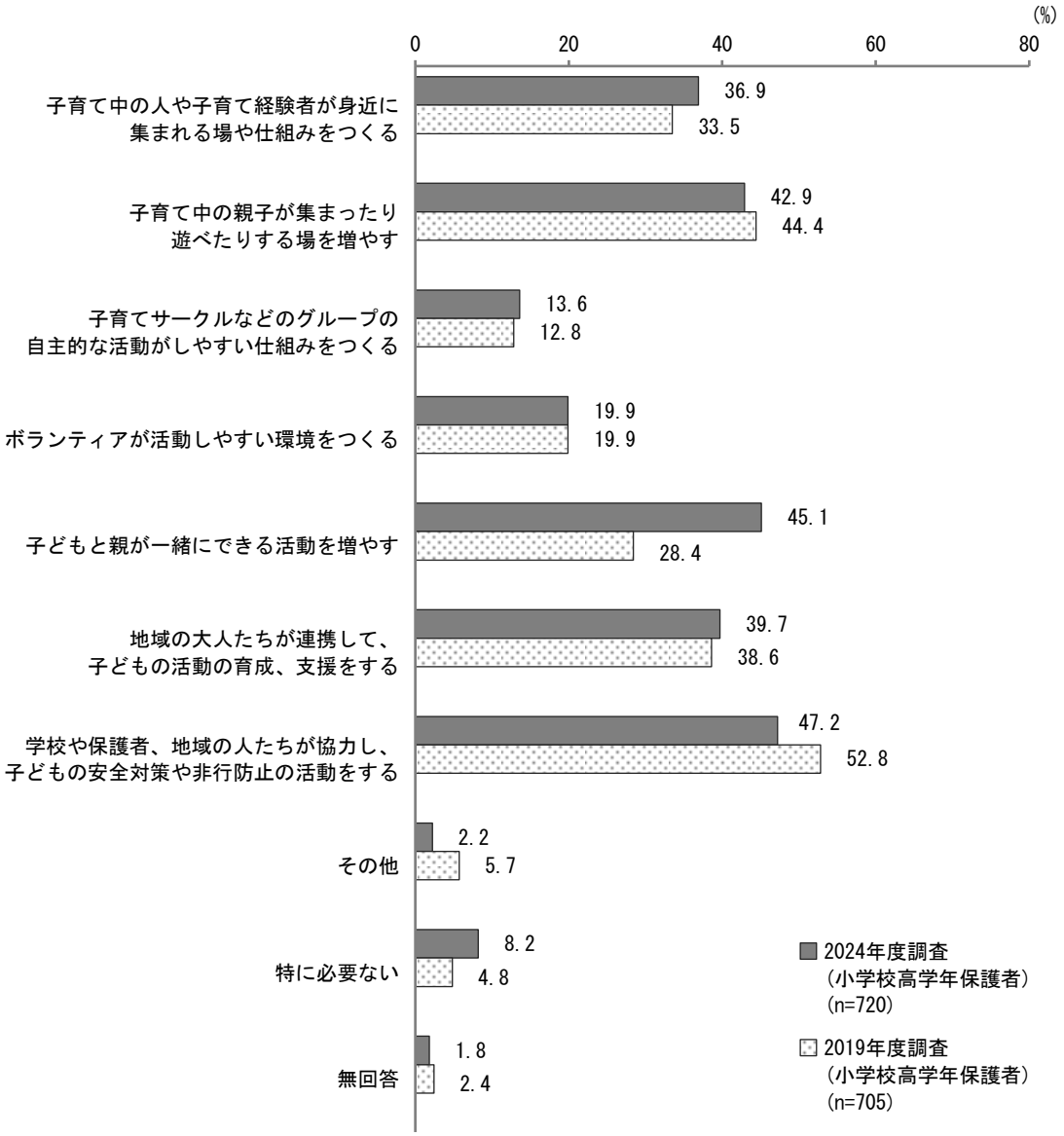


（１０）子育て施策全般について

問２５　安心して子育てをするためには、地域の人とどのような取組をする必要があると思いますか。【あてはまるものすべてに○】

- 「学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全対策や非行防止の活動をする」が４７．２％と最も多く、次いで「子どもと親が一緒にできる活動を増やす」が４５．１％、「子育て中の親子が集まったり遊べたりする場を増やす」が４２．９％となっています。
- ２０１９年度調査と比較して、「学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全対策や非行防止の活動をする」の割合が最も減少し、「子どもと親が一緒にできる活動を増やす」の割合が大きく増加しています。

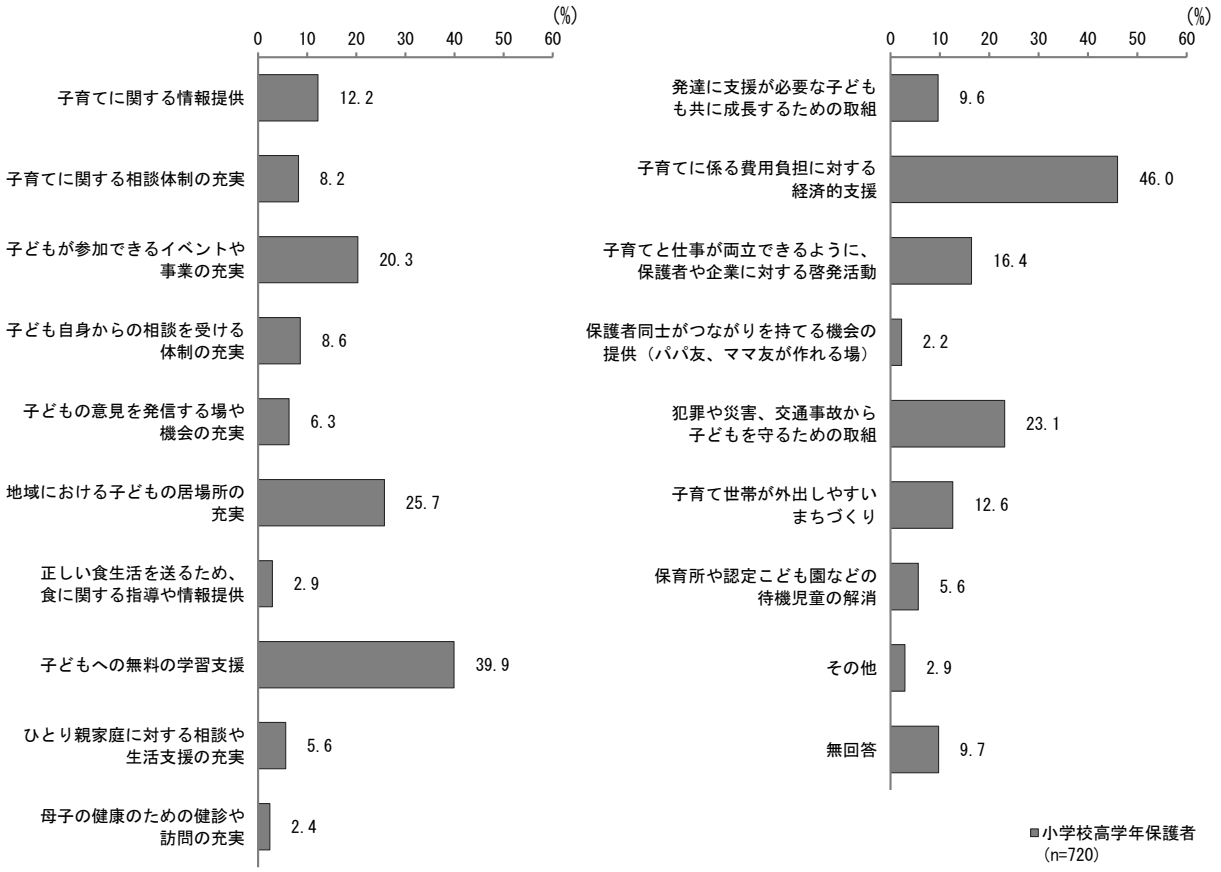
安心して子育てするために必要だと思う取組
（複数回答）



問２６　市の子育て支援への取組や少子化対策として、期待すること、重要なことは何ですか。
【○は３つまで】

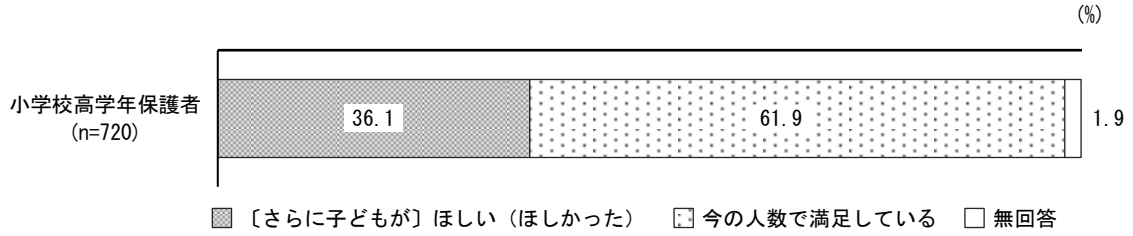
- 「子育てに係る費用負担に対する経済的支援」が４６．０％と最も多く、次いで「子どもへの無料の学習支援」が３９．９％、「地域における子どもの居場所の充実」が２５．７％となっています。

市に期待する支援や取組
（複数回答／３つまで）



問２７　問２６の取組が充実したとして、あなたは、現在よりさらに子どもがほしい（ほしかった）と思いますか。【○は１つだけ】

取組が充実した場合の希望



【母親の就労状況別】

- 母親の就労状況別でみると、全ての就労状況で「今の人数で満足している」の割合が高くなっています。

取組が充実した場合の希望【母親の就労状況別】

(%)

区分	回答者数（件）	ほしい（ほしかった）	今の人数で満足している	無回答
フルタイム	202	35.1	63.9	1.0
フルタイムで、現在産休・育休・介護休暇中	2	0.0	100.0	0.0
パートタイム、アルバイトなど	305	39.3	59.3	1.3
パートタイム、アルバイトなどで、現在産休・育休・介護休暇中	1	0.0	100.0	0.0
以前は就労していたが、現在は就労していない	170	35.3	62.4	2.4
これまでに就労したことがない	17	17.6	70.6	11.8

問２８　子育てに関するご意見があれば、ご自由にご記入ください。

- アンケート調査票の自由記述欄において、２３８人の方から、計３２４件の意見を寄せていただきました。
- 掲載している文章は、回答原文のうち各分類に関連する部分を要約・抜粋したものです。

【主な意見】

回答分類	件数
１　小学校の生活について	５３
（１）小学校について	３８
・少子化のため、ある程度の小中学校の統廃合はしかたがないが、数の多さに驚いた。統廃合することで、通学時間が伸びたり、１クラスあたりの人数が増えたり、学童の人数も増えたりと子ども達には負担ばかりの気がする。 ・共働き家庭も増えている中で、ＰＴＡの在り方そのものの見直しが必要に感じる。親と先生をつなぐ活動が大切であることは理解できるが、負担の軽減は検討してほしい。	
（２）学童保育クラブ・放課後子ども教室「まちとも」について	１５
・学童を利用しているが、長期休みはお弁当を持たせている。保護者の負担軽減や食中毒予防の観点から、町田市でも、長期休みの学童利用時に希望者には弁当や給食の提供をしてほしい。 ・地域のボランティアも活用しながら、まちともが長期休暇中も増えるとありがたい。	
２　子育て支援全般について	４１
（１）子どもの居場所やイベント（子どもセンター、親子イベントなど）について	１６
・近所には、子どもセンターなどの子どもが遊べるところがない。野球ができるような場所も少ないため、子どもが様々な遊びができる場所を、町田市内に偏りなく確保してほしい。 ・町田市は、適度に市街地と里山などの自然が混在しているので、自然の中で子ども達や家族連れが遊べる施設やイベントが増えると良いと思う。	
（２）障がい児への支援について	９
・子どもが障がい児のため、毎朝隣の学区の小学校の特別支援学級に車で送っている。それ以外にも学校の行事に付き添ったり、発達支援のサービスに同行したりするため、短時間のアルバイト以外（正社員など）で働くのは無理。障害児福祉手当で親の負担を軽減してもらいたいが、せめて兄弟児の負担を軽減してもらえないか（兄弟児の学童無料化など）。	
（３）子育て支援に関する情報、相談先について	１１
・子育て支援講座に興味はあっても日程が合わなかったり、連続で出席するものだったりして断念している。オンラインで見られれば良いと思う。また、市の情報については、いくらチラシを作っても忙しい親は見ない。入学式、卒業式等、親たちが集まるときに直接（やビデオレター等で）アナウンスすれば知ることができていたかもしれない。 ・ひとり親のため、時間（仕事）と資金のバランスがとても難しい。情報を集めたり、支援を利用するために役所が開いている平日の昼間に休みをとることが大変。お金がないから働いているのに、支援を得るためには仕事を休まなければいけない、ということが本末転倒。	

【主な意見】

回答分類	件数
（４）子どもを預けられる場所の充実について	５
・子どもの預け場所を知らないので、働きたくても働くことができない。春休み、夏休み等の長期休み含め預かってくれるところを周知してほしい。	
３　子育て環境について	１２８
（１）公園・遊び場・外出について	４０
・小さい公園は多いが、もう少し広くボール遊びもできるような場所があれば、子ども達も年代を越えて集まれると思う。 ・体育館などで、自由にスポーツ（バスケットボールや卓球など）ができるところがあると嬉しい。	
（２）公共施設等について	１７
・図書館が近くになく、車に乗って行くのが不便。取寄せサービスを利用するだけでは色々な本を見ることができず、読書する意欲もわきにくいと感じている。勉強する場所も確保できず、残念。 ・子どもたちが大きなホール等で、ピアノや楽器を演奏する機会が少ないので、市のホールのピアノ等、平日の空き時間に練習目的で貸し出してほしい。ピアノを習っていても家庭の事情で家にピアノがない子どもが増えているので、練習できる場所があれば良いと思う。	
（３）医療費補助・医療・健診体制について	１０
・共働きで、子どもを病院に連れて行くのが大変。平日連れていくのが難しく、休日・準夜急患こどもクリニックで診てもらおうとしたら、検査はしてもらえず、翌日にかかりつけで診てもらうように言われた。働きながらの子育てがしやすい世の中になってほしいと思う。	
（４）地域との協力について	１３
・地域で助け合っていく仕組みができると良いと感じた。親たちも忙しく時間的な余裕もないが、親子が安心してホッとできる場所があると良い。 ・今の子育て支援にとても満足しているが、人生の先輩であるお年寄りとも交流がもてると、心の拠り所になると思った。	
（５）教育環境や学習支援について	６
・不登校の子どもやその家庭支援にさらに目を向けてほしい。子どもの不登校を受け入れた先には、将来の不安や日々の生活の送り方等、困難が絶えない。	
（６）防犯・安全面について	２２
・信号がない道路が多い上、学校の目の前で、大人が平気な様子で道路を横断しているのは本当に心配になる。また、死角も多く、不審者が多いため心配。 ・子どもとスマホの関係を心配している。インターネットもそうだが、正しい使い方ができているか、犯罪に巻き込まれないか、ずっとスマホを見ているので、脳に与える影響なども気になる。	

【主な意見】

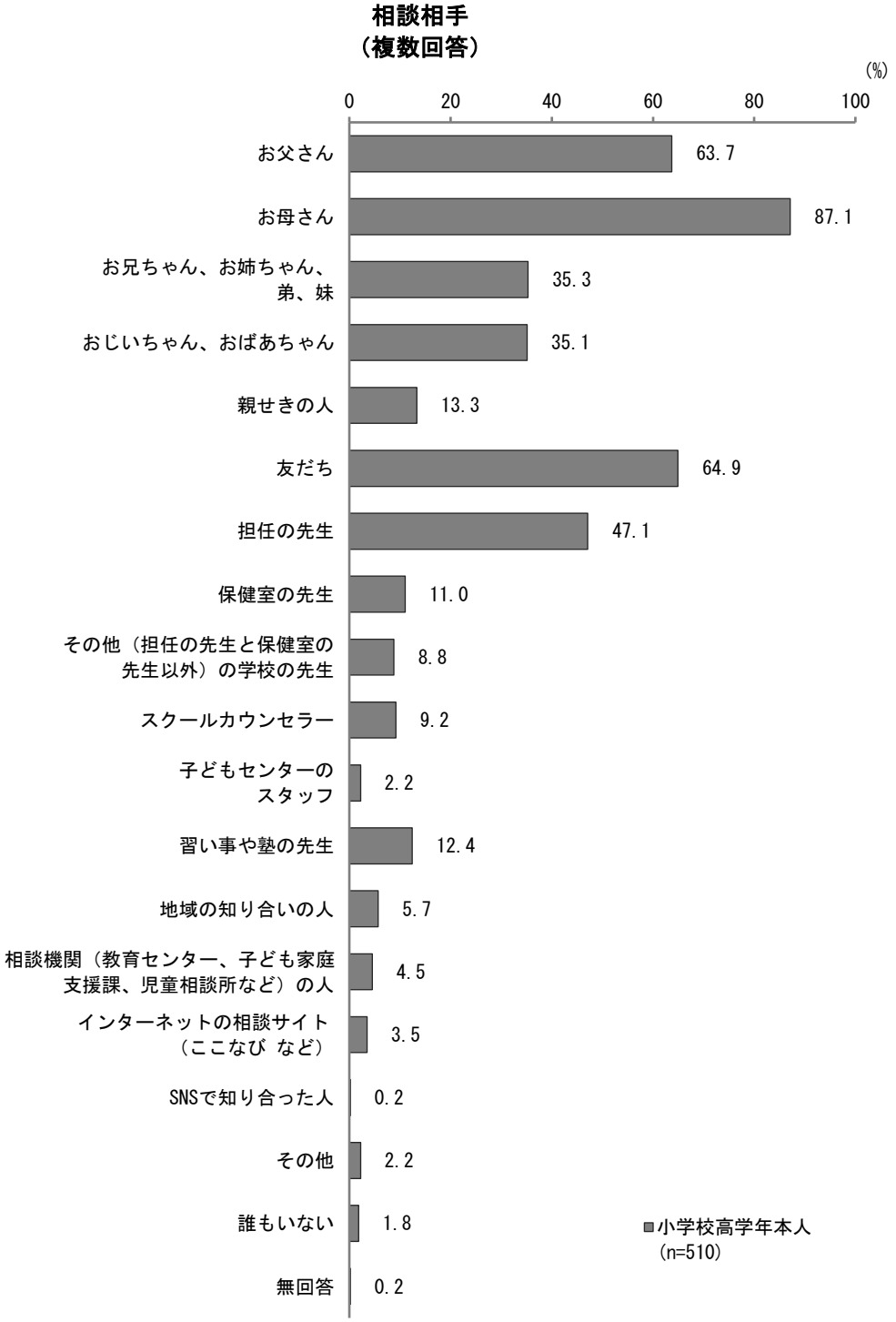
回答分類	件数
（7）まちづくりについて	２０
・駅周辺に子ども服や子ども用品の店が少ないため、もっと駅周辺で色々揃えられるようになったら嬉しい。 ・駅近は、子育て世帯が増えているようだが、駅から遠い地域は子どもが減っているので、もっと子どもが増えるようなまちになると良いと思う。	
４　子育て中の保護者の状況について	７５
（１）社会制度等（育休・就労状況・男女の子育て意識など）について	１０
・母親ばかりが学校等のイベントなどに出ることが多いため、もっと父親が参加できるような社会になってほしい。	
（２）子育てのその他経済的負担の軽減・支援について	６５
・習い事の費用も年齢が上がるごとに高くなり、世の中の物価もどんどん上がっていく中で経済的な不安が大きい。 ・子どもの人数に関わらずに支援をしてもらえると、母子家庭も少しは生活水準が上がると思う。 ・子どもに係る学費の補助金などが所得でもらえないのは、不公平に思う。子どもとの時間を削って仕事をして稼いで、やっと支払いをしているのに、もらえないのはおかしい。	
５　その他	２７
・子どもが一人っ子のため、ほぼ新品なのに不要になる物がある。もったいないので、誰かの役に立てたら良いのにと思っている。 ・子育てと仕事の両立の大変さを実感している。ワークライフバランスが充実するような仕組みがあると良いと思っている。例えば、平日（仕事がある日）の食事支援や、家事代行サービスを手軽に利用できるような仕組みがあると、子どもを産んで育てやすいと考える。	

５　【調査④】小学校高学年本人

（１）悩み事や相談先について

問１　何か相談したいことや聞いてほしいことがあったとき、気軽に話せる相手がいますか。
【あてはまるものすべてに○】

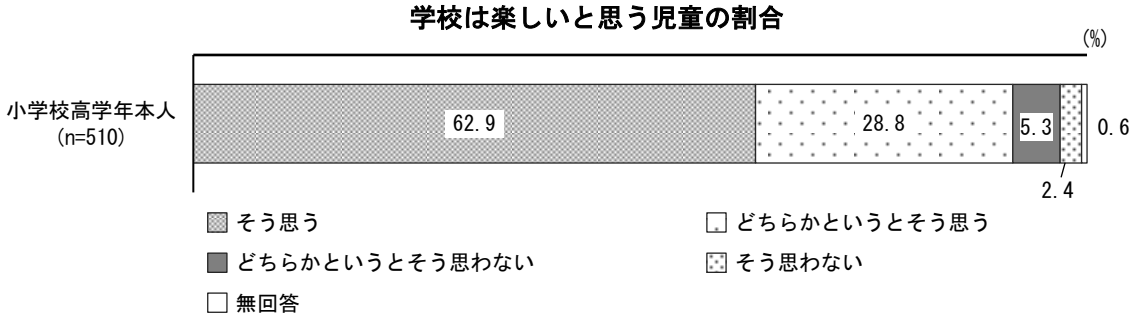
- 「お母さん」が８７．１％と最も多く、次いで「友だち」が６４．９％、「お父さん」が６３．７％となっています。



（２）学校生活について

問２　学校は楽しいと思いますか。【○は１つだけ】

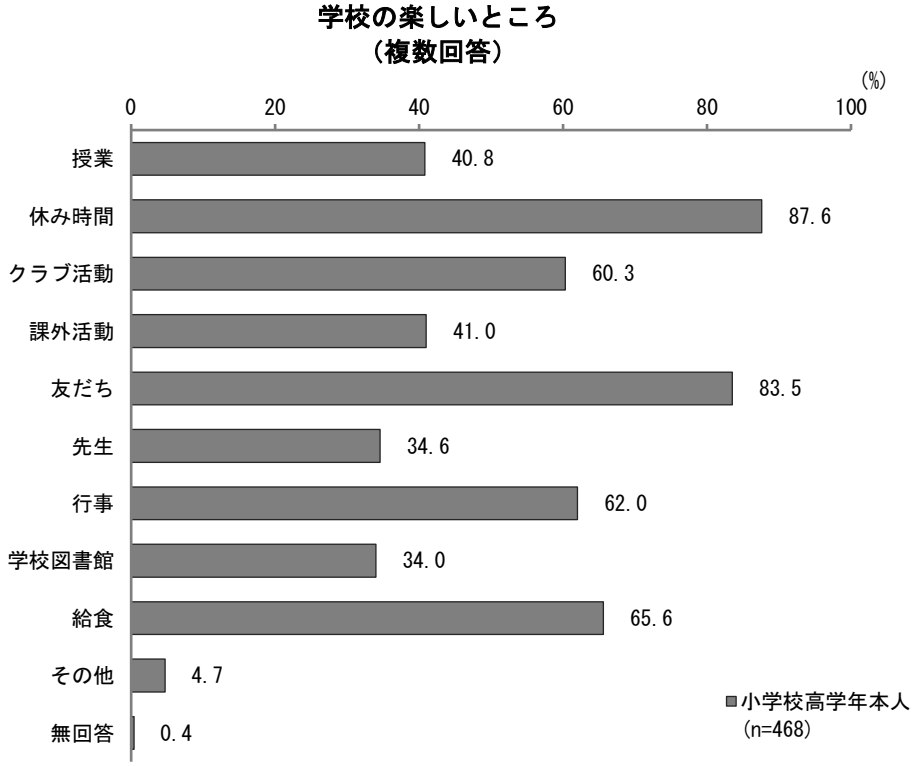
- 「そう思う」が６２．９％と最も多く、次いで「どちらかというとそう思う」が２８．８％、「どちらかというとそう思わない」が５．３％となっています。



※問２－１は、問２で「そう思う」または「どちらかというとそう思う」を選択した人のみ回答

問２－１　どのようなところが楽しいですか。【あてはまるものすべてに○】

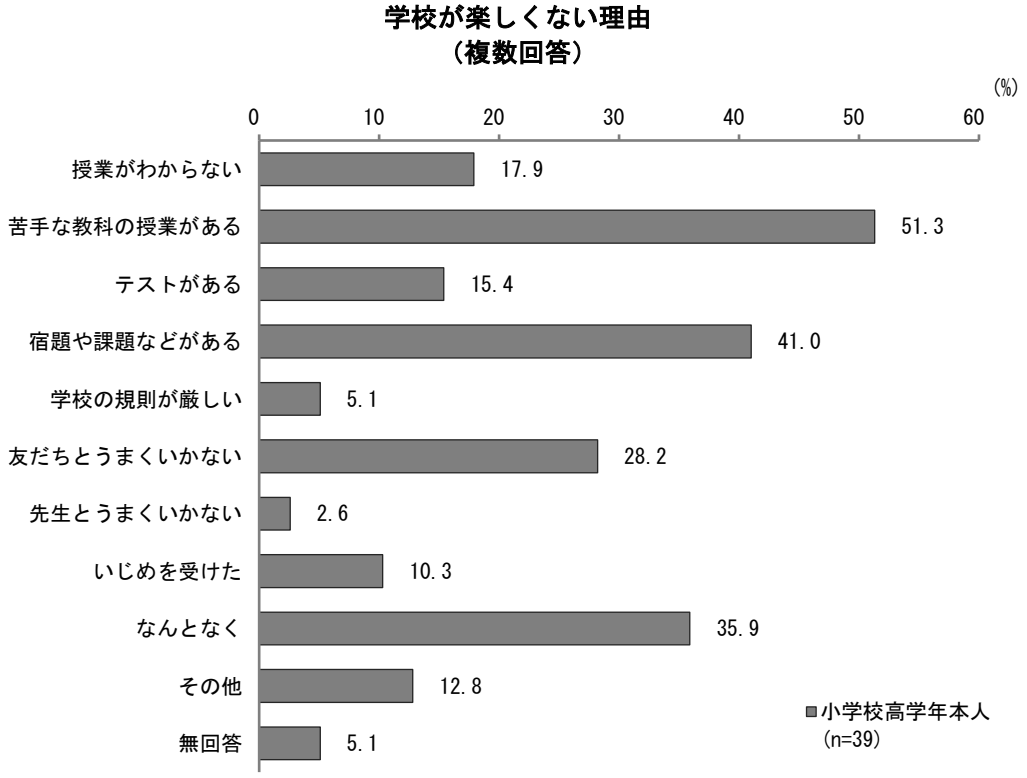
- 「休み時間」が８７．６％と最も多く、次いで「友だち」が８３．５％、「給食」が６５．６％となっています。



※問２－２は、問２で「どちらかというとそう思わない」または「そう思わない」を選択した人のみ回答

問２－２　そう思わない理由は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

- 「苦手な教科の授業がある」が５１．３％と最も多く、次いで「宿題や課題などがある」が４１．０％、「なんとなく」が３５．９％となっています。

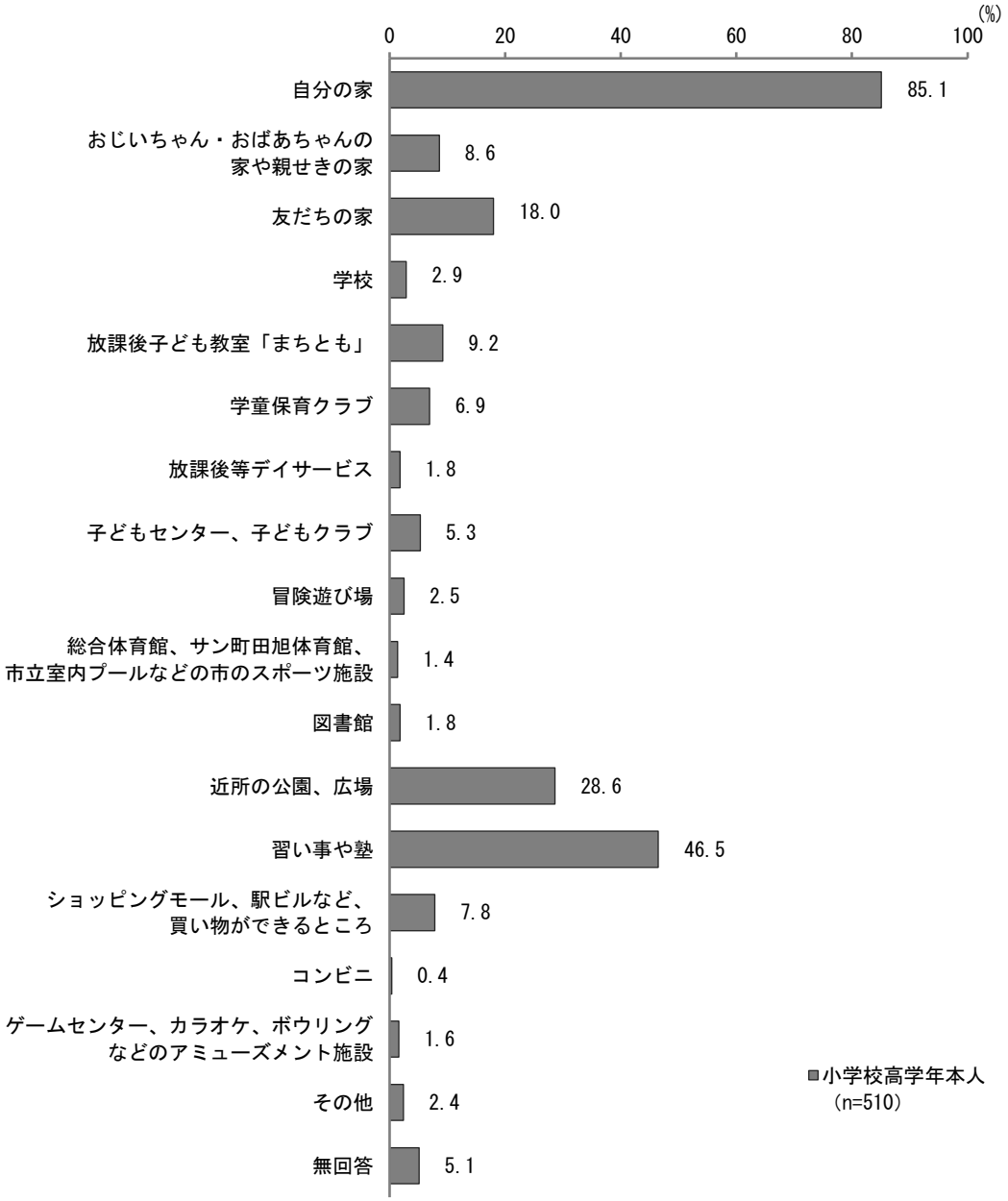


（３）放課後や休みの日の過ごし方について

問３　放課後（夕方）や休みの日はどこにいることが多いですか。【○は３つまで】

- 「自分の家」が８５．１％と最も多く、次いで「習い事や塾」が４６．５％、「近所の公園、広場」が２８．６％となっています。

放課後（夕方）や休日によくいる場所
（複数回答／３つまで）

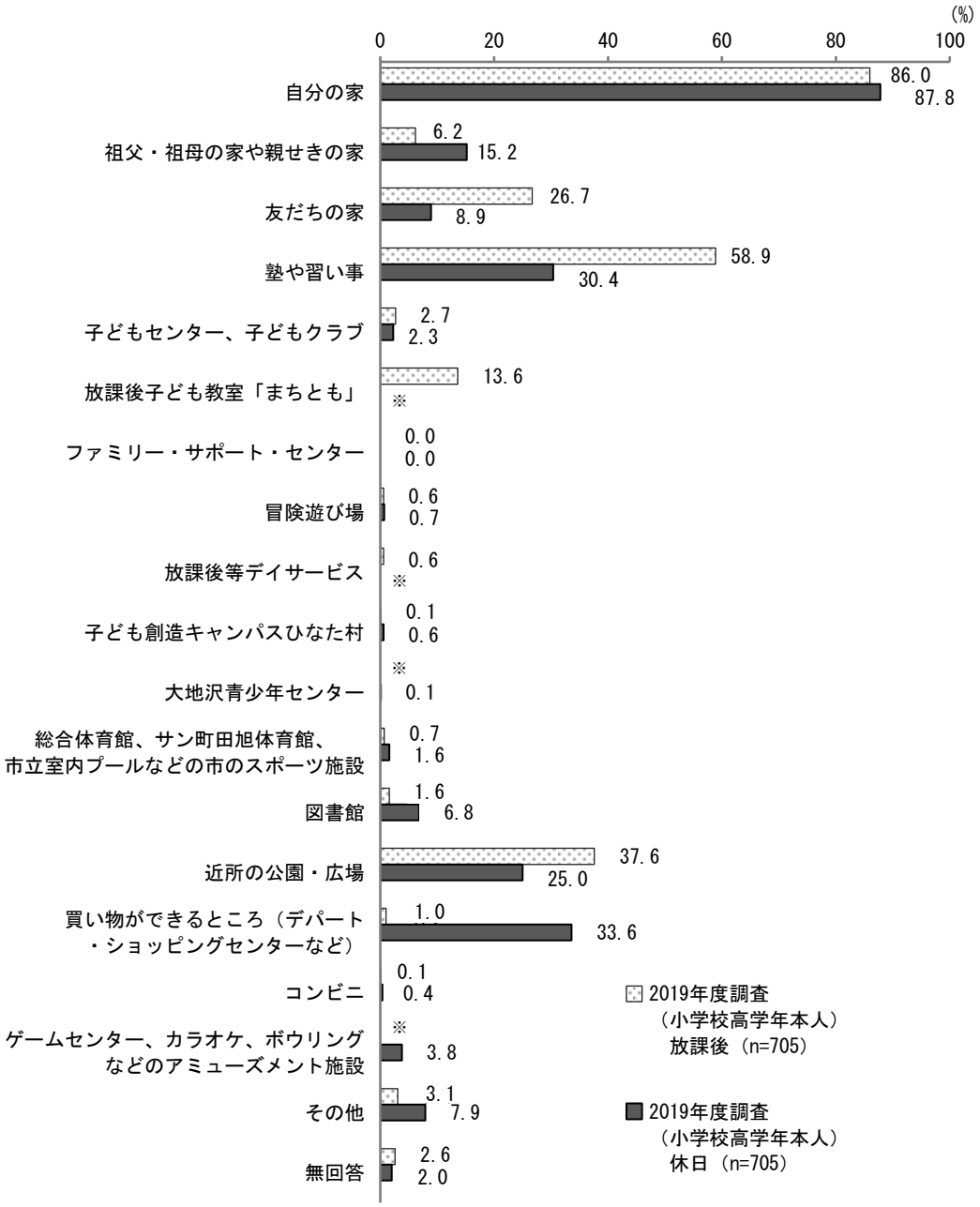


○ 参考（２０１９年度調査時の類似設問）

放課後（夕方）はどこにいることが多いですか。／休日はどこにいることが多いですか。

- 放課後（夕方）では、「自分の家」が８６．０％と最も多く、次いで「塾や習い事」が５８．９％、「近所の公園・広場」が３７．６％となっていました。
- 休日では、「自分の家」が８７．８％と最も多く、次いで「買い物ができるところ（デパート・ショッピングセンターなど）」が３３．６％、「塾や習い事」が３０．４％となっていました。

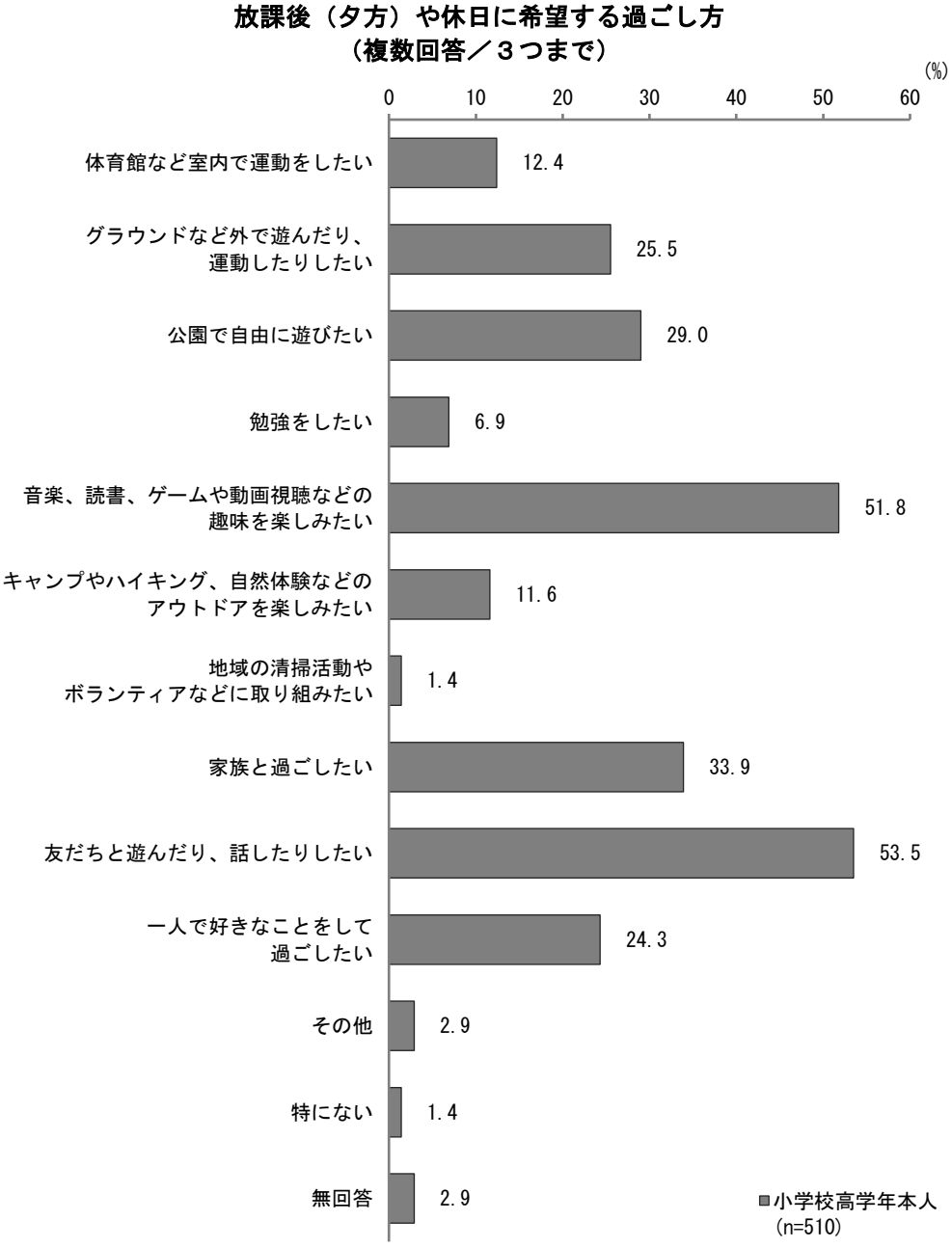
放課後（夕方）によくいる場所／休日によくいる場所
（複数回答／３つまで）



※「放課後等デイサービス」は、放課後（夕方）のみの項目。
「大地沢青少年センター（現在は「Nature Factory 東京町田」）」「ゲームセンター、カラオケ、ボウリングなどのアミューズメント施設」は、休日のみの項目。

問４　放課後（夕方）や休みの日はどのように過ごしたいですか。【○は３つまで】

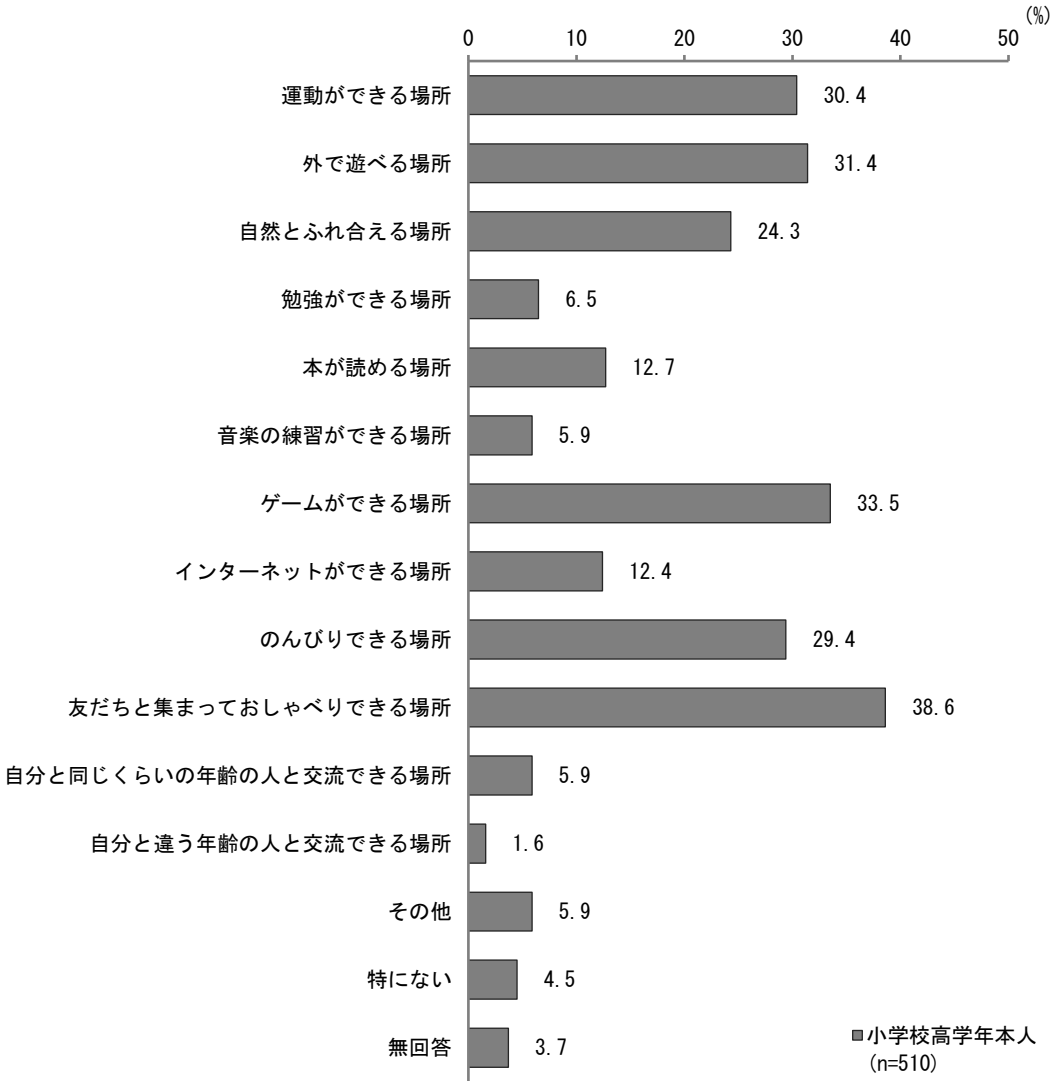
- 「友だちと遊んだり、話したりしたい」が５３．５％と最も多く、次いで「音楽、読書、ゲームや動画視聴などの趣味を楽しみたい」が５１．８％、「家族と過ごしたい」が３３．９％となっています。



問５　放課後（夕方）や休みの日に過ごす場所として、地域でこんな場所があったら良いと思うものはありますか。【○は３つまで】

- 「友だちと集まっておしゃべりできる場所」が３８．６％と最も多く、次いで「ゲームができる場所」が３３．５％、「外で遊べる場所」が３１．４％となっています。

放課後（夕方）や休日に過ごす場所としてあったら良いと思う場所
（複数回答／３つまで）

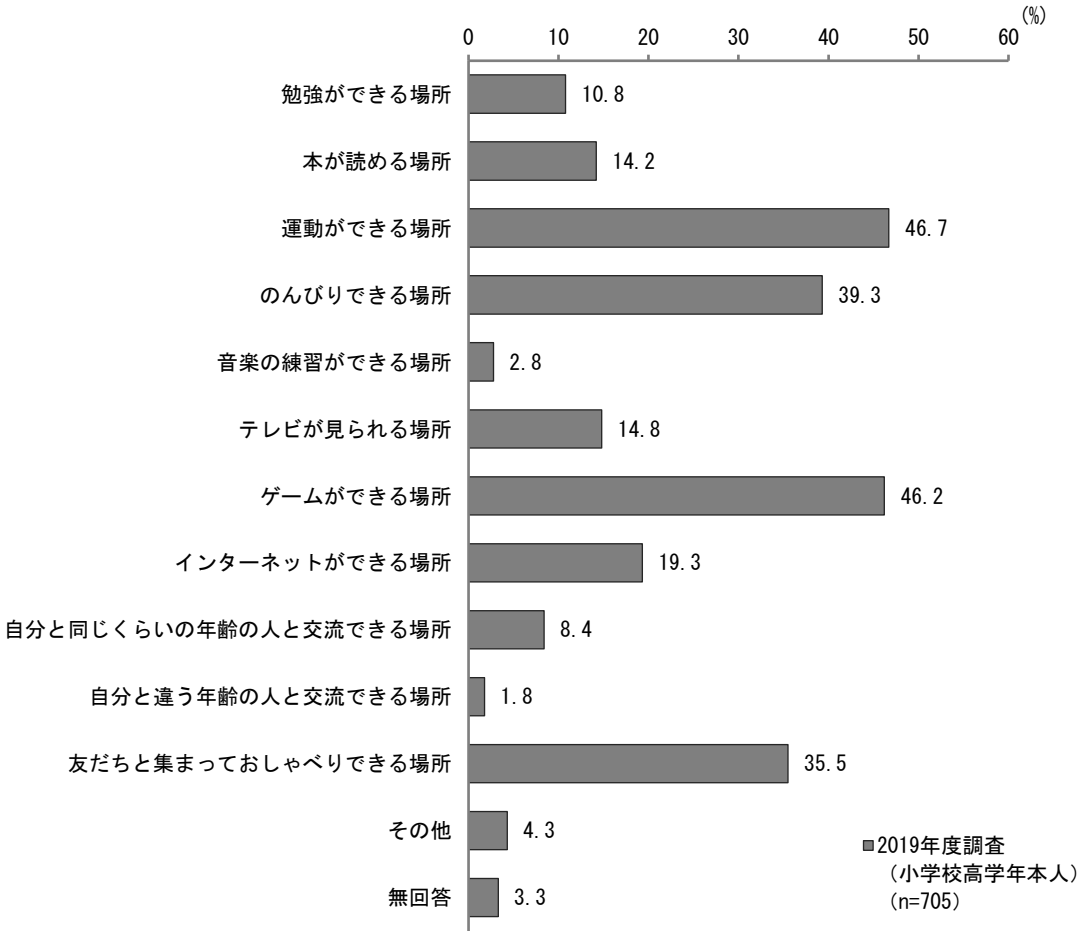


○ 参考（２０１９年度調査時の類似設問）

休日に友だちと過ごす場所としてどのような場所がほしいですか。

- 「運動ができる場所」が４６．７％と最も多く、次いで「ゲームができる場所」が４６．２％、「のんびりできる場所」が３９．３％となっていました。

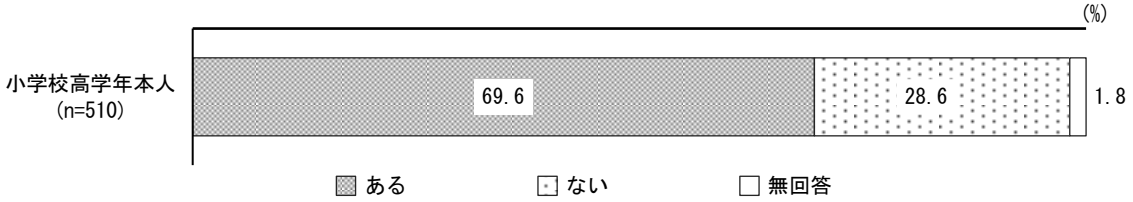
休日に友だちと過ごすためにほしい場所
（複数回答／３つまで）



（４）町田市について

問６　家と学校以外で、放課後（夕方）や休みの日に過ごしたいと思える場所が町田市にありますか。【○は１つだけ】

過ごしたいと思う場所の有無

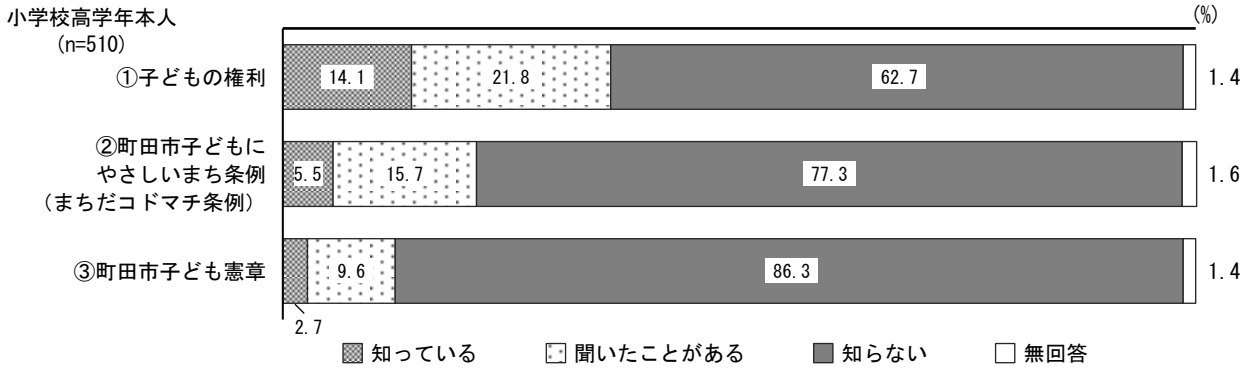


（５）「子どもの権利」について

問７　子どもには大切な「子どもの権利」があります。
町田市では、「子どもの権利」についての条例「町田市子どもにやさしいまち条例」や、子ども自身の意見でつくられた子どもの行動指針「町田市子ども憲章」があります。
あなたは、これらについて知っていますか。

- 『①子どもの権利』の認知度（「知っている」と「聞いたことがある」の合計）が３５．９％と最も高く、『③町田市子ども憲章』が１２．３％と最も低くなっています。

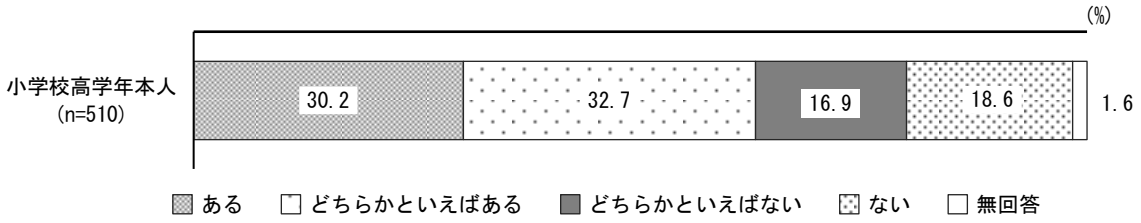
「子どもの権利」「まちだコドマチ条例（ルール）」「町田市子ども憲章」の認知度



問８　自分に関わることについて、意見が言えて、意見が大切にされることは、「子どもの権利」の１つです。あなたには、学校（授業以外）や地域などで自分の意見を言ったり、決めたりする機会がありますか。【○は１つだけ】

- 「どちらかといえばある」が３２．７％と最も多く、次いで「ある」が３０．２％、「ない」が１８．６％となっています。

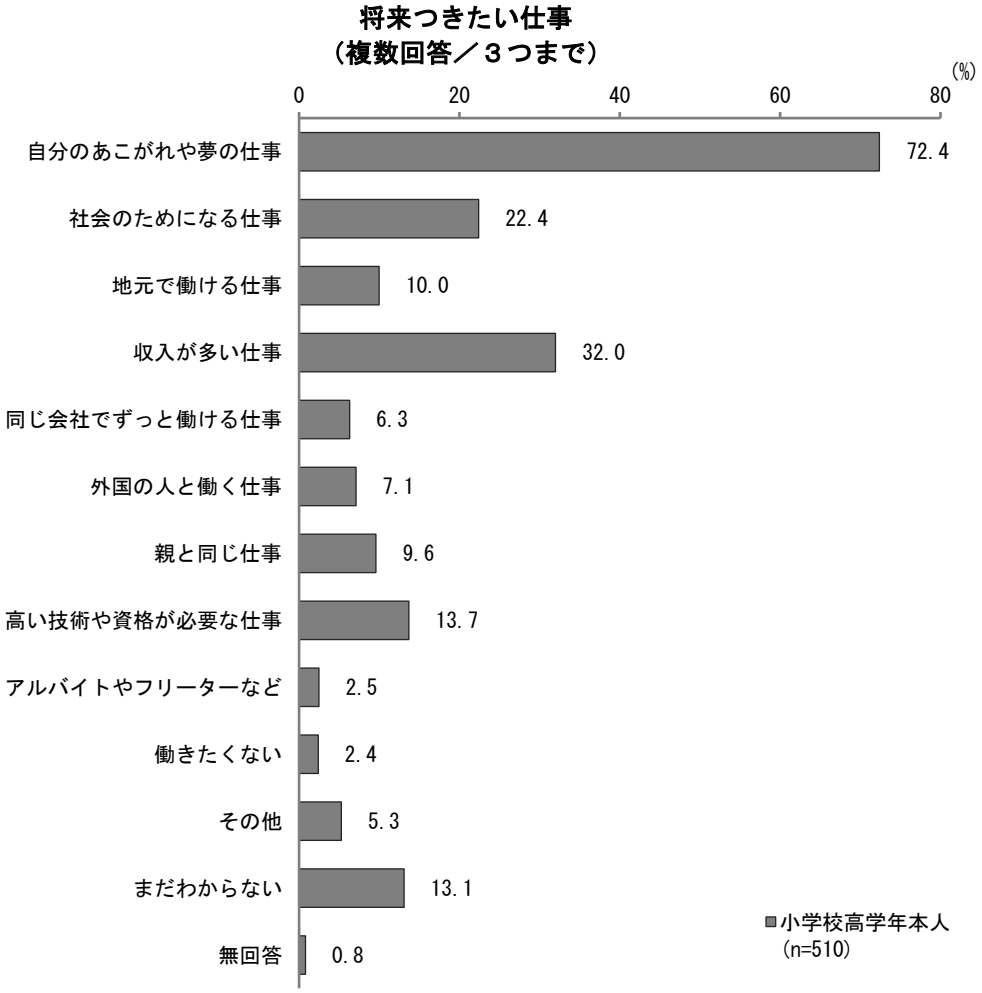
子どもが意見を言ったり、決めたりする機会の有無



（６）自身の考えについて

問９　将来はどのような仕事につきたいですか。【○は３つまで】

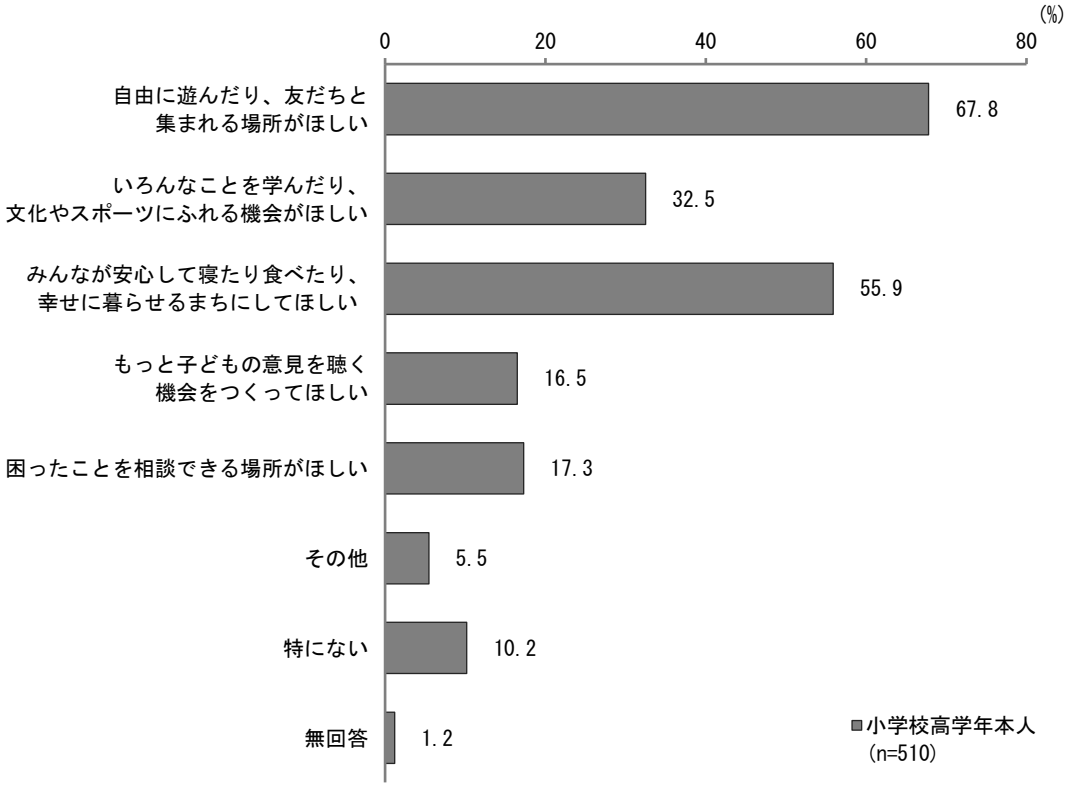
- 「自分のあこがれや夢の仕事」が７２．４％と最も多く、次いで「収入が多い仕事」が３２．０％、「社会のためになる仕事」が２２．４％となっています。



問１０　あなたは、町田市の未来のまちづくりのイベントに参加するとしたら、大人に何を伝えたいですか。【○は３つまで】

- 「自由に遊んだり、友だちと集まれる場所がほしい」が６７．８％と最も多く、次いで「みんなが安心して寝たり食べたり、幸せに暮らせるまちにしてほしい」が５５．９％、「いろんなことを学んだり、文化やスポーツにふれる機会がほしい」が３２．５％となっています。

大人に伝えたいこと
（複数回答／３つまで）

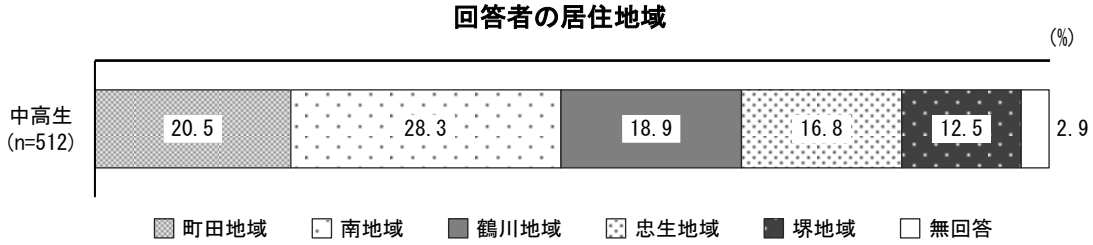


６　【調査⑤】中学生・高校生（１２～１８歳の市民）

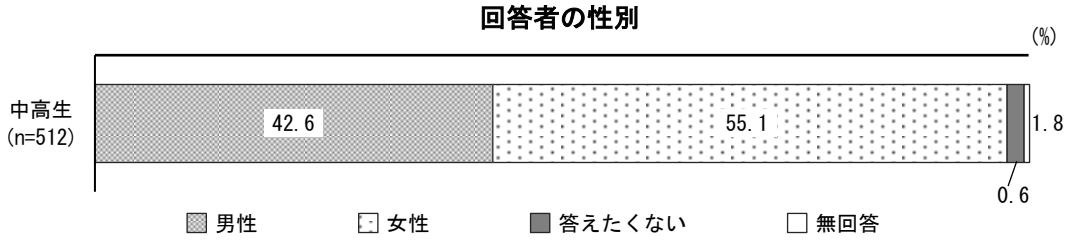
（１）家族の状況について

問１　お住まいの郵便番号を数字で記入してください。

- 「南地域」が２８．３％と最も多く、次いで「町田地域」が２０．５％、「鶴川地域」が１８．９％となっています。

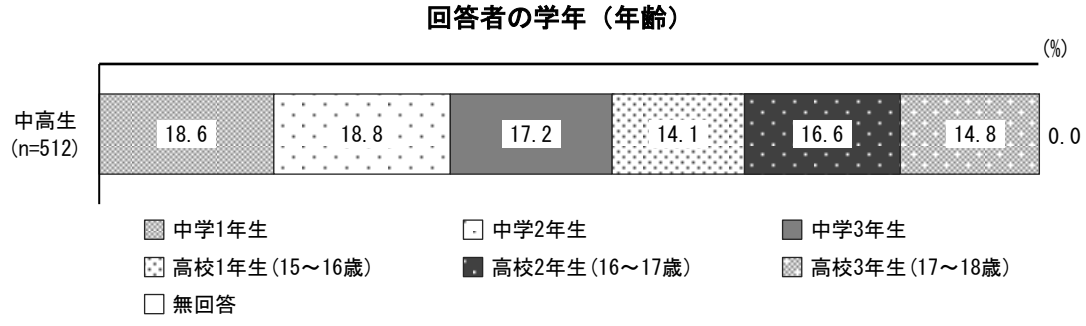


問２　性別を教えてください。【○は１つだけ】



問３　学年(年齢)を教えてください。【○は１つだけ】

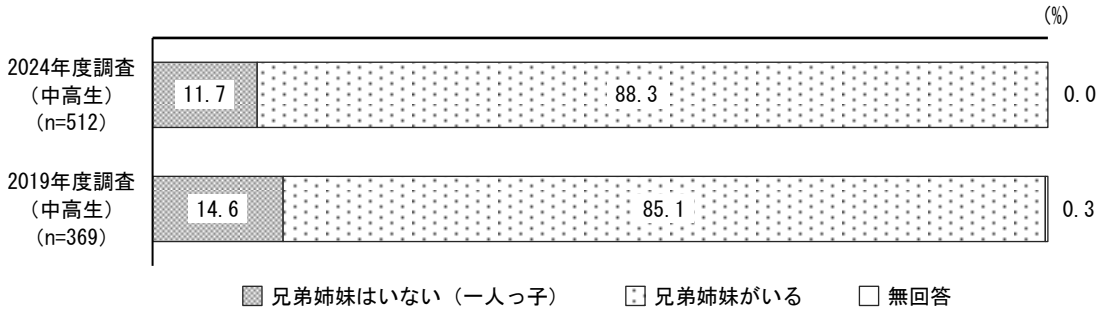
- 「中学２年生」が１８．８％と最も多く、次いで「中学１年生」が１８．６％、「中学３年生」が１７．２％となっています。



問４　兄弟姉妹がいますか。【○は１つだけ】
「兄弟姉妹がいる」に○をつけた場合は、きょうだいの人数と、上から何番目かを数字で記入してください。

- ２０１９年度調査と比較して、「兄弟姉妹がいる」の割合が３ポイントほど増加しています。

兄弟姉妹の有無

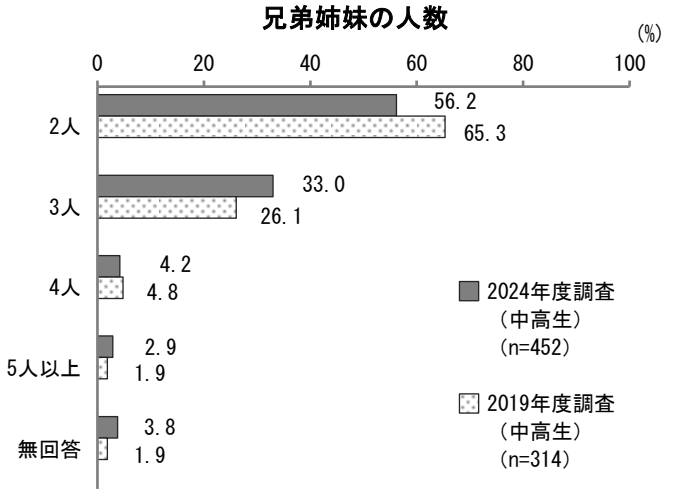


※【兄弟姉妹の人数】と【兄弟姉妹の中での順番】は、問４で「兄弟姉妹がいる」を選択した人のみ回答

【兄弟姉妹の人数】

- 「２人」が５６．２％と最も多く、次いで「３人」が３３．０％、「４人」が４．２％となっています。
- ２０１９年度調査と比較して、「２人」の割合が最も減少し、「３人」の割合が７ポイントほど増加しています。

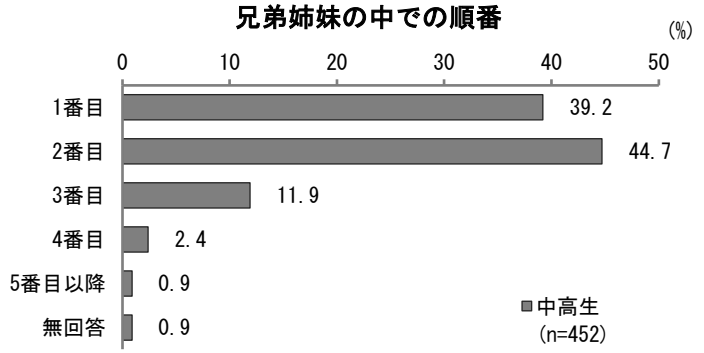
兄弟姉妹の人数



【兄弟姉妹の中での順番】

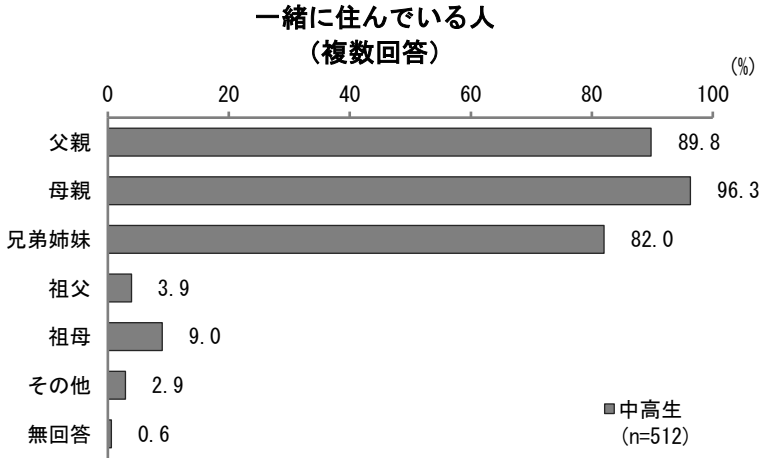
- 「２番目」が４４．７％と最も多く、次いで「１番目」が３９．２％、「３番目」が１１．９％となっています。

兄弟姉妹の中での順番



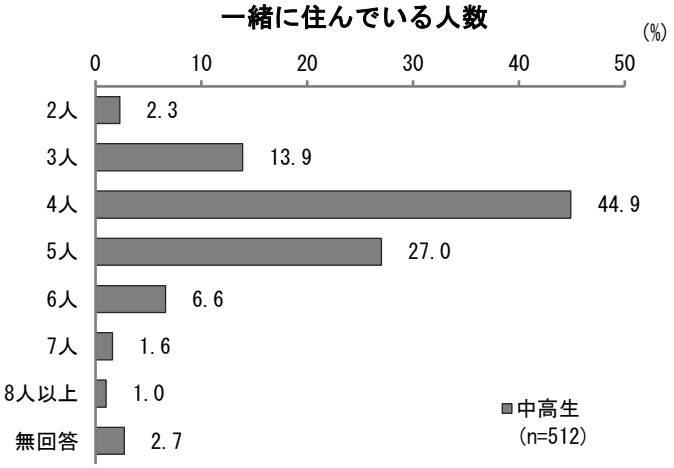
問５　誰と一緒に住んでいますか。【あてはまるものすべてに○】
　　また、あなたを含めて、何人で住んでいるかを数字で記入してください。

● 「母親」が９６．３％と最も多く、次いで「父親」が８９．８％、「兄弟姉妹」が８２．０％となっています。



【一緒に住んでいる人数】

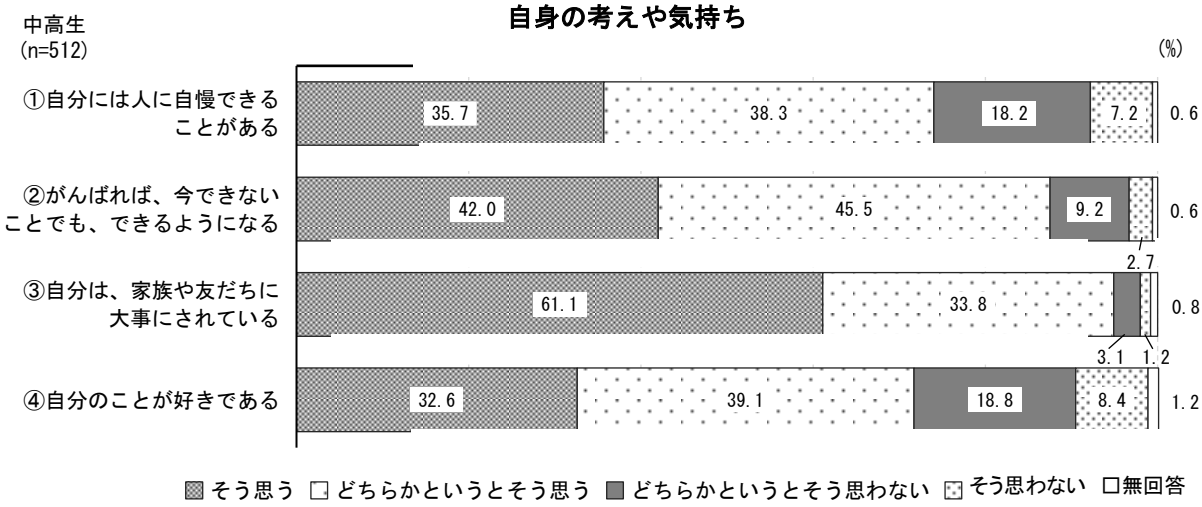
● 「４人」が４４．９％と最も多く、次いで「５人」が２７．０％、「３人」が１３．９％となっています。



（２）悩み事や相談先について

問６　あなた自身の考えを教えてください。
①～④について、それぞれ１つに○をつけてください。

- 「そう思う」と「どちらかというとそう思う」の合計は、「③自分は、家族や友だちに大事にされている」で最も多くなっています。
- 「どちらかというとそう思わない」と「そう思わない」の合計は、「④自分のことが好きである」で最も多くなっています。



【学年別】

- 『①自分には人に自慢できることがある』の「そう思う」の割合は、中学１年生と中学２年生が４割と、他の学年に比べて高くなっています。
- 『②がんばれば、今できないことでも、できるようになる』の「そう思う」の割合は、高校３年生（１７～１８歳）の４８．７％が最も高くなっています。
- 『③自分は、家族や友だちに大事にされている』の「そう思う」の割合は、中学３年生が５３．４％と、他の学年に比べて低くなっています。
- 『④自分のことが好きである』の「そう思う」の割合は、中学３年生と高校２年生（１６～１７歳）が他の学年に比べて低くなっています。

自身の考えや気持ち

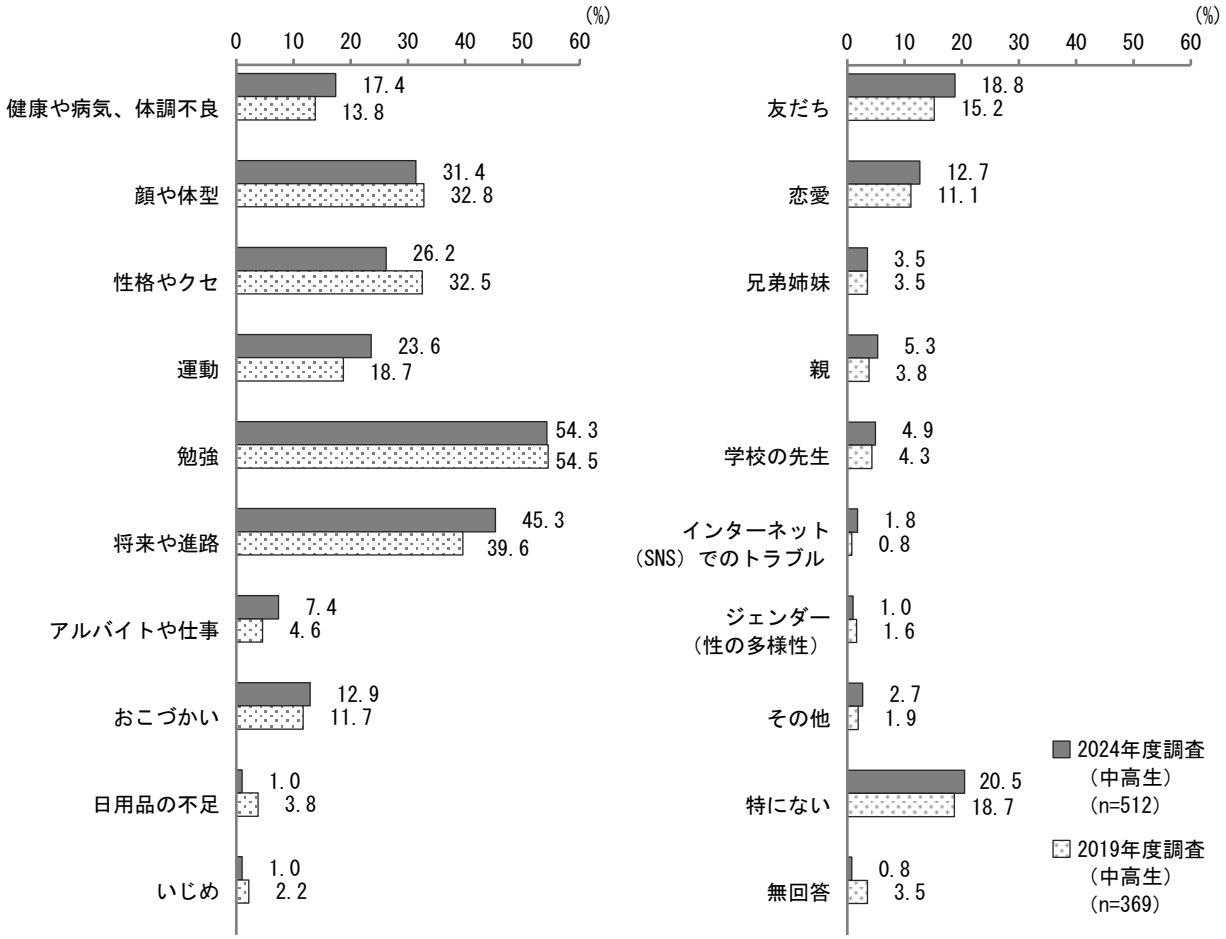
(%)

区分	回答者数(件)	①自分には人に自慢できることがある					②がんばれば、今できないことでも、できるようになる					③自分は、家族や友だちに大事にされている					④自分のことが好きである				
		そう思う	どちらかというとそう思う	どちらかというとそう思わない	そう思わない	無回答	そう思う	どちらかというとそう思う	どちらかというとそう思わない	そう思わない	無回答	そう思う	どちらかというとそう思う	どちらかというとそう思わない	そう思わない	無回答	そう思う	どちらかというとそう思う	どちらかというとそう思わない	そう思わない	無回答
中学1年生	95	41.1	36.8	15.8	5.3	1.1	42.1	46.3	9.5	1.1	1.1	60.0	34.7	3.2	－	2.1	37.9	32.6	21.1	6.3	2.1
中学2年生	96	41.7	32.3	16.7	8.3	1.0	40.6	45.8	9.4	3.1	1.0	63.5	28.1	5.2	1.0	2.1	40.6	35.4	15.6	6.3	2.1
中学3年生	88	29.5	38.6	20.5	10.2	1.1	40.9	48.9	5.7	3.4	1.1	53.4	42.0	－	4.5	－	22.7	39.8	25.0	10.2	2.3
高校1年生(15～16歳)	72	34.7	41.7	19.4	4.2	－	37.5	51.4	8.3	2.8	－	62.5	34.7	2.8	－	－	33.3	37.5	20.8	8.3	－
高校2年生(16～17歳)	85	30.6	41.2	21.2	7.1	－	42.4	45.9	10.6	1.2	－	64.7	30.6	3.5	1.2	－	23.5	49.4	17.6	9.4	－
高校3年生(17～18歳)	76	35.5	40.8	15.8	7.9	－	48.7	34.2	11.8	5.3	－	63.2	32.9	3.9	－	－	36.8	40.8	11.8	10.5	－

問７　悩みや心配なことはありますか。【あてはまるものすべてに○】

- 「勉強」が５４．３％と最も多く、次いで「将来や進路」が４５．３％、「顔や体型」が３１．４％となっています。
- ２０１９年度調査と比較して、「性格やクセ」の割合が６ポイントほど減少し、「将来や進路」の割合が６ポイントほど増加しています。

悩みや心配なこと
（複数回答）



【性別】

- 男女ともに「勉強」の割合が最も高くなっています。また、「顔や体型」「性格やクセ」「友だち」の割合は、男性と比べて女性の方が１０ポイント以上高くなっています。

悩みや心配なこと

(%)

区分	回答者数（件）	健康や病気、体調不良	顔や体型	性格やクセ	運動	勉強	将来や進路	アルバイトや仕事	おこづかい	日用品の不足	いじめ	友だち	恋愛	兄弟姉妹	親	学校の先生	インターネット（ＳＮＳ）でのトラブル	ジェンダー（性の多様性）	その他	特にない	無回答
男性	218	15.1	19.3	20.2	21.1	48.6	41.3	6.0	11.9	0.9	1.8	11.5	11.9	2.8	4.6	2.8	2.8	0.5	2.3	23.4	1.4
女性	282	18.8	40.8	31.2	25.2	58.9	47.9	8.5	13.8	1.1	0.4	24.1	13.5	3.9	5.3	6.4	1.1	0.7	3.2	18.1	0.4
答えたくない	9	33.3	44.4	22.2	44.4	66.7	77.8	11.1	－	－	－	33.3	11.1	11.1	22.2	11.1	－	22.2	－	11.1	－

【学年別】

- 中学１年生から高校２年生（１６～１７歳）では「勉強」の割合が、高校３年生（１７～１８歳）では「将来や進路」の割合が最も高くなっています。また、高校３年生（１７～１８歳）では、他の学年と比べて、「親」の割合が高くなっています。

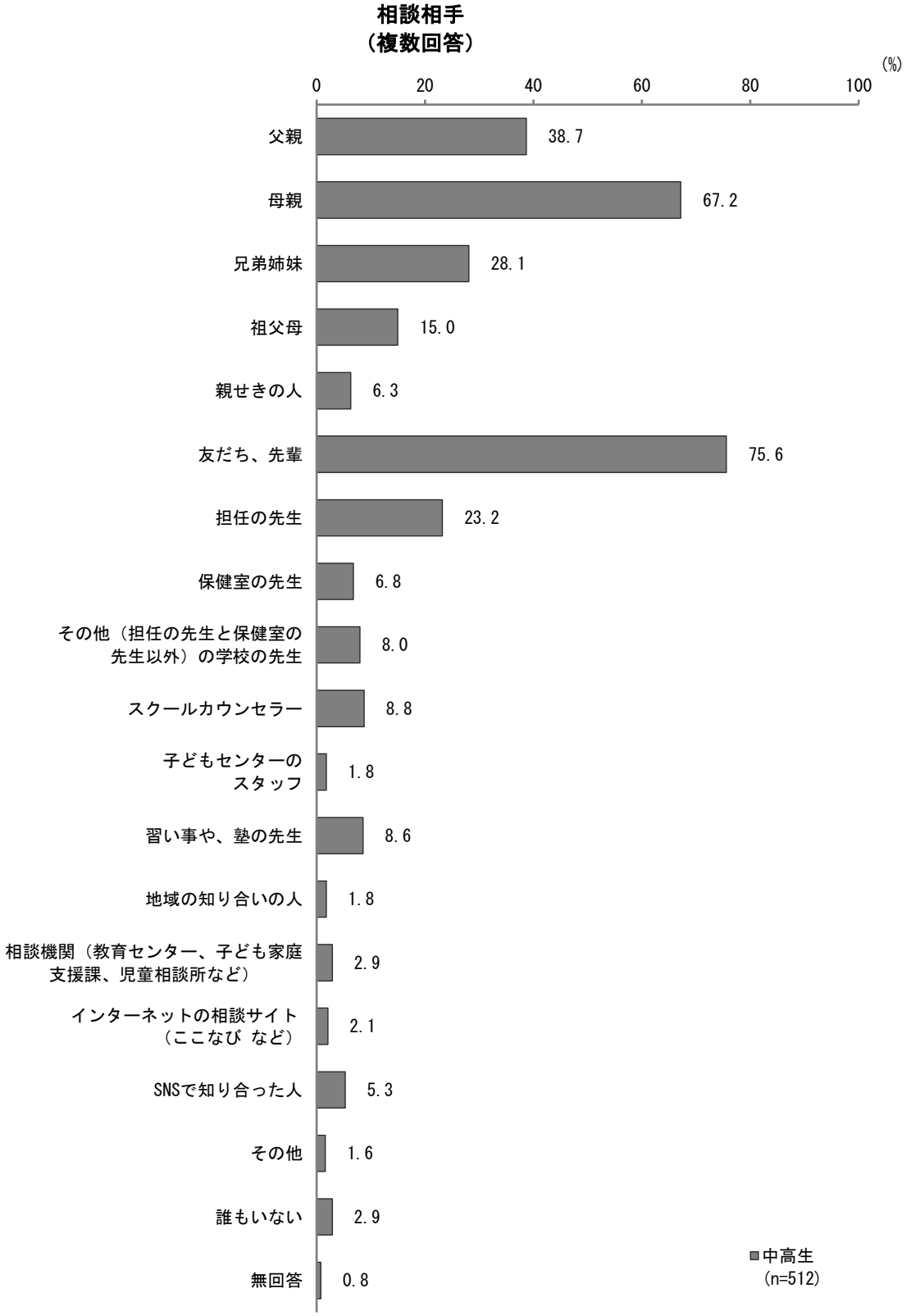
悩みや心配なこと

(%)

区分	回答者数（件）	健康や病気、体調不良	顔や体型	性格やクセ	運動	勉強	将来や進路	アルバイトや仕事	おこづかい	日用品の不足	いじめ	友だち	恋愛	兄弟姉妹	親	学校の先生	インターネット（ＳＮＳ）でのトラブル	ジェンダー（性の多様性）	その他	特にない	無回答
中学1年生	95	7.4	24.2	20.0	26.3	45.3	28.4	3.2	10.5	－	2.1	18.9	10.5	4.2	4.2	1.1	3.2	－	4.2	28.4	4.2
中学2年生	96	13.5	24.0	18.8	21.9	47.9	26.0	4.2	12.5	－	1.0	18.8	10.4	3.1	2.1	4.2	1.0	－	2.1	32.3	－
中学3年生	88	21.6	38.6	30.7	27.3	60.2	51.1	3.4	12.5	3.4	2.3	18.2	11.4	3.4	6.8	6.8	－	－	2.3	22.7	－
高校1年生（15～16歳）	72	16.7	27.8	26.4	19.4	55.6	47.2	8.3	15.3	1.4	－	18.1	15.3	4.2	2.8	4.2	2.8	2.8	1.4	13.9	－
高校2年生（16～17歳）	85	21.2	37.6	32.9	25.9	67.1	63.5	14.1	15.3	1.2	－	20.0	16.5	3.5	5.9	8.2	3.5	2.4	2.4	8.2	－
高校3年生（17～18歳）	76	26.3	38.2	30.3	19.7	51.3	61.8	13.2	11.8	－	－	18.4	13.2	2.6	10.5	5.3	－	1.3	3.9	13.2	－

問８　何か相談したいことや聞いてほしいことがあったとき、気軽に話せる相手がいますか。
【あてはまるものすべてに○】

- 「友だち、先輩」が７５．６％と最も多く、次いで「母親」が６７．２％、「父親」が３８．７％となっています。



【性別】

- 男女ともに「友だち、先輩」の割合が最も高くなっています。
- 女性では、男性と比べて「父親」の割合が２０ポイント以上低くなっています。

相談相手

(%)

区分	回答者数(件)	父親	母親	兄弟姉妹	祖父母	親せきの人	友だち、先輩	担任の先生	保健室の先生	その他（担任の先生と保健室の先生以外）の学校の先生	スクールカウンセラー	子どもセンターのスタッフ	習い事や塾の先生	地域の知り合いの人	相談機関（教育センター、子ども家庭支援課、児童相談所など）の人	インターネットの相談サイト（ここなび　など）	ＳＮＳで知り合った人	その他	誰もいない	無回答
男性	218	50.5	64.7	26.6	16.5	6.9	77.5	32.6	6.9	7.8	11.5	3.2	11.0	3.7	4.6	3.2	5.5	1.4	3.7	0.9
女性	282	29.8	69.1	29.4	14.2	5.7	74.8	16.0	7.1	8.2	6.7	0.7	6.4	0.4	1.4	1.4	5.0	1.4	2.5	0.7
答えたくない	9	22.2	55.6	22.2	11.1	－	55.6	22.2	－	11.1	－	－	11.1	－	11.1	－	11.1	11.1	－	－

【学年別】

- 中学１年生では「母親」が、それ以外の学年では「友だち、先輩」の割合が最も高くなっています。
- 「父親」の割合は、中学１年生と中学２年生では５割前後となっていますが、高校３年生（１７～１８歳）では２割台となっています。

相談相手

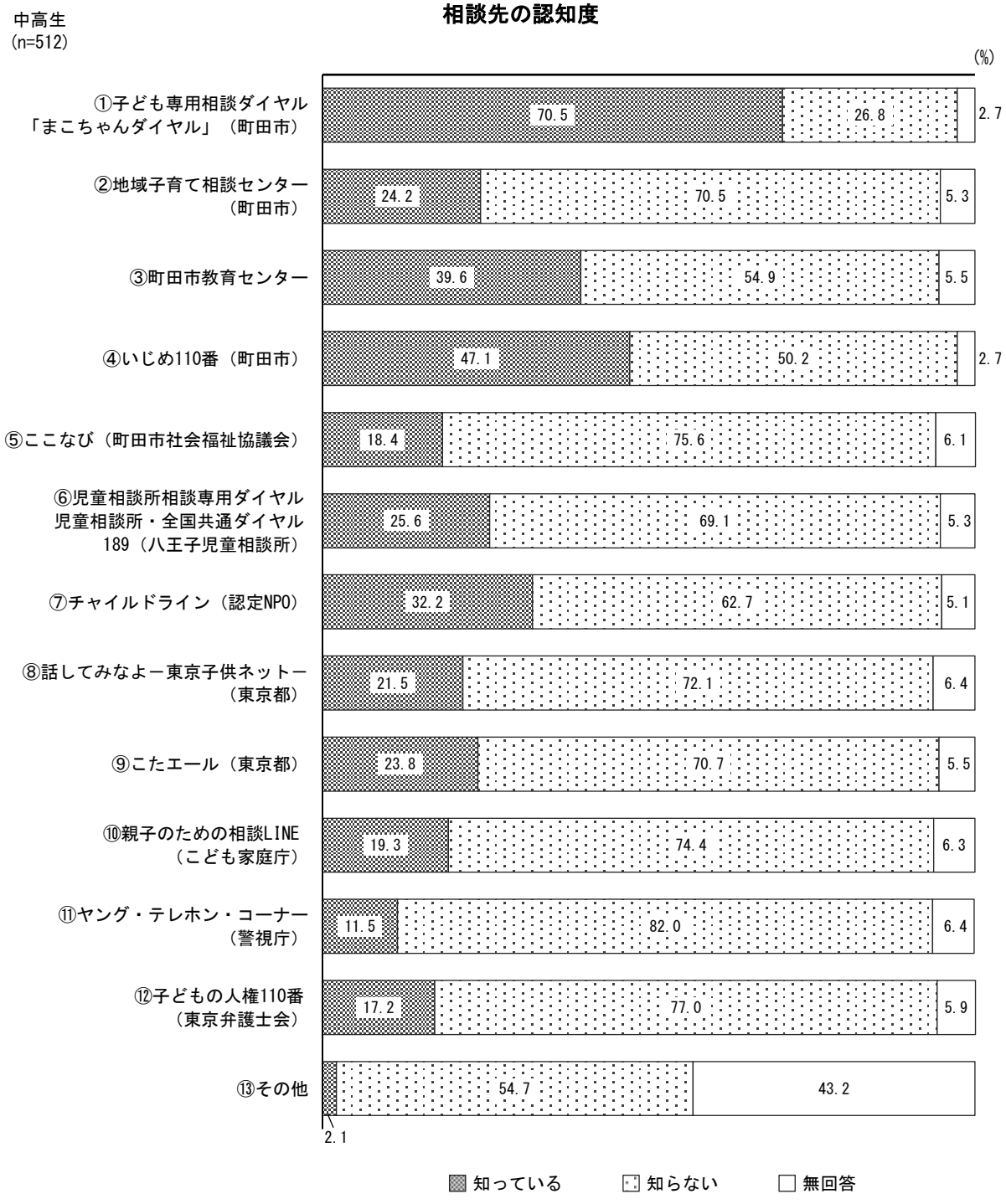
(%)

区分	回答者数(件)	父親	母親	兄弟姉妹	祖父母	親せきの人	友だち、先輩	担任の先生	保健室の先生	その他（担任の先生と保健室の先生以外）の学校の先生	スクールカウンセラー	子どもセンターのスタッフ	習い事や塾の先生	地域の知り合いの人	相談機関（教育センター、子ども家庭支援課、児童相談所など）の人	インターネットの相談サイト（ここなび　など）	ＳＮＳで知り合った人	その他	誰もいない	無回答
中学1年生	95	50.5	75.8	33.7	23.2	9.5	71.6	28.4	14.7	6.3	17.9	4.2	6.3	1.1	1.1	3.2	2.1	－	4.2	2.1
中学2年生	96	44.8	68.8	32.3	18.8	10.4	68.8	26.0	9.4	12.5	8.3	1.0	10.4	2.1	3.1	－	4.2	4.2	2.1	1.0
中学3年生	88	39.8	60.2	23.9	14.8	6.8	78.4	26.1	6.8	12.5	9.1	3.4	15.9	2.3	5.7	4.5	6.8	－	3.4	1.1
高校1年生（15～16歳）	72	30.6	63.9	27.8	12.5	2.8	81.9	19.4	4.2	4.2	6.9	－	6.9	1.4	1.4	1.4	6.9	1.4	1.4	－
高校2年生（16～17歳）	85	37.6	74.1	31.8	16.5	4.7	78.8	18.8	2.4	7.1	5.9	1.2	4.7	1.2	3.5	3.5	5.9	－	1.2	－
高校3年生（17～18歳）	76	23.7	57.9	17.1	1.3	1.3	76.3	18.4	1.3	3.9	2.6	－	6.6	2.6	2.6	－	6.6	3.9	5.3	－

問９　困ったときに、相談できるところ（相談窓口）で知っているところはどこですか。
①～⑬について、それぞれ１つに○をつけてください。

- 「①子ども専用相談ダイヤル「まこちゃんダイヤル」(町田市)」の認知度が最も高く、次いで「④いじめ１１０番（町田市)」の認知度が高くなっています。

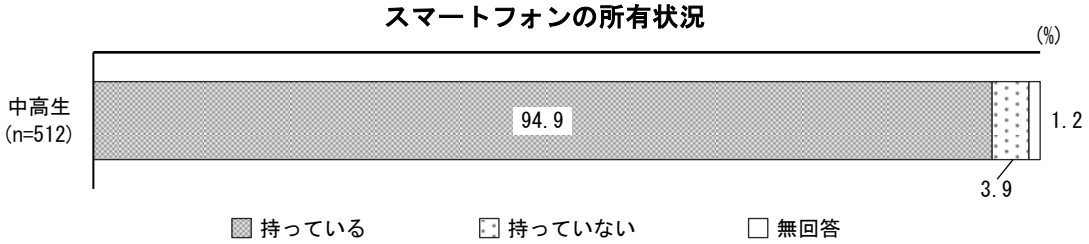
相談先の認知度



（３）インターネット等について

問１０　インターネットにつながるスマートフォンを持っていますか。【○は１つだけ】
※Ｗｉ－Ｆｉ環境で使用しているものも含みます。

スマートフォンの所有状況



【学年別】

- 全ての学年で「持っている」の割合が高くなっており、高校生（１５～１８歳）では、ほとんどの人が所有しています。

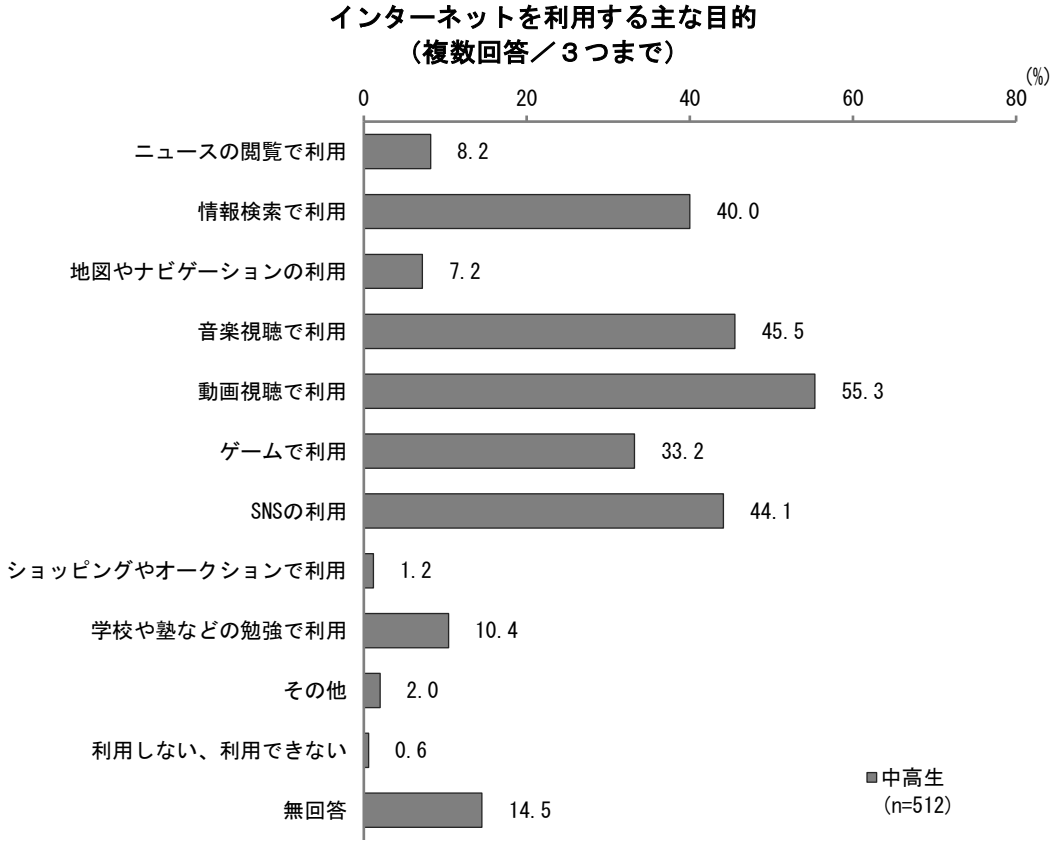
スマートフォンの所有状況

(%)

区分	回答者数（件）	持っている	持っていない	無回答
中学1年生	95	89.5	9.5	1.1
中学2年生	96	90.6	8.3	1.0
中学3年生	88	95.5	2.3	2.3
高校1年生（15～16歳）	72	100.0	－	－
高校2年生（16～17歳）	85	98.8	－	1.2
高校3年生（17～18歳）	76	97.4	1.3	1.3

問１１　インターネットを主にどのようなことに利用していますか。【○は３つまで】

- 「動画視聴で利用」が５５．３％と最も多く、次いで「音楽視聴で利用」が４５．５％、「ＳＮＳの利用」が４４．１％となっています。



【学年別】

- 高校１年生（１５～１６歳）と高校２年生（１６～１７歳）では「ＳＮＳの利用」の割合が最も高く、それ以外の学年では「動画視聴で利用」の割合が高くなっています。
- 高校生（１５～１８歳）は、中学生と比較して「ゲームで利用」の割合が低くなっており、高校２年生（１６～１７歳）と高校３年生（１７～１８歳）では、「ニュースの閲覧で利用」の割合が高くなっています。

インターネットを利用する主な目的

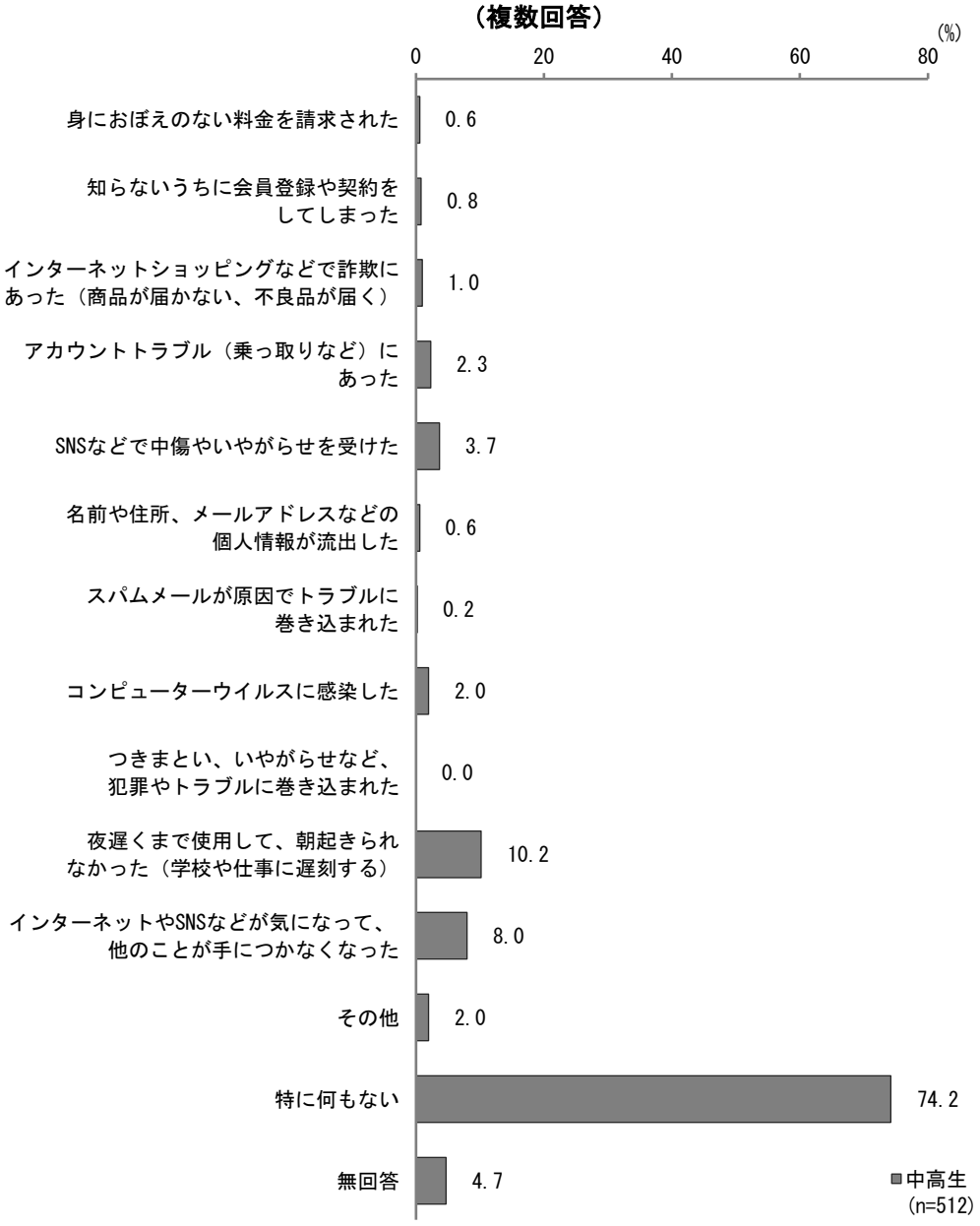
(%)

区分	回答者数(件)	ニュースの閲覧で利用	情報検索で利用	地図やナビゲーションの利用	音楽視聴で利用	動画視聴で利用	ゲームで利用	ＳＮＳの利用	ショッピングやオークションで利用	学校や塾などの勉強で利用	その他	利用しない、利用できない	無回答
中学1年生	95	8.4	46.3	3.2	38.9	56.8	36.8	31.6	－	11.6	6.3	1.1	12.6
中学2年生	96	8.3	44.8	4.2	41.7	52.1	35.4	39.6	1.0	11.5	2.1	2.1	16.7
中学3年生	88	3.4	35.2	10.2	42.0	60.2	38.6	33.0	－	11.4	－	－	19.3
高校1年生(15～16歳)	72	8.3	30.6	11.1	51.4	52.8	31.9	65.3	－	6.9	－	－	12.5
高校2年生(16～17歳)	85	10.6	41.2	7.1	47.1	47.1	30.6	48.2	3.5	10.6	1.2	－	16.5
高校3年生(17～18歳)	76	10.5	39.5	9.2	55.3	63.2	23.7	53.9	2.6	9.2	1.3	－	7.9

問１２　インターネットを使用して、何かトラブルが起きたことはありますか。
【あてはまるものすべてに○】

- 「特に何もない」が７４．２％と最も多く、次いで「夜遅くまで使用して、朝起きられなかった（学校や仕事に遅刻する）」が１０．２％、「インターネットやＳＮＳなどが気になって、他のことが手につかなくなった」が８．０％となっています。

インターネットを利用して起きたトラブル
（複数回答）

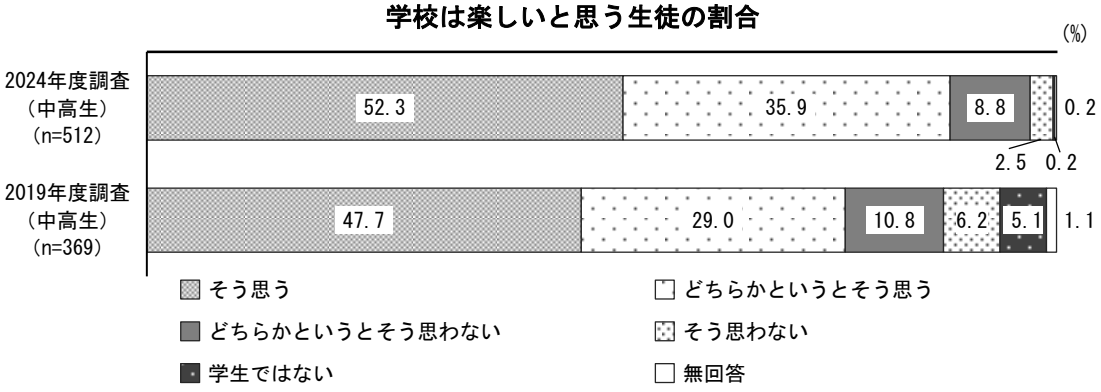


（４）学校生活について

問１３　学校は楽しいと思いますか。【○は１つだけ】

- 「そう思う」が５２．３％と最も多く、次いで「どちらかというとそう思う」が３５．９％、「どちらかというとそう思わない」が８．８％となっています。
- ２０１９年度調査と比較して、「そう思う」と「どちらかというとそう思う」の割合が５ポイントほど増加しています。

学校は楽しいと思う生徒の割合



【学年別】

- 全ての学年で「そう思う」の割合が最も高くなっていますが、中学３年生と高校３年生（１７～１８歳）では、他の学年と比べて「そう思う」の割合が低くなっています。

学校は楽しいと思う生徒の割合

(%)

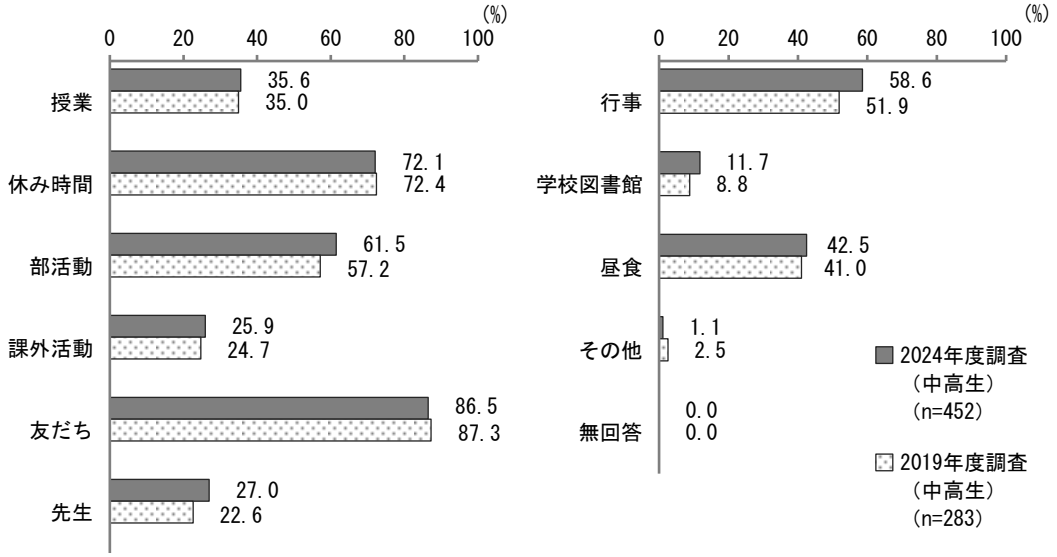
区分	回答者数（件）	そう思う	どちらかというとそう思う	どちらかというとそう思わない	そう思わない	学生ではない	無回答
中学1年生	95	56.8	41.1	1.1	1.1	－	－
中学2年生	96	56.3	32.3	7.3	3.1	－	1.0
中学3年生	88	48.9	34.1	15.9	1.1	－	－
高校1年生（15～16歳）	72	52.8	33.3	12.5	1.4	－	－
高校2年生（16～17歳）	85	49.4	37.6	9.4	3.5	－	－
高校3年生（17～18歳）	76	48.7	36.8	7.9	5.3	1.3	－

※問１３－１は、問１３で「そう思う」または「どちらかというとそう思う」を選択した人のみ回答

問１３－１　どのようなところが楽しいですか。【あてはまるものすべてに○】

- 「友だち」が８６．５％と最も多く、次いで「休み時間」が７２．１％、「部活動」が６１．５％となっています。
- ２０１９年度調査と比較して、「行事」の割合が６ポイントほど増加しています。

学校の楽しいところ
（複数回答）



【学年別】

- 全ての学年で「友だち」の割合が最も高く、次いで「休み時間」や「部活動」の割合が高くなっています。

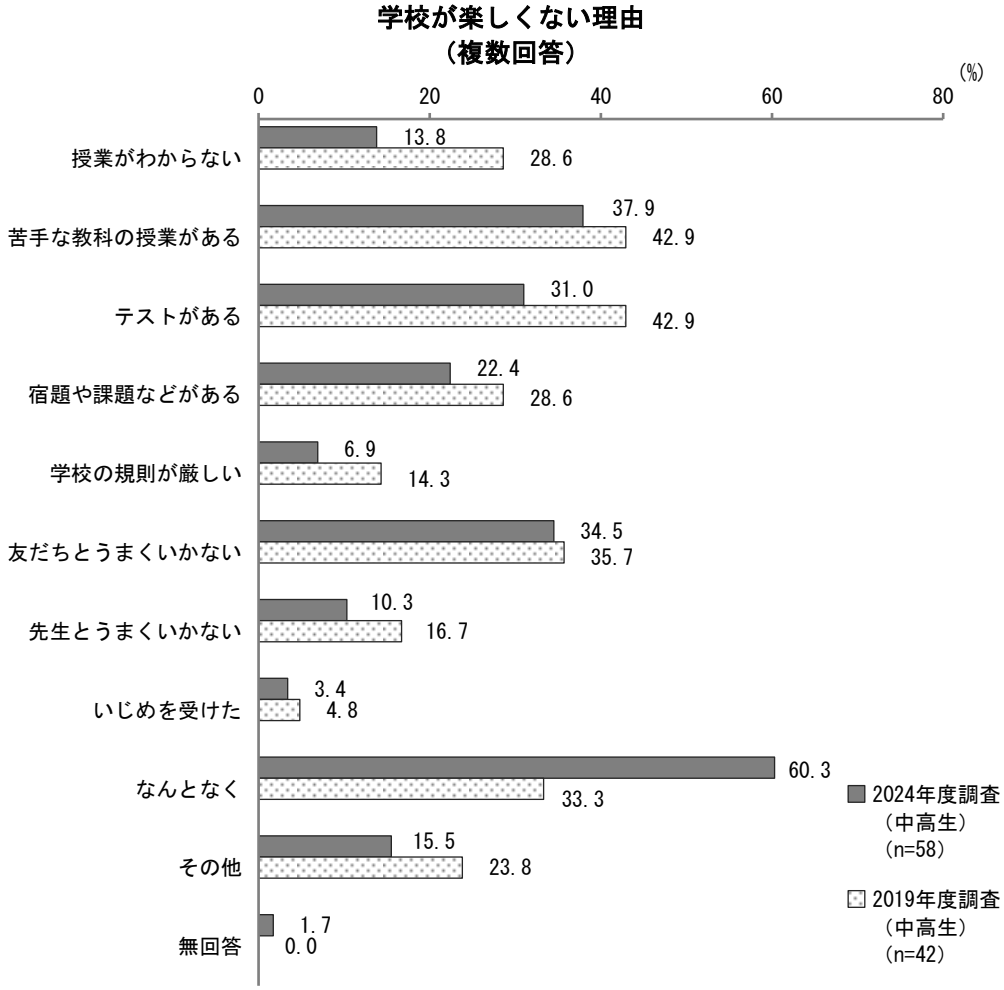
学校の楽しいところ　(%)

区分	回答者数(件)	授業	休み時間	部活動	課外活動	友だち	先生	行事	学校図書館	昼食	その他	無回答
中学1年生	93	38.7	80.6	67.7	18.3	89.2	38.7	52.7	16.1	55.9	－	－
中学2年生	85	36.5	77.6	58.8	32.9	84.7	25.9	64.7	11.8	38.8	－	－
中学3年生	73	41.1	79.5	65.8	32.9	83.6	30.1	60.3	11.0	31.5	1.4	－
高校1年生（15～16歳）	62	30.6	66.1	71.0	25.8	95.2	19.4	59.7	12.9	56.5	－	－
高校2年生（16～17歳）	74	36.5	67.6	52.7	27.0	86.5	21.6	62.2	9.5	41.9	1.4	－
高校3年生（17～18歳）	65	27.7	55.4	52.3	18.5	80.0	21.5	52.3	7.7	27.7	4.6	－

※問１３－２は、問１３で「どちらかというとそう思わない」または「そう思わない」を選択した人のみ回答

問１３－２　そう思わない理由は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

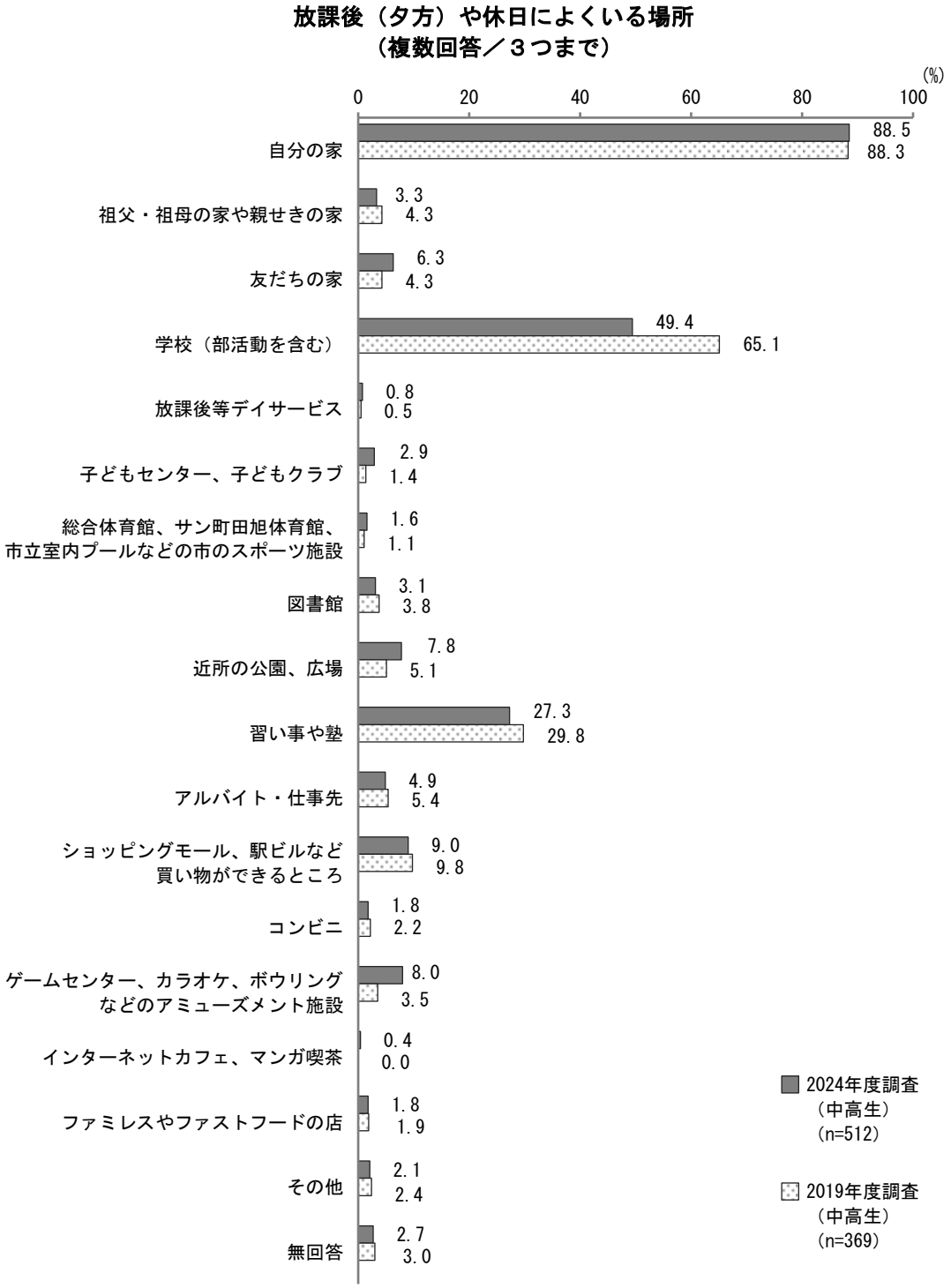
- 「なんとなく」が６０．３％と最も多く、次いで「苦手な教科の授業がある」が３７．９％、「友だちとうまくいかない」が３４．５％となっています。
- ２０１９年度調査と比較して、「授業がわからない」の割合が最も減少し、「なんとなく」の割合が大きく増加しています。



（５）放課後や休日の過ごし方について

問１４　放課後（夕方）や休日はどこにいることが多いですか。【○は３つまで】

- 「自分の家」が８８．５％と最も多く、次いで「学校（部活動を含む)」が４９．４％、「習い事や塾」が２７．３％となっています。
- ２０１９年度調査と比較して、「学校（部活動を含む)」の割合が大きく減少し、「ゲームセンター、カラオケ、ボウリングなどのアミューズメント施設」の割合が５ポイントほど増加しています。



【学年別】

- 全ての学年で「自宅」の割合が最も高く、次いで「学校（部活動を含む）」の割合が高くなっています。
- 中学３年生では、他の学年と比べて「習い事や塾」の割合が高くなっています。

放課後（夕方）や休日によくいる場所

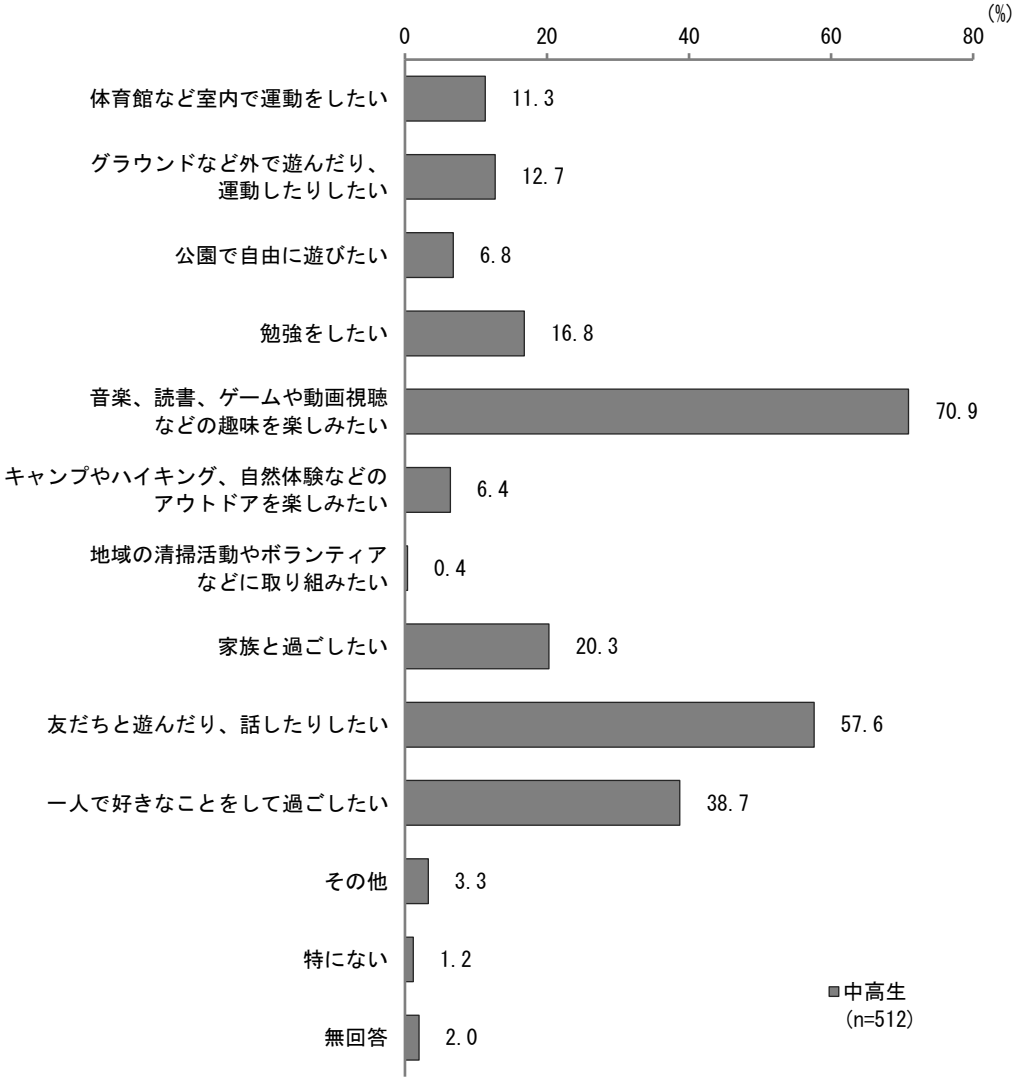
(%)

区分	回答者数(件)	自分の家	祖父・祖母の家や親せきの家	友だちの家	学校（部活動を含む）	放課後等デイサービス	子どもセンター、子どもクラブ	総合体育館、サン町田旭体育館、市立室内プールなどの市のスポーツ施設	図書館	近所の公園、広場	習い事や塾	アルバイト・仕事先	ショッピングモール、駅ビルなど買い物ができるところ	コンビニ	ゲームセンター、カラオケ、ボウリングなどのアミューズメント施設	インターネットカフェ、マンガ喫茶	ファミレスやファストフードの店	その他	無回答
中学1年生	95	88.4	2.1	7.4	51.6	2.1	6.3	1.1	3.2	14.7	26.3	－	5.3	1.1	2.1	－	1.1	3.2	5.3
中学2年生	96	93.8	4.2	8.3	50.0	－	1.0	2.1	2.1	16.7	31.3	－	9.4	－	3.1	1.0	－	1.0	2.1
中学3年生	88	89.8	5.7	9.1	53.4	1.1	2.3	2.3	－	6.8	48.9	－	5.7	1.1	6.8	－	2.3	1.1	3.4
高校1年生（15～16歳）	72	93.1	2.8	4.2	54.2	1.4	－	1.4	6.9	－	15.3	2.8	6.9	2.8	16.7	－	4.2	4.2	－
高校2年生（16～17歳）	85	84.7	2.4	3.5	48.2	－	5.9	2.4	2.4	2.4	11.8	15.3	15.3	2.4	14.1	－	2.4	2.4	1.2
高校3年生（17～18歳）	76	80.3	2.6	3.9	38.2	－	1.3	－	5.3	2.6	27.6	13.2	11.8	3.9	7.9	1.3	1.3	1.3	3.9

問１５　放課後（夕方）や休日はどのように過ごしたいですか。【○は３つまで】

- 「音楽、読書、ゲームや動画視聴などの趣味を楽しみたい」が７０．９％と最も多く、次いで「友だちと遊んだり、話したりしたい」が５７．６％、「一人で好きなことをして過ごしたい」が３８．７％となっています。

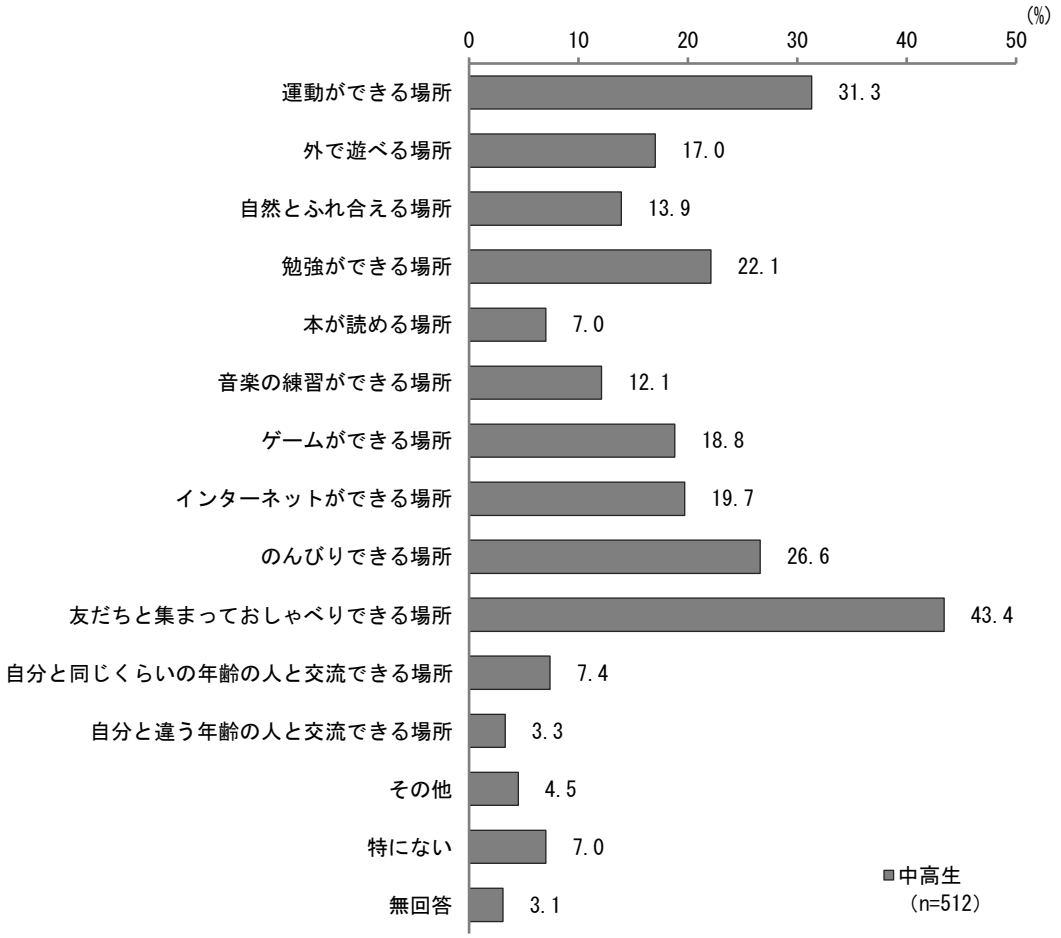
放課後（夕方）や休日に希望する過ごし方
（複数回答／３つまで）



問１６　放課後（夕方）や休日に過ごす場所として、地域でこんな場所があったら良いと思うものはありますか。【○は３つまで】

- 「友だちと集まっておしゃべりできる場所」が４３．４％と最も多く、次いで「運動ができる場所」が３１．３％、「のんびりできる場所」が２６．６％となっています。

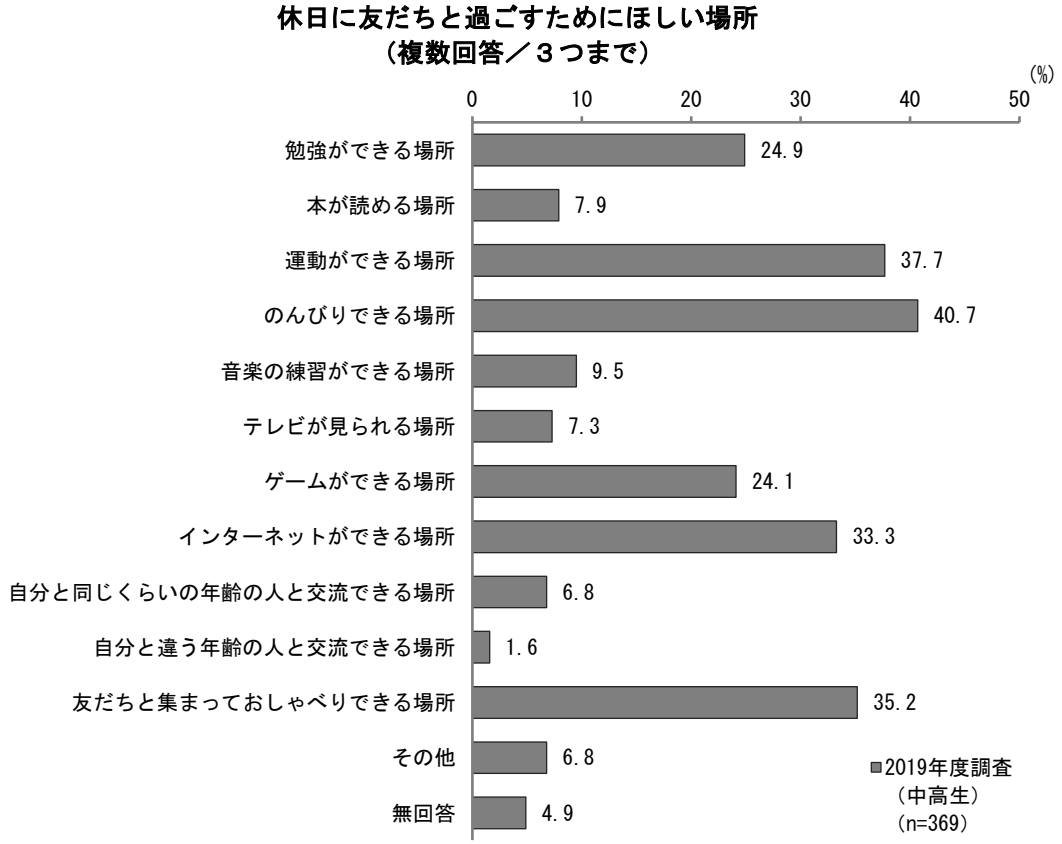
放課後（夕方）や休日に過ごす場所としてあったら良いと思う場所
（複数回答／３つまで）



○ 参考（２０１９年度調査時の類似設問）

放課後（夕方）や休日に友だちと過ごす場所としてどのような場所がほしいですか。

- 「のんびりできる場所」が４０．７％と最も多く、次いで「運動ができる場所」が３７．７％、「友だちと集まっておしゃべりできる場所」が３５．２％となっていました。



【学年別】

- 高校３年生（１７～１８歳）では「運動ができる場所」、それ以外の学年では「友だちと集まっておしゃべりできる場所」の割合が最も高くなっています。
- 「勉強ができる場所」の割合は、高校１年生（１５～１６歳）を除き、学年が上がるにつれて高くなっていく傾向がみられます。

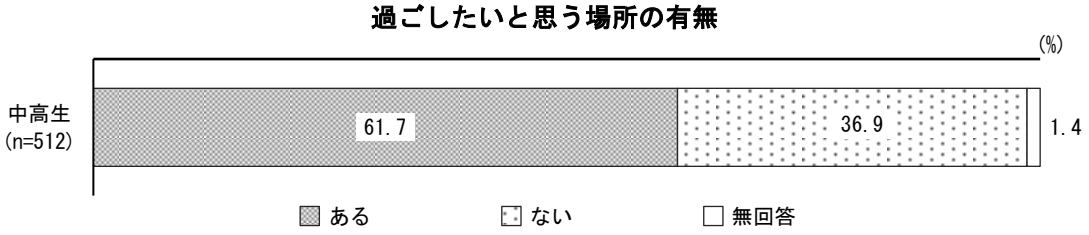
放課後（夕方）や休日に過ごす場所としてあったら良いと思う場所

(%)

区分	回答者数(件)	運動ができる場所	外で遊べる場所	自然とふれ合える場所	勉強ができる場所	本が読める場所	音楽の練習ができる場所	ゲームができる場所	インターネットができる場所	のんびりできる場所	友だちと集まっておしゃべりできる場所	自分と同じくらいの年齢の人と交流できる場所	自分と違う年齢の人と交流できる場所	その他	特にない	無回答
中学1年生	95	26.3	22.1	7.4	8.4	9.5	7.4	24.2	22.1	25.3	54.7	4.2	2.1	7.4	7.4	7.4
中学2年生	96	28.1	21.9	14.6	16.7	6.3	10.4	21.9	20.8	27.1	50.0	9.4	1.0	8.3	5.2	2.1
中学3年生	88	25.0	18.2	17.0	22.7	2.3	9.1	25.0	25.0	33.0	34.1	5.7	2.3	－	10.2	4.5
高校1年生(15～16歳)	72	36.1	16.7	9.7	22.2	11.1	20.8	12.5	19.4	26.4	41.7	6.9	1.4	4.2	5.6	1.4
高校2年生(16～17歳)	85	31.8	8.2	16.5	31.8	9.4	10.6	16.5	11.8	27.1	41.2	11.8	3.5	3.5	8.2	2.4
高校3年生(17～18歳)	76	43.4	13.2	18.4	34.2	3.9	17.1	9.2	18.4	19.7	35.5	6.6	10.5	2.6	5.3	－

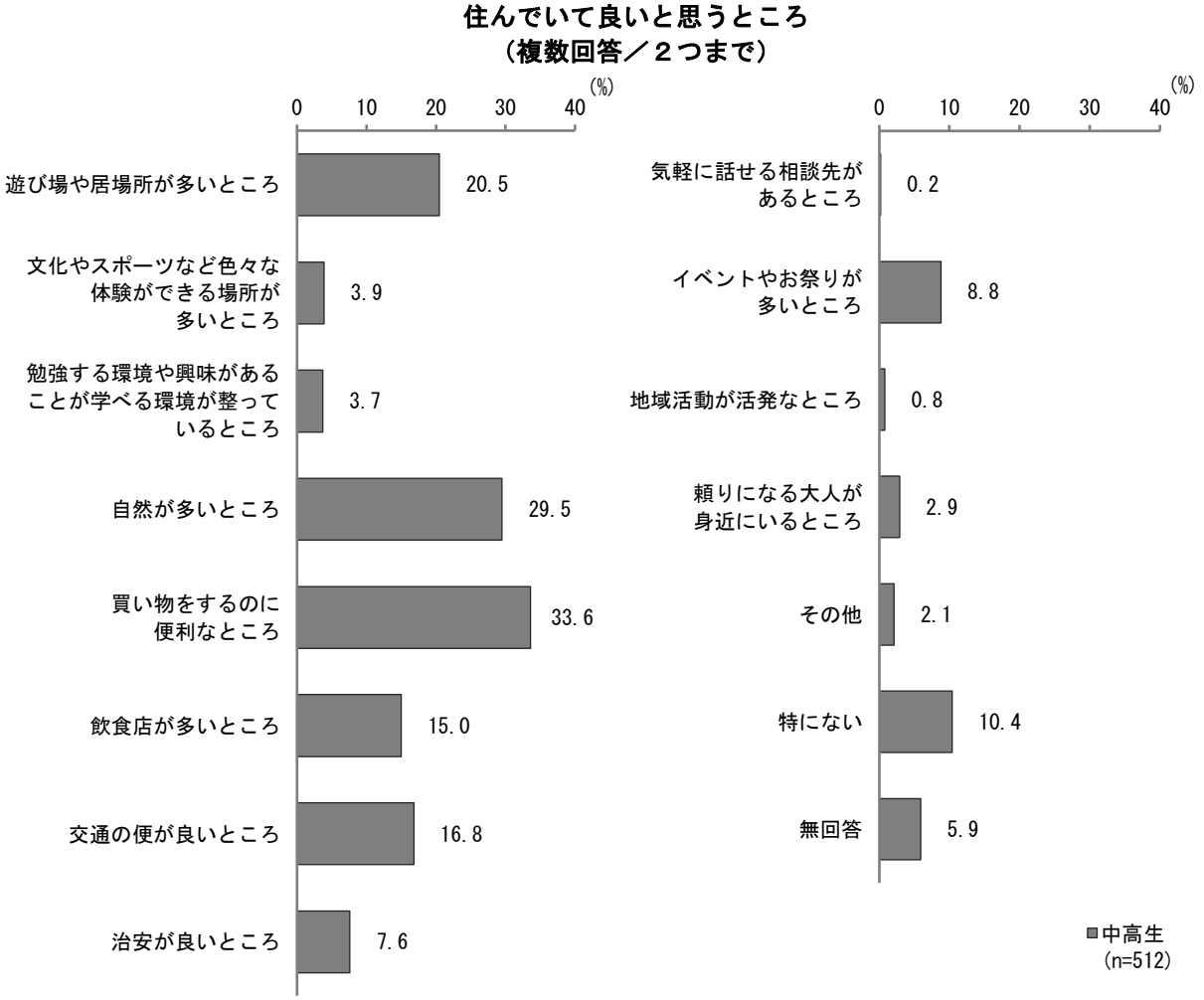
（6）町田市について

問１７　家と学校以外で、放課後（夕方）や休日に過ごしたいと思える場所が町田市にありますか。【○は１つだけ】



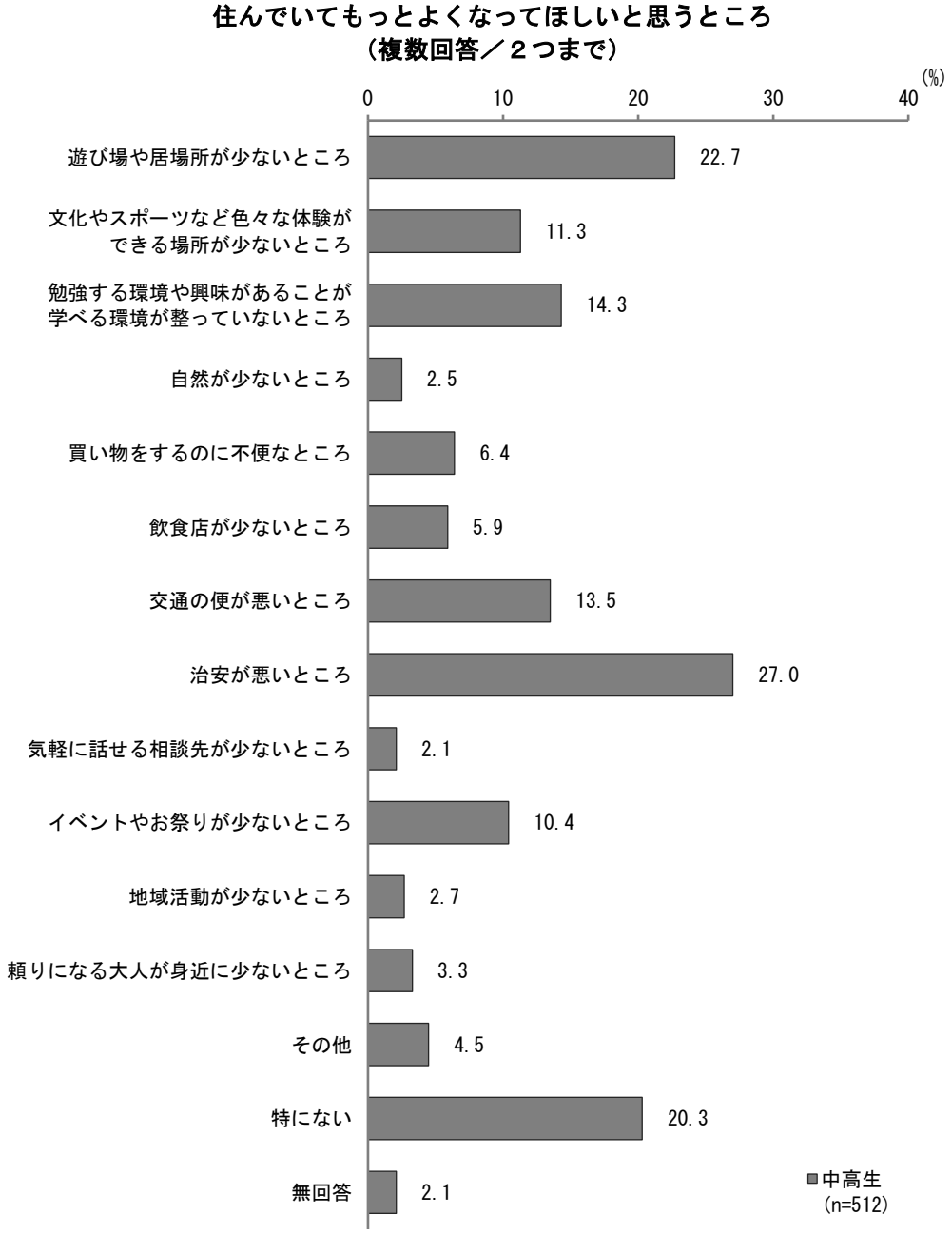
問１８　町田市に住んでいて「良いな」と思うところは何ですか。【○は２つまで】

- 「買い物をするのに便利なところ」が３３．６％と最も多く、次いで「自然が多いところ」が２９．５％、「遊び場や居場所が多いところ」が２０．５％となっています。



問１９　町田市に住んでいて「もっと良くなってほしいな」と思うところは何ですか。
【○は２つまで】

- 「治安が悪いところ」が２７．０％と最も多く、次いで「遊び場や居場所が少ないところ」が２２．７％、「特にない」が２０．３％となっています。

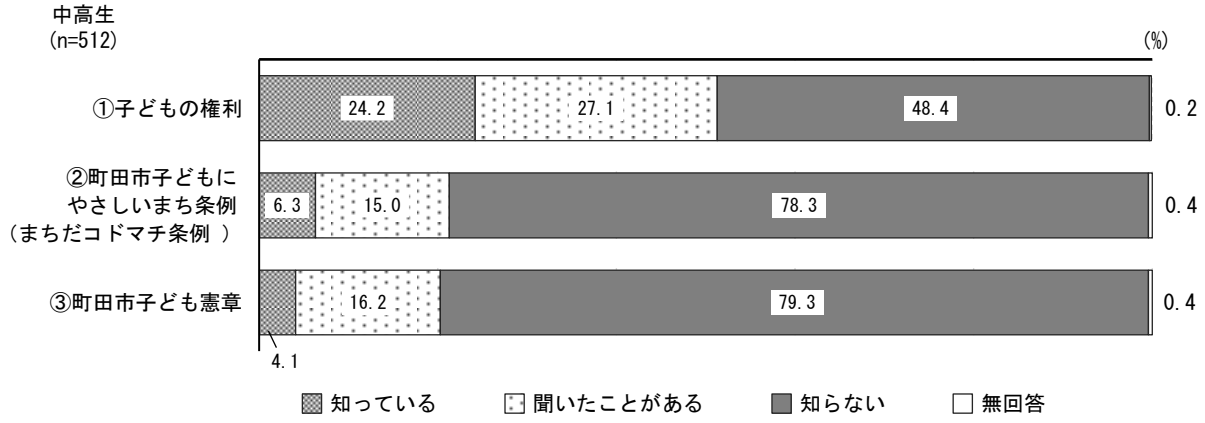


（7）「子どもの権利」について

問２０　子どもには大切な「子どもの権利」があります。町田市では、「子どもの権利」に関する条例「町田市子どもにやさしいまち条例」や、子ども自身の意見でつくられた子どもの行動指針「町田市子ども憲章」があります。あなたは、これらについて知っていますか。

- 『①子どもの権利』は認知度（「知っている」と「聞いたことがある」の合計）が５割以上と高くなっているのに対し、『②町田市子どもにやさしいまち条例（まちだコドマチ条例(ルール)）』と『③町田市子ども憲章』の認知度は２割程度と低くなっています。

「子どもの権利」「まちだコドマチ条例(ルール)」「町田市子ども憲章」の認知度



【学年別】

- 『①子どもの権利』の認知度（「知っている」と「聞いたことがある」の合計）は、高校１年生（１５～１６歳）で６割以上と最も高くなっています。
- 『②町田市子どもにやさしいまち条例（まちだコドマチ条例(ルール)）』の認知度は、全ての学年で２割前後と、学年による大きな違いは見受けられません。
- 『③町田市子ども憲章』の認知度は、中学２年生と中学３年生が１割台と、他の学年と比べて低くなっています。

「子どもの権利」「まちだコドマチ条例(ルール)」「町田市子ども憲章」の認知度

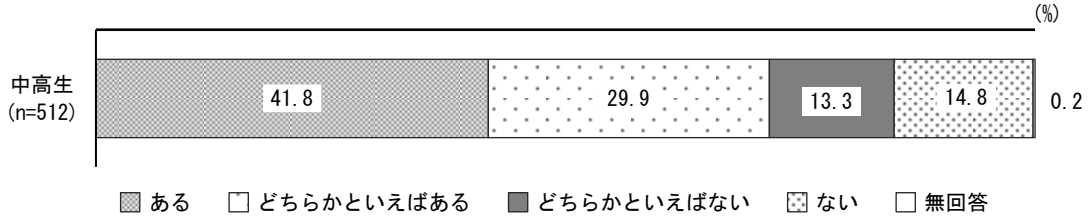
(%)

区分	回答者数(件)	①子どもの権利				②町田市子どもにやさしいまち条例（まちだコドマチ条例）				③町田市子ども憲章			
		知っている	聞いたことがある	知らない	無回答	知っている	聞いたことがある	知らない	無回答	知っている	聞いたことがある	知らない	無回答
中学1年生	95	27.4	28.4	43.2	1.1	7.4	15.8	75.8	1.1	3.2	25.3	71.6	－
中学2年生	96	27.1	24.0	49.0	－	8.3	12.5	79.2	－	2.1	9.4	87.5	1.0
中学3年生	88	20.5	18.2	61.4	－	8.0	10.2	80.7	1.1	5.7	5.7	87.5	1.1
高校1年生（15～16歳）	72	27.8	37.5	34.7	－	4.2	18.1	77.8	－	2.8	22.2	75.0	－
高校2年生（16～17歳）	85	21.2	27.1	51.8	－	3.5	15.3	81.2	－	5.9	20.0	74.1	－
高校3年生（17～18歳）	76	21.1	30.3	48.7	－	5.3	19.7	75.0	－	5.3	15.8	78.9	－

問２１　自分に関わることについて、意見が言えて、意見が大切にされることは、「子どもの権利」の１つです。あなたには、学校（授業以外）や地域などで自分の意見を言ったり、決めたりする機会がありますか。【○は１つだけ】

- 「ある」が４１．８％と最も多く、次いで「どちらかといえばある」が２９．９％、「ない」が１４．８％となっています。

子どもが意見を言ったり、決めたりする機会の有無



【学年別】

- 全ての学年で「ある」の割合が高くなっており、特に中学３年生の４７．７％が最も高くなっています。

「子どもが意見を言ったり、決めたりする機会の有無

(%)

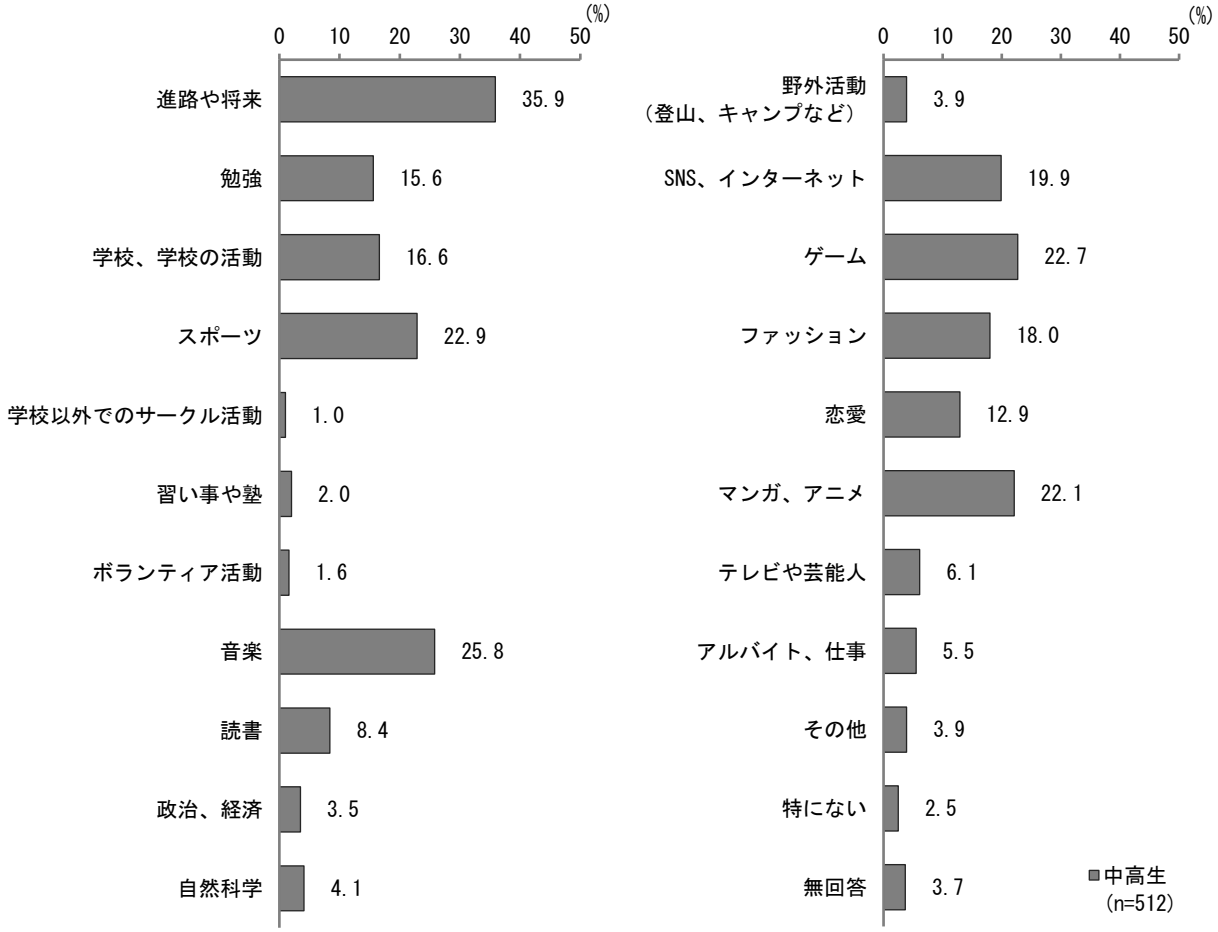
区分	回答者数（件）	ある	どちらかといえばある	どちらかといえばない	ない	無回答
中学1年生	95	33.7	25.3	18.9	22.1	－
中学2年生	96	44.8	30.2	14.6	10.4	－
中学3年生	88	47.7	33.0	11.4	8.0	－
高校1年生（15～16歳）	72	38.9	30.6	11.1	18.1	1.4
高校2年生（16～17歳）	85	45.9	27.1	10.6	16.5	－
高校3年生（17～18歳）	76	39.5	34.2	11.8	14.5	－

（８）自身の考えや将来像について

問２２　今、どのようなことに興味がありますか。【○は３つまで】

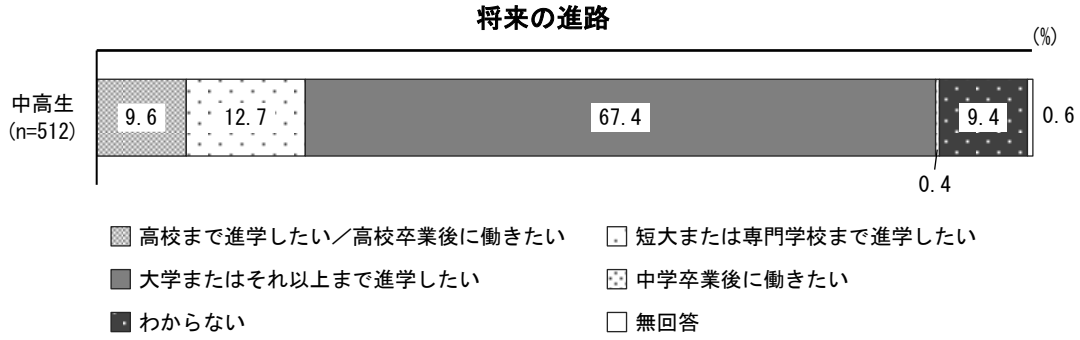
- 「進路や将来」が３５．９％と最も多く、次いで「音楽」が２５．８％、「スポーツ」が２２．９％となっています。

興味があること
（複数回答／３つまで）



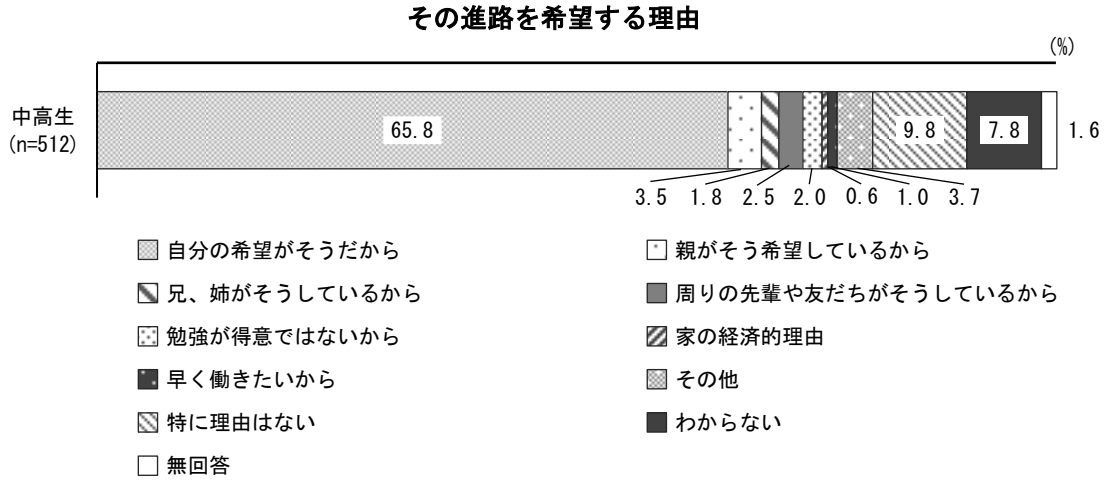
問２３　あなたは、将来の進路をどのように考えていますか。【○は１つだけ】
※高校生の方は、「中学卒業後に働きたい」以外から選んでください。

- 「大学またはそれ以上まで進学したい」が６７．４％と最も多く、次いで「短大または専門学校まで進学したい」が１２．７％、「高校まで進学したい／高校卒業後に働きたい」が９．６％となっています。



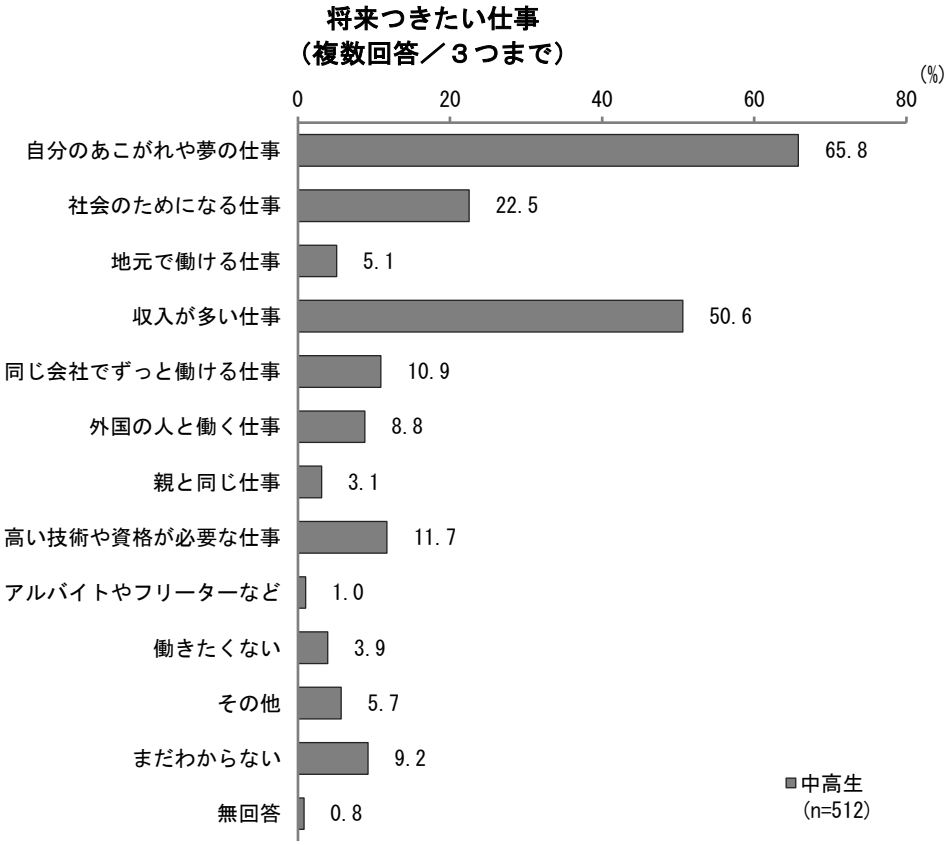
問２３－１　問２３でそのように答えたのはなぜですか。【○は１つだけ】

- 「自分の希望がそうだから」が６５．８％と最も多く、次いで「特に理由はない」が９．８％、「わからない」が７．８％となっています。



問２４　将来はどのような仕事につきたいですか。【○は３つまで】

- 「自分のあこがれや夢の仕事」が６５．８％と最も多く、次いで「収入が多い仕事」が５０．６％、「社会のためになる仕事」が２２．５％となっています。



【学年別】

- 全ての学年で「自分のあこがれや夢の仕事」の割合が最も高く、次いで「収入が多い仕事」の割合が高くなっています。
- 「社会のためになる仕事」「収入が多い仕事」の割合は、中学生よりも高校生（１５～１８歳）の方が高くなっています。

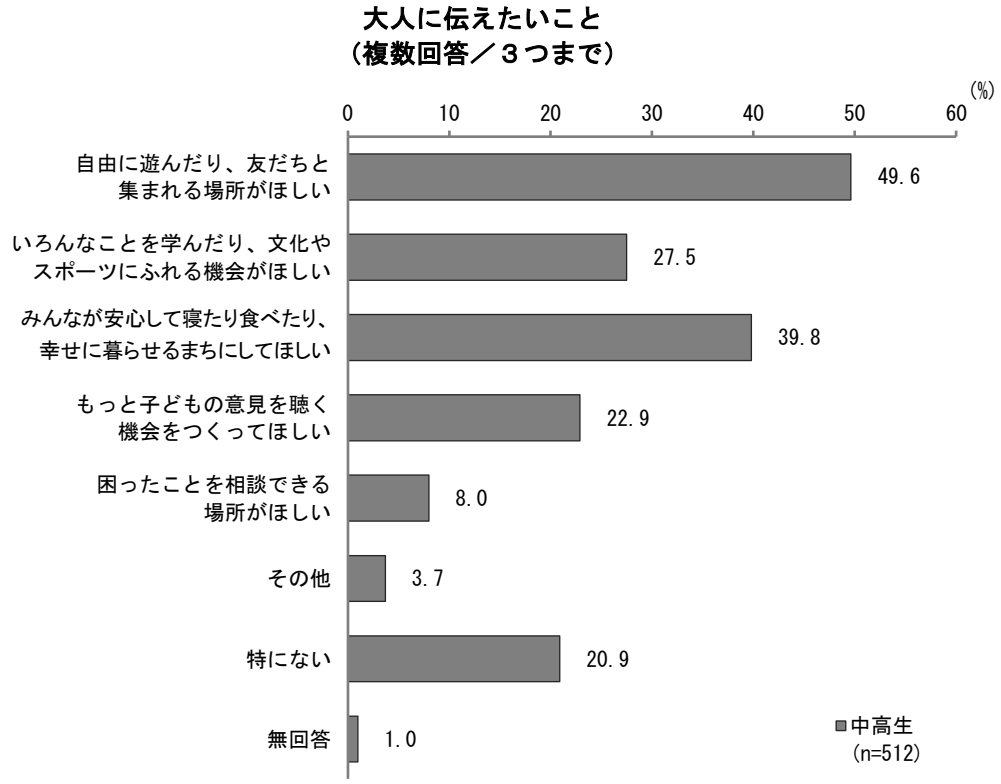
将来つきたい仕事

(%)

区分	回答者数(件)	自分のあこがれや夢の仕事	社会のためになる仕事	地元で働ける仕事	収入が多い仕事	同じ会社でずっと働ける仕事	外国の人と働く仕事	親と同じ仕事	高い技術や資格が必要な仕事	アルバイトやフリーターなど	働きたくない	その他	まだわからない	無回答
中学1年生	95	70.5	23.2	4.2	45.3	7.4	5.3	3.2	6.3	3.2	2.1	9.5	9.5	－
中学2年生	96	69.8	18.8	4.2	50.0	5.2	10.4	6.3	12.5	1.0	－	5.2	9.4	1.0
中学3年生	88	60.2	15.9	5.7	46.6	18.2	8.0	2.3	10.2	1.1	3.4	6.8	11.4	2.3
高校1年生(15～16歳)	72	65.3	29.2	5.6	55.6	11.1	5.6	2.8	16.7	－	5.6	4.2	5.6	1.4
高校2年生(16～17歳)	85	63.5	24.7	4.7	52.9	12.9	10.6	2.4	11.8	－	5.9	3.5	10.6	－
高校3年生(17～18歳)	76	64.5	25.0	6.6	55.3	11.8	13.2	1.3	14.5	－	7.9	3.9	7.9	－

問２５　あなたは、町田市の未来のまちづくりのイベントに参加するとしたら、大人に何を伝えたいですか。【○は３つまで】

- 「自由に遊んだり、友だちと集まれる場所がほしい」が４９．６％と最も多く、次いで「みんなが安心して寝たり食べたり、幸せに暮らせるまちにしてほしい」が３９．８％、「いろんなことを学んだり、文化やスポーツにふれる機会がほしい」が２７．５％となっています。



【学年別】

- 全ての学年で「自由に遊んだり、友だちと集まれる場所がほしい」の割合が最も高く、次いで「みんなが安心して寝たり食べたり、幸せに暮らせるまちにしてほしい」の割合が高くなっています。

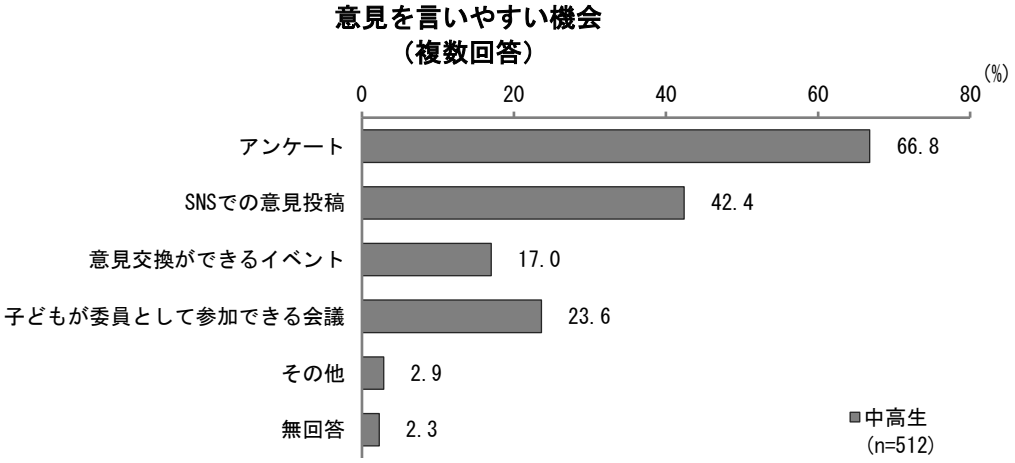
大人に伝えたいこと

(%)

区分	回答者数(件)	自由に遊んだり、友だちと集まれる場所がほしい	いろんなことを学んだり、文化やスポーツにふれる機会がほしい	みんなが安心して寝たり食べたり、幸せに暮らせるまちにしてほしい	もっと子どもの意見を聴く機会をつくってほしい	困ったことを相談できる場所がほしい	その他	特にない	無回答
中学1年生	95	50.5	25.3	43.2	28.4	5.3	6.3	22.1	－
中学2年生	96	54.2	21.9	34.4	26.0	10.4	3.1	18.8	1.0
中学3年生	88	50.0	20.5	38.6	23.9	6.8	3.4	25.0	2.3
高校1年生(15～16歳)	72	47.2	29.2	38.9	22.2	5.6	2.8	26.4	2.8
高校2年生(16～17歳)	85	47.1	35.3	44.7	17.6	11.8	2.4	21.2	－
高校3年生(17～18歳)	76	47.4	35.5	39.5	17.1	7.9	3.9	11.8	－

問２６　町田市では、大人だけでなく子どもの意見を聴くことを大切にしています。どのような機会があれば、自分の意見を町田市に言えると思いますか。【あてはまるものすべてに○】

- 「アンケート」が６６．８％と最も多く、次いで「ＳＮＳでの意見投稿」が４２．４％、「子どもが委員として参加できる会議」が２３．６％となっています。



【学年別】

- ほとんどの学年で「アンケート」の割合が最も高くなっています。
- 「ＳＮＳでの意見投稿」は、高校３年生（１７～１８歳）で６１．８％となっており、中学１年生、中学２年生よりも３０ポイント以上高くなっています。

意見を言いやすい機会

(%)

区分	回答者数(件)	アンケート	ＳＮＳでの意見投稿	意見交換ができるイベント	子どもが委員として参加できる会議	その他	無回答
中学1年生	95	71.6	27.4	20.0	26.3	1.1	3.2
中学2年生	96	69.8	30.2	16.7	22.9	3.1	4.2
中学3年生	88	62.5	46.6	13.6	29.5	4.5	3.4
高校1年生（15～16歳）	72	68.1	44.4	16.7	20.8	1.4	1.4
高校2年生（16～17歳）	85	67.1	49.4	17.6	18.8	4.7	1.2
高校3年生（17～18歳）	76	60.5	61.8	17.1	22.4	2.6	－

問２７　町田市へのご意見などがあれば、ご自由にお書きください。

- アンケート調査票の自由記述欄において、１４８人の方から、計２０６件の意見を寄せていただきました。
- 掲載している文章は、回答原文のうち各分類に関連する部分を要約・抜粋したものです。

【主な意見】

回答分類	件数
１　学校について	**２９**
・もっと子どもの意見を取り入れられるよう、学校で定期的にアンケートを取ってほしい。大人が外から見て考えるよりも、子ども自身が体感して考えたことを大切にすべき。 ・学校で支給されているパソコンを毎日持ち帰らないといけなくて、重くて大変。パソコンの宿題だとやり方が分からないこともある。目が疲れるし、授業中に関係ないものを見ている人がいるので、以前のように調べ学習などで使う時だけ貸し出し、学校で管理した方が良いと思う。	
２　子どもの居場所について	**７１**
（１）公園・遊び場について	**３５**
・ボール遊びが可能な公園を増やしてほしい。 ・小さい子が遊べる場所は多いけど、中学生が楽しんで遊べる場所が少ないと思う。私たち中学生に適した遊び場がほしい。	
（２）図書館・学習スペースについて	**２１**
・いつも図書館が好きでよく行くが、自習スペースがもっとほしい。また、ヤングアダルトコーナーを充実させてほしい。 ・少し私語があっても良いような勉強する場所や、時間制限があっても良いので少し誰かに教えてもらう場所がほしい。	
（３）娯楽（アミューズメント施設等）について	１５
・できれば映画館を作ってほしい。 ・ショッピングできる場所が少ないと思う。ショッピングモールなどを増やしてほしい。	
３　生活環境について	**４３**
（１）防犯・安全面について	**１９**
・街灯が少ない道があるので、街灯を増やしてほしい。（特に小学生や中学生の通学路） ・夜の駅周辺はとても怖い。小さな駅を使っているが、酔っ払いが構内でもめていて、恐怖と不快感を感じた。自習室を使って帰ると夜遅いので、どうにかならないかと思っている。	
（２）まちづくりについて	**２４**
・栄えている場所と栄えていない場所の差が激しいので、老人ホームばっかりではなく若いニーズに合った施設を増やしてほしい。 ・中学にバスで通っているが、バスの数が少ないので増やしてほしい。バスが毎回遅れて来るので、あまり遅れないようにしてほしい。	

【主な意見】

４　その他	６３
・同い年の子と交流する場が、学校以外ではあまりないので、学生が集まれるイベントなどがあれば嬉しい。 ・自分の持つ技術を、学校や市などの場で活用できる、役に立てる、そんなチャンスがほしい。学校や市のホームページのリニューアルなどを、無料でやってみたい。 ・このまま、のどかな町田市でいてほしい。	